

令和4年度

主要施策の成果並びに実績報告書

扶桑町

令和4年度扶桑町一般会計及び特別会計の決算を議会の認定に付するに当たり、主要施策の成果について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定により提出します。

令和5年9月1日

扶桑町長 鯖 瀬 武

目 次

I	令和4年度会計別決算総括表	1
II	令和4年度決算と令和3年度決算との比較表	3
III	令和4年度重点施策	5
IV	一般会計	
1.	令和4年度・令和3年度一般会計決算科目別比較表	11
2.	令和4年度一般会計歳出決算額節別内訳表	19
3.	科目別主要施策実績報告	
款 1	議会費 (議会事務局)	21
款 2	総務費 (政策調整課) (会計課) (総務課) (税務課) (住民課) (産業環境課) (監査委員事務局)	24
款 3	民生費 (住民課) (介護健康課) (福祉児童課) (多機能児童館等準備室)	72
款 4	衛生費 (健康推進課) (産業環境課) (都市整備課)	107
款 5	労働費 (産業環境課)	133
款 6	農林水産業費 (産業環境課) (土木課) (都市整備課)	134
款 7	商工費 (産業環境課)	142
款 8	土木費 (土木課) (都市整備課) (総務課)	147
款 9	消防費 (総務課) (災害対策室)	161
款 10	教育費 (学校教育課) (生涯学習課) (文化会館)	166
V	特別会計	
1.	土地取得特別会計 (総務課)	210
2.	国民健康保険特別会計 (住民課)	211
3.	介護保険特別会計 (介護健康課)	221
4.	後期高齢者医療特別会計 (住民課)	238
VI	参考資料 (地方財政状況調査より)	
	令和4年度普通会計決算の概要	239

I 令和4年度

会 計 名	区 分	予 算 現 額
一 般 会 計	歳 入	12,734,377,321
	歳 出	12,734,377,321
	歳 入 歳 出 差 引 額	0
土 地 取 得 特 別 会 計	歳 入	29,436,000
	歳 出	29,436,000
	歳 入 歳 出 差 引 額	0
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	歳 入	2,896,845,000
	歳 出	2,896,845,000
	歳 入 歳 出 差 引 額	0
介 護 保 険 特 別 会 計	歳 入	2,681,641,000
	歳 出	2,681,641,000
	歳 入 歳 出 差 引 額	0
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	歳 入	579,624,000
	歳 出	579,624,000
	歳 入 歳 出 差 引 額	0
合 計	歳 入	18,921,923,321
	歳 出	18,921,923,321
	歳 入 歳 出 差 引 額	0

会計別決算総括表

(単位：円、%)

決 算 額	予算現額に対する 決算額の対比増減	予算現額に対す る決算額比率	摘 要
12,597,650,402	△ 136,726,919	98.9	
12,206,788,385	△ 527,588,936	95.9	
390,862,017	390,862,017	—	翌年度へ繰越
29,434,478	△ 1,522	100.0	
26,118,550	△ 3,317,450	88.7	
3,315,928	3,315,928	—	翌年度へ繰越
2,883,783,103	△ 13,061,897	99.5	
2,793,729,768	△ 103,115,232	96.4	
90,053,335	90,053,335	—	翌年度へ繰越
2,657,125,844	△ 24,515,156	99.1	
2,556,131,831	△ 125,509,169	95.3	
100,994,013	100,994,013	—	翌年度へ繰越
578,617,142	△ 1,006,858	99.8	
578,607,342	△ 1,016,658	99.8	
9,800	9,800	—	翌年度へ繰越
18,746,610,969	△ 175,312,352	99.1	
18,161,375,876	△ 760,547,445	96.0	
585,235,093	585,235,093	—	

Ⅱ 令和4年度決算と

[歳 入]

(単位：円、%)

会計別		区分	令和4年度	令和3年度	差引増減	対前年度比
一般会計			12,597,650,402	12,377,121,776	220,528,626	101.8
特別会計			6,148,960,567	6,030,653,153	118,307,414	102.0
内 訳	土地取得		29,434,478	3,164,419	26,270,059	930.2
	国民健康保険		2,883,783,103	2,863,851,482	19,931,621	100.7
	介護保険		2,657,125,844	2,611,902,740	45,223,104	101.7
	後期高齢者医療		578,617,142	551,734,512	26,882,630	104.9
合計			18,746,610,969	18,407,774,929	338,836,040	101.8

令和3年度決算との比較表

[歳 出]

(単位：円、%)

会計別		区分	令和4年度	令和3年度	差引増減	対前年度比
一般会計			12,206,788,385	11,953,335,447	253,452,938	102.1
特別会計			5,954,587,491	5,835,415,568	119,171,923	102.0
内 訳	土地取得		26,118,550	9,600	26,108,950	272,068.2
	国民健康保険		2,793,729,768	2,730,074,778	63,654,990	102.3
	介護保険		2,556,131,831	2,553,801,378	2,330,453	100.1
	後期高齢者医療		578,607,342	551,529,812	27,077,530	104.9
合計			18,161,375,876	17,788,751,015	372,624,861	102.1

Ⅲ 令和4年度重点施策

(当初予算において重点施策として掲げた事業)

基本目標1 みんなで“支え合う”～ほっこり暮らせるまちづくり～

- 福祉児童課（児童）会計年度任用職員人件費【総務部総務課】◎新規
柏森放課後児童クラブ館において土曜日の保育を行いました。
- 福祉児童課（保育所）会計年度任用職員人件費【総務部総務課】◎新規
高雄南保育園において祝日の保育を行いました。また、土曜日保育を高雄西保育園と柏森保育園の2園で保育時間を延長して実施しました。
- 母子等福祉医療費支給事務費【健康福祉部住民課】◎拡充
これまで15歳到達年度末であった子ども医療費の対象年齢を令和4年9月診療分から18歳到達年度末まで拡大しました。
- 児童館整備事業費【健康福祉部多機能児童館等準備室】リーディングプラン
令和3年度からの継続事業である児童センターの建設工事を完了し、併せて外構工事、備品購入等、令和5年4月の開館に向けた整備を行いました。
- 児童館管理運営費【健康福祉部多機能児童館等準備室】◎新規
令和5年4月の児童センター開館に向け、NPO法人に運営準備委託を行いました。
- 保健センター管理運営費（臨時）【健康福祉部健康推進課】
老朽化した保健センターの屋上・外壁・天井改修及び照明のLED化を行いました。
- 市町村母子保健事業費【健康福祉部健康推進課】◎拡充
子育て支援の充実を図るため、産後健診を1回から2回へ拡大するとともに、新たに新生児聴力検査を加えました。
- 予防接種事業費【健康福祉部健康推進課】◎拡充
子宮頸がんワクチンについて積極的な接種勧奨を再開しました。接種対象者及び接種の機会を逃した方へ適切な情報提供を行い、希望者へ接種を実施しました。
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業費【健康福祉部健康推進課】
新型コロナウイルスワクチン接種対象者へ接種券を送付しました。また、接種予約システムを利用し、町内医療機関において個別接種を行うとともに、集団接種会場運営業務を委託し集団接種を行い、予防接種体制の確保に努めました。
- 健康増進事業費【健康福祉部健康推進課】◎拡充
若年層の歯周疾患の増加を予防するため、成人歯科健診の対象年齢を40歳から20歳に引き下げました。

●いこいの家管理運営費【健康福祉部介護健康課】

指定管理者による管理運営から直営での管理運営に移行し、教養研鑽、健康増進、レクリエーション等生きがい活動の場として利用されました。また、シルバー人材センターによる刃物研ぎ等、活動場所の提供も行いました。

●在宅福祉サービス事業費【健康福祉部介護健康課】◎新規

チョイソコふそうの利用促進の一環として、高齢者を対象にしたスマートフォン操作教室を5回実施し、延べ43名に参加していただきました。

●犯罪被害者等支援事業費【健康福祉部福祉児童課】◎新規

犯罪で被害に遭われた家族等へ、経済的支援策として見舞金の支給制度を設けましたが、申請はありませんでした。

●自立支援費支給事務費【健康福祉部福祉児童課】◎新規

町内に「相談支援事業所みつぼし扶桑」が設立され、その建物の付帯工事、備品購入等に係る費用の一部を補助しました。

●災害救助費【健康福祉部福祉児童課】◎拡充

火災で家屋が焼失された方に対し、一時的な宿泊施設を提供できるよう見舞金の制度を整備しましたが、申請はありませんでした。

基本目標2 みんなで“学び育む”～次代と豊かな心を育むまちづくり～

- 学校運営協議会事業費【教育委員会学校教育課】

児童生徒の保護者及び地域住民等と協働して、学校運営の改善や児童生徒の健全育成について取り組むため、学校運営協働協議会委員を委嘱し、各小中学校で協議会を3回開催しました。

- 校舎大規模改造事業費【教育委員会学校教育課】

扶桑東小学校非構造部材の耐震化改修工事、扶桑北中学校体育館の大規模改修工事を行いました。

- 【歳入】学校給食共同調理場給食費徴収金【教育委員会学校教育課】

扶桑町立小中学校児童生徒第3子以降学校給食費無償化事業では、児童生徒137名分の給食費無償化を実施しました。

- 地域学校協働本部事業費【教育委員会生涯学習課】◎新規

地域学校協働活動を推進するために地域学校協働本部を設置しました。

- 図書館活動費（臨時）【教育委員会生涯学習課】

更新時期を迎える図書館の昇降機の改修工事を実施しました。

- その他体育施設管理費（臨時）【教育委員会生涯学習課】

老朽化により廃止した町民プールの解体及び駐車場整備工事を実施しました。

基本目標3 みんなで“守る”～思いやりのある安全・安心なまちづくり～

- 環境保全対策事業費【産業建設部産業環境課】◎新規

猫の必要以上の繁殖の抑制及び住民に対する危害等の防止に向け、飼い猫83匹、野良猫20匹の去勢・避妊手術が実施され、その経費の一部を補助しました。

- 尾張北部環境組合負担金【産業建設部産業環境課】リーディングプラン

新ごみ処理施設整備に向け、尾張北部環境組合施設整備及び運営事業に関し、施工業者が決定しました。

- 用排水施設整備事業費【産業建設部土木課】

主に斎藤、高木地内において、浸水被害の要因となっている丹羽用排水路の改修を愛知県及び関係市町（犬山市、江南市）と連携して行い、測量業務・設計業務の負担金を支出しました。

- 防災行政無線管理費（臨時）【総務部災害対策室】

防災行政無線（同報系）アナログ基地局の更新を行いました。

- 自主防災活動等支援事業費【総務部災害対策室】◎新規

町民の防災意識の向上を図るため、自主防災組織が防災訓練などを実施した場合や防災備蓄品・消火設備などの防災資機材等の購入を実施した場合に補助する自主防災活動等支援事業補助金を創設しました。

- 防犯啓発推進費【総務部総務課】◎拡充

犯罪抑止のため、住宅対象侵入盗防犯対策補助事業を令和5年度まで延長しました。また、電話による詐欺被害を防止するため、特殊詐欺防止用電話機を購入した場合に補助する特殊詐欺防止用電話機器等購入費補助金を創設しました。

- 都市計画総務一般事務費（臨時）【産業建設部都市整備課】リーディングプラン

国道41号沿線の「まちづくり創生ゾーン」を具体化するため、引き続き、関連業務を行いました。また、地元有志による土地区画整理組合の立ち上げ断念を受け、地元地権者に対し説明会を開催し、町の今後の方針について説明しました。

基本目標4 みんなで“活かす”～住み続けられる・魅力あるまちづくり～

- 都市公園維持管理費（臨時）【産業建設部都市整備課】

高雄公園用地として借地している、土地の購入を行いました。また、公園利用者の安全と利便性を図るため、木曾川扶桑緑地公園においてテーブルベンチの撤去及び新たなテーブルベンチの設置、高雄公園においてブランコ・シーソーの撤去及びブランコ・ロッキング遊具の設置工事を行いました。

- 都市公園整備事業費【産業建設部都市整備課】

木曾川扶桑緑地公園の循環式トイレ浄化槽改修工事を行いました。

- 公共交通関連事業費、公共交通関連事業費（臨時）【総務部政策調整課】◎新規

令和4年10月より扶桑町内全域及び江南厚生病院を運行区域とした新たなデマンド型公共交通「チョイソコふそう」の実証運行を開始しました。また、「チョイソコふそう」実証運行開始及び扶桑町地域公共交通計画策定に向けて、扶桑町地域公共交通会議を3回開催しました。

- 小浜江南線整備関連事業費【産業建設部都市整備課】リーディングプラン

県道小浜江南線整備事業に伴う町道付け替えのための用地確保等に必要な地権者の理解を得るため、交渉を進めました。また、生活道路の交通安全対策工事として扶桑北中学校北側の点滅信号周辺の通学路カラー塗装等工事を行いました。

- 庁舎営繕費【総務部総務課】

令和5年度に本庁舎の屋上防水、外壁改修を実施するため、改修工事に向けて実施設計を行いました。

- 役場庁舎建設基金積立金【総務部総務課】

役場新庁舎建設のため、5千万円を基金に積み立てました。

- 商工業振興事業費（臨時）【産業建設部産業環境課】

新型コロナウイルス感染症対策として、新しい生活様式への対応や中小企業の従業員の確保・定着を推進するため、テレワーク環境の整備、POSレジ（販売時点情報管理レジ）の導入等を実施する事業所等に対し、経費の一部を補助しました。

また、環境にやさしい住宅改善促進事業補助金制度については、本年度124件14,348千円を補助し、町民の住生活環境の向上と地域経済の活性化に努めました。

基本目標5 みんなで“創る”～ともに支える自立した行政経営～

- 基幹系事業費（臨時）【総務部総務課】◎新規

利便性の向上を図るため、マイナンバーカードを利用したびったりサービスと住民情報システムを連携し、マイナンバーカード所有者の転出転入手続きのワンストップ化を実施しました。

- 町制施行70周年記念事業費【総務部政策調整課】

町制施行70周年記念式典を7月31日(日)に扶桑文化会館で開催しました。また、実行委員会を組織し、住民や役場職員の特に若い世代が中心となって企画・運営を行い、これまでにない話題性の高い事業を盛大に実施することにより、町内外の皆さんへ「活気あるまち」という明るい印象をプロモーションしました。

町制施行70周年記念事業としては、4つの協働事業、8つの町民主体事業を実施しました。

- 総合計画中間見直し事業費【総務部政策調整課】

第5次扶桑町総合計画後期基本計画策定のため、扶桑町総合計画審議会を3回開催しました。また、第5次扶桑町総合計画後期基本計画（案）に関するパブリックコメントを実施し、4名の方から8件の意見提出があり、町の考え方を回答しました。

第5次扶桑町総合計画後期基本計画（案）については、扶桑町総合計画審議会へ諮問し、審議、答申いただきました。その後、議会の議決をいただき、計画を策定しました。

IV 一 般 会 計

1. 令和4年度・令和3年度

(1) 歳入

科 目	年 度	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額
1. 町 税	R 4	5,338,375,000	5,519,435,779	5,410,324,650
	R 3	4,880,478,000	5,085,811,704	4,973,035,506
(1) 町 民 税	R 4	2,764,428,000	2,854,558,324	2,803,942,905
	R 3	2,364,647,000	2,481,533,759	2,426,398,689
(2) 固 定 資 産 税	R 4	1,986,291,000	2,048,308,696	2,001,491,747
	R 3	1,942,108,000	2,005,957,611	1,960,448,987
(3) 軽 自 動 車 税	R 4	92,871,000	93,970,493	89,623,463
	R 3	84,673,000	88,860,428	83,873,035
(4) 町 た ば こ 税	R 4	186,468,000	202,744,755	202,744,755
	R 3	184,841,000	195,435,567	195,435,567
(5) 都 市 計 画 税	R 4	308,317,000	319,853,511	312,521,780
	R 3	304,209,000	314,024,339	306,879,228
2. 地 方 譲 与 税	R 4	86,300,000	88,827,000	88,827,000
	R 3	90,271,000	88,682,000	88,682,000
3. 利 子 割 交 付 金	R 4	2,000,000	2,246,000	2,246,000
	R 3	3,000,000	3,309,000	3,309,000
4. 配 当 割 交 付 金	R 4	39,521,000	39,467,000	39,467,000
	R 3	40,944,000	40,594,000	40,594,000
5. 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	R 4	28,117,000	27,194,000	27,194,000
	R 3	47,819,000	46,366,000	46,366,000
6. 法 人 事 業 税 交 付 金	R 4	85,169,000	80,670,000	80,670,000
	R 3	61,368,000	68,418,000	68,418,000
7. 地 方 消 費 税 交 付 金	R 4	784,393,000	785,859,000	785,859,000
	R 3	746,795,000	748,155,000	748,155,000
8. 自 動 車 取 得 税 交 付 金	R 4	1,000	1,186	1,186
	R 3	1,000	1,357	1,357
9. 環 境 性 能 割 交 付 金	R 4	28,000,000	20,165,000	20,165,000
	R 3	23,000,000	16,569,990	16,569,990

一般会計決算科目別比較表

(単位：円、%)

不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入 済額との比較	収 入 割 合		
			対予算現額	対調定額	歳入合計額に 対する構成比
13,552,042	95,590,109	71,949,650	101.3	98.0	43.0
13,593,598	99,182,600	92,557,506	101.9	97.8	40.2
6,596,227	44,050,214	39,514,905	101.4	98.2	22.3
8,102,070	47,033,000	61,751,689	102.6	97.8	19.6
5,355,235	41,461,714	15,200,747	100.8	97.7	15.9
4,077,533	41,431,091	18,340,987	100.9	97.7	15.8
761,928	3,585,102	△ 3,247,537	96.5	95.4	0.7
773,800	4,213,593	△ 799,965	99.1	94.4	0.7
0	0	16,276,755	108.7	100.0	1.6
0	0	10,594,567	105.7	100.0	1.6
838,652	6,493,079	4,204,780	101.4	97.7	2.5
640,195	6,504,916	2,670,228	100.9	97.7	2.5
0	0	2,527,000	102.9	100.0	0.7
0	0	△ 1,589,000	98.2	100.0	0.7
0	0	246,000	112.3	100.0	0.1
0	0	309,000	110.3	100.0	0.1
0	0	△ 54,000	99.9	100.0	0.3
0	0	△ 350,000	99.1	100.0	0.3
0	0	△ 923,000	96.7	100.0	0.2
0	0	△ 1,453,000	97.0	100.0	0.4
0	0	△ 4,499,000	94.7	100.0	0.6
0	0	7,050,000	111.5	100.0	0.6
0	0	1,466,000	100.2	100.0	6.3
0	0	1,360,000	100.2	100.0	6.0
0	0	186	118.6	100.0	0.0
0	0	357	135.7	100.0	0.0
0	0	△ 7,835,000	72.0	100.0	0.2
0	0	△ 6,430,010	72.0	100.0	0.1

(1) 歳 入 (つづき)

科 目	年 度	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額
10. 地方特例交付金	R 4	53,496,000	54,890,000	54,890,000
	R 3	78,509,000	80,391,000	80,391,000
11. 地方交付税	R 4	1,605,980,000	1,605,808,000	1,605,808,000
	R 3	1,478,616,000	1,478,266,000	1,478,266,000
12. 交通安全対策特別交付金	R 4	3,500,000	3,703,000	3,703,000
	R 3	3,500,000	3,991,000	3,991,000
13. 分担金及び負担金	R 4	79,125,000	65,558,888	65,474,338
	R 3	85,052,000	61,080,313	60,560,371
14. 使用料及び手数料	R 4	71,156,000	71,057,394	70,805,826
	R 3	67,727,000	67,361,251	65,923,023
15. 国庫支出金	R 4	1,996,847,400	1,864,035,971	1,864,035,971
	R 3	2,493,462,000	2,330,225,306	2,271,107,906
16. 県支出金	R 4	849,729,000	810,219,325	810,219,325
	R 3	764,899,000	703,105,157	703,105,157
17. 財産収入	R 4	13,535,000	13,490,979	13,490,979
	R 3	2,897,000	2,999,429	2,999,429
18. 寄附金	R 4	5,208,000	6,076,500	6,076,500
	R 3	5,165,000	4,665,000	4,665,000
19. 繰入金	R 4	636,593,321	634,543,897	634,543,897
	R 3	110,464,000	108,321,517	80,978,196
20. 繰越金	R 4	423,785,600	423,786,329	423,786,329
	R 3	365,167,200	365,167,619	365,167,619
21. 諸収入	R 4	423,846,000	413,769,824	410,362,401
	R 3	438,913,000	465,955,819	463,036,222
22. 町債	R 4	179,700,000	179,700,000	179,700,000
	R 3	871,500,000	860,400,000	811,800,000
合 計	R 4	12,734,377,321	12,710,505,072	12,597,650,402
	R 3	12,659,547,200	12,629,836,462	12,377,121,776

(単位：円、%)

不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入 済額との比較	収 入 割 合		
			対予算現額	対調定額	歳入合計額に 対する構成比
0	0	1,394,000	102.6	100.0	0.4
0	0	1,882,000	102.4	100.0	0.6
0	0	△ 172,000	100.0	100.0	12.7
0	0	△ 350,000	100.0	100.0	12.0
0	0	203,000	105.8	100.0	0.0
0	0	491,000	114.0	100.0	0.0
0	84,550	△ 13,650,662	82.7	99.9	0.5
21,900	498,042	△ 24,491,629	71.2	99.1	0.5
62,638	193,962	△ 350,174	99.5	99.6	0.6
1,072,090	366,138	△ 1,803,977	97.3	97.9	0.5
0	0	△ 132,811,429	93.3	100.0	14.8
0	59,117,400	△ 222,354,094	91.1	97.5	18.3
0	0	△ 39,509,675	95.4	100.0	6.4
0	0	△ 61,793,843	91.9	100.0	5.7
0	0	△ 44,021	99.7	100.0	0.1
0	0	102,429	103.5	100.0	0.0
0	0	868,500	116.7	100.0	0.0
0	0	△ 500,000	90.3	100.0	0.0
0	0	△ 2,049,424	99.7	100.0	5.0
0	27,343,321	△ 29,485,804	73.3	74.8	0.7
0	0	729	100.0	100.0	3.4
0	0	419	100.0	100.0	3.0
3,318	3,404,105	△ 13,483,599	96.8	99.2	3.3
1,596	2,918,001	24,123,222	105.5	99.4	3.7
0	0	0	100.0	100.0	1.4
0	48,600,000	△ 59,700,000	93.1	94.4	6.6
13,617,998	99,272,726	△ 136,726,919	98.9	99.1	100.0
14,689,184	238,025,502	△ 282,425,424	97.8	98.0	100.0

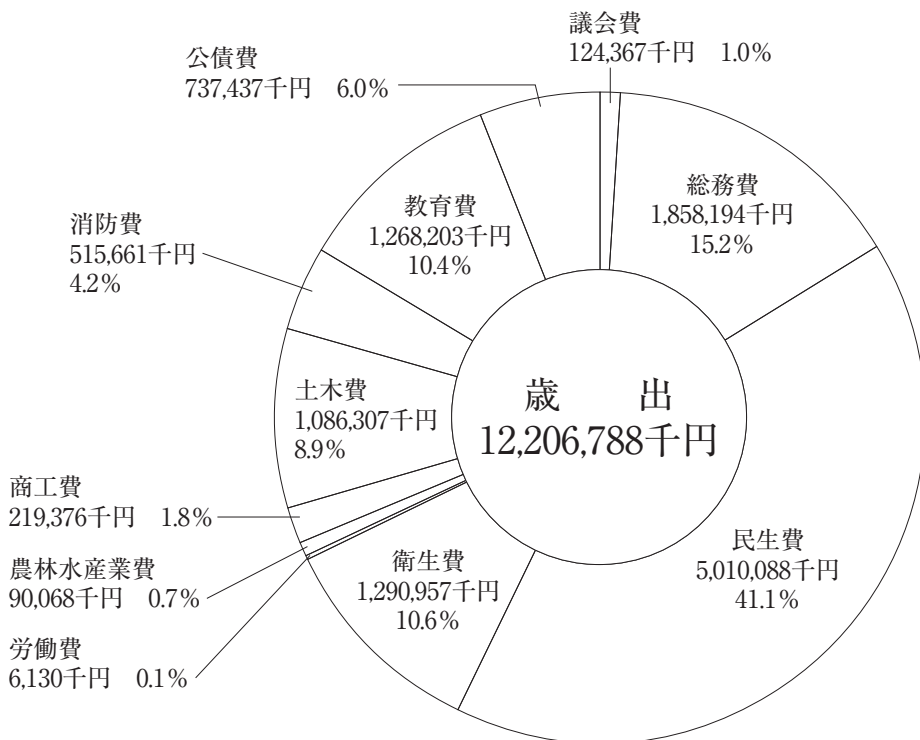
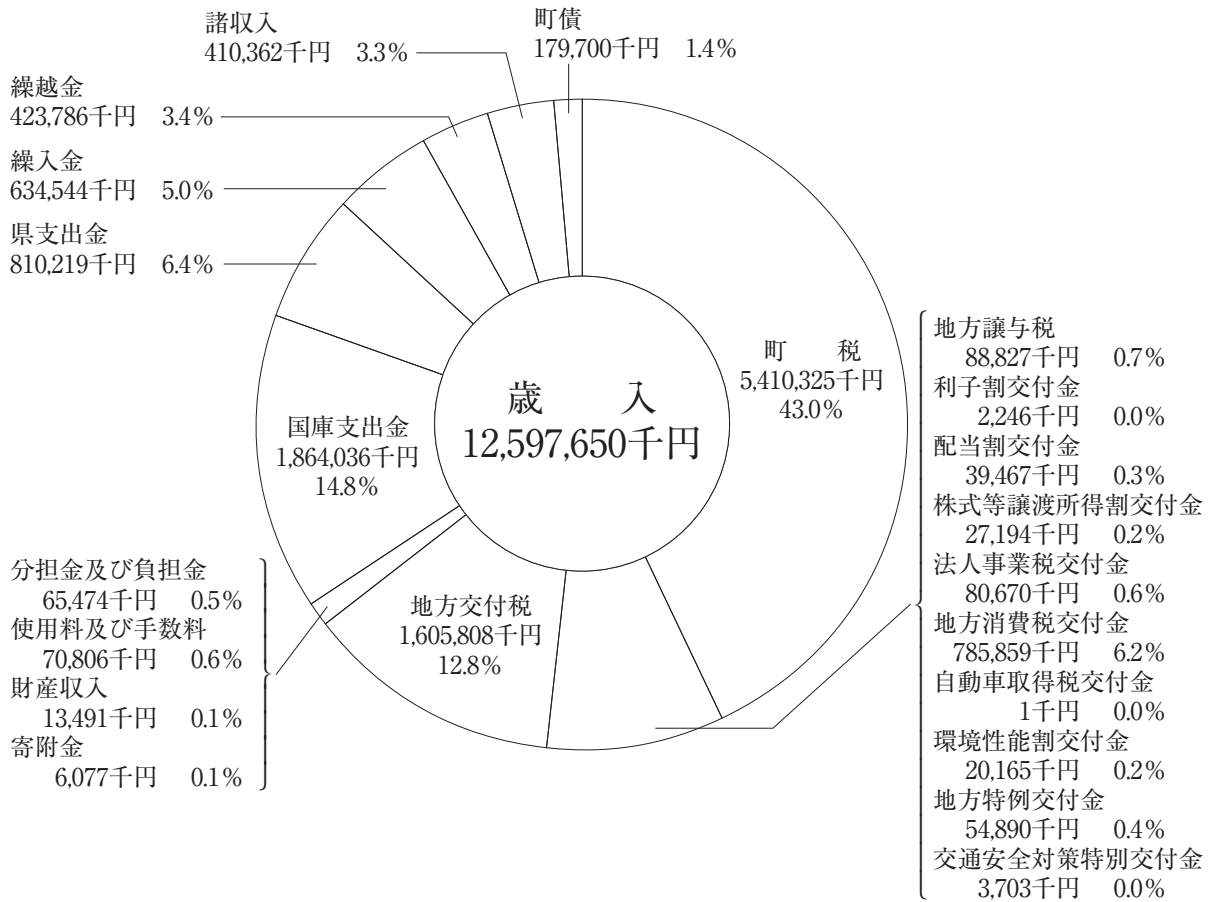
(2) 歳 出

科 目	年 度	予 算 現 額	支 出 済 額
1. 議 会 費	R 4	127,285,000	124,367,462
	R 3	132,092,000	128,069,271
2. 総 務 費	R 4	1,926,881,258	1,858,193,621
	R 3	1,873,357,205	1,818,926,985
3. 民 生 費	R 4	5,198,110,618	5,010,087,914
	R 3	5,463,918,667	5,014,966,422
4. 衛 生 費	R 4	1,441,771,984	1,290,957,007
	R 3	1,274,890,956	1,185,096,741
5. 労 働 費	R 4	7,343,000	6,130,365
	R 3	7,317,000	6,060,670
6. 農 林 水 産 業 費	R 4	99,462,000	90,067,660
	R 3	87,496,000	79,389,020
7. 商 工 費	R 4	232,037,000	219,376,059
	R 3	219,643,000	211,093,105
8. 土 木 費	R 4	1,102,068,000	1,086,307,276
	R 3	897,215,200	882,102,326
9. 消 防 費	R 4	538,306,383	515,661,255
	R 3	567,186,400	551,735,209
10. 教 育 費	R 4	1,316,770,218	1,268,202,486
	R 3	1,457,043,160	1,401,826,961
11. 災 害 復 旧 費	R 4	1,000	0
	R 3	1,000	0
12. 公 債 費	R 4	738,083,000	737,437,280
	R 3	676,335,000	674,068,737
13. 予 備 費	R 4	6,257,860	0
	R 3	3,051,612	0
合 計	R 4	12,734,377,321	12,206,788,385
	R 3	12,659,547,200	11,953,335,447

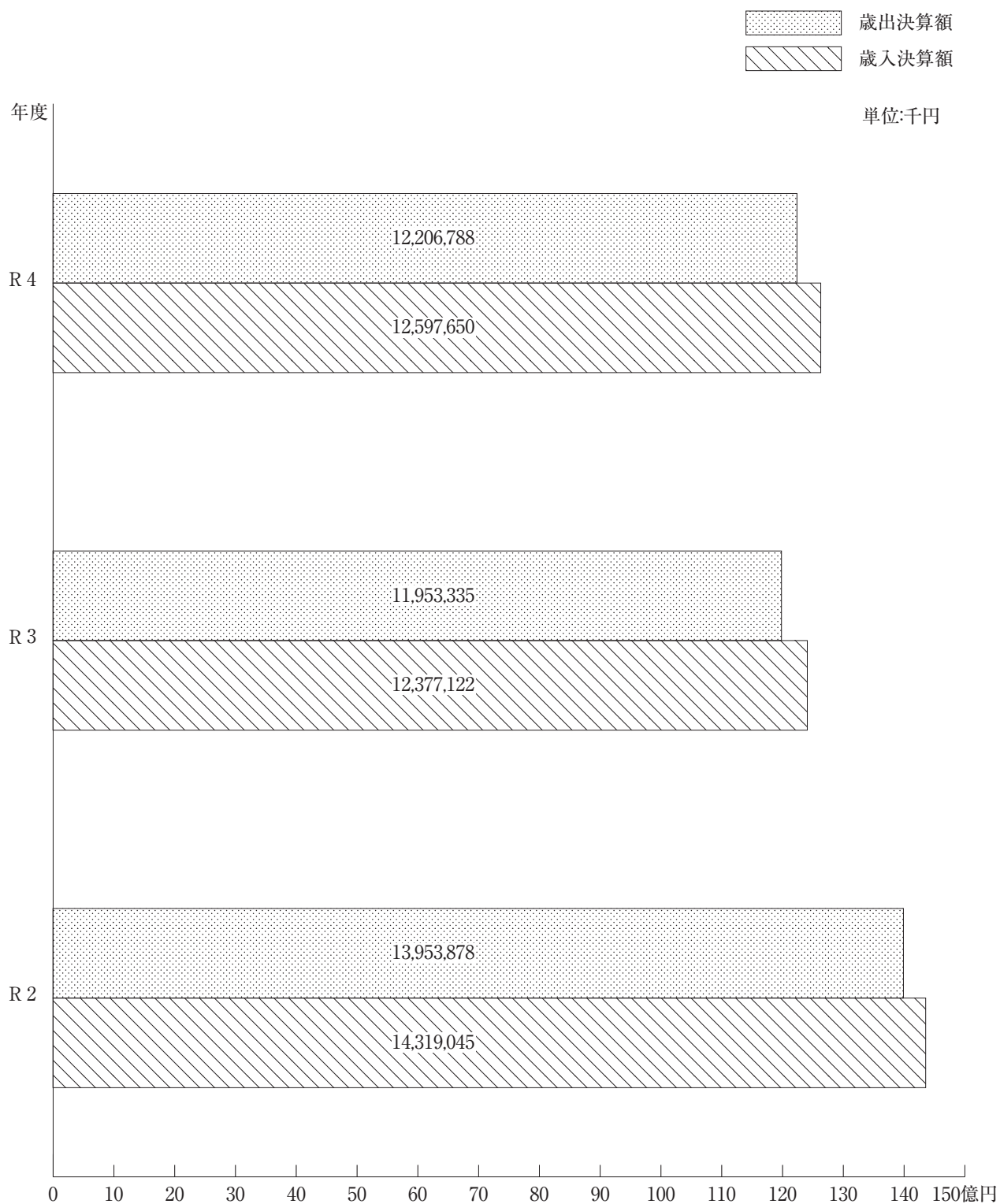
(単位：円、%)

予算現額と支出済額 との比較	執行割合		摘 要
	対予算現額	歳出合計額に 対する構成比	
2,917,538	97.7	1.0	
4,022,729	97.0	1.1	
68,687,637	96.4	15.2	
54,430,220	97.1	15.2	
188,022,704	96.4	41.1	
448,952,245	91.8	42.0	
150,814,977	89.5	10.6	
89,794,215	93.0	9.8	
1,212,635	83.5	0.1	
1,256,330	82.8	0.1	
9,394,340	90.6	0.7	
8,106,980	90.7	0.7	
12,660,941	94.5	1.8	
8,549,895	96.1	1.8	
15,760,724	98.6	8.9	
15,112,874	98.3	7.4	
22,645,128	95.8	4.2	
15,451,191	97.3	4.6	
48,567,732	96.3	10.4	
55,216,199	96.2	11.7	
1,000	0.0	0.0	
1,000	0.0	0.0	
645,720	99.9	6.0	
2,266,263	99.7	5.6	
6,257,860	0.0	0.0	
3,051,612	0.0	0.0	
527,588,936	95.9	100.0	
706,211,753	94.4	100.0	

(3) 令和4年度一般会計決算構成表



(4) 一般会計決算額の推移表



2. 令和4年度一般会計歳出

節	区分	議会費	総務費	民生費	衛生費	労働費	農林水産業費
報	酬	55,740	31,626	262,368	11,902	0	9,115
給	料	11,522	209,231	315,778	50,249	0	13,799
職 員 手 当 等		27,851	154,497	212,708	33,868	11	7,435
共 濟 費		20,898	242,714	90,284	15,636	0	4,014
災 害 補 償 費		0	0	0	0	0	0
報 償 費		0	3,719	4,436	16,813	5	1,689
旅 費		100	1,054	7,400	228	2	62
交 際 費		117	491	0	0	0	0
需 用 費		2,188	52,003	113,074	19,461	112	1,569
役 務 費		86	81,905	16,491	10,464	0	343
委 託 料		3,446	203,024	203,856	532,156	0	155
使用料及び賃借料		146	68,661	47,989	3,601	0	119
工 事 請 負 費		0	54,296	385,413	37,114	0	11,320
原 材 料 費		0	88	455	27	0	19
公 有 財 産 購 入 費		0	0	0	0	0	0
備 品 購 入 費		1,060	41,764	36,921	457	0	307
負担金補助及び交付金		1,213	107,066	674,026	420,726	0	39,552
扶 助 費		0	0	1,849,041	4,946	0	0
貸 付 金		0	0	3,000	0	6,000	0
補償補填及び賠償金		0	0	0	43	0	0
償還金利子及び割引料		0	11,194	56,608	53,061	0	0
投 資 及 び 出 資 金		0	0	0	0	0	0
積 立 金		0	568,536	1	80,205	0	570
寄 附 金		0	0	0	0	0	0
公 課 費		0	227	0	0	0	0
繰 出 金		0	26,098	730,239	0	0	0
計		124,367	1,858,194	5,010,088	1,290,957	6,130	90,068
構 成 比		1.0	15.2	41.1	10.6	0.1	0.7

決算額節別内訳表

(単位：千円、%)

商工費	土木費	消防費	教育費	災害 復旧費	公債費	予備費	計	構成比
1,637	3,735	11,534	163,720	0	0	0	551,377	4.5
6,222	64,744	9,756	108,346	0	0	0	789,647	6.5
2,654	36,863	7,450	76,397	0	0	0	559,734	4.6
1,615	19,148	2,802	48,385	0	0	0	445,496	3.7
0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
0	2,182	1,168	5,555	0	0	0	35,567	0.3
137	63	50	3,149	0	0	0	12,245	0.1
0	0	15	44	0	0	0	667	0.0
1,191	52,118	3,791	309,799	0	0	0	555,306	4.6
7,443	677	359	10,081	0	0	0	127,849	1.0
4,156	74,757	29,607	107,721	0	0	0	1,158,878	9.5
0	13,641	656	90,037	0	0	0	224,850	1.8
0	269,224	9,608	178,924	0	0	0	945,899	7.8
0	6,145	0	376	0	0	0	7,110	0.1
0	89,897	0	0	0	0	0	89,897	0.7
189	115	5,371	21,977	0	0	0	108,161	0.9
137,132	166,296	412,693	126,672	0	0	0	2,085,376	17.1
0	0	20,760	16,498	0	0	0	1,891,245	15.5
57,000	0	0	0	0	0	0	66,000	0.5
0	39	0	0	0	0	0	82	0.0
0	0	0	418	0	737,437	0	858,718	7.0
0	286,663	0	0	0	0	0	286,663	2.3
0	0	0	55	0	0	0	649,367	5.3
0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
0	0	41	49	0	0	0	317	0.0
0	0	0	0	0	0	0	756,337	6.2
219,376	1,086,307	515,661	1,268,203	0	737,437	0	12,206,788	100.0
1.8	8.9	4.2	10.4	0.0	6.0	0.0	100.0	

3. 科目別主要施策実績報告

1款 議会費 1項 議会費

目	予算現額	決算額	執行率
1. 議会費	円 127,285,000	円 124,367,462	% 97.7

【議会事務局】

[1] 町議会議員報酬等

1. 議会活動

(単位：日)

区分	会 期 日 程			
	本会議日数	本会議委員会日数	その他休会日数	計
定例会	22	10	64	96
臨時会	4	0	0	4
計	26	10	64	100

2. 本会議付議事件

(単位：件)

区分	町長提出のもの							議員提出のもの							
	条例	予算	決算	その他事件	専決処分	報告	計	条例	意見書	請願	陳情	決議	規則その他	報告	計
定例会	45	31	6	13	1	7	103	2	23	2	25	0	3	2	57
臨時会	7	7	0	2	0	0	16	0	0	0	0	0	5	0	5
計	52	38	6	15	1	7	119	2	23	2	25	0	8	2	62

区分	町長提出のもの									議員提出のもの										
	原案可決	修正可決	同意	認定	承認	審議未了	原案撤回	翌年度へ継続	報告	計	原案可決	修正可決	否決	採択	不採択	審議未了	原案撤回	翌年度へ継続	報告	計
定例会	86	0	3	6	1	0	0	0	7	103	26	0	2	21	6	0	0	0	2	57
臨時会	15	0	1	0	0	0	0	0	0	16	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
計	101	0	4	6	1	0	0	0	7	119	31	0	2	21	6	0	0	0	2	62

3. 議会傍聴延人数 67人 (一般傍聴者年間延人数)

4. 議会の議決に付した契約

工 事 名 又 は 物 品 名	契約金額 (円)	議決議会
乗合自動車 (トヨタハイエースウェルジョイン)	7,898,039	5月臨時会
(仮称) 扶桑町多機能児童館外構工事	53,350,000	6月定例会
扶桑北中学校体育館大規模改修工事	67,430,000	
グループウェア機器購入 (令和4年度更新)	7,337,000	

[3]・[4] 議会運営一般事業費

1. 委員会活動

委 員 会 名	開 催 回 数
総務建設常任委員会	4回
福祉文教常任委員会	4回
予算決算特別委員会	2回
議会運営委員会	17回
議会改革特別委員会	8回
議会だより編集特別委員会	17回

2. 議会会議録検索システムインターネット配信業務

令和4年分の議会会議録をデジタル化し、インターネットより配信しました。町のホームページから検索可能にしました。

3. 議会改革特別委員会

4月8日に民生・児童委員、4月22日に保育園PTAとの意見交換会を実施しました。

4. 議場等の整備

令和5年度の機構改革に合わせ、議場名札等を購入しました。

5. 備品購入

議員用パソコンの買い替え及び議員用タブレットペンを購入しました。

[5] 負担金補助及び交付金

1. 会派研修

町議会の各会派において、政務活動費による調査研究及び研修事業を実施しました。

会 派	年 月 日	視察・研修先	視 察 ・ 研 修 内 容
桑政クラブ (9名)	R5. 1. 16 17	衆参議院議員会館 防衛省施設局	・交付税について ・木曾川堤外地活用等について ・施設見学

会 派	年 月 日	視察・研修先	視 察 ・ 研 修 内 容
公 明 党 (1名)	R4. 4. 11 12	全 国 市 町 村 国 際 文 化 研 修 所	第 1 回 市 町 村 議 会 議 員 特 別 セ ミ ナ ー
	R4. 8. 1 2		第 2 回 市 町 村 議 会 議 員 特 別 セ ミ ナ ー
	R4. 10. 3 4		ト ッ プ マ ネ ジ メ ン ト セ ミ ナ ー
	R5. 1. 23 24		第 3 回 市 町 村 議 会 議 員 特 別 セ ミ ナ ー
	R4. 7. 6	オ ン ラ イ ン	第13回生活保護問題議員研修会

会 派	年 月 日	視察・研修先	視 察 ・ 研 修 内 容
無 所 属 (1名)	R4. 4. 26 ~28	宮 城 県 気 仙 沼 市 岩 手 県 陸 前 高 田 市 宮 城 県 南 三 陸 町	東 日 本 震 災 地 視 察 防 災 減 災 学 習

[6] 町民議会開催費

1. 町民参加型議会

11月6日及び13日に町制70周年記念事業町民参加型チャレンジ議会「次世代につなぐ若者のフリースピーチ」を開催しました。

2款 総務費 1項 総務管理費

目	予算現額	決算額	執行率
1. 一般管理費	円 624,201,332	円 612,637,149	% 98.1

【政策調整課】

[1] 表彰事業費

1. 自治功労者等表彰

扶桑町表彰条例に基づき、本町住民の福祉に貢献し、及び本町の公職に多年従事し、その功績が顕著な団体又は個人について表彰しました。

一般表彰 12名

2. まちづくり活動団体等表彰

協働による本町のまちづくりに貢献した団体又は個人に対し謝意を表すため、扶桑町まちづくり活動団体等謝意要領に基づき、57名・12団体の方々に感謝状を贈呈しました。

[2] 秘書事務費

1. 岐阜基地周辺市町連絡協議会で、令和5年2月14日に東海防衛支局と航空自衛隊岐阜基地へ下記の件等について要望しました。

- (1) NHK放送受信料の助成制度や対象区域の見直し
- (2) 住宅防音工事の早期交付決定と補助対象の拡大
- (3) 民生安定各施設の補助率を10/10とすること
- (4) 航空機等から発生する騒音レベルの低減、夜間飛行及び低空飛行の極力回避
- (5) 航空機事故防止のための整備点検の強化と安全航行等に万全を期すこと

[3] ふるさと寄附金推進事業費

扶桑町へふるさと寄附をしていただいた方に、返礼品を提供しました。

寄附件数137件のうち、返礼品を希望の122件に対し返礼品を送付しました。

[5] 新生児子育て応援給付金給付事業費

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、令和4年4月1日から令和5年3月31日までに生まれた新生児（207人）に、新生児子育て応援給付金（1人につき30,000円）を支給しました。

[51] 新生児子育て応援給付金給付事業費繰越明許費

令和3年度分からの繰越明許費として、令和3年4月1日から令和4年3月31日までに生まれた新生児（20人）に、新生児子育て応援給付金（1人につき30,000円）を支給しました。

【総務課】

[1]・[2] 地域自治振興費

1. 駐在員

町政諸般の事務を円滑に運営し、町民の福祉を図るため駐在員を43名委嘱しました。

また、昨年・一昨年と同様に、4月6日及び9月13日に駐在員会議資料を書面にて配布し、円滑な業務の推進に向けた情報の共有を図りました。

2. 地域自治振興費

町内各地域における自治活動事業、敬老事業、資源ゴミ・不燃ゴミ分別収集事業、スポーツ振興事業に要する経費に対し、一世帯当たり2,755円の地域自治振興費を交付しました。

また、資源ゴミ等集積所管理運営事業に対し、1集積所当たり7,600円を交付しました。

3. コミュニティの推進

町内24地区でコミュニティ推進協議会が設立され、それぞれの地区において役員の研修などが行われています。

各地区のコミュニティ推進協議会の活動に対し、1地区当たり14万円の地区コミュニティ推進協議会助成金を交付しました。

4. 地域公民館建築費補助金

南新田公民館及び中島公民館の改修費用の助成を行いました。

5. 自治総合センター（宝くじ）助成

柏森南コミュニティ推進協議会が240万円、柏森西コミュニティ推進協議会が250万円、一般コミュニティ助成として助成を受け、備品を購入しました。

[3] 非核平和宣言事業費

人類が共存し、その一人ひとりが生命の尊厳を保ち、人間らしく生活のできる真の平和実現を願って、扶桑町は平和行政を積極的に推進し、核兵器廃絶の世論を喚起するため、昭和60年6月27日議会の議決をもって非核平和宣言をしました。

(1) 広島・長崎への原爆投下日時に被爆者の冥福と平和を祈り「黙とう」を呼びかけました。

(2) 7月30日から8月15日までイオンモール扶桑2階専門店街特設コーナーにおいて「広島の高校生が描いた原爆の絵展」を開催しました。

[4]・[5] 一般事務費

1. 地域住民に密着した行政を目指し、多様化・細分化する住民ニーズに応えるべく、円滑な事務処理ができるよう条例整備を図りました。

(1) 条例制定改正等件数 制定5件、改正60件、廃止1件（他の条例の附則等で改正又は廃止されたものを件数に含む。）

(2) 告示件数 216件

2. 行政不服審査法に基づき審査請求を受け付け、行政不服審査会に1件諮問しました。また、当該案件について裁決をしました。

3. 地方税法に基づき固定資産課税台帳に登録された価格に関する審査の申出を受け付け、固定資産評価審査委員会において1件審査の決定を行いました。

4. バス借上の実績は、次のとおりでした。

(単位：台)

月	大 型	中 型	小 型	計	月	大 型	中 型	小 型	計
4月	0	0	0	0	10月	7	4	1	12
5月	3	1	0	4	11月	7	3	0	10
6月	3	0	0	3	12月	2	1	1	4
7月	0	1	0	1	1月	2	1	0	3
8月	2	0	0	2	2月	2	1	0	3
9月	2	2	0	4	3月	2	1	0	3
					合 計	32	15	2	49

[6] 人事管理費

1. 職員数（過去3年間の推移）

(単位：人)

区 分	R3. 3. 31	R4. 3. 31	R5. 3. 31
政 策 調 整 課	7	9	9
総 務 課	26 (部長含む)	26 (部長含む)	32 (部長含む)
税 務 課	12	11	11
災 害 対 策 室	3	3	3
住 民 課	14	14	14
介 護 健 康 課	20	18	10
健 康 推 進 課	—	—	9
福 祉 児 童 課	12 (部長含む)	13 (部長含む)	14 (部長含む)
多機能児童館等準備室	3 (部長含む)	3 (部長含む)	3
保 育 園	72	71	71
産 業 環 境 課	12	11	12
土 木 課	11 (部長含む)	11 (部長含む)	11 (部長含む)
都 市 整 備 課	10	11	14
会 計 室	3	3	3
学 校 教 育 課	14 (部長含む)	14 (部長含む)	13 (部長含む)
生 涯 学 習 課	12	12	12
文 化 会 館	4	4	3
議 会 事 務 局	3	3	3
監 査 委 員 事 務 局	1	1	1
計	239	238	248

※上記職員数は、再任用職員を除く。

2. 職員研修

職員105名を職場外研修に参加させ、その能力向上を図りました。

○研修事業

1. 尾張五市二町研修協議会

・一般職員前期研修始め5研修 50名

2. (公財)愛知縣市町村振興協会研修センター

・階層別研修(部長研修始め3研修) 15名

・専門研修(地方自治法研修始め16研修) 40名

また、職場内研修として、怒りの感情のコントロールのため「怒りのマネジメント研修」(43名)、新規採用職員の職場への早期適応のため「メンター研修」(32名)、ハラスメントに関する知識等習得のため「ハラスメント研修」(22名)、DXの基礎知識習得のため「DX推進講演会」(48名)を実施しました。

●めざそう値

施策	職員の意識改革			
指標名	指標の定義	計画策定時	R4実績値	R4目標値
職場外研修受講者数	1年間に外部研修機関の研修を受講した職員数(人)	75	105	80

〈表の見方：以降共通〉

※「計画策定時」については、策定時における直近年度(平成28年度)の実績値を表す。

3. 職員の安全衛生管理

労働安全衛生法に基づき、職員の健康確保のため、職員健康診断等を実施しました。

(1) 職員健康診断

受診者数 386名

検査項目 胸部レントゲン、肝機能検査、貧血検査、心電図検査、聴力検査、脂質検査、一般診断(身体計測、視力、尿検査、血圧)、血糖検査等

(2) 人間ドック

受診者数 157名

対象者 30歳以上の職員

検査項目 身体計測、循環器検査、尿検査、胸部レントゲン、肝機能検査、眼底検査等

(3) 産業医面談

職場や家庭での人間関係によるストレスなど、心の悩みや健康状態について気軽に相談できるよう、希望者への産業医面談を実施し、53名が面談を受けました。

(4) ストレスチェック

メンタルヘルス不調となることを未然に防止する一次予防のため、希望者を対象にストレスチェックを行い、128名が実施しました。

4. 人事評価システム

扶桑町人材育成基本方針に基づき、人事評価を実施しました。
また、被評価者を対象とした研修会（106名）を実施しました。

[7] 人事管理費（臨時）

1. 職員の定年引き上げに伴う例規整備

地方公務員法の改正に伴い、令和5年4月1日から職員の定年年齢が段階的に引き上げられるため、業者委託し、条例9件、規則8件、要綱2件の例規整備を行いました。

2. 人事給与システム

地方公務員等共済組合法の改正に伴い、令和4年10月1日から会計年度任用職員へ適用拡大されるため、人事給与システムの改修を行いました。

[9] 監理事務費

1. 契約・検査

予定価格が130万円を超える工事又は製造の請負、80万円を超える物品の購入、40万円を超える物件の借入れ及び50万円を超える設計等業務について入札及び契約締結を行い、検査については、契約書・設計図書・仕様書等に照らし合わせ実施しました。平成22年度から建設工事及び設計・測量等コンサル業務については、原則、電子入札で実施しており、令和4年度は95件の電子入札を実施しました。

(1) 業者指名審査会開催回数 13回

(2) 入札及び検査件数

種 別		入 札 件 数	完了（納入） 検 査 件 数	出来形・中間 検 査 回 数	備 考
工 事 請 負	土木一式工事 舗装工事	62(62)	62	2	
	建築一式工事 管工事等	20(20)	21	11	1件前年度繰越事業
製 造 の 請 負		4	2	4	2件主管課検査
物 品 の 購 入		26	20	0	2件落札後辞退 1件完全不調 3件主管課検査
設計等の業務・その他		84(13)	31	0	53件主管課検査
計		196(95)	136	17	

※（ ）内 予定価格事前公表

(3) 前金払可能件数 62件(うち前金払件数 15件)

2. 入札参加資格審査申請書の受付件数

種 別	令和4年度受付件数		令和3年度受付件数	
	(令和4～5年度追加用)	うち町内	(令和4～5年度用) (令和2～3年度追加用)	うち町内
建設工事	81	1	1,236	22
コンサルタント	32	0	535	4
物品業務	69	2	572	37
計	182	3	2,343	63

[10]・[11] 空家対策費

1. 委託料

現行の「扶桑町空家等対策計画」が令和5年度末で計画終期となるため、新しい計画を策定する際に必要となる、空家等の現状把握等を行う目的で「空家等対策計画策定に係る調査支援業務」を行いました。

事業名	事業概要	事業費
空家等対策計画策定に係る調査支援業務	総合的な空家対策を推進するための基礎資料を整備し、都市計画図閲覧システムに空家実態調査結果を掲載して、空家の効率的な管理を行う	5,071,634円

2. 補助金

管理が行き届いていない空家の倒壊による被害を防ぐため、木造の危険空家の除却を行う所有者等に対し補助金を交付することにより、これらの空家の除却の推進を図り、安心して住み続けられる住環境を確保することを目的として、危険空家除却費補助金制度を実施しました。

危険空家除却費	
年 度	棟数 (件)
R3	1
R4	3

また、空家を地域活性化につながる住民活動の事業拠点として改修し、住民活動を実施する団体に対し補助金を交付することにより、空家の有効活用の促進及び住民活動による協働の推進に資することを目的として、令和3年度から空家の有効活用による住民活動団体事業拠点改修費補助金制度を開始しましたが、令和4年度は実績がありませんでした。

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. 広 報 費	円 14,593,000	円 14,295,713	% 98.0

【政策調整課】

[1] 広報紙発行費

町政の普及・啓発・連絡・各種案内等を行うため、広報紙を発行しました。

広報ふそうについては、A4版、写真・イラストの多用、表紙に小・中学生フォトコンテスト入賞作品の写真を用いるなど、親しみやすさをアピールしました。また、年間行事予定表はユニバーサルデザインに配慮した文字を使用し、内容をより見やすく使いやすいものにしました。

(1) 広報紙発行状況（「広報ふそう」毎月1日発行）

年間計184,800部発行しました。

町政に対する住民の方々の意見を聴くため、広報ふそう紙面に「町政への手紙」を年2回刷り込みました。これにより、役場に設置している提案箱も含めて69件の意見があり、匿名分以外は全て回答しました。

広報ふそうの配送については、各地区駐在員へ依頼するのではなく、ポスティング業者へ委託しました。

令和4年5月号から広報ふそうをデジタルブック化し、多言語及び読み上げ機能を用いてより多くの町民に行政情報をはじめ各種情報を周知するために、「カタログポケット」のアプリを利用して広報ふそうを閲覧できるようにしました。

[2] 広報無線放送事務費

広報無線放送により、各種連絡事項及び火災・その他緊急の通報・連絡等を実施し、広報活動の充実を図りました。

○放送実績

(単位：件)

	定 時 放 送					臨 時 放 送									合 計
	朝の 定時	交通 安全	昼の 定時	夜の 定時	防火	気象 情報・ 火災等	尋ね人	断水等	教 育 委員会	その他					
										地区等	学 校	役 場	選 挙	J-ALERT	
4月	97	30	96	101	30	16	0	0	20	1	0	28	0	0	419
5月	114	31	114	118	31	14	0	0	22	0	0	37	0	1	482
6月	88	30	89	103	30	8	2	0	24	0	0	33	0	1	408
7月	120	31	120	132	31	5	0	0	20	1	0	31	17	3	511
8月	105	31	103	113	31	6	0	0	5	1	0	35	0	1	431
9月	99	30	100	118	30	4	0	0	25	2	0	32	0	2	442
10月	123	31	113	129	31	13	0	0	25	0	0	30	0	0	495
11月	108	28	103	109	29	9	4	0	22	7	0	28	0	2	449
12月	121	31	120	131	31	4	0	0	21	1	1	32	0	0	493
1月	116	31	116	128	31	7	0	0	21	1	0	33	0	0	484
2月	106	28	109	115	28	17	0	0	24	1	0	28	0	1	457
3月	99	31	102	107	30	21	2	0	22	0	0	33	2	0	449
合計	1,296	363	1,285	1,404	363	124	8	0	251	15	1	380	19	11	5,520

※教育委員会は、下校時のお知らせ及びお願い等

※その他は、地区等は側溝清掃・資源回収等、学校は学校活動、役場は各課からのお知らせ

○依頼状況（教育委員会を除く）

（単位：件）

	臨 時 放 送						合 計
	気象情報・ 火災等	尋ね人	断水等	そ の 他			
				地区等	学 校	役 場	
4月	16	0	0	20		1	37
5月	14	0	0	38	5	6	63
6月	8	2	0	26		5	41
7月	5	0	0	4		1	10
8月	6	0	0	8		4	18
9月	4	0	0	25		2	31
10月	13	0	0	18	2	2	35
11月	9	4	0	32	3	1	49
12月	4	0	0	15	2	1	22
1月	7	0	0	5		1	13
2月	17	0	0	4		0	21
3月	21	2	0	4		2	29
合 計	124	8	0	199	12	26	369

[3] ホームページ管理運営費

令和3年度に再構築した扶桑町ホームページを4月1日より公開しました。扶桑町の情報を町内外の方々へ発信するため、ホームページに各種行政情報などを掲載し、発信しました。意見箱に送られてきたメールは関係各課と調整し、回答しました。

○運用等状況

（単位：件）

	アクセス数	メール受信	メール回答等
4月	44,703	54	53
5月	44,532	71	68
6月	44,208	58	55
7月	62,588	78	75
8月	72,166	74	73
9月	54,953	47	46
10月	71,629	67	67
11月	48,182	77	75
12月	49,897	55	52
1月	45,977	73	70
2月	37,485	54	48
3月	41,792	43	38
合 計	618,112	751	720

目	予算現額	決算額	執行率
3. 財政管理費	円 322,444,832	円 321,875,188	% 99.8

【政策調整課】

[1]・[4] 財政管理事務費

1. 電算システムを利用し、予算編成、予算執行、決算統計、起債管理等の事務を行いました。

また、「令和5年度扶桑町予算書及び予算に関する説明書」、「令和3年度主要施策の成果並びに実績報告書」を作成しました。

町の財政状況について住民の方により理解を深めていただくため、扶桑町財政状況の公表に関する条例に基づく公表を6月と12月に行い、また、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく令和3年度決算の健全化指標を算定し、公表しました。

2. 地方単独事業（ソフト事業）の決算額に関する調査に対応するため、システム改修を実施しました。

●めざそう値

施策	行財政運営			
指標名	指標の定義	計画策定時	R4実績値	R4目標値
経常収支比率	町財政の弾力性を示す割合（%）	90.5	86.4	↘

目	予算現額	決算額	執行率
4. 会計管理費	円 15,068,000	円 14,092,195	% 93.5

【会計課】

[1]・[2] 会計事務諸費

1. 令和4年度 収納・支払処理件数

年度	収納（件）	支払（件）	支払内訳（件）	
			口座振替	直接払（現金）
R 2	172,729	17,896	17,434	462
R 3	176,235	18,092	17,594	498
R 4	172,694	18,446	17,896	550

2. 総合収納システムについて以下の内容の改修を行いました。

(1) 公金決済サービスと各金融機関で使用される「デジタル通信モード」（ISDN回線）の終了（令和6年1月）対応に向けた金融機関別対応を実施しました。

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
5. 財 産 管 理 費	円 405,501,756	円 401,284,552	% 99.0

【政策調整課】

[1] 公共施設建設基金積立金

公共施設建設基金積立金に200,188,462円を積み立てました。

【総務課】

[1]・[2] 庁舎管理費

1. 町有財産の管理

土地、建物及び基金については、財産台帳に記載し、管理に努めました。

2. 町有財産の災害共済

(1) 町村有建物災害共済

加 入 施 設 数	共 済 分 担 金	災 害 件 数	災 害 補 填 金
56施設	4,047,908円	1 件	155,100円

(2) 町村会総合賠償補償保険

保 険 分 担 金	事 故 件 数	保 険 金
3,194,887円	4 件	60,000円

3. 環境管理

扶桑町環境管理の行動計画「ふそうエコプラン」を平成13年度に策定し、以降継続して役場庁舎始め27の施設でゴミ減量、省エネ等環境にやさしい取り組みを実施しました。

なお、令和4年度の実績は、次のとおりでした。

(1) 廃棄物の減量とリサイクルの推進

項 目	R 4 年度実績	R 3 年度実績	対前年度増減率
可 燃 ご み	18,021.38kg	20,093.71kg	△ 10.3%
資 源 ご み	10,118.47kg	6,844.93kg	47.8%

(2) 省エネルギーの推進

項 目	R 4 年度実績	R 3 年度実績	対前年度増減率
電 気	2,071,380kWh	2,139,073kWh	△ 3.2%
水 道	25,326m ³	25,896m ³	△ 2.2%
重 油	26,200 ℓ	33,294 ℓ	△ 21.3%
灯 油	200 ℓ	266 ℓ	△ 24.8%
L P ガ ス	31,932m ³	31,798m ³	0.4%
ガ ソ リ ン	10,414.50 ℓ	9,019.68 ℓ	15.5%
軽 油	3,431.60 ℓ	3,589.06 ℓ	△ 4.4%

(3) 省資源の推進

項 目	R 4 年度実績	R 3 年度実績	対前年度増減率
用 紙	2,967,186枚	2,803,692枚	5.8%

(内訳)

A4	2,816,880枚	2,677,213枚	5.2%
A3	105,625枚	76,272枚	38.5%
B5	13,090枚	7,757枚	68.8%
B4	31,591枚	42,450枚	△ 25.6%

4. 庁舎管理

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、パーティションスタンドを30基、空気清浄機を4台購入し、感染拡大の防止に努めました。

また、機構改革に伴い、事務用机・椅子、ローカウンター等を購入しました。

[3] 庁舎営繕費

1. 庁舎改修工事

庁舎の維持管理のため、機構改革に伴い、下記の工事を実施しました。

チリングユニット温度調節器改修工事、個別空調機入替設置工事、
新庁舎冷却塔修繕工事、エレベーター部品取替工事、自動ドア部品取替工事、
教育長室パーティション改修工事、副町長室新設工事、ミーティングルーム縮小工事

[4]・[5] 車輛管理費

1. 庁用自動車の管理

車検及び点検を次のとおり実施し、整備に努めました。

車 検	11台	684,314円
点 検	25台 (38回)	724,632円

2. 公用車の損害共済・任意保険

加 入 車 輛	共 済 分 担 金 等	事 故 件 数	損 害 補 填 金
31台	993,950円	11件	1,314,732円

11件の事故は、物損事故でした。

3. 公用車の売却・購入

軽自動車1台を購入しました。

[6] 役場庁舎建設基金積立金

役場庁舎建設基金に50,352,000円を積み立てました。

[7] 役場別棟事務室設置事業費

新型コロナウイルス感染症拡大予防対策として、来庁者の3密回避や執務スペースの分散を目的に、庁舎別棟事務室設置工事を行いました。また、ネットワーク環境構築工事、電話増設・配線工事、駐車場区画線工事、庁舎別棟事務室サイン工事、庁舎別棟事務室手すり・段差解消スロープ設置工事、庁舎別棟事務室誘導サイン工事、すべり止めテープ貼付工事を行いました。

庁舎別棟事務室設置に伴い、事務用机・椅子、会議用机・椅子、書類棚等を購入しました。

●めざそう値

施 策	公共施設			
指 標 名	指 標 の 定 義	計 画 策 定 時	R 4 実 績 値	R 4 目 標 値
長 寿 命 化 計 画 を 策 定 し た 公 共 施 設 の 数	公共施設等総合管理計画に記載の施設(45施設)のうち、長寿命化計画を策定した施設の数(施設)	0	44	6

扶桑町個別施設計画策定に際し、対象施設を41施設から45施設に変更のうえ、令和4年度に取り壊した1施設を減した全44施設の長寿命化計画(個別施設計画)を策定しています。

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
6. 企 画 費	円 63,311,380	円 55,032,292	% 86.9

【政策調整課】

[1] 土地取引規制事務費

国土利用計画法第23条に基づく土地に関する権利の移転等の届出について適正な運用を行うため、土地取引届出等に関する事務を実施しました。

[2] 企画一般事務費

尾北地区広域交通網対策連絡協議会（犬山市・江南市・小牧市・岩倉市・大口町・扶桑町）で令和4年11月14日と令和4年11月16日に愛知県、愛知県議会、名古屋市、名古屋市会、中部地方整備局、中部運輸局、愛知国道事務所、名古屋鉄道株式会社、名鉄バス株式会社に対し、道路の整備促進や利用しやすい駅づくり等についての陳情をしました。

[3] 行財政改革推進費

令和5年4月1日からの機構改革に向けて、例規の整備や庁舎内関係部署との調整等をおこないました。

[4] 国際交流事業費

「扶桑町小中学生フォトコンテスト」において、“私の好きな扶桑町”として、町制70周年を迎えた扶桑町の未来に残したい好きな場所、もの、イベントの写真を募集しました。25点の応募から、上位12作品を広報ふそうに掲載することとしました。本事業を通して、扶桑町の魅力を町外へ発信するだけでなく、町への愛着を育む契機にもなりました。

[5] 多文化共生推進事業費

在住外国人の支援と町民との交流の場づくりを目的に、ボランティアの方を中心に設立した「扶桑町多文化共生センター」に委託し、日本語教室“おしゃべりCafe”を開設しました。毎週日曜日に在住外国人を対象に日本語の学習支援や日本文化の習得などを目的に44回実施し、のべ261人の外国人が日本語教室に参加しました。また、外国人相談を開設し、3件の相談を受けました。

[6] 男女共同参画社会推進事業費

1. 扶桑町男女共同参画推進プラン

(1) 扶桑町男女共同参画推進委員会

男女共同参画に関する施策の総合的かつ効果的の企画及び推進を目的として、委員を職員で構成し、会議を2回開催しました。

(2) ふそう男女共同参画推進協議会

扶桑町における男女共同参画社会形成に関する施策のあり方を総合的に検討し、計画的かつ効果的な施策を推進するため、一般公募を含む5名の委員で会議を2回開催しました。

●めざそう値

施 策	男女共同参画社会			
指 標 名	指 標 の 定 義	計画策定時	R4実績値	R4目標値
委員会等の女性登用状況	町で設置した審議会・委員会等における構成員に女性が占める割合(%)	26.0	30.3	28.5

2. ふそう男女共同参画懇話会

男女共同参画社会の推進を目的とした「ふそう男女共同参画懇話会」を9回開催し、扶桑町の男女共同参画社会の現状や第2次扶桑町男女共同参画プランについて、及び今後の企画等について意見交換を行いました。また、広報ふそうに「ふそう家参画物語」と題し、コラム等を12回掲載しました。

その他、6月30日に新規採用職員を対象に、男女共同参画研修、妊婦体験・高齢者疑似体験を実施しました。令和5年1月8日には二十歳のつどいでパンフレットを配布し、啓発に努めました。1月21日には兵庫県立大学客員教授などを務める諏訪清二氏を講師に招き、セミナーを開催しました。

[7] 住民活動拠点運営事業費

住民活動拠点である扶桑町住民活動支援センター（ぶらねっと扶桑）の運営を、扶桑町住民活動支援センター運営機構へ委託し、住民活動コーディネーター派遣事業や、まちづくり入門講座（年3回）などを実施しました。

[9] 地方創生総合戦略審議会運営事業費

令和4年7月12日（第1回）、令和5年3月6日（第2回）開催の地方創生総合戦略審議会において、「扶桑町人口ビジョン 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけた施策や事業の進捗状況を報告し、KPI（重要業績評価指標）の達成状況について検証し、施策や事業、KPI等の見直しを行っていくことについて審議しました。

[10] 公共交通関連事業費

総合計画に掲げるまちづくりの実現に向けて、高齢者の外出を支援することを主な目的とし、町民の生活に必要な移動手段を確保するため、令和4年10月より新たなデマンド型公共交通「チョイソコふそう」の実証運行を開始しました。また、扶桑町地域公共交通会議を令和4年5月30日（第1回）、令和4年8月26日（第2回）、令和5年1月16日（第3回）に開催し、チョイソコふそう実証運行開始及び扶桑町地域公共交通計画策定に関する協議を行いました。

[11] 公共交通関連事業費（臨時）

チョイソコふそうに使用するトヨタハイエースウェルジョイン2台を購入しました。

扶桑町地域公共交通計画策定のための負担金を、扶桑町地域公共交通会議に対して支払いました。

[12] あいち A I ・ R P A 連携関連事業費

県下48市町村で共同利用する A I - O C R システムについて引き続き利用し、活用できる業務を検討しながら、帳票の見直し等、事務改善に繋がりました。

また、県下39市町村で共同利用する A I を活用した総合案内サービスについても引き続き利用しました。A I 機能が付帯されたチャットボットを町ホームページで公開し、3,995件の問い合わせに対応しました。町行政に関する軽微な困りごとの総合窓口として活用しました。

[13] 町制施行70周年記念事業費

町制施行70周年記念式典を7月31日(日)に扶桑文化会館で開催しました。また、実行委員会を組織し、町制施行70周年を盛り上げるため、住民や役場職員の特に若い世代が中心となって企画・運営を行い、これまででない話題性の高い事業を盛大に実施し、町内外の皆さんへ「活気あるまち」という明るい印象をプロモーションしました。

町制施行70周年記念事業として以下の事業を実施しました。

1. 協働事業

日 時	内 容	場 所
5月28日(土)～	<p>●ふそうひまわりはなばたけ</p> <p>住民参加型とした種まきでは60名ほどの協力がありました。「ひまわり畑」が完成した結果、町内外から多くの見物客が訪れ、SNSでも話題となりました。</p>	木曾川扶桑緑地公園
8月6日(土)	<p>●KISOGAWAリバーサイドマーケットFUSO</p> <p>木曾川扶桑緑地公園というこれまで活用することができなかった観光資源を会場とし、全国的に流行している「マーケット」を参考にした大型イベントを実施することで扶桑町の新たな魅力を発信しました。</p>	木曾川扶桑緑地公園
10月29日(土)	<p>●PARADE&KITCHEN in ふそう70th</p> <p>マーチングバンドで世界的に活躍する「京都橘高等学校吹奏楽部」をゲストに招き、パレードを通じた圧倒的パフォーマンスで、“元気”を届けてもらいました。</p> <p>また、愛知県警察音楽隊をはじめ、扶桑町テーマソング「このまちが大好きだから」を歌うPalletts やよさこい演舞（13団体出演）により“音楽”演出するとともにキッチンカー32台、マルシェ9店の出店により“食”を演出するなど、70周年記念を祝うための本事業メインイベントとなりました。</p>	イオンモール扶桑
12月17日(土)	<p>●まちキャンプナイト～ふそうの夜空にスカイランタンを～</p> <p>東京・神戸・京都でチケット入手困難なイベントとして有名な「七夕スカイランタン祭り」を主催する(株)スターリーナイトカンパニーと扶桑町がコラボレーションして実施する“全国的にも珍しいスカイランタンイベント”を開催しました。</p>	扶桑町総合体育館

2. 町民主体事業（10万円補助事業）

内 容	実施団体
●ひまわりシャッターアートプロジェクト	でららぶ♡FUSO
●扶桑マルシェ	扶桑マルシェ
●『冬の畑の生き物たち』～土も虫たちもみんなここで生きてるよ～	ナチュラルスクールランチャクションふそう

3. 町民主体事業（20万円補助事業）

内 容	実施団体
●おいでよふそう発表記念コンサート	やろまい扶桑
●FUSOおもしろ発見ウォーキング～歩けば見つかるこのまちが好き～	でららぶ♡FUSO ウォーキングプロジェクトチーム
●夏祭り復活プロジェクト	笑舞
●動画、ガイドブック、カレンダー制作	扶桑カルチャー研究所
●『安否確認ツール』配布事業	扶桑町防災連絡協議会

4. その他

令和3年度に制作した扶桑町制施行70周年記念プロモーションムービーが、令和4年度愛知県広報コンクール映像部門で【特選】に選出されました。「扶桑町の明るさがダイレクトに伝わる」と審査講評いただくなど、元気いっばいの作品となっています。

[14] 総合計画中間見直し事業費

第5次扶桑町総合計画後期基本計画策定のため、扶桑町総合計画審議会を3回開催しました。また、第5次扶桑町総合計画後期基本計画（案）に関するパブリックコメントを実施し、4名の方から8件の意見提出があり、町の考え方を回答しました。

第5次扶桑町総合計画後期基本計画（案）については、扶桑町総合計画審議会へ諮問し、審議、答申いただきました。その後、議会の議決をいただき、計画を策定しました。

[15] 公共施設等総合管理計画改定事業費

公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため平成29年3月に策定した「扶桑町公共施設等総合管理計画」について、総務省より計画の見直し要請が発出されたこと、計画策定後に新設された施設の追加や個別施設計画を踏まえた計画の見直しが必要なことから、計画の改訂を行いました。

●めざそう値

施 策	協働のまちづくり			
指 標 名	指 標 の 定 義	計画策定時	R 4 実績値	R 4 目標値
町 民 の 意 見 の 反 映 状 況	町民意識調査で、「町民の意見がまちづくりに反映されているかどうか」の設問において、「よく反映されている」・「まあまあ反映されている」と回答した割合（％）	14.1	18.0	20.4
住 民 活 動 団 体 登 録 数	「扶桑町住民活動支援センター」への登録団体数（団体）	37	70	52

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
7. 電 子 計 算 費	円 136,331,000	円 128,149,327	% 94.0

【総務課】

[1]・[2] 基幹系事業費

マイナポータルサービス検索・オンライン申請機能であるびったりサービスとの連携を行う申請管理システム機器（サーバ1台）を設置し、マイナンバーカードを用いた転出入ワンストップサービスを始めとした住民申請の利便性を向上しました。

住民基本台帳ネットワークシステムのファイアウォール機器の更新を行い、セキュリティ維持に努めました。また、通信ログを記録するログサーバを1台導入しました。

◎機器構成

（令和4年度末現在）

	サーバ	クライアント	プリンタ
合 計	12台	61台	19台

[3]・[4] 情報系事業費

L GWAN系グループウェアパソコンを40台購入し、老朽化したパソコンの交換を実施しました。また、不要となったパソコンを20台廃棄しました。

増加しているオンラインによるWEB会議を行うためのソフトウェアとして、ZOOMのライセンスを4つ導入し、WEB会議を積極的に行うことが可能な環境を整えました。

庁内のL GWAN系グループウェアを接続するネットワーク配線を無線化し、ネットワークの保守を簡素化するとともに、パソコンの配置を柔軟に行えるようにしました。

別棟事務室のネットワーク環境の構築を行い、マイナンバーカード発行業務を始めとした庁舎内と同様の業務を行うことが可能な環境を整備しました。

機構改革による部署の増加に伴い、情報系プリンタを3台追加しました。

◎パソコン設置台数

（令和4年度末現在）

L GWAN系グループウェアパソコン	202台
インターネット接続系パソコン	58台
合 計	260台

◎情報系プリンタ設置台数

（令和4年度末現在）

情報系プリンタ	27台
---------	-----

[5] 基幹系事業費（臨時）繰越明許

利便性の向上を図るため、マイナンバーカードを利用したびったりサービスと住民情報システムを連携し、マイナンバーカード所有者の転出転入手続きのワンストップ化を実施しました。

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
8. 交通安全・防犯指導費	円 8,890,000	円 7,957,561	% 89.5

【総務課】

[1] 放置自転車対策費

迷惑駐輪を防止するため、駅周辺を中心として放置自転車を撤去しました。

撤去回数は26回で、合計36台を撤去するとともに、うち9台を自転車保管場所に移送しました。また、3台の自転車を所有者に返却しました。

[2] 交通少年団・交通安全の会育成費

交通少年団（南新田・南定松）及び柏森校下交通安全の会に補助金を交付し、交通安全啓発事業への推進を図りました。

[3]・[4] 交通安全対策推進費

悲しい交通事故を防止、減少できるよう、交通安全県民運動を中心とし、扶桑町交通・防犯推進協議会と共に各種啓発事業を実施しました。

自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費補助金について、自転車を利用する児童生徒等及び高齢者のヘルメット着用を促進し、自転車に係る交通事故による被害の軽減に資することを目的として、ヘルメットの購入経費の一部を補助しました。令和4年度の補助実績は、309件でした。

1. 交通安全運動

期 間	各 運 動 の 重 点 実 施 項 目	運動期間中実施した主な行事等
春 4月6日～ 4月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・子供を始めとする歩行者の安全の確保 ・歩行者保護や飲酒運転根絶等の安全運転意識の向上 ・自転車の交通ルール遵守の徹底と安全確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報無線放送 ・ひまわりあんしん情報メール配信 ・地域総ぐるみによる街頭大監視
夏 7月11日～ 7月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・子供と高齢者を始めとする歩行者の安全の確保 ・歩行者等の保護を始めとする安全運転意識の向上 ・自転車の安全利用の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報無線放送 ・ひまわりあんしん情報メール配信 ・地域総ぐるみによる街頭大監視
秋 9月21日～ 9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・子供と高齢者を始めとする歩行者の安全の確保 ・夕暮れ時と夜間の歩行者事故等の防止及び飲酒運転の根絶 ・自転車の交通ルール遵守の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報無線放送 ・ひまわりあんしん情報メール配信 ・地域総ぐるみによる街頭大監視 ・シートベルト・チャイルドシート関係
冬 12月1日～ 12月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・夕暮れ時と夜間の事故防止及び歩行者の安全確保 ・運転者の安全運転意識の向上及び飲酒運転等の根絶 ・自転車の交通ルール遵守の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報無線放送 ・ひまわりあんしん情報メール配信 ・地域総ぐるみによる街頭大監視

2. 交通事故の発生状況

() 内は前年対比数

年	件数	死亡者数	重傷者数	軽傷者数	死傷者数合計
R 2	87件(-26件)	0人(±0人)	4人(+2人)	103人(-24人)	107人(-22人)
R 3	102件(+15件)	1人(+1人)	3人(-1人)	121人(+18人)	125人(+18人)
R 4	89件(-13件)	0人(-1人)	5人(+2人)	93人(-28人)	98人(-27人)

●めざそう値

施策	交通安全・防犯			
指標名	指標の定義	計画策定時	R4実績値	R4目標値
交通人身事故の削減	町内における交通人身事故発生件数(件)	152	89	144

[5] 防犯啓発推進費

防犯啓発資材を購入し地区防犯パトロール隊に対して支援するとともに、警察と連携し、広く防犯啓発活動に努めました。また、犬山扶桑防犯協会、犬山少年補導委員会に補助金を交付し、組織育成に努めました。

防犯パトロール団体の活動に青色回転灯装備自動車を活用した2団体4台に自主防犯パトロール団体活動交付金を交付しました。

犯罪抑止及び地域の防犯力向上のため防犯カメラを設置した南新田自治会、南定松自治会、北定松自治会、高木区に防犯カメラ設置費補助金を交付しました。

住宅対象侵入盗防犯対策補助金制度について、住宅にテレビ付インターホンやセンサーライト等の防犯対策を実施した世帯に補助金を交付しました。令和4年度の補助実績は、96件でした。

迷惑電話による高齢者への犯罪被害を未然に防止し、安全で安心なまちづくりを推進することを目的として、特殊詐欺防止用電話機器を購入及び設置した者に対して、扶桑町特殊詐欺防止用電話機器購入補助金制度を令和4年度から開始しました。令和4年度の補助実績は、20件でした。

●めざそう値

施策	交通安全・防犯			
指標名	指標の定義	計画策定時	R4実績値	R4目標値
街頭犯罪の削減	町内における街頭犯罪発生件数(件)	121	151	114

[6] 交通・防犯指導員設置費

交通・防犯指導員(4人)を配置し、町内の交通安全、防犯に努めました。

2款 総務費 2項 徴税費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 税 務 総 務 費	円 78,449,187	円 77,236,002	% 98.5

【税 務 課】

[1] 民税一般事務費

[2] 租税啓発費

[3] 資産税一般事務費

1. 令和4年度地方税法の改正（抜粋）

(1) 個人住民税

上場株式等の配当所得等に係る課税方式について、これまでは、所得税と住民税とで異なる課税方式を選択することができましたが、特定配当等及び特定株式等譲渡所得金額に係る課税方式を住民税と所得税で一致させることとなりました。令和6年度課税分より適用されます。

住宅借入金等特別控除について、カーボンニュートラルの実現に向けた対策として、省エネ性能の向上及び長期優良住宅の取得促進をはかるため、環境性能等が高い良質な住宅について、新築住宅、既存住宅ともに借入限度額が上乘せされました。

(2) 固定資産税

商業地等にかかる負担調整措置について、令和4年度分に限り、負担調整措置等により税額が増加する土地に対し、激変緩和措置の観点から課税標準額の上昇幅を本来の5%から2.5%へと改める特例措置を講ずることとしました。

登記所に対してDV被害者等である旨の申出を行った登記名義人に係る、固定資産課税台帳に記載された事項の証明書及び納税証明書を交付する際には、その登記名義人の住所に代わる事項を記載する措置を講ずることとしました。

2. 税を考える週間

「税を考える週間」（11月11日～11月17日）の行事の一環として、税に対する意識の高揚を図るために町内小学生の「税に関する習字」入賞作品の展示及び税の講演会を実施しました。

(1) 「税に関する習字」入賞作品の展示

開催期間 11月11日(金)～17日(木)
場 所 扶桑町役場 1階 正面玄関ホール

(2) 税の講演会

開催日 11月14日(月)
場 所 扶桑町商工会館2階 大会議室
内 容 小牧税務署副署長講話『国税、いろいろ』
出席者数 17名

3. 租税教室

小学校の子どもたちに税の知識を深めてもらうため、社会科の授業の一環として扶桑東小学校の6年生を対象に租税教室を実施しました。

4. 窓口業務の時間延長

毎月第1・第3水曜日の午後7時まで窓口時間を延長し、証明書交付、町税収納業務を実施しました。また、毎月第3水曜日には、滞納者の納税意識の向上と催告の強化等を目的とした「納税相談窓口」を開設しました。

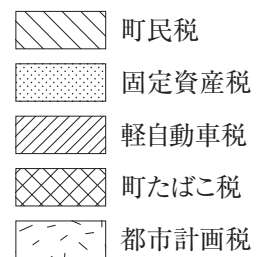
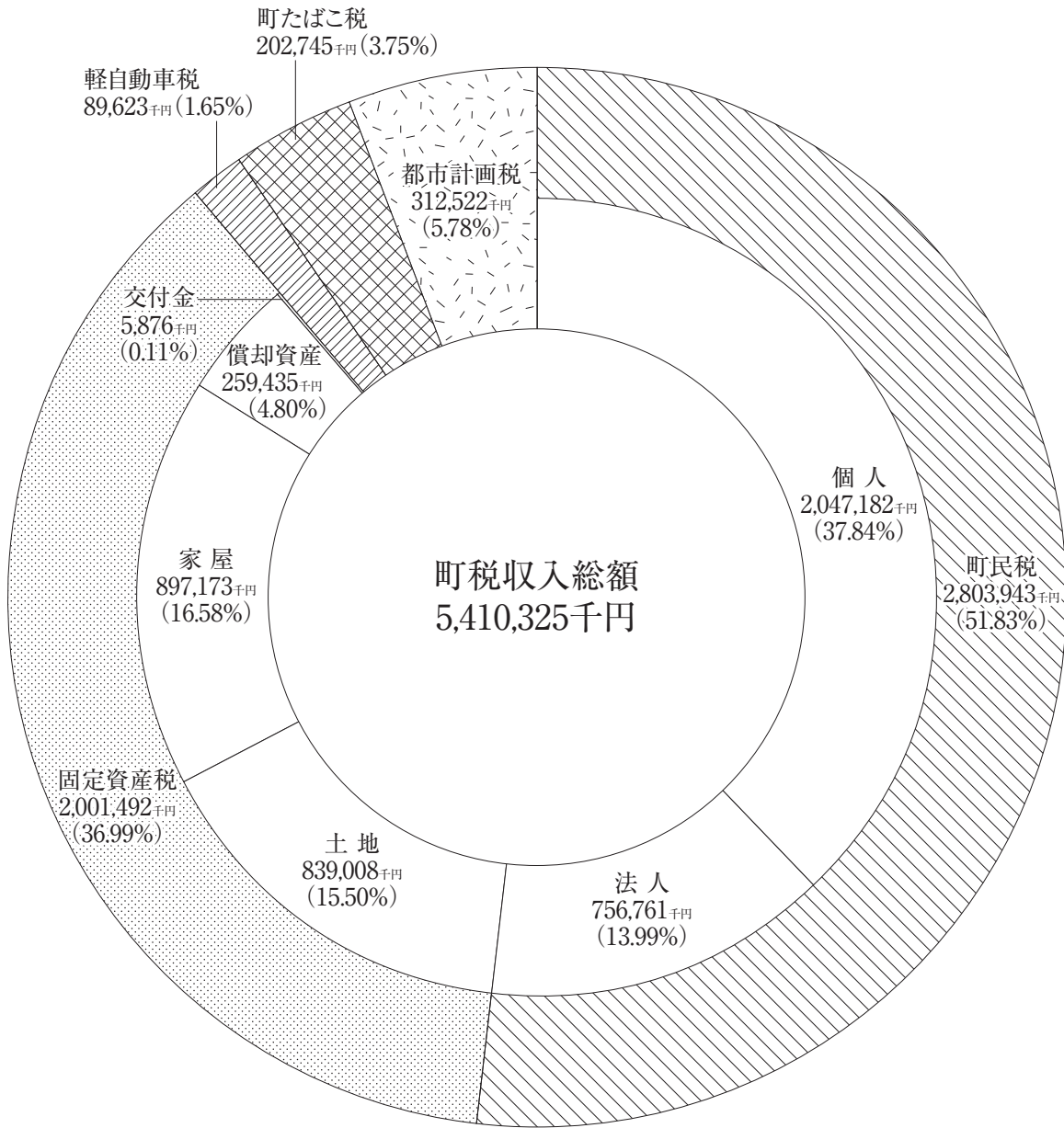
業 務		件 数
証 明 書 交 付	所 得 証 明 書 交 付	22
	課 税 証 明 書 交 付	7
	評 価 証 明 書 交 付	3
	納 税 証 明 書 交 付	1
町 税 収 納	町 県 民 税	8
	固 定 資 産 税 ・ 都 市 計 画 税	12
	軽 自 動 車 税	8
	国 民 健 康 保 険 税	1
そ の 他 (納 税 相 談 等)		76
計		138

5. 町税年度別決算額

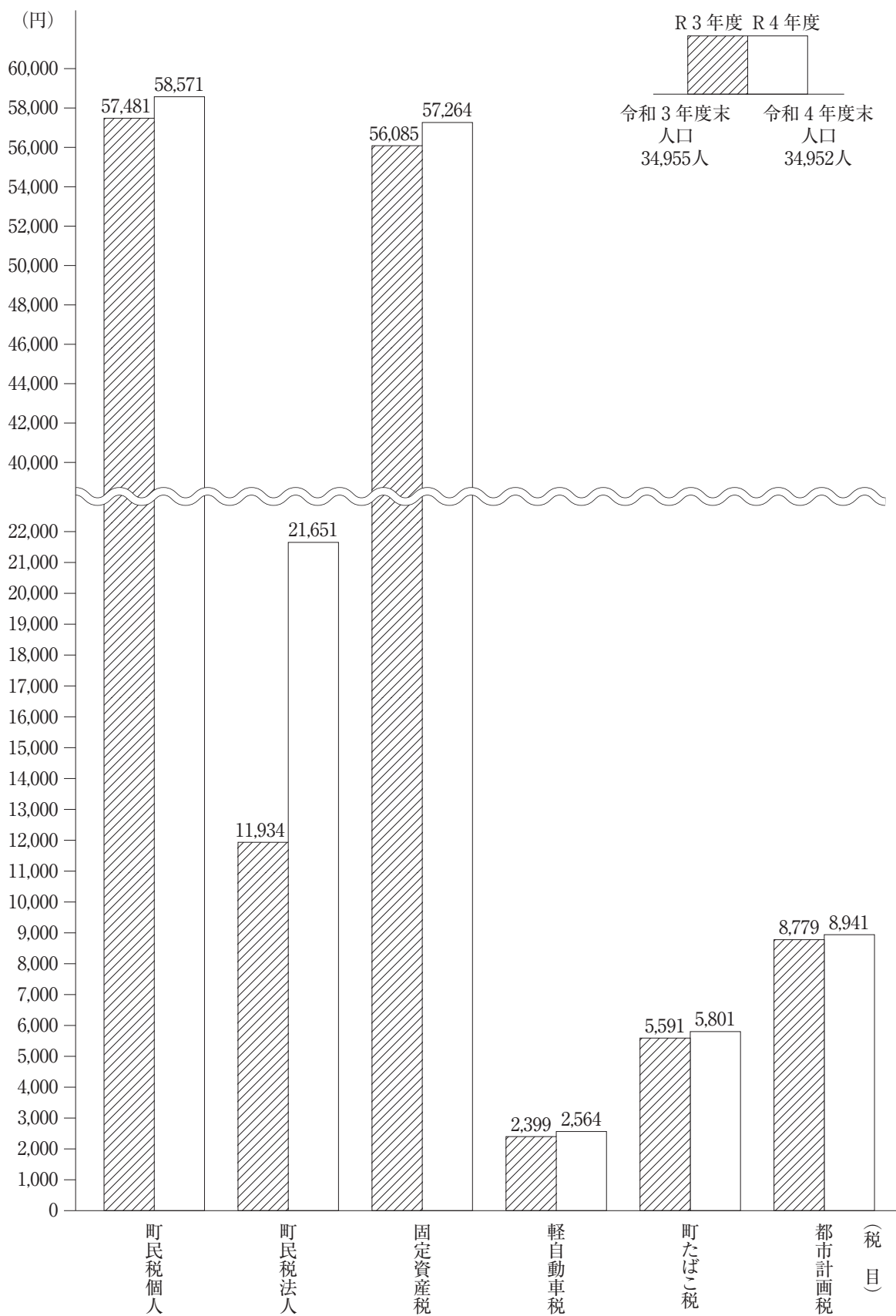
(単位：千円、%)

税目	R 2		R 3		R 4	
	決算額	前年度対比	決算額	前年度対比	決算額	前年度対比
1. 町 民 税	2,441,927	87.29	2,426,399	99.36	2,803,943	115.56
(1) 個人均等割	64,383	100.78	65,108	101.13	65,604	100.76
(2) 個人所得割	1,987,042	100.85	1,944,140	97.84	1,981,578	101.93
(3) 法人均等割	84,404	98.54	85,607	101.43	87,582	102.31
(4) 法人税割	306,098	45.18	331,544	108.31	669,179	201.84
2. 固 定 資 産 税	1,998,756	101.86	1,960,449	98.08	2,001,492	102.09
(1) 純固定資産税	1,992,881	101.87	1,954,574	98.08	1,995,616	102.10
(2) 交 付 金	5,875	100.00	5,875	100.00	5,876	100.02
3. 軽自動車税	80,367	107.94	83,873	104.36	89,623	106.86
(1) 環境性能割	2,871	376.77	2,864	99.76	4,876	170.25
(2) 種 別 割	77,496	105.16	81,009	104.53	84,747	104.61
4. 町たばこ税	183,511	96.93	195,436	106.50	202,745	103.74
5. 都市計画税	308,899	102.66	306,879	99.35	312,522	101.84
合 計	5,013,460	94.16	4,973,036	99.19	5,410,325	108.79

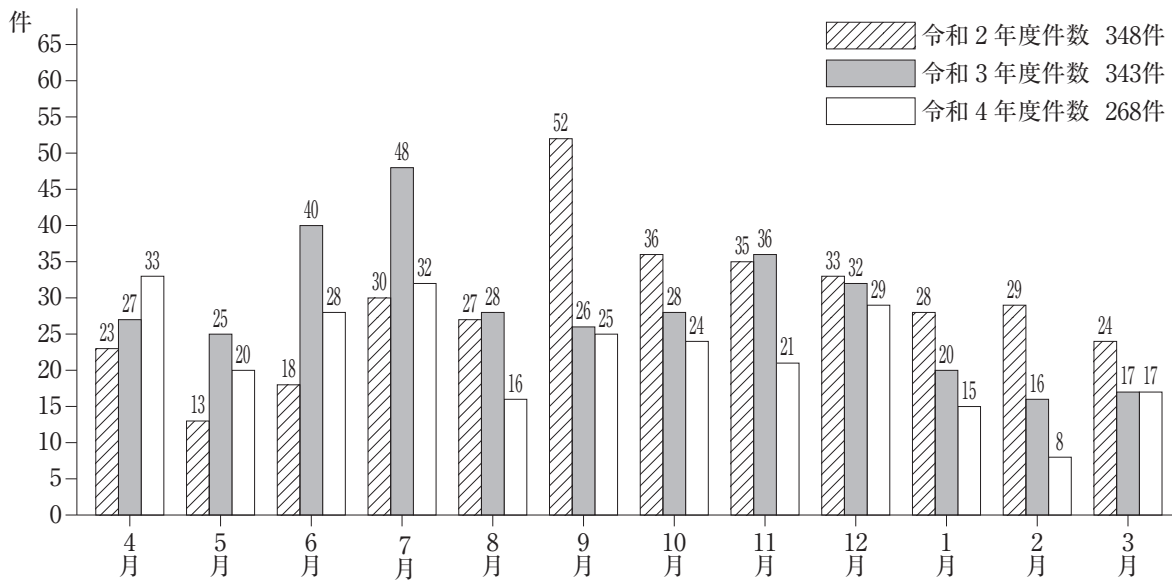
6. 町税の構成



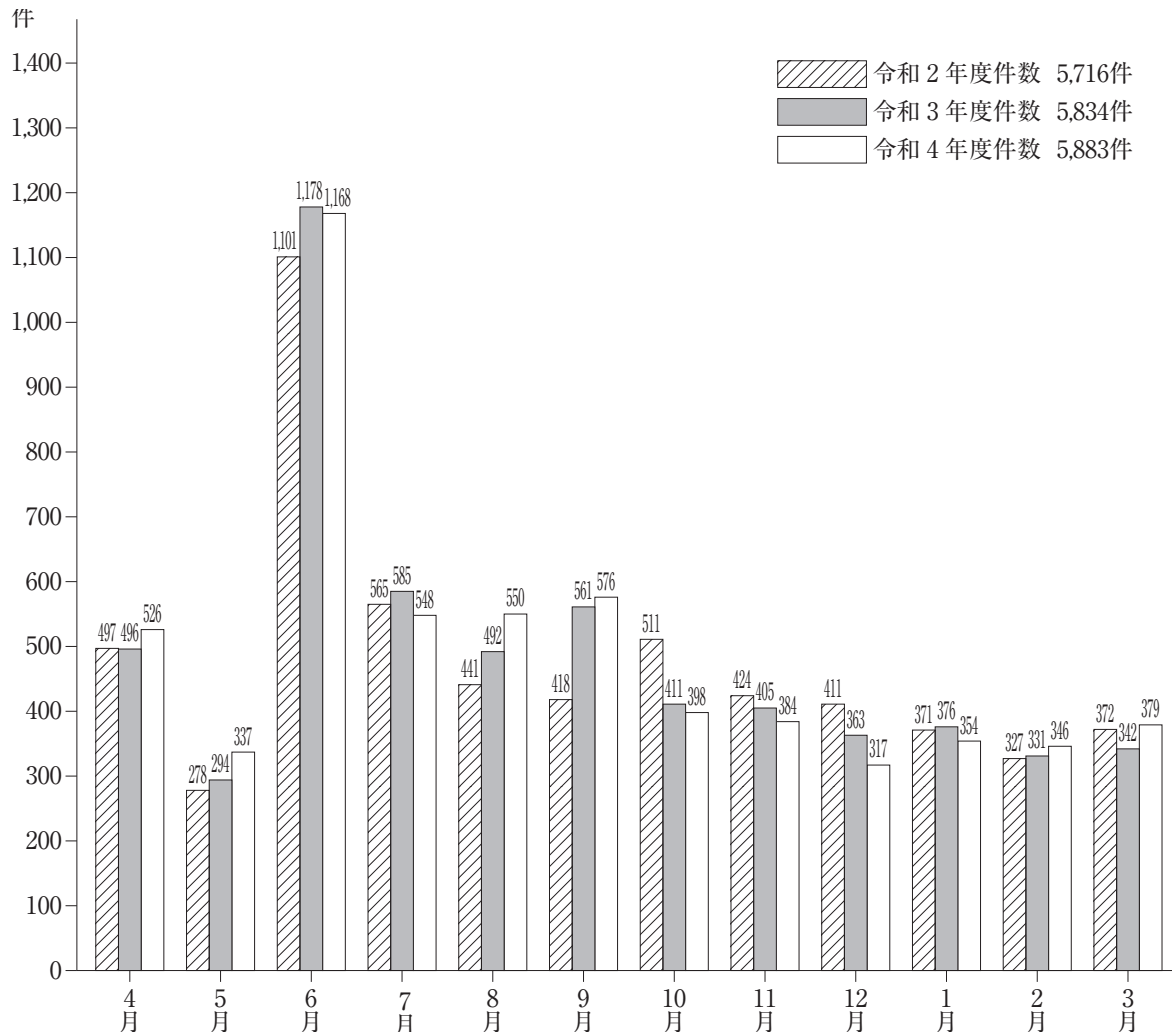
7. 住民一人当たりの税負担額



8. 臨時運行許可件数の月別推移



9. 諸証明件数の月別推移



目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. 賦 課 徴 収 費	円 92,870,000	円 86,804,415	% 93.5

【税 務 課】

- [1]・[2] 民税賦課事務費 [3]・[4] 資産税賦課事務費
 [5]・[6] 軽自動車税賦課事務費 [7] 徴税事務費
 [8] 町税過誤納還付金及び還付加算金

1. 町民税（個人）の所得者別課税状況 （課税状況調による）

区 分	納税義務者数	税 額	一人当たりの 税 額	前年度の一人 当たりの税額
給 与 所 得 者	14,752 人	1,731,822 千円	117,396 円	116,062 円
営 業 所 得 者	598	91,640	153,244	125,148
農 業 所 得 者	3	82	27,333	26,750
そ の 他 の 所 得 者	3,390	220,362	65,004	64,082
計	18,743	2,043,906	109,049	106,848

（退職所得分及び過年度分を除く）

未申告調査を行い、非課税14件、課税5件の措置をしました。

2. 住民税税制改正に対応するため、基幹システム及び申告受付支援システムの改修をしました。

3. 町民税（法人）の課税状況

地 方 税 法 第 312 条 第 1 項 の 区 分	法人数及び税額	
第1号に該当する法人	461 社	
第2号に該当する法人	3	
第3号に該当する法人	103	
第4号に該当する法人	5	
第5号に該当する法人	43	
第6号に該当する法人	1	
第7号に該当する法人	48	
第8号に該当する法人	2	
第9号に該当する法人	7	
計	673	
均 等 割 額 (円)	87,732,200	
法人税割額 (円)	標準税率分	481,607,368
	超過税率分	187,571,732
合 計 (円)	756,911,300	

4. 固定資産税・都市計画税の課税状況

(1) 固定資産税

(現年課税分)

区 分	納税義務者数	税 額	一人当たりの 税 額	前年度の一人 当たりの税額
土 地	11,192 人	841,266 千円	75,167 円	76,665 円
家 屋	11,145	899,588	80,717	77,987
償 却 資 産	510	260,133	510,065	554,584
計	22,847	2,000,987	87,582	86,524
実質納税義務者	14,573	2,000,987	137,308	134,936

(2) 都市計画税

(現年課税分)

区 分	納税義務者数	税 額	一人当たりの 税 額	前年度の一人 当たりの税額
土 地	6,755 人	174,733 千円	25,867 円	25,963 円
家 屋	6,564	138,630	21,120	20,576
計	13,319	313,363	23,528	23,314
実質納税義務者	8,404	313,363	37,287	36,744

(3) 土地評価状況

(令和4年度概要調書から)

地 目	地 積	筆 数	評 価 額
田	754,726 m ²	1,500 筆	308,491 千円
畑	2,065,823	5,466	12,978,497
宅 地	4,390,585	26,161	153,419,672
雑 種 地	664,609	2,473	14,108,970
そ の 他	54,214	200	10,264
非 課 税 地	3,260,043	9,169	
計	11,190,000	44,969	180,825,894

(4) 償却資産段階別課税状況

(令和4年度概要調書から)

区 分	納税義務者数	課税標準額
150万円(免税点)未満	596 人	283,754 千円
150万円以上300万円未満	147	311,869
300万円以上1,000万円未満	190	1,057,204
1,000万円以上1億円未満	137	3,575,869
1億円以上	26	13,412,992
計	1,096	18,641,688

(大臣・知事配分を含む)

(5) 償却資産種類別課税状況

(令和4年度概要調査から)

償却資産の種類	決定価格	課税標準額
構 築 物	4,043,435 千円	4,032,575 千円
機 械 及 び 装 置	7,424,657	7,161,242
船 舶	1,837	1,837
航 空 機	0	0
車 両 及 び 運 搬 具	49,584	49,584
工 具 ・ 器 具 及 び 備 品	2,707,401	2,707,358
小 計	14,226,914	13,952,596
総務大臣が配分したもの	5,021,002	4,405,338
知事が配分したもの	0	0
合 計	19,247,916	18,357,934

※法定免税点以上のみ

(6) 家屋新增築状況

(令和4年度調査実施分)

区 分	棟 数	(棟)	床面積	(㎡)	価 格	(千円)	1㎡当た りの価格	(円)	
		うち増築分		うち増築分		うち増築分		うち増築分	
木 造	事務所・店舗	7	0	449	0	30,866	0	68,744	0
	住宅・アパート	172	2	22,131	13	1,828,679	940	82,630	72,308
	工場・倉庫	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	179	2	22,580	13	1,859,545	940	82,354	72,308
非 木 造	事務所・店舗	6	1	2,682	94	193,773	7,606	72,249	0
	住宅・アパート	23	0	3,243	0	321,388	0	99,102	0
	工場・倉庫	11	0	1,993	0	153,277	0	76,908	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	40	1	7,918	94	668,438	7,606	84,420	0
合 計	事務所・店舗	13	1	3,131	94	224,639	7,606	71,747	80,915
	住宅・アパート	195	2	25,374	13	2,150,067	940	84,735	72,308
	工場・倉庫	11	0	1,993	0	153,277	0	76,908	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	219	3	30,498	107	2,527,983	8,546	82,890	79,869

公平な土地利用に応じた課税をするために、土地現況調査を行い、89箇所について、課税地目変更通知の送付及び課税台帳の更正を行いました。

また、建物表示登記等の手続のない家屋の増築、倉庫等の新築された建物27棟を把握し、これを評価し、新年度課税台帳に登録しました。

5. 固定資産調査の実施

令和6年度の土地評価替に向け、適正かつ公平な課税を行うため、標準宅地の不動産鑑定を行い、令和6年度評価替用仮路線価の作成を行いました。また、地価の下落傾向の調査を行った上で、令和5年度課税用の路線価の算出を行い、公開用路線価図及び路線価表示台帳を作成しました。

航空写真撮影（3年に1回）を実施し、正確な現況の把握に努めました。なお、三市二町による合同撮影を実施することで、撮影コストの削減を実現しました。

土地の利用状況と家屋の現況を把握し、地目変更や家屋の新增築、取り壊し等のあった部分について、土地家屋管理システムのデータベース修正を行い、土地家屋図を作成し課税の適正化に努めました。

業 務 名	業 務 の 内 容
土 地 評 価 業 務	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度評価替用 地価形成要因の見直し ・令和6年度評価替用 路線の見直し ・令和6年度評価替用 仮路線価の算出 ・令和6年度評価替用 仮路線価図の作成 ・令和5年度課税用 路線価の算出 ・令和5年度課税用 公開用路線価図の作成 ・令和5年度課税用 路線価表示台帳の作成
土地家屋管理システム 修 更 正 業 務	<ul style="list-style-type: none"> ・地番図、土地家屋図データファイル作成 ・1/1000土地家屋図製本 ・資産評価システム研究センター用路線価データ作成
鑑 定 評 価 価 格 の 時 点 修 正 業 務	<ul style="list-style-type: none"> ・不動産鑑定士による標準宅地鑑定価格の時点修正業務 (全標準宅地162箇所の内18箇所を調査)
固 定 資 産 評 価 業 務 (不 動 産 鑑 定 業 務)	<ul style="list-style-type: none"> ・不動産鑑定士による令和6年度評価替に向けた163箇所の標準宅地の令和5年1月1日現在における不動産鑑定業務
三 市 二 町 航 空 写 真 合 同 撮 影	<ul style="list-style-type: none"> ・犬山市、江南市、岩倉市、大口町及び扶桑町による航空写真合同撮影 ・航空写真画像データの作成

6. 固定資産税・都市計画税課税明細書の作成

固定資産税・都市計画税については、各納税者が課税の内容を容易に確認できるように、一筆一棟ごとに課税内容を記載した課税明細書を送付し、課税の誤りを防止するとともに、税に対する知識と理解を深めてもらうよう努めました。

また、課税の誤りがあったものに対しては、調査のうえ税金の還付等を行いました。これにより7件（土地5件・家屋2件）の誤りを是正しました。

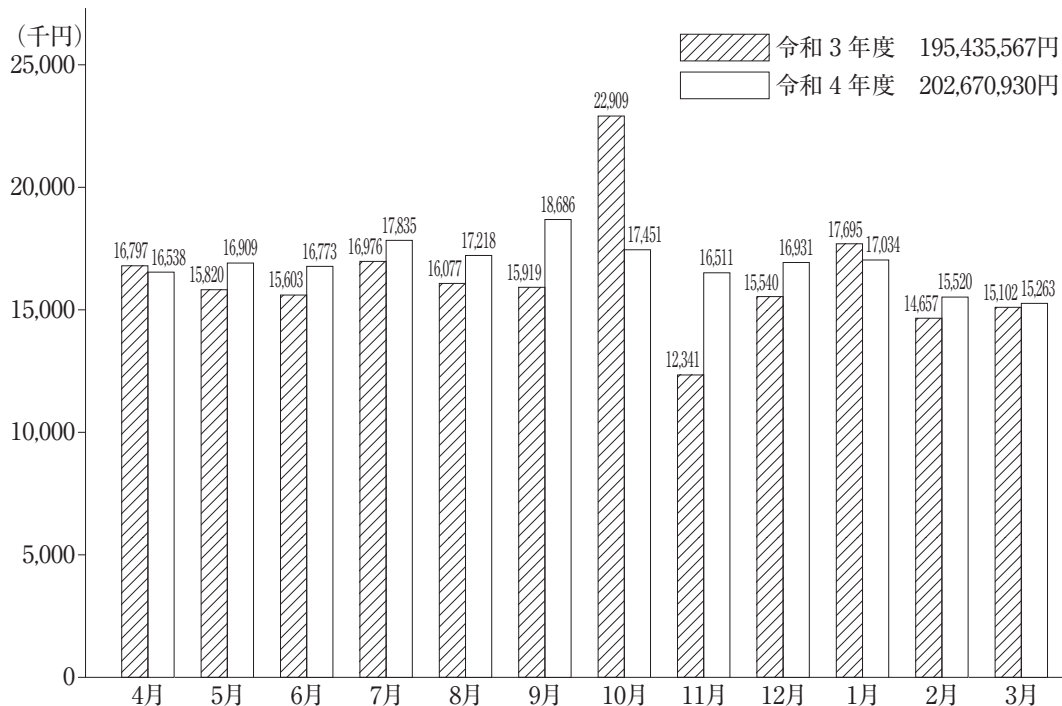
7. 軽自動車等の登録状況

(単位：台)

区 分		R4.4.1 登録台数		発生(登録)台数		消滅(廃車)台数		R5.4.1 登録台数			
			うち非課税等		うち非課税等		うち非課税等		うち非課税等		
原動機付自転車	50cc 以下	667	1	89	1	100	0	656	2		
	50ccを超え90cc以下	65	0	13	0	8	0	70	0		
	90cc を 超 え る	234	1	70	0	48	1	256	0		
	三 輪 以 上	23	0	4	0	4	0	23	0		
軽自動車	二 輪 車	347	0	70	0	52	0	365	0		
	三 輪 車	0	0	0	0	0	0	0	0		
	四 輪 車	乗 用 車	営 業 用	0	0	4	0	2	0	2	0
			自 家 用	7,357	117	2,740	16	2,670	11	7,427	122
		貨 物 車	営 業 用	59	0	31	0	20	0	70	0
自 家 用			1,181	21	413	0	377	2	1,217	19	
小型特殊自動車	農 耕 用	184	0	11	0	15	0	180	0		
	そ の 他	91	0	2	0	1	0	92	0		
二輪の小型自動車		543	0	168	0	156	0	555	0		
合 計		10,751	140	3,615	17	3,453	14	10,913	143		

(非課税等には減免を含む)

8. 町たばこ税月別推移



9. 令和4年度町税徴収実績

税目	調定額			収
	現年課税分	滞納繰越分	合計	現年課税分
1. 普通税	5,107,130,019	92,452,249	5,199,582,268	5,075,516,450
(1) 町民税	2,807,604,140	46,954,184	2,854,558,324	2,791,663,271
(一) 個人均等割	65,716,000	1,470,873	67,186,873	65,213,266
(二) 個人所得割	1,984,976,840	44,428,222	2,029,405,062	1,969,788,705
(三) 法人均等割	87,732,200	1,052,989	88,785,189	87,482,200
(四) 法人税割	669,179,100	2,100	669,181,200	669,179,100
(2) 固定資産税	2,006,863,224	41,445,472	2,048,308,696	1,992,295,924
(一) 純固定資産税	2,000,986,924	41,445,472	2,042,432,396	1,986,419,624
(イ) 土地	841,266,189	17,424,737	858,690,926	835,141,662
(ロ) 家屋	899,587,806	18,632,728	918,220,534	893,038,842
(ハ) 償却資産	260,132,929	5,388,007	265,520,936	258,239,120
(ニ) 交付金	5,876,300	0	5,876,300	5,876,300
(3) 軽自動車税	89,917,900	4,052,593	93,970,493	88,812,500
(一) 環境性能割	4,876,300	0	4,876,300	4,876,300
(二) 種別割	85,041,600	4,052,593	89,094,193	83,936,200
(4) 町たばこ税	202,744,755	0	202,744,755	202,744,755
2. 目的税	313,362,976	6,490,535	319,853,511	311,081,676
(1) 都市計画税	313,362,976	6,490,535	319,853,511	311,081,676
合計	5,420,492,995	98,942,784	5,519,435,779	5,386,598,126

(単位：円、%)

入 済 額		徴 収 率			前年度徴収率
滞納繰越分	合 計	現年課税分	滞納繰越分	合 計	
22,286,420	5,097,802,870	99.38	24.11	98.04	97.79
12,279,634	2,803,942,905	99.43	26.15	98.23	97.78
390,306	65,603,572	99.23	26.54	97.64	97.40
11,789,328	1,981,578,033	99.23	26.54	97.64	97.40
100,000	87,582,200	99.72	9.50	98.65	98.44
0	669,179,100	100.00	0.00	100.00	99.97
9,195,823	2,001,491,747	99.27	22.19	97.71	97.73
9,195,823	1,995,615,447	99.27	22.19	97.71	97.72
3,866,159	839,007,821	99.27	22.19	97.71	97.72
4,134,185	897,173,027	99.27	22.19	97.71	97.72
1,195,479	259,434,599	99.27	22.19	97.71	97.72
0	5,876,300	100.00	—	100.00	100.00
810,963	89,623,463	98.77	20.01	95.37	94.39
0	4,876,300	100.00	—	100.00	100.00
810,963	84,747,163	98.70	20.01	95.12	94.20
0	202,744,755	100.00	—	100.00	100.00
1,440,104	312,521,780	99.27	22.19	97.71	97.72
1,440,104	312,521,780	99.27	22.19	97.71	97.72
23,726,524	5,410,324,650	99.37	23.98	98.02	97.78

10. 令和4年度滞納処分の執行停止状況

(単位：円)

	町 県 民 税	法人町民税	固定資産税 都市計画税	軽自動車税	国 民 健 康 保 険 税	合 計
滞納処分停止額	11,678,180 (4,657,258)	449,600	4,838,687	1,037,628	7,641,990	25,646,085
前 年 度 末 と の 合 計	12,205,680 (4,867,625)	449,600	11,101,587	1,046,428	8,694,690	33,497,985
滞納処分停止の 取 消 等	0 (0)	0	0	0	0	0
滞納処分停止を した不納欠損額	10,223,930 (4,077,303)	449,600	6,193,887	761,928	6,687,540	24,316,885
年 度 末 滞 納 処 分 停 止 額	1,981,750 (790,322)	0	4,907,700	284,500	2,007,150	9,181,100

※令和4年度中の滞納処分執行停止人数は271名

※令和4年度末の滞納処分執行停止人数は67名

※町県民税（ ）内は県民税の額

11. 町税のコンビニ納付等取扱実績

町県民税（普通徴収）、固定資産税・都市計画税、軽自動車税（種別割）及び国民健康保険税について、全国どこでも、休日、夜間を問わずいつでも納付できる利便性の高いコンビニエンスストア納付を平成22年4月より実施、令和2年9月より新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、時間・場所を選ばず接触機会の低減可能なスマートフォンアプリ決済納付を導入し、口座振替納付についても継続的に実施しております。

また、町県民税（特別徴収）及び法人町民税については、令和元年10月より地方税共通納税システムによる納付を実施しており、納税機会を拡充し納税者の利便性向上を図りました。

令和4年度取扱実績

(単位：件・円)

	コンビニ納付		スマホ納付		地方税共通納税		口座振替納付		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
町県民税（普通徴収）	4,472	143,571,982	488	17,003,662	—	—	3,075	234,855,459	8,035	395,431,103
町県民税（特別徴収）	—	—	—	—	5,053	209,700,000	—	—	5,053	209,700,000
法 人 町 民 税	—	—	—	—	165	614,410,700	—	—	165	614,410,700
固 定・ 都 計 税	7,086	267,235,128	1,157	51,523,850	—	—	15,882	929,111,300	24,125	1,247,870,278
軽自動車税（種別割）	5,276	43,540,200	416	3,355,000	—	—	1,781	14,007,000	7,473	60,902,200
参考：国保税（普通徴収）	5,493	103,925,498	577	8,724,700	—	—	13,833	273,807,400	19,903	386,457,598
合 計	22,327	558,272,808	2,638	80,607,212	5,218	824,110,700	34,571	1,451,781,159	64,754	2,914,771,879

※コンビニ納付の件数・金額は督促手数料及び延滞金を含む

●めざそう値

施 策	行財政運営			
指 標 名	指 標 の 定 義	計画策定時	R 4 実績値	R 4 目標値
町 税 収 納 率	町税（現年課税分）（%）	99.1	99.3	↗

2款 総務費 3項 戸籍住民基本台帳費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 戸籍住民基本台帳費	円 118,802,927	円 99,181,246	% 83.5

【住 民 課】

[1]・[2] 戸籍住民基本台帳事務費

1. 住民基本台帳事務

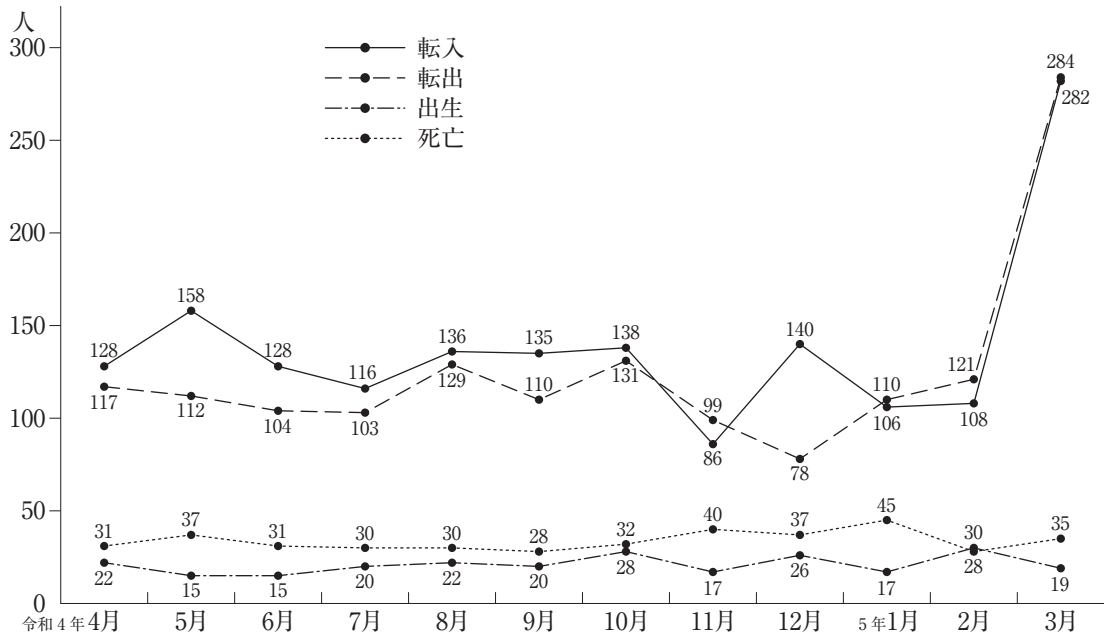
(1) 人口・世帯数

令和5年3月31日現在

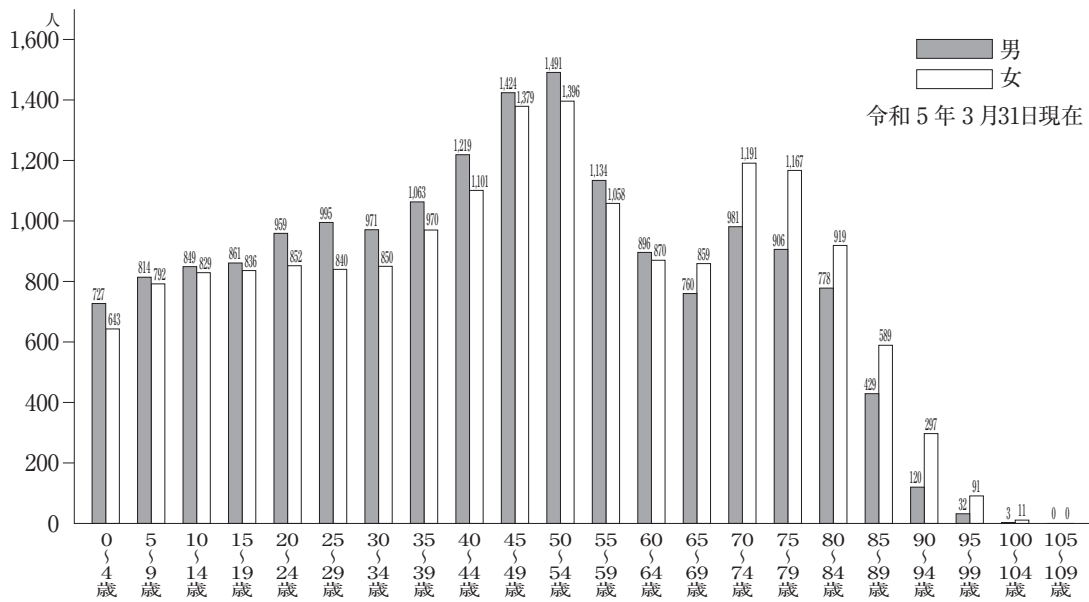
区 分		日 本 人	外 国 人	計	前年度比較
人 口	男(人)	17,040	372	17,412	3
	女(人)	17,238	302	17,540	△6
	計(人)	34,278	674	34,952	△3
世 帯(世帯)	14,431	428	14,859	234	

(2) 月別住民異動人数

区分 月	転 入	転 出	出 生	死 亡	その他		差引合計
					職権記載等	職権消除等	
R 4. 4	128	117	22	31	1	0	3
5	158	112	15	37	0	2	22
6	128	104	15	31	1	1	8
7	116	103	20	30	3	2	4
8	136	129	22	30	0	2	△3
9	135	110	20	28	1	5	13
10	138	131	28	32	2	1	4
11	86	99	17	40	2	1	△35
12	140	78	26	37	0	5	46
R 5. 1	106	110	17	45	1	4	△35
2	108	121	30	28	0	0	△11
3	282	284	19	35	1	2	△19
合 計	1,661	1,498	251	404	12	25	△3



扶桑町人口グラフ



(3) 住民基本台帳に関する証明等

区分	件数・金額	件数			金額(円)
		有料	無料	計	
住民票	写し	14,665 (1,594)	946	15,611	2,933,000
	閲覧	97	184	281	19,400
戸籍の附票写し		665	646	1,311	133,000
諸証明		677	0	677	135,400
合計		16,104	1,776	17,880	3,220,800

() 内コンビニ交付件数

2. 戸籍事務

戸籍数 12,912戸籍 本籍人口数 32,331人

(1) 届出事件数

事件の種類	届 出 件 数			事件の種類	届 出 件 数		
	本 籍 人	非本籍人	計		本 籍 人	非本籍人	計
出 生	123	126	249	分 籍	6	0	6
国 籍 留 保	1	0	1	国 籍 取 得	0	0	0
認 知	0	0	0	帰 化	1	0	1
養 子 縁 組	20	3	23	国 籍 喪 失	0	0	0
養 子 離 縁	3	0	3	国 籍 選 択	1	0	1
法 73 条 の 2 法 69 条 の 2	0	0	0	外国国籍喪失	0	0	0
婚 姻	72	47	119	氏 の 変 更	3	0	3
離 婚	46	4	50	名 の 変 更	1	0	1
法 77 条 の 2 法 75 条 の 2	20	1	21	転 籍	141	0	141
親 権 ・ 後 見 後 見 監 督	1	0	1	就 籍	0	0	0
死 亡	330	78	408	訂 正 ・ 更 正	14	0	14
失 踪	2	0	2	追 完	0	0	0
復 氏	0	0	0	そ の 他	0	0	0
姻 族 関 係 終 了	1	0	1	不 受 理 申 出	6	0	6
相 続 人 廃 除	0	0	0	合 計	848	266	1,114
入 籍	56	7	63				

(2) 戸籍に関する証明

種 類		件 数			金 額 (円)
		有 料	無 料	計	
戸籍	謄 本	4,220	580	4,800	1,899,000
	抄 本	601	36	637	270,450
	計	4,821	616	5,437	2,169,450
原戸籍・除籍	謄 本	2,409	774	3,183	1,806,750
	抄 本	14	2	16	10,500
	計	2,423	776	3,199	1,817,250
受 理 等 の 証 明		159	0	159	55,650
合 計		7,403	1,392	8,795	4,042,350

3. 印鑑登録・証明事務

(1) 登録者数及び異動人数

月	件 数			月	件 数		
	登 録	変 更	抹 消		登 録	変 更	抹 消
R 4. 4	94	20	96	11	95	23	89
5	86	17	100	12	101	14	73
6	113	28	101	R 5. 1	110	17	108
7	102	27	76	2	89	25	101
8	121	26	106	3	151	29	148
9	101	16	95	合 計	1,267	264	1,199
10	104	22	106				

(2) 証明書交付状況

区分	件数	件 数			金 額 (円)
		有 料	無 料	合 計	
印鑑登録証明書		9,146 (1,059)	18	9,164	1,829,200

() 内コンビニ交付件数

4. 人権擁護・行政相談委員

(1) 人権擁護委員

地域のみなさんからの人権相談に対し、問題解決のお手伝いを法務局の職員と協力して行いました。

また、いじめなどの人権問題について関心を持ってもらえるよう、小中学校の児童・生徒に対して劇や落語による人権啓発活動を行いました。

(一) 人権擁護委員の活動状況（法務省委託事業含む）

月 日	事 項	件 数 等
5月10日	人権の花運動（ひまわりの種贈呈式）	山名小学校全校児童299名
6月3日	人権特設相談	総合福祉センター1名
6月16日	人権の花運動（中間報告）	山名小学校全校児童299名
9月26日	人権公演会（劇団笑劇波）	柏森小学校3・4年生229名
10月5日	人権公演会（劇団笑劇波）	高雄小学校全校児童533名
10月18日	人権の花運動（完了報告）	山名小学校全校児童299名
11月10日	人権講演会（桂ぼんぼ娘）	扶桑中561名・扶桑北中388名
11月24日	人権公演会（劇団笑劇波）	山名小学校1・2・3年生141名
12月2日	人権特設相談	総合福祉センター0名
12月7日	人権公演会（劇団笑劇波）	扶桑東小学校全校児童342名

(2) 行政相談委員

住民が日常感じている行政に関する苦情や意見・要望に応じ、その問題の解決や実現を図り、行政の苦情解決に努めています。「行政相談週間」の10月20日に「行政相談所」を開設しました。また、人権擁護委員等と連携して毎月開かれている「心配ごと相談所」にも協力しました。

5. 窓口業務の時間延長

毎月第1・第3水曜日の午後7時まで窓口時間を延長し、証明書の発行業務及び印鑑登録の申請受付を実施し、住民サービスの向上に努めました。

業 務	件 数
住 民 票 の 写 し の 交 付	87
戸籍の謄・抄本、戸籍の附票の交付	46
印 鑑 登 録 証 明 書 の 交 付	83
住 民 票 記 載 事 項 証 明 書 の 交 付 等	3
印 鑑 登 録	36
合 計	255

6. 個人番号カード交付

専用窓口を設け、令和4年度中に9,692人に個人番号カードの交付を行いました。

2款 総務費 4項 選挙費

目	予算現額	決算額	執行率
1. 選挙管理委員会費	円 1,214,000	円 958,926	% 79.0

【総務課】

[1] 選管一般事務費

選挙管理委員会を開き、選挙事務の適切な運営に努めました。

1. 選挙人名簿定時登録者数 (単位：人)

年 度	男	女	計
R 2	14,196	14,474	28,670
R 3	14,248	14,541	28,789
R 4	14,275	14,541	28,816

定時登録は、6月、9月、12月、3月の年4回

表中の登録者数は、9月の定時登録者数

2. 在外選挙人名簿登録者数 (単位：人)

地 域	国 名 等	男	女	計
北 米	アメリカ合衆国	4	3	7
北 米	カナダ		1	1
中南米	コスタリカ共和国		1	1
中南米	ブラジル連邦共和国	1		1
欧 州	イタリア共和国		1	1
欧 州	グレートブリテン及び北アイルランド連合王国		1	1
欧 州	スウェーデン王国		1	1
欧 州	チェコ共和国	1	1	2
欧 州	ドイツ連邦共和国		2	2
中 東	トルコ共和国		1	1
アジア	タイ王国	2		2
アジア	大韓民国		2	2
アジア	中華人民共和国	1	1	2
合 計		9	15	24

登録者数は、令和5年3月末現在

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. 参議院議員総選挙費	円 14,840,920	円 12,971,306	% 87.4

【総務課】

[1] 参議院議員通常選挙事務費

令和4年7月10日に参議院議員通常選挙を執行しました。

1. 選挙投票状況

投票所	当日の有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)
高雄第1投票所	3,174	1,740	54.82
高雄第2投票所	2,356	1,226	52.04
高雄第3投票所	3,953	2,214	56.01
高雄第4投票所	3,361	1,870	55.64
高雄第5投票所	2,012	1,152	57.26
山名第1投票所	1,638	913	55.74
山名第2投票所	2,435	1,377	56.55
斎藤投票所	3,458	2,058	59.51
柏森第1投票所	2,549	1,442	56.57
柏森第2投票所	3,860	2,054	53.21
合 計	28,796	16,046	55.72

投票者数及び投票率は、愛知県選挙区選挙の数値を計上。高雄第3投票所は、在外選挙人名簿登録者を含む。

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
3. 愛知県知事選挙費	円 13,520,200	円 11,505,245	% 85.1

【総務課】

[1] 愛知県知事選挙事務費

令和5年2月5日に愛知県知事選挙を執行しました。

1. 選挙投票状況

投票所	当日の有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)
高雄第1投票所	3,154	1,160	36.78
高雄第2投票所	2,353	855	36.34
高雄第3投票所	3,920	1,536	39.18
高雄第4投票所	3,349	1,365	40.76
高雄第5投票所	1,999	787	39.37
山名第1投票所	1,621	623	38.43
山名第2投票所	2,419	984	40.68
斎藤投票所	3,417	1,414	41.38
柏森第1投票所	2,533	985	38.89
柏森第2投票所	3,861	1,373	35.56
合計	28,626	11,082	38.71

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
4. 愛知県議会議員総選挙費	円 4,227,800	円 1,824,805	% 43.2

【総務課】

[1] 愛知県議会議員選挙事務費

令和5年4月9日に執行予定の愛知県議会議員一般選挙の選挙人名簿の抄本や投票入場券の作成、ポスター掲示場の設置等を行いました。なお、令和5年3月31日の告示日において、候補者の数が選挙すべき議員の定数を超えなかったため、無投票となりました。

2款 総務費 5項 統計調査費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 統 計 調 査 総 務 費	円 23,000	円 17,826	% 77.5

【産業環境課】

[1] 統計総務事務費

1. 扶桑の統計（令和4年版）

町勢全般に関する統計資料を収録したもので、教材等資料として町内各小中学校、関係諸機関、統計調査員等にデータを配布しました。

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. 基 幹 統 計 費	円 510,000	円 424,335	% 83.2

【産業環境課】

[1] 基幹統計費（周期的）

1. 経済センサス調査区管理

経済センサスの調査区について、修正点等の確認を行ないました。

2. 就業構造基本調査

調査区数	調査期日	調査対象	調査対象数	調査員数
5	10月1日	国が指定した地域	75世帯	5名

3. 住宅・土地統計調査単位区設定

令和5年住宅・土地統計調査の本調査の実施に向け、円滑な実施を図るため調査単位区（39地区）を設定しました。

2款 総務費 6項 監査委員費

目	予算現額	決算額	執行率
1. 監査委員費	円 12,081,924	円 11,945,538	% 98.9

【監査委員事務局】

[1] 監査委員事務局事務費

1. 監査事務について

監査の実施にあたっては、地方自治の本旨に基づき、本町の事務事業が住民福祉の向上と最少の経費で最大の効果を挙げるよう法規性、正確性、経済性、有効性等に考慮しながら執行されたかに着目し、年度当初に示した監査実施方針に基づき実施、担当部局に必要な指示、指摘をし、監査事務を行いました。

(1) 例月出納検査（毎月1回 延12日）

地方自治法第235条の2第1項及び公営企業法第27条の2第1項の規定に基づき、一般会計・特別会計・公営企業会計及び歳入歳出外現金の出納など会計管理者が保管する現金の毎月の会計処理、現金の出納保管状況について検査を実施し、その結果を町長及び議会に報告しました。

なお、一部改善すべき点として、事務の省力化に努めるなどについて3項目を指摘し改善を求め、適正に執行されるように所管課へ要望しました。

(2) 決算及び基金運用状況審査（令和4年7月1日から13日までのうち6日間）

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項の規定により、令和3年度一般会計・特別会計・公営企業会計の歳入歳出決算、決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び基金の運用状況について、各課から提出を求めた関係諸帳簿、証拠書類及び各種決算調書と照合し、関係職員の説明を求めて計数の正確性、予算執行上の適否、その他財政運営の健全性について審査を実施しました。

審査の結果、各会計の歳入歳出決算書等は関係法令に基づき処理されており、その計数は正確に表示されていると認められました。

なお、一部改善すべき点として、機器の保守委託については、受託業者が業務の一部を他の業者に委託する場合、下請届を提出させるなど適正に執行されるよう3項目の意見を付して町長に提出しました。

(3) 財政健全化判断比率及び資金不足比率審査（令和4年8月12日）

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び同法第22条第1項の規定により、令和3年度の健全な財政状況の指標となる財政健全化判断比率及び特別会計事業の経営健全化を判断する資金不足比率について、その比率及び関係書類が適正に作成されているかどうかを主眼とし、審査を実施しました。

審査の結果、比率等は関係法令に基づき作成されており、その算定を適正であると認め、結果を町長に提出しました。

(4) 定例監査（令和4年11月4日から11月15日までのうち6日間）

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、各課の所掌する事務事業を重点に、また財務に関する事務の執行が適正かつ効率的に行われているか、組織は合理的に運営されているかなどについて担当部課長から執行状況等の現況報告を得たのち、提出された調書、関

係書類を抽出し、監査を実施しました。

監査を行った結果、各事務は法令等に準拠して概ね適正に執行されていると認められました。

なお、一部改善すべき点として、納品書・見積書に受付印の押印漏れなどについての10項目を指摘し改善を求め、町長及び議会に報告し公表しました。

監査対象 全部局室

(5) 随時監査

地方自治法第199条第5項の規定に基づき、財産管理監査及び工事監査を次のとおり行いました。

(一) 財産管理監査（令和4年10月6日）

扶桑町の行政財産である施設や公有地が適切に管理されているかについて、施設等の管理状況調書、財産台帳、関係諸帳簿等の提出と関係職員の出席を求め併せて現地調査を実施して監査を行いました。

対象施設 高雄保育園、柏森南保育園

施設は全体として整備され、管理についても良好に運営されていると認められました。

(二) 工事監査（令和4年7月15日）

令和4年度施工工事の設計図書及び仕様書が適正かどうか、設計図書及び仕様書に適合しているかどうかの現地調査をするとともに、関係職員や施工業者の説明を求め監査を実施しました。

なお、この監査は工事技術を主眼とする、公益社団法人大阪技術振興協会に調査委託し、その結果を参考に監査結果を整理作成しました。

対象工事（仮称）扶桑町多機能児童館建設工事（多機能児童館等準備室）

工事は法令等に準拠して適正に執行されていると認められましたが、設計委託業務仕様書に耐震性分類を記載の検討など5項目を指摘し改善を求め、町長及び議会に報告し公表しました。

(6) 財政援助団体監査（令和5年2月8日）

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、町が交付した補助金が目的に従い適正に執行され、効果が十分に達せられているかについて、関係諸帳簿の提出と関係職員の出席を求め監査を実施しました。

対象団体 扶桑町職員互助会、扶桑町交通・防犯推進協議会

監査の結果、町補助金は適正に受け入れられ、執行されていると認められました。

2. 研修等

町の行財政運営の多様化に伴い、監査委員の職務は、より専門的な知識を必要とするものが増加しています。これに対処するため、今後の監査のあり方等を研究し高度な知識、技術の修得に寄与することを目的に参加しました。

(1) 愛知県町村議会議長会 愛知県町村監査委員セミナー

令和4年6月30日 KKRホテル名古屋

「地方公会計の活用について」

- (2) 一般社団法人日本経営協会 行政管理講座
令和5年1月26日 オンライン講座
「地方公営企業会計の基本」

3. 監査委員会議

監査等に関する事務及び監査委員相互の連絡、協議、その他重要事項の検討の場として監査委員会議を12回行いました。

3款 民生費 1項 社会福祉費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 社会福祉総務費	円 472,330,170	円 436,701,342	% 92.5

【福祉児童課】

[2] 社会福祉扶助費

1. 生活保護

社会的・経済的に弱い立場にある被保護者に対し、その自立更生を助けるため、民生委員・児童委員や福祉事務所（愛知県尾張福祉相談センター）のケースワーカーとともに、それぞれの世帯に見合った援助・助言指導を行いました。（年度末時点）

年 度	被保護世帯数（世帯）	被保護人員（人）	年末見舞金（円）
R 2	96	121	576,000
R 3	91	109	496,000
R 4	90	105	456,000

[5] 負担金補助及び交付金

福祉サービスの充実を図り、地域福祉の増進のため、社会福祉協議会等に補助金を交付しました。

1. 社会福祉協議会補助事業

扶桑町における社会福祉事業の効率的運営と組織的活動を促進し、地域福祉の増進を図ることを目的として事業を行いました。

(1) 会 員

普通会員（1口 500円）	4,560口
賛助会員（1口 1,000円）	128口
法人会員（1口 3,000円）	59口

(2) 役員・理事等

理事	13人	監事	2人	評議員	33人
事務局長（常務理事）	1人	福祉活動専門員	5人（内パート 2人）		
地域包括支援センター職員	7人（内パート 0人）				
訪問看護ステーション職員	6人（内パート 4人）				
総合福祉センター管理人	3人（内パート 3人）				
居宅介護支援事業所	5人（内パート 3人）				
訪問介護事業所	4人（内パート 3人）				
宅老指導員	2人				
生活支援コーディネーター	1人				
デイサービスセンター	15人（内パート 13人）				

※社会福祉協議会独自事業分等を含む職員数を掲載

(3) 社会福祉団体に対する助成

団 体 名	会 員 数 (人)	町 補 助 金 (円)
更 生 保 護 女 性 会	20	96,000
遺 族 会	99	92,237
身 体 障 害 者 福 祉 会	36	308,028
心 身 障 害 児 者 父 母 の 会	56	179,200
保 護 司 会	9	79,124
合 計		754,589

2. 地域福祉推進事業

民生委員・児童委員43名及び主任児童委員2名で組織している民生委員・児童委員協議会の定例会を毎月第2金曜日に開催し、小学校、中学校、保育所、愛知県尾張福祉相談センター、愛知県一宮児童相談センター等の関係者と連絡をとり、同協議会・部会活動の強化や自己の資質向上を図るとともに、地域福祉の推進に努めました。

(1) 民生委員・児童委員の活動状況

(単位：件)

年 度	地 域 宅 福 祉 社	家 族 関 係	住 居	健 保 健 医 康 療	生 活 費	年 金 ・ 保 険	非 養 護 健 全 育 成 行 成	生 活 環 境	そ の 他	計
R 2	327	41	15	48	8	0	50	65	272	826
R 3	290	21	15	111	2	2	115	37	275	868
R 4	215	45	5	58	4	2	137	50	581	1,097

[6] 心配ごと相談所運営費

住民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、助言・指導を行いました。

- (1) 相談所開設場所 総合福祉センター
- (2) 相談員 11人
- (3) 開設日数 24日
- (4) 相談員延出席人員 24人
- (5) 取扱件数 18件
- (6) 処理状況件数 18件

(単位：件)

	取扱件数	処 理 状 況				
		解 決	再 来	民生委員	他 機 関	そ の 他
生 計	1				1	
家 族	5					5
離 婚	0					
精 神 衛 生	2		2			
財 産	1					1
医 療	0					
高 齢 者	0					
苦 情	0					
そ の 他	9		6			3
計	18		8		1	9

[8] 犯罪被害者等支援事業費

犯罪被害に遭われた家族等に対し、経済的支援として見舞金の支給制度を設けましたが、申請はありませんでした。

[9] 町民税均等割額のみ課税世帯臨時特別給付金給付事業費

令和3年度・4年度住民税均等割額のみ課税世帯に対し、新型コロナウイルス感染症の影響等による物価高騰対策として1世帯あたり5万円を支給しました。

令和3年度支給世帯 232世帯

令和4年度支給世帯 534世帯

支給額 38,300,000円

[51] 住民税非課税世帯等への臨時特別給付金支給事業費繰越明許費

令和3年度住民税非課税世帯等に対し、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ1世帯あたり10万円を支給しました。

支給世帯 153世帯

支給額 15,300,000円

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. サングリーンハウス等管理費	円 11,765,000	円 11,690,979	% 99.4

【介護健康課】

[1] サングリーンハウス等管理運営費

高齢者の生きがいを高めるための就業機会の提供、地域住民との交流や健康保持のための相談・指導等を目的として、公益社団法人扶桑町シルバー人材センターを指定管理者に指定し、高齢者生きがい活動推進センターの運営及び扶桑町サングリーンハウスと高齢者作業所の管理運営を行いました。

1. 利用状況

年度	活 動 等 内 容		実 施 回 数	利 用 者 数
R 2	健 康 相 談 ・ 指 導 活 動		4	28
	憩い・レクリエーション	娛 楽	36	157
		ヘルストロン	38	39
R 3	健 康 相 談 ・ 指 導 活 動		4	22
	憩い・レクリエーション	娛 楽	53	208
		ヘルストロン	180	183
R 4	健 康 相 談 ・ 指 導 活 動		4	21
	憩い・レクリエーション	娛 楽	95	408
		ヘルストロン	222	222

2. 地域交流活動等

7月4日 高齢者生きがい活動の推進に関する「運営委員会」開催 7人

3. 屋内作業就業状況（サングリーンハウス作業所）

年度	事業件数 (件)	就 業 人 員 (人)						配 分 金 (円)
		実 人 員			延 人 員			
		男	女	計	男	女	計	
R 2	60	124	106	230	1,387	1,491	2,878	4,215,020
R 3	54	145	96	241	2,056	1,546	3,602	5,802,981
R 4	41	139	80	219	1,957	1,362	3,319	5,737,949

4. 屋内作業就業状況（高雄作業所）

年度	事業件数 (件)	就 業 人 員 (人)						配 分 金 (円)
		実 人 員			延 人 員			
		男	女	計	男	女	計	
R 2	44	103	154	257	1,055	1,246	2,301	2,381,384
R 3	60	95	199	294	1,282	1,843	3,125	3,182,352
R 4	60	91	204	295	1,092	1,278	2,370	2,667,446

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
3. いこいの家管理費	円 4,528,000	円 4,100,930	% 90.6

【介護健康課】

[1]・[2] いこいの家管理運営費

1. 指定管理による管理運営から直営での管理運営に移行し、教養研鑽、健康増進、レクリエーション等生きがい活動の場として利用されました。

また、シルバー人材センターによる刃物研ぎ等、活動場所の提供も行いました。

年 度	開館日数	個人利用者数	団体利用者数	総利用者数	うちヘルストロン利用者数
R 2	247	4,277	3,265	7,542	314
R 3	268	4,977	3,561	8,538	290
R 4	298	1,122	6,849	7,971	386

2. 施設の維持管理のため、下記の工事を実施しました。

フェンス等改修工事、コンセント配線工事

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
4. 障 害 者 福 祉 費	円 165,965,000	円 148,732,114	% 89.6

【住 民 課】

[1] 障害者等医療費支給事務費

心身又は精神に障害のある方の福祉増進を図るため、医療費の助成を実施しました。

区 分	受 給 者 数	件 数	支 出 額 (円)
障 害 者 医 療	333	8,522	54,186,135
精 神 障 害 者 医 療	627	13,661	35,627,825

注) 受給者数は年間平均人数

受給者一人当たりの公費支給額の年度別推移

区 分 \ 年 度	R 2	R 3	R 4
障 害 者 医 療	174,464円	161,152円	162,721円
対前年度増減率	△ 15.8%	△ 7.6%	1.0%
精 神 障 害 者 医 療	59,141円	59,587円	56,823円
対前年度増減率	△ 16.0%	0.8%	△ 4.6%

【福祉児童課】

[1] 障害者福祉一般事務費

愛知県地域自殺対策緊急強化基金を活用し、自殺対策として臨床心理士による相談を実施しました。

こころの悩み相談

実施回数 18回

相談件数 36件

[2] 障害者福祉扶助費

身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者の更生意欲を高め、在宅重度障害者の介護者の負担を軽減し、福祉の増進を図ることを目的として扶助料・介護手当を支給し、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付及び自立更生に対し、助言、援助を行いました。

1. 身体障害者福祉

(1) 扶助料等支給額

		対象者数	扶 助 料	
1	・ 2 級	377人	17,888,000円	月額 4,000円
3	・ 4 級	423人	17,657,500円	月額 3,500円
在宅重度障害者の介護者		2人	120,000円	月額 5,000円
合 計		802人	35,665,500円	

(2) 身体障害者手帳所持者数

	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	計
人数	305人	150人	252人	222人	79人	51人	1,059人

2. 知的障害者福祉

(1) 扶助料支給額

		対象者数	扶 助 料	
A	判 定 (IQ35以下)	45人	2,152,000円	月額 4,000円
B	判 定 (IQ36~50)	57人	2,324,000円	月額 3,500円
合 計		102人	4,476,000円	

(2) 療育手帳所持者数

	A 判 定	B 判 定	C 判 定	計
18 歳 未 満	21人	26人	59人	106人
18 歳 以 上	52人	43人	45人	140人
計	73人	69人	104人	246人

3. 精神障害者福祉

(1) 扶助料支給額

	対象者数	扶 助 料	
1 級	41人	1,928,000円	月額 4,000円
2 級	231人	9,488,500円	月額 3,500円
計	272人	11,416,500円	

(2) 精神障害者保健福祉手帳所持者数

	1 級	2 級	3 級	計
人 数	51人	267人	80人	398人

(3) 相談・訪問件数

	総合支援法 制度・事業	就 労	日常生活	各種制度	医 療	苦 情	自 殺	その他	計
相 談	19件	1件	7件	9件	6件	1件	0件	49件	92件
訪 問	11件	1件	15件	7件	3件	0件	0件	40件	77件

4. 難病患者見舞金

支 給 者 数	一人当たりの見舞金額	見 舞 金 支 給 総 額
111人	12,000円	1,332,000円

[3] 在宅福祉サービス事業費

重度心身障害者の在宅での福祉を増進させるために、各種のサービスを行いました。

タクシー料金助成事業

重度の心身障害者の日常生活における活動を容易にするために、交通料金の補助をしました。

年 度	交付者数 (人)	年間利用回数 (回)
R 2	616	3,955
R 3	593	4,018
R 4	609	3,874

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
5. 老 人 福 祉 費	円 1,055,048,627	円 1,037,637,256	% 98.3

【住 民 課】

[1]・[2] 後期高齢者医療事務費

後期高齢者健康診査

75歳以上の方の健康を守るため、無料で受診できる健康診査を実施しました。

年 度	対 象 者 数	受 診 者 数	受 診 率
R 2	5,074名	2,789名	55.0%
R 3	5,202名	2,715名	52.2%
R 4	5,296名	2,568名	48.5%

注) 後期高齢者医療健康診査事業完了報告書の人数

後期高齢者人間ドック

被保険者の健康管理の手助けとして、人間ドックを行いました。

実 施 期 間	11月22日～2月15日	9月5日～11月1日
実 施 場 所	江南厚生病院	伊藤整形・内科
人間ドック受診者数	86人	19人
脳ドック併用受診者数	31人	13人

●めざそう値

施 策	社会保障			
指 標 名	指 標 の 定 義	計 画 策 定 時	R 4 実 績 値	R 4 目 標 値
後 期 高 齢 者 健康診査の実施率	後期高齢者医療の被保険者が受診する割合 (%)	50.5	48.5	60.5

[3] 後期高齢者福祉医療費支給事務費

後期高齢者医療に加入している方で、心身又は精神に障害のある方などの福祉増進を図るため、医療費の助成を実施しました。

区 分	年 度	受 給 者 数	件 数	支 出 額 (円)
後 期 高 齢 者 福 祉 医 療	R 2	617	19,549	80,006,116
	R 3	612	19,674	79,075,799
	R 4	618	20,126	77,205,813

注) 受給者数は年間平均人数

受給者一人当たりの公費支給額の年度別推移

区分	年 度	R 2	R 3	R 4
	後 期 高 齢 者 福 祉 医 療		129,670円	129,208円
	対前年度増減率	△ 3.6%	△ 0.4%	△ 3.3%

【介護健康課】

[1] 老人福祉一般事務費

[2] 高齢者生きがい対策推進事業費

1. シルバー人材センター補助事業

働く意欲と能力のある高齢者が、社会の担い手として生きがいをもって活動できるようにするため、公益社団法人扶桑町シルバー人材センターに対し補助金14,187,000円を交付しました。

シルバー人材センター年齢別会員数 (単位：人)

年度	年齢 性別	60歳	60歳	65歳	70歳	75歳	80歳	85歳	計
		未満	～64歳	～69歳	～74歳	～79歳	～84歳	以上	
R 2	男	0	4	20	50	47	24	14	159
	女	0	5	8	32	31	22	4	102
	計	0	9	28	82	78	46	18	261
R 3	男	0	3	23	42	52	29	14	163
	女	0	3	11	27	37	22	4	104
	計	0	6	34	69	89	51	18	267
R 4	男	0	2	13	48	47	32	18	160
	女	0	3	8	26	36	25	5	103
	計	0	5	21	74	83	57	23	263

役員・職員の状況

理事 16人 監事 2人

事務員・指導員等 8人 (正規職員 3人、臨時職員 3人、嘱託職員 2人)

2. 老人クラブ活動助成事業

高齢者の教養の向上、社会奉仕などの社会活動の充実を図るため、次のとおり補助金を交付しました。

年度	補助金名	補助額
R 2	単位老人クラブ補助金 (20クラブ 会員数1,478人)	1,512,859円
	老人クラブ連合会補助金	567,611円
R 3	単位老人クラブ補助金 (20クラブ 会員数1,378人)	1,445,488円
	老人クラブ連合会補助金	709,508円
R 4	単位老人クラブ補助金 (20クラブ 会員数1,295人)	1,792,784円
	老人クラブ連合会補助金	702,370円

[3] 在宅福祉サービス事業費

介護保険制度との連携をはかりながら、介護予防・地域支え合いの観点から高齢者世帯・一人暮らしの高齢者等を対象として、各種サービスの提供に努めました。

また、地域包括支援センターを中心に、広く介護保険制度を含めた、保健・福祉・医療の相談援助業務の推進に努めました。

1. 寝具洗濯乾燥サービス事業

年 度	年 間 利 用 者 数	年間延べ利用回数
R 2	15人	153回
R 3	19人	167回
R 4	19人	144回

2. 配食サービス事業

年 度	年 間 利 用 者 数	年間延べ利用食数	年 間 利 用 日 数
R 2	158人	24,105食	362日
R 3	159人	24,106食	362日
R 4	181人	26,336食	362日

3. 訪問理容サービス事業

年 度	年 間 利 用 者 数	年間延べ利用回数
R 2	17人	47回
R 3	17人	52回
R 4	23人	67回

4. タクシー料金助成事業

高齢者が日常生活における活動を容易に行うため、80歳以上の高齢者及び40歳～79歳で介護保険の要介護または要支援の認定を受けている方に対し、タクシー料金（基本料金）を助成しました。

年 度	交 付 者 数	年間利用回数
R 2	2,409人	21,372回
R 3	2,435人	21,219回
R 4	2,525人	21,125回

5. 緊急通報システム設置運営事業

一人暮らしの高齢者の急病や火災などの緊急時に迅速に対処するため、緊急通報システムを設置しました。

年 度	交 付 者 数	年間利用回数
R 2	11件	95件
R 3	23件	104件
R 4	30件	120件

6. 高齢者向けスマートフォン操作教室

チョイソコふそうの利用に向け、高齢者を対象にスマートフォンを操作する教室を実施しました。

年 度	開 催 回 数	年 間 参 加 者 数
R 4	5回	43人

[4] 敬老事業費

永年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し長寿を祝福するため、次のとおり各種の事業を実施しました。

1. 居宅訪問・施設入所者訪問

長寿を祝い、満100歳の方には町長及び健康福祉部長がご自宅を訪問するとともに、新型コロナウイルス感染症対策として、満88歳の方には振込により敬老金を贈りました。

年度	実施日	訪 問 し た 者	満100歳	満88歳	計
R 2	9月18日	町長・健康福祉部長	9人	159人(振込)	168人
R 3	9月17日	町長	9人	163人(振込)	172人
R 4	9月17日	町長・健康福祉部長・介護健康課長	7人	189人(振込)	196人

2. 敬老観劇会

年度	実 施 日	内 容	参 加 人 数
R 2		新型コロナウイルス感染症対策として、中止しました	
R 3		新型コロナウイルス感染症対策として、中止しました	
R 4		新型コロナウイルス感染症対策として、中止しました	

3. 金婚表彰

年度	実施日	内 容	表彰した夫婦	参加した夫婦
R 2		新型コロナウイルス感染症対策として、中止しました		
R 3		新型コロナウイルス感染症対策として、式典のみ中止し表彰状及び祝い品を郵送しました	38組	—
R 4		新型コロナウイルス感染症対策として、表彰状及び祝い品を郵送しました	40組	—

[5] 老人福祉手当支給事業費

介護度3～5のねたきりの高齢者等を在宅で介護している方に、介護手当（月額5,000円）を支給しました。

年 度	支 給 実 人 数	支 給 延 人 数
R 2	206人	1,588人
R 3	203人	1,558人
R 4	225人	1,695人

[6] 住宅改善事業費

介護保険で対象とならない住宅改修費用の一部補助については、令和4年度において該当ありませんでした。

[7] 老人保護措置費

老人福祉法第11条の規定に基づく入所措置を行いました。

年 度	R 2	R 3	R 4
年度末現在対象者数	2人	2人	2人

[8] 高齢者虐待防止事業費

高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会を令和4年7月に書面開催し、事例報告を委員へ送付しました。

委員数 9人

[13] 高齢者保健福祉総合計画推進事業費

介護保険法と老人福祉法に基づく、第9期高齢者保健福祉総合計画（令和6年度～令和8年度）の策定に向け、令和4年度から令和5年度の継続事業のうち、令和4年度は実態調査を行いました。

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
6. 総合福祉センター管理費	円 62,391,000	円 62,256,119	% 99.8

【福祉児童課】

[1]・[2] 総合福祉センター管理運営費

下記指定管理者による施設管理を行いました。

- ・ 指定管理者 社会福祉法人扶桑町社会福祉協議会
- ・ 指定期間 令和3年4月1日から令和6年3月31日まで

なお、福祉センター部分の利用状況は次のとおりです。

開館日数	個 人	団 体	計	内有料入場者数
309日	8,664人	9,655人	18,319人	43人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用日、利用人数等を令和5年2月8日まで制限し、開館しました。

また、令和4年4月30日まで新型コロナワクチン集団接種時会場として利用されました。

総合福祉センター指定管理運営支援補助金

コロナ禍における原油・物価高騰の影響を受けている指定管理者に対し、電気代・燃料費の補助金として3,000,043円を支出しました。

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
7. 障 害 者 自 立 支 援 費	円 667,381,000	円 634,623,876	% 95.1

【福祉児童課】

[1] 自立支援費支給事務費

●めざそう値

施 策	障害者（児）福祉			
指 標 名	指 標 の 定 義	計 画 策 定 時	R 4 実 績 値	R 4 目 標 値
福祉施設入所者の地域生活への移行	障害者施設から地域生活に移行した人数（人）	—	2	2

1. 支給決定者数（令和5年3月31日時点）（複数のサービスを利用している方による重複があります。）

障害者総合支援法に基づき、自立支援給付及び地域生活支援事業等の支給決定を行いました。

介 護 給 付 費		訓 練 等 給 付 費		地 域 生 活 支 援 費	
居 宅 介 護	44人	就 労 継 続 支 援 A 型	31人	移 動 支 援	53人
行 動 援 護	4人	就 労 継 続 支 援 B 型	81人	地 域 活 動 支 援 セ ン タ ー	14人
同 行 援 護	4人	就 労 移 行 支 援	11人	日 中 一 時 支 援	16人
短 期 入 所	32人	自 立 訓 練	3人		
療 養 介 護	0人	共 同 生 活 援 助	51人		
生 活 介 護	59人	就 労 定 着 支 援	13人		
施 設 入 所	23人				

2. 障害児・者相談支援事業

障害のある方の地域生活支援を行うため、障害児・者総合相談センターふそを開設し、専門の相談員が相談及び支援を行いました。

支援内容	福祉サービス利用等に関する支援	障害や病気の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・療育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援
件 数	180	91	48	136	11	83

家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	合 計
18	27	212	9	0	60	875

3. 特定相談支援及び障害児相談支援事業所を開設し、その建物の付帯工事、備品購入等に係る費用として359,000円補助しました。

4. サービス利用状況

(1) 介護給付

区 分	利 用 人 数	利 用 状 況
居 宅 介 護	40人	5,514時間
行 動 援 護	2人	766時間
同 行 援 護	4人	831時間
短 期 入 所	14人	580日
生 活 介 護	61人	13,828日
施 設 入 所	24人	8,313日

(2) 訓練等給付

区 分	利 用 人 数	利 用 状 況
就 労 継 続 支 援 A 型	37人	6,974日
就 労 継 続 支 援 B 型	84人	13,866日
就 労 移 行 支 援	24人	2,385日
自 立 訓 練	6人	135日
共 同 生 活 援 助	50人	14,764日
就 労 定 着 支 援	15人	135月

(3)・(4) 自立支援医療費・補装具費

(一) 自立支援医療費給付状況 (単位：人)

更生医療等	レセプト枚数	
	入 院	通 院
一 般 分	0	15
心 臓 分	3	0
腎 臓 分	7	334
合 計	10	349

(二) 補装具費給付状況

(単位：人)

補 装 具	交 付	修 理	補 装 具	交 付	修 理
車 い す	3	4	座位保持装置	4	0
補 聴 器	8	0	歩 行 器	1	0
電 動 車 い す	1	1	盲 人 安 全 つ え	4	0
装 具	2	2	歩 行 補 助 つ え	1	0
義 眼	1	0	座 位 保 持 椅 子	1	0
眼 鏡	3	0	合 計	29	7

(5) 地域生活支援事業

(一) 日常生活用具費給付事業

(単位：件)

区 分	件 数	区 分	件 数
パルスオキシメーター	3	拡大読書器	3
電気痰吸引器	5	特殊寝台	0
透析液加温器	0	頭部保護帽	1
移動・移乗支援用具	0	紙おむつ等(延べ月件数)	142
情報・通信支援用具	1	ストマ(延べ月件数)	634
視覚障害者用ポータブルレコーダー	1	住宅改修	0
		合 計	790

(二) その他の地域生活支援事業

区 分	利 用 人 数	利 用 状 況
コミュニケーション支援	6人	72回
移動支援	53人	2,510時間
地域活動支援センター	4人	139日
日中一時支援	16人	459回

[2] 審査会事務費

扶桑町障害者自立支援審査会を開催し、介護給付費の支給基準等となる障害支援区分の審査判定を行いました。

1. 開催回数 7回
2. 判定者数 53人
3. 判定結果

(単位：人)

区 分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
人 数	0	14	16	8	6	9	53

[3] 成年後見制度利用支援事業費

成年後見制度の利用促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、成年後見制度利用促進計画を策定しました。また、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など、判断能力が十分でない人に対して、権利擁護に関する相談や利用支援を行いました。

相談実績

(単位：件)

相談方法	電 話	来 所	訪 問	ケース会議	巡 回	メール等	合 計
件 数	208	3	32	14	6	49	312

[4] 障害者計画、障害福祉計画・障害児福祉計画策定事業費

令和5年度において障害者計画、障害福祉計画・障害児福祉計画を策定するための基礎資料とすることを目的としてアンケート調査を行いました。

3 款 民 生 費 1 項 社会福祉費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
8. 臨時特別給付金支給事業費	円 170,239,000	円 144,698,951	% 85.0

【福祉児童課】

[1] 住民税非課税世帯等への臨時特別給付金支給事業費（令和4年度課税対象）

新たに令和4年度住民税非課税世帯等になった世帯に対し、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ1世帯あたり10万円を支給しました。（令和3年度支給対象者は除く）

支給世帯 290世帯

支給額 29,000,000円

[2] 価格高騰緊急支援給付金支給事業費（令和4年度課税対象）

令和4年度住民税非課税世帯等に対し、電力・ガス・食料品等の価格高騰を踏まえ1世帯あたり5万円を支給しました。

支給世帯 2,116世帯

支給額 105,800,000円

3 款 民 生 費 2 項 児 童 福 祉 費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 児 童 福 祉 総 務 費	円 820,345,500	円 806,420,081	% 98.3

【福祉児童課】

[1]・[2] 児童福祉総務一般事務費

1. 要保護児童対策事業

一宮児童相談センター、尾張福祉相談センター、保育園・小中学校など関係機関の実務担当者による要保護児童対策地域協議会実務者会議及び要保護児童対策地域協議会代表者会議を実施し、要保護児童の支援についての協議及び実態把握のための情報交換を行い、児童の健全育成の促進に努めました。

開催回数 代表者会議：1回、実務担当者会議：12回

2. 児童扶養手当・愛知県遺児手当・特別児童扶養手当

児童の福祉の増進を図るため、それぞれ一定の要件に該当する児童を監護・養育する父、母、または養育者の手当の認定請求手続き等を認定機関に対して進達し、手当証書等を請求者に交付しました。

手 当 の 種 類		受 給 者 数	手 当 月 額
児 童 扶 養 手 当		187人	全部支給 43,160円
			一部支給 43,150円～10,180円の範囲
愛 知 県 遺 児 手 当		89人	4,350円 (受付開始から3年経過後 2,175円)
特 別 児 童 扶 養 手 当	1 級	20人	52,500円
	2 級	49人	34,970円
	計	69人	

(児童扶養手当第2子以降加算：第2子分月額10,190円～5,100円、第3子以降分1人月額6,110円～3,060円)

※受給者数については、令和5年3月31日現在の人数

3. 自転車走行時の安全を確保し、良好な子育て環境整備のために、3人乗り自転車（アシスト車）を3台購入するとともに、3人乗り自転車の貸出事業を実施しました。

貸出台数 普通車10台、アシスト車17台

4. 第二期扶桑町子ども・子育て支援事業計画の中間見直しを行いました。

[51] 子育て世帯への臨時特別給付金支給事業費繰越明許費

令和3年度分からの繰越明許費として子育て世帯の生活を支援するため、児童手当（本則給付）支給対象となる児童等を養育する保護者に対し対象児童1人あたり10万円の臨時特別給付金（30人分3,000,000円）を支給しました。

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. 児 童 手 当 費	円 640,432,000	円 618,469,460	% 96.6

【福祉児童課】

[1] 児童手当支給事務費

児童手当法改正に伴い、次代の社会を担う子どもの健やかな成長に資することを目的として、児童手当・特例給付を支給しました。

児童手当（令和4年4月～令和5年3月支払）

		延児童数	金 額	費 用 負 担		
				国	県	町
0歳～ 3歳未満	被用者	7,776人	116,640,000円	37/45	4/45	4/45
	非被用者	658人	9,870,000円	2/3	1/6	1/6
3歳以上 小学校修了前	被用者	26,988人	284,720,000円	2/3	1/6	1/6
	非被用者	2,850人	30,505,000円	2/3	1/6	1/6
小学校修了後 中学校修了前		9,794人	97,940,000円	2/3	1/6	1/6
合 計		48,066人	539,675,000円			

特例給付（令和4年4月～令和5年3月支払）

		延児童数	金 額	費 用 負 担		
				国	県	町
0歳～ 3歳未満	被用者	201人	1,005,000円	2/3	1/6	1/6
	非被用者	20人	100,000円	2/3	1/6	1/6
3歳以上 小学校修了前	被用者	1,589人	7,945,000円	2/3	1/6	1/6
	非被用者	134人	670,000円	2/3	1/6	1/6
小学校修了後 中学校修了前		1,062人	5,310,000円	2/3	1/6	1/6
合 計		3,006人	15,030,000円			

児童手当・特例給付月額

児童の年齢	児 童 手 当	特 例 給 付*
3歳未満	一律 15,000円	一律 5,000円
3歳以上 小学校修了前	10,000円 (第3子以降は15,000円)	
中学生	一律 10,000円	

※児童を養育している方の所得が所得制限額以上の場合は、特例給付に該当

※令和4年6月分から特例給付の支給に係る所得制限が新設されました。

[3] 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた低所得の子育て世帯を支援する取組の一つとして、児童手当受給者世帯等に臨時特別的な給付金（対象児童1人につき5万円）を支給しました。

子育て世帯への生活支援特別給付金 10,250,000円

[4] 愛知県子育て世帯臨時特別給付金給付事業費

新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、食費等の物価高騰の影響を受ける子育て世帯を支援するため、児童手当受給者世帯に愛知県子育て世帯臨時特別給付金（対象児童1人につき1万円）を支給しました。

愛知県子育て世帯臨時特別給付金 44,050,000円

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
3. 母 子 福 祉 費	円 273,514,765	円 271,039,205	% 99.1

【住 民 課】

[1] 母子等福祉医療費支給事務費

1. 母子・父子家庭の親・子どもの健康保持増進のため、入通院時の医療費の助成を実施しました。
2. 子どもの福祉増進のため、子ども医療費の助成を実施し、これまで15歳到達年度末であった対象年齢を令和4年9月診療分から18歳到達年度末まで拡大しました。
3. 未熟児に適正な養育を行うため、未熟児養育医療費の助成を実施しました。

区 分		受 給 者 数	件 数	支 出 額 (円)
母子・父子家庭医療	県	493	6,616	20,169,408
	町	0	4	5,703
子 ども 医 療	県	4,859	32,226	99,237,007
	町	3,185	46,835	114,434,438
未 熟 児 養 育 医 療		7	18	1,907,762

注) 母子・父子及び子ども医療の受給者数は年間平均人数

受給者一人当たりの公費支給額の年度別推移

区分	年度	R 2	R 3	R 4
母子・父子家庭医療		41,295円	43,271円	40,923円
	対前年度増減率	△ 2.0%	4.7%	△ 5.4%
子 ども 医 療		21,172円	24,838円	26,563円
	対前年度増減率	△ 45.6%	17.3%	6.9%

【福祉児童課】

[1] 遺児手当支給事務費

ひとり親家庭など、遺児を養育している方に遺児手当を支給しました。

町遺児手当 (18歳に達した日の属する年度末まで)

支 給 総 額 14,016,000円

受 給 者 数 271人 (令和5年3月末現在)

延 遺 児 数 4,672人

月 額 3,000円 (遺児一人につき)

[2] 遺児手当受給者生活支援事業費

遺児手当を受給している方に生活支援として一時金を支給しました。

支 給 総 額 18,350,000円

対 象 児 童 数 367人 (対象児童1人につき50,000円)

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
4. 児 童 遊 園 施 設 費	円 42,702,854	円 42,317,634	% 99.1

【福祉児童課】

[1]・[2] 児童遊園管理運営費

児童の一番身近な遊び場としての児童遊園を適切に維持管理するため、施設の破損箇所や老朽部分の補修、樹木の剪定などを行いました。

また、地域遊園地には、維持管理費補助金を交付する助成を行いました。

地 区 名	設 置 か 所 数			面 積 (㎡)
	町 立	地 域	計	
高 雄	17	2	19	13,109.99
山 那	4	0	4	2,921.00
小 淵	0	1	1	760.00
南 山 名	7	0	7	3,794.83
斎 藤	4	1	5	3,916.29
高 木	1	1	2	1,506.00
柏 森	10	0	10	4,997.00
合 計	43	5	48	31,005.11

(令和4年度末現在児童遊園数)

遊具等修繕

修 繕 内 容	実施児童遊園数 (か所)
遊 具 修 繕	16
トイレ・手洗い場修繕	9
ベンチ・パーゴラ修繕	1
フェンス・防球ネット等修繕	2
その他表示看板等修繕	3
合 計	(延べ) 31

[3] 児童遊園整備費

遊具の安全な利用空間の確保を図るための移設や老朽化したネットフェンスの修繕等を行い、児童の安全で快適な遊び場を確保しました。100万円を超える工事は以下のとおりです。

1. 工 事 名 遊具移設等工事
- 工事場所 東川・伊勢婦・斎藤・平塚児童遊園
- 工 事 費 2,508,000円
- 工 期 令和4年7月1日から令和4年10月28日まで

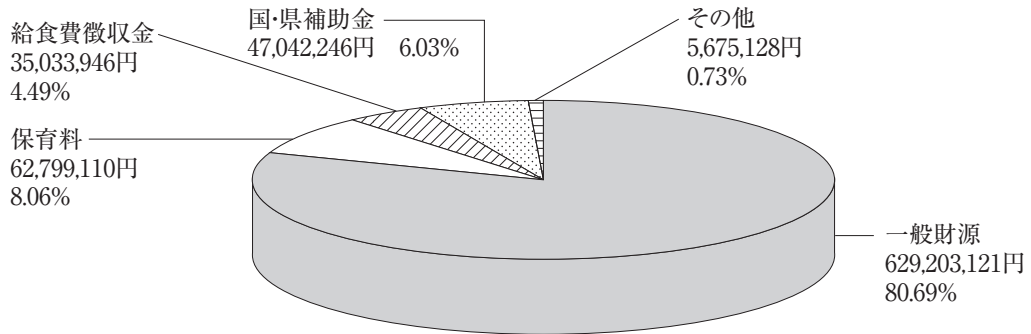
- | | |
|--------|-------------------------|
| 2. 工事名 | ネットフェンス修繕工事 |
| 工事場所 | 柏森西児童遊園 |
| 工事費 | 1,232,000円 |
| 工期 | 令和4年10月27日から令和5年1月24日まで |
| 3. 工事名 | 遊具等撤去工事 |
| 工事場所 | 高木西児童遊園 |
| 工事費 | 2,915,000円 |
| 工期 | 令和5年2月4日から令和5年3月27日まで |

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
5. 保 育 所 費	173,132,881 ^円	164,252,361 ^円	94.9 [%]

【福祉児童課】

運営費財源内訳

総 額 779,753,551円



運営費の内訳

- ・ 支出総額 779,753,551円
- ・ 在籍延人数 8,725人
- ・ 運営費一人当たりの月額 89,370円

左記の内訳	一 般 財 源	72,113円
	保 育 料	7,203円
	国・県補助金	5,389円
	給食費徴収金	4,013円
	そ の 他	652円

[1] 代替職員設置事業費

保育士紹介業務により保育士1人を紹介してもらい、会計年度任用職員として採用をしました。

[3]・[4] 保育所管理運営費

1. 保育所定員と児童数及び保育士数

(令和4年度末現在)

保育園名	定員 (人)	5歳児 (人)	4歳児 (人)	3歳児 (人)	2歳児 (人)	1歳児 (人)	0歳児 (人)	合計 (人)	入所率 (%)	保育士数 (人)
高雄保育園	140	35	26	26				87	62.14	15(8)
高雄西保育園	150	13	29	25	24	15	10	116	77.33	26(16)
高雄南保育園	140	29	39	29	18	14		129	92.14	18(9)
山名保育園	140	31	18	14	18	13	5	99	70.71	20(11)
斎藤保育園	90	21	16	10	12	15		74	82.22	15(8)
柏森保育園	140	28	35	25	17	15		120	85.71	20(11)
柏森南保育園	90	24	24	20	17	15	6	106	117.78	20(12)
計	890	181	187	149	106	87	21	731	82.13	134(75)

()内は会計年度任用職員(保育士)・派遣保育士を再掲

○児童数等推移

年度	定員(A)	児童数(B)	入所率(B/A)	保育士数
R 2	890人	781人	87.75%	128人(72人)
R 3	890人	743人	83.48%	130人(72人)
R 4	890人	731人	82.13%	134人(75人)

2. 新型コロナウイルス感染症蔓延時も保育園を継続するための派遣職員を確保しました。

委託名 保育士派遣業務

事業費 2,457,400円

実施場所 高雄西保育園

3. 保育環境の整備に必要な備品を購入しました。

備品購入費 2,385,670円

主な内容

放送設備 7園

コンベクションオープン 柏森保育園

ガス回転釜 高雄南保育園

4. 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰による保育園の利用世帯の負担を軽減するため令和5年2月、3月分の給食費の全額補助を行いました。

対象児童数 延べ1,035人

補助総額 4,756,360円

5. 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰の影響を受ける保育園の賄材料費を増額し、これまで通りの質と量を維持した給食を提供しました。

[5] 保育所施設整備費

施設の維持管理のため、下記の工事を実施しました。

高雄南保育園 調理室改修工事
 山名保育園 調理室改修工事、トイレ改修等工事
 柏森保育園 屋根防水改修工事
 柏森南保育園 フェンス等設置工事

[6] 地域子育て支援センター事業費

子どもが健やかに生まれ育つための環境づくりと地域における子育て家庭を支援することを目的に、高雄保育園及び斎藤保育園にて地域子育て支援センター事業を推進しました。

	保育士	利用者数 (延べ人数)		合計
高雄子育て支援センター	2人	子ども 5,382人	保護者 4,820人	10,202人
斎藤子育て支援センター	2人	子ども 5,554人	保護者 4,800人	10,354人

主な事業内容は、次のとおりです。

- 子育て支援 電話や面接により子育てに対する不安等について相談、指導等を実施しました。
- 子育てフロアー 「0～3歳児フロアー」を計画しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、開催は中止しました。
- 子育てサロン 利用を制限しながら、親子でゆっくり安心してくつろげる遊び場として「すくすくサロン」「にこにこサロン」を開設し、育児の相談窓口を設けました。
- 子育て育児講座 新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、講演会は中止しました。
- 情報誌の発行 育児に関する身近な情報をお知らせしました。
- 園庭開放 新型コロナウイルスの感染状況をみながら、保育園を地域の未就園児の親子に開放し、保育資源の活用に努めました。

[7] ファミリーサポート事業費

ファミリーサポート事業は、育児の援助を行いたい方と育児の援助を受けたい方からなる会員組織で、事業の趣旨に賛同する方と援助を必要とする方の地域における相互援助活動として入会会員の受付、紹介を実施しました。

事業実施延件数 267件

ファミリーサポートセンター報酬助成金 71,950円

[8] 一時保育事業費

保護者等の就労、病気、育児疲れ等により断続的又は緊急、一時的に家庭保育が困難となる児童を保護者に代わって保育園で保育し、子育てを支援しました。

実施場所 高雄保育園・斎藤保育園（保育士 各園2人）

区分	就労	職業訓練	就学	傷病	出産	育児疲れ	その他	合計	一日当たり
人数	1,171人	8人	10人	3人	78人	987人	222人	2,479人	10.2人

[9] 広域入所事業費

就労等の事情により、扶桑町以外の保育所への入所希望に対応するため、広域入所事業を実施しました。

事業実施件数 1件

[10] 子ども・子育て支援事業費

子ども・子育て新制度の実施に伴い、「施設型給付」及び「地域型保育給付」の対象幼稚園等に対して財政支援を行いました。また新制度における一時預かり事業を実施した幼稚園等に対しても委託費を支給しました。

施設型給付 2園 延べ134人

地域型保育給付 3園 延べ60人

一時預かり事業 2園 延べ221人

○病児病後児保育事業

病氣中、病気の回復期である児童を一時的に預かる病児病後児保育を大口町と連携して行い、保護者の子育てと就労を支援しました。

実施場所 つくしこどもクリニック

延利用人数 110人

[11] 利用者支援事業費

0歳から18歳までの子育ての悩みや困りごとなど子育て世代をすべて含めて子育ての切れ目のない相談を受けました。また、利用者支援事業の一環として療育講座を実施しました。

相談実件数 49件

療育講座実施回数 11回

(新型コロナウイルス感染症対策により、8月については開催中止)

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
	円	円	%
6. 放課後児童健全育成事業費	13,884,244	12,206,443	87.9

【福祉児童課】

[1]・[2] 放課後児童クラブ事業費

1. 各放課後児童クラブ館では、保護者が安心して就労できるよう小学校1年生から6年生までの留守家庭児童を保育し、子育てを支援しました。令和4年度から柏森放課後児童クラブ館において土曜日の保育を行いました。

児童クラブ名	開 設 場 所	平均在籍児童数	開 設 時 間
高雄放課後児童クラブ	高雄放課後児童クラブ館	161人	月曜日から金曜日までの下校時から午後7時まで（ただし、長期休暇（春夏冬休み）中は月曜日から土曜日で午前7時30分から開設）
扶桑東放課後児童クラブ	扶桑東放課後児童クラブ館	102人	
山名放課後児童クラブ	山名放課後児童クラブ館	75人	
柏森放課後児童クラブ	柏森放課後児童クラブ館	207人	

※平均在籍児童数については、各月1日現在の在籍数の平均

2. 施設の維持管理のため、下記の工事を実施しました。

高雄放課後児童クラブ館 駐車場整備工事

●めざそう値

施 策	子育て支援			
指 標 名	指 標 の 定 義	計画策定時	R4実績値	R4目標値
放課後児童クラブ	小学校区に開設する放課後児童クラブの教室数（教室）	6	12	12

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
7. 児 童 発 達 支 援 費	円 195,103,256	円 194,902,548	% 99.9

【福祉児童課】

[1]・[2] 児童発達支援事業所運営費

施設の維持管理のため、下記の工事を実施しました。

トイレ修繕工事

[3] 児童発達支援支給事務費

児童福祉法に基づき、児童発達支援事業所つくし学園を運営するとともに、障害児通所給付費の支給決定を行いました。

1. つくし学園利用状況

利 用 人 数	利 用 日 数
59人	68日

2. 障害児通所給付費

障 害 児 通 所 給 付	利 用 人 数	利 用 日 数
児童発達支援 (つくし学園を除く)	64人	3,665日
放課後等デイサービス	124人	12,212日

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
8. 児 童 館 整 備 事 業 費	円 415,728,821	円 408,710,730	% 98.3

[1]・[51] 児童館整備事業費

1. 扶桑町児童センターの整備のため、下記の工事を実施しました。

(仮称) 扶桑町多機能児童館建設工事 (令和3年度からの継続事業)

(仮称) 扶桑町多機能児童館外構工事

(仮称) 扶桑町多機能児童館看板設置工事

(仮称) 扶桑町多機能児童館案内標識設置工事

(仮称) 扶桑町多機能児童館関連付帯工事

(仮称) 扶桑町多機能児童館入館管理用センサー等設置工事

(仮称) 扶桑町多機能児童館屋外コンセント設置工事

(仮称) 扶桑町多機能児童館監視カメラ設置工事

2. 扶桑町児童センターに必要な消耗品、備品等として、図書、パソコン、木製家具等を購入しました。

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
9. 児 童 館 管 理 運 営 費	円 3,361,500	円 2,802,971	% 83.4

【多機能児童館等準備室】

[1]・[2] 児童館管理運営費

1. 令和5年4月1日の扶桑町児童センター開館にむけて、運営準備委託業務を行いました。
2. 令和4年11月の建設工事完了に伴い、維持管理に必要な消耗品等を購入しました。

3款 民生費 3項 国民年金費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 国 民 年 金 費	円 5,670,000	円 5,457,365	% 96.2

【住 民 課】

[1] 国民年金施行事務費

1. 拠出年金

(1) 国民年金加入状況

令和4年度末の被保険者数は、前年度と比べると232人減少の5,808人となり、このうち第1号被保険者は前年度に比べ137人減少しました。第3号被保険者については、105人減少しました。

被 保 険 者 数 の 推 移 (人)

区分 年度	被 保 険 者 数			合 計
	第 1 号 被保険者数	任 意 加 入 被保険者数	第 3 号 被保険者数	
R 2	3,207	44	2,916	6,167
R 3	3,164	39	2,837	6,040
R 4	3,027	49	2,732	5,808

(2) 国民年金被保険者届出状況 (人)

種 類	第 1 号被保険者	任 意 加 入 被 保 険 者	第 3 号被保険者
資 格 取 得	1,253	25	241
取 得 取 消	17	0	1
転 入	130	0	114
転 出	187	0	84
資 格 喪 失	1,327	15	382
喪 失 取 消	11	0	7
合 計	2,925	40	829

(3) 国民年金保険料納付状況

(一) 保険料の納付状況

納 付 対 象 月 数	納 付 月 数	納 付 率
23,722	19,796	83.4%

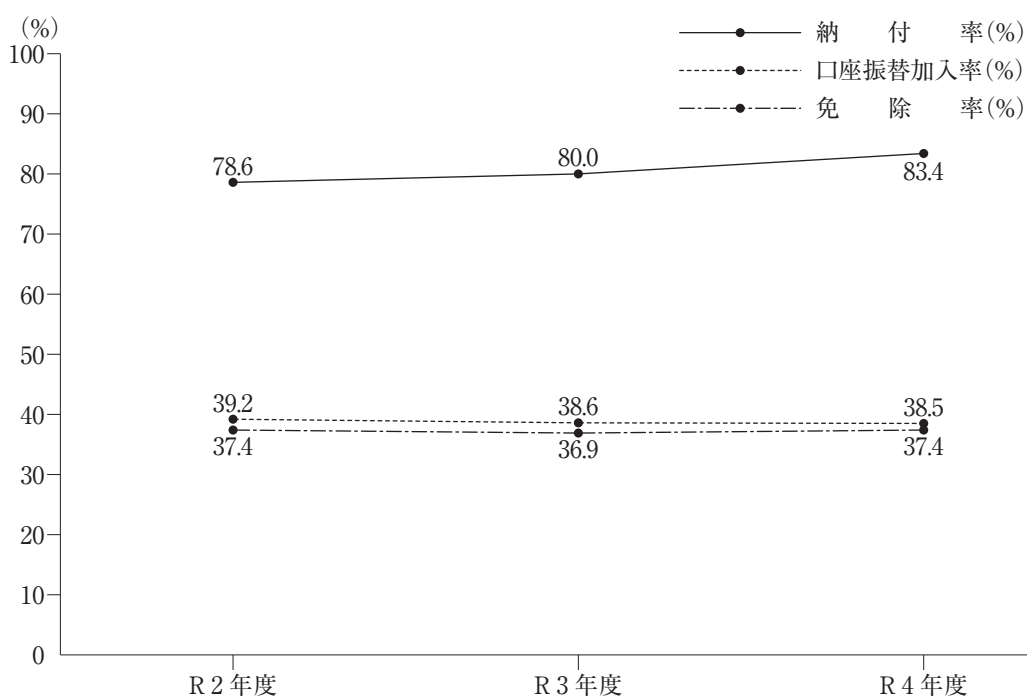
(二) 保険料の免除被保険者数

法定免除	申請免除	合計	免除率
225	1,131	1,356	37.4%

(三) 保険料の口座振替加入状況

対象者数	加入者数	加入率
1,993	767	38.5%

(四) 国民年金保険料の納付状況と口座振替加入率の推移



2. 年金相談

年金に関する各種相談を、一宮年金事務所の相談員により1年間に4回実施しました。

実施月	令和4年 5月	8月	11月	令和5年 2月	計
相談件数	7件	5件	7件	8件	27件

3款 民生費 4項 災害救助費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 災 害 救 助 費	円 4,587,000	円 3,067,549	% 66.9

【福祉児童課】

[1] 災害救助費

1. 避難行動要支援者

避難行動要支援者マニュアルに基づき、65名（令和5年3月末現在）を避難行動要支援者名簿へ登録しました。

4款 衛生費 1項 保健衛生費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 保 健 衛 生 総 務 費	円 312,597,878	円 302,582,538	% 96.8

【健康推進課】

[1]・[2] 保健センター管理運営費

1. 定期的に施設・設備の保守点検や清掃等を行い、衛生管理・美観維持に努めました。
保健指導システムを活用することにより、的確な保健指導を行うなど利用者の利便の向上を図りました。
歯科保健活動推進助成や保健医療従事者の育成補助など、地域保健医療の充実に努めました。
また、国保データベースシステムを利用し、糖尿病予防教室等実施時に対象者を抽出するなどデータを活用した保健指導に努めました。
2. 施設の維持管理のため、下記の工事を実施しました。
保健センター外壁等改修工事、保健センター給水管改修工事（トイレ）

[3] 救急医療事業費

1. 在宅当番医制休日診療の実施
救急医療対策として、地域医師会、歯科医師会の協力を得て、日曜・祝日・年末年始の在宅当番医制による休日診療を実施し、不慮の事故によるけがや急病の時に迅速に治療が受けられるよう、救急医療の充実に努めました。
(1) 医科実施日数：40日（年74日中扶桑町内医師実施分）
診療時間 9：00～12：00 14：00～17：00
(2) 歯科実施日数：24日（年72日中扶桑町内歯科医師実施分）
診療時間 9：30～11：30
2. 第二次救急医療
三市二町救急医療対策運営協議会において、江南厚生病院・総合犬山中央病院・さくら総合病院の3病院を第二次救急医療機関に指定しました。
第二次救急指定医療機関は、常時臨床応需の態勢をとり、緊急入院に必要な病床を確保し、深夜に患者が発生した場合や、第一次医療機関で適切な処置ができない重篤患者に対する高度治療を行うこととし、住民の方が安心して暮らせるよう救急医療の充実に努めました。

[5] 骨髄提供促進事業費

骨髄又は末梢血幹細胞の提供者及び提供者が勤務する事業所に対し助成金を交付し、提供者等の負担を軽減し、骨髄移植の推進を図ることを目的に当該事業を令和2年度から開始しましたが、対象者はなく実績はありませんでした。

【産業環境課】

[2] 広域ごみ処理施設整備基金積立金

将来の広域ごみ処理施設整備費に備えるため、50,191,249円を積み立てました。
令和4年度末における積立元金は、771,196,089円となりました。

[3] 環境美化センター解体事業基金積立金

環境美化センター解体に向けた基金を新設し30,013,800円を積み立てました。
令和4年度末における積立元金は120,028,849円となりました。

【都市整備課】

[1] 丹羽広域事務組合水道部負担金

丹羽広域事務組合水道部職員に対する児童手当に要する費用を負担しました。また、コロナ禍における原油価格や物価の高騰等により影響を受ける町民生活及び経済活動への支援を目的として、令和4年12月から令和5年3月までの当初調定請求分水道基本料金の免除を丹羽広域事務組合水道部にて実施し、その費用を負担しました。

児童手当に要する費用	1,959,038円
水道基本料金免除に要する費用	45,937,694円

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. 予 防 費	円 560,199,106	円 432,439,495	% 77.2

【健康推進課】

[1] 市町村母子保健事業費

[2] 子育て世代包括支援センター事業費

1. 定期乳幼児健康診査

乳幼児の疾病の早期発見と成長・発達の確認の機会となるよう乳幼児健康診査を定期的
に実施しました。また、必要に応じて保健指導を行い、専門医療機関での受診を促し、乳幼児
の健全な発育に寄与するよう努めました。3歳児健診においてフッ素塗布を継続して実施し
ました。

種 別		4 か月児健診	1 歳 6 か月児健診	3 歳児健診	
健 診 内 容		問診・身体計測・診察・授乳相談・家族計画相談・保健指導	問診・身体計測・診察・歯科健診(注1)・フッ素塗布・保健指導・栄養相談	問診・身体計測・診察・歯科健診(注2)・フッ素塗布・栄養相談・視力と聞こえの確認・スポットビジョン・尿検査・育児相談・保健指導	
実 施 回 数		12回	12回	12回	
対 象 者 数		251人	291人	292人	
受 診 者 数 (率)		245人 (97.6%)	282人 (96.9%)	283人 (96.9%)	
要 指 導 等 児 (延 べ 数)	疾 病	異 常 な し	205人	262人	185人
		要 観 察	10人	5人	60人
		要 精 検	10人	0人	30人
		要 医 療	2人	0人	0人
		既 医 療	18人	15人	8人
	子 育 て 支 援	助 言 ・ 情 報 提 供	25人	8人	44人
		状 況 確 認	49人	164人	28人
		他 機 関 連 携	0人	0人	18人
支 援 不 要		181人	112人	193人	

実施にあたり、新型コロナウイルス感染症予防対策を行いました。

(注1) 歯科健診結果

(単位：人)

1 歳 6 か 月 児		人 数
う 蝕 の ない 児	O1型	129
	O2型	151
う 蝕 の ある 児	A型	1
	B型	1
	C型	0

(注2) 歯科健診結果

(単位：人)

3 歳 児		人 数
う 蝕 の ない 児	O型	276
	A型	4
う 蝕 の ある 児	B1型	1
	C1型	0
	C2型	0

2. 歯科健診

(1) 歯科健診・フッ素塗布・歯みがき指導を行い、虫歯予防や口腔衛生の普及に努めました。

健 診 名	実施回数	受診者数	健 診 内 容
2 歳 児 歯 科 健 診	12回	262人	問診、歯科健診、歯みがき指導、フッ素塗布
2歳6か月児歯科健診	12回	241人	

(2) 令和4年度から妊婦・産婦（出産後1年以内）を対象に、医療機関に委託し個別歯科健診を行いました。

健 診 名	受診者数	健 診 内 容
妊 婦 歯 科 健 診	75人	問診、歯科健診

3. 健康教育（子育て世代包括支援センターの母子保健コーディネーター分を含む）

妊娠や出産・育児・子育て・予防接種に関する正しい知識の習得を目的として、各種教室を開催し、母親の不安を解消して、安心して出産・育児ができるよう、また、乳幼児が心身ともに健やかに成長するような環境づくりに努めました。

名 称	実施回数	参加人数	内 容
ぱまママクラス	12回	124人	妊娠中の栄養・分娩の経過・妊婦体操・母乳のすすめ・育児用品の紹介・沐浴指導と実習等
赤ちゃん教室初期	12回	138人	予防接種予診票の交付・予防接種の啓発と進め方・赤ちゃんの遊びについて
赤ちゃん教室前期	6回	76人 託児53人	育児について・赤ちゃんに多い病気と手当の仕方・赤ちゃんの事故予防・離乳食のすすめ方・調理実習
赤ちゃん教室後期	6回	親59人 子59人	赤ちゃんの歯の手入れ・赤ちゃんの遊び カミカミ期の食事メニュー紹介・試食
幼 児 教 室	18回	102組 209人	親子あそび・母親グループワーク・育児相談
予 防 接 種 説 明 会	12回	42人	転入者を対象にした、予防接種の啓発と予診票の交付、予防接種の受け方の説明
健 康 教 室	1回	15人	依頼による健康教育（子供の発達と感染症についての講義）
ひまわりっ子	12回	69組 144人	1歳6か月児健診及び2歳児歯科健診事後フォロー教室

4. 健康相談

乳幼児を対象に、成長や健康状態を確認できるよう体重・身長計測を行う乳幼児相談を実施しました。実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症予防対策を行いました。また、乳幼児の急な事故や疾病に対し迅速にアドバイスできるよう電話による相談も随時行い、育児支援に努めました。

名 称	実施回数	相談人数	内 容
乳 幼 児 相 談	24回	971人	身体計測・育児相談・栄養相談・母乳相談
3 歳 児 健 康 相 談	随時	30人	視覚聴覚の確認・育児相談・尿検査
ほ っ と で ん わ	随時	54人	電話による健康相談
面 接 健 康 相 談	随時	95人	面接による健康相談
心 理 発 達 相 談	22回	44人	心理発達・育児相談
子育て支援センター育児相談	0回	0人	育児相談

※子育て支援センター育児相談は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために開催を中止しました。

5. 妊産婦乳児（医療機関）健康診査

妊産婦及び1歳1か月未満の乳児の健康診査を行うことにより、健康維持・増進、異常の早期発見・早期治療に努めました。令和4年度から新たに産後健診を2回に拡大、また新生児聴覚検査を実施しました。

対象	回 数	内 容	受診者数	県外受診 扶助申請者数
妊 婦	子宮頸がん	子宮頸がん検診	228人	10人
	1回目	基本健診(検尿・体重測定・血圧測定・診察)、血液検査、超音波検査	234人	12人
	2回目	基本健診	238人	13人
	3回目	基本健診	240人	9人
	4回目	基本健診、超音波検査	240人	11人
	5回目	基本健診	231人	10人
	6回目	基本健診	234人	12人
	7回目	基本健診	222人	13人
	8回目	基本健診、超音波検査、血液検査	216人	11人
	9回目	基本健診	201人	23人
	10回目	基本健診、GBS	219人	21人
	11回目	基本健診	178人	19人
	12回目	基本健診、超音波検査、貧血検査	217人	20人
	13回目	基本健診	130人	18人
産 婦	1回目	産婦健康診査	222人	21人
	2回目	産婦健康診査	46人	7人
乳 児	1回目	身体計測、診察	213人	23人
	2回目	身体計測、診察	176人	1人
	新生児聴覚	聴覚検査 (ABR-OAE)	75人	7人

6. 家庭訪問

心身の状況に応じ、健康の保持増進のための保健指導が必要な方に家庭訪問をしました。

訪問件数（実人数）	訪問件数（延べ人数）
72人	117人

7. 「歯と口の健康センター」の開設

6月と11月に新型コロナウイルス感染症予防対策を行いながら、無料歯科健診・フッ素塗布（小学生以下対象）を実施し、虫歯予防や口腔衛生の普及、啓発に努めました。

実施日	受診者数（成人）	受診者数（小児）	合計
6月5日	43	50	93
11月6日	47	48	95

8. 一般不妊治療費助成事業

不妊に悩む夫婦に対し、不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的な負担を軽減し、少子化対策に努めました。（実績：27件）

9. 子育て世代包括支援センター事業

母子保健コーディネーターを配置し、妊娠・出産・子育て期にわたり、妊産婦や乳幼児の状況を継続的に把握し、切れ目のない相談支援を行い育児不安や虐待予防に努めました。

(1) 健康教育・健康相談事業

名称	実施回数	人数	内容
妊娠を希望する女性のための健康相談	随時	0人	妊娠を希望する女性に家族計画相談、妊娠するための健康相談、不妊治療・不妊治療助成に関する相談
母子健康手帳交付とミニママクラス	36回	137人	母子健康手帳を交付し、出産に向けての準備母子保健事業の紹介や妊婦相談を行い、妊婦面接の結果、妊婦支援計画の作成
妊娠32週コール	随時	230人	妊娠32週以降の妊婦に対する電話相談
パースデイコール	随時	270人	産後1か月内の産婦に対する電話相談
電話相談	随時	111人	電話による妊産婦・育児相談
面接相談	随時	129人	面接による妊産婦・育児相談

(2) 新生児訪問指導・こんにちは赤ちゃん訪問事業

新生児から4か月児健診までの乳児を対象に、保健師や委託助産師が家庭を訪問し、母体の健康状態確認と乳児の身体計測などを行い、きめ細やかな育児指導・保健指導に努めました。

訪問指導乳児数	延訪問回数	うち里帰り出産訪問件数
249人	458回	4件

(3) 産後ケア事業

体調不良や強い育児不安がある方、家族等から育児の支援が受けられない等の母子に対し、医療機関に宿泊し休養や育児支援サービスを受けられる宿泊型の利用は2件ありました。助産師が利用者宅に訪問する訪問型の利用はありませんでした。

(4) 出産・子育て応援事業

全ての妊婦の方・子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境を整備するため、令和5年3月より出産・子育て応援事業を実施しました。

事業名	対象者	内容	延べ人数
伴走型相談支援	妊婦及び主に0歳から2歳の乳幼児を養育する子育て世帯	各種母子保健事業を通じ、対象者及びその家族等と面談や継続支援を実施し、妊娠の届出時から妊娠・子育て世帯に寄り添い、身近で相談に応じ、関係機関とも情報共有しながら必要な支援につなげる。 主な母子保健事業 ・妊娠届出時面談 ・妊娠32週コール ・バースデイコール ・赤ちゃん教室初期時相談 ・こんにちは赤ちゃん訪問 ・乳幼児相談 等	各事業欄参照
出産・子育て応援金	出産応援金	妊娠届出時又はそれ以降に面談をした妊婦	妊婦1人あたり50,000円給付
	子育て応援金	出生届を提出後、面談をした養育者	子ども1人あたり50,000円給付

[3] 予防接種事業費

1. 定期予防接種（A類疾病）事業

予防接種法に基づき、BCG、ロタウイルスワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、B型肝炎ワクチン、ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ四種混合、ジフテリア・破傷風二種混合、麻しん風しん混合、水痘、日本脳炎、ヒトパピローマウイルス感染症予防（子宮頸がん予防）ワクチン等（個別）の予防接種を行い、疾病の発症・流行の予防に努めました。

日本脳炎予防接種については、平成17年度に積極的勧奨の差し控え勧告があり、予防接種を受ける機会がなかった者（平成7年4月2日から平成19年4月1日までに生まれた者）への20歳未満までに接種を行う特例措置をとっています。また令和3年度のワクチン供給不足により、接種できなかった方を優先し実施しました。今年度は小学4年生と5年生に通知しました。

子宮頸がんワクチンについては、平成25年6月14日付厚生労働省の勧告により、定期接種を積極的に勧奨すべきではないとされ個別通知を控えてきましたが、対象者への周知が必要とされ、標準接種時期である中学1年生女子への案内を再開しました。また、令和4年度か

ら勧奨を再開するにあたり、令和3年度までの積極的な勧奨の差し控えにより定期接種を受ける機会を逃した者（平成9年4月2日生まれから平成18年4月1日生まれの者）に対して、令和7年3月末まで接種ができる特例措置をとっています。

予 防 接 種 名		対 象 者	接種延人数	
個別 接種	B C G	生後1歳未満児	257人	
	ロタウイルス	1価	出生6週0日後～24週0日後	445人
		5価	出生6週0日後～32週0日後	79人
	ヒブワクチン	生後2か月～60か月未満児	1,024人	
	小児用肺炎球菌ワクチン	生後2か月～60か月未満児	1,019人	
	B型肝炎ワクチン	生後2か月～12か月未満児	762人	
	四種混合	生後3か月～90か月未満児	1,020人	
	三種混合	生後3か月～90か月未満児	0人	
	不活化ポリオ	生後3か月～90か月未満児	3人	
	麻しん風しん1期	生後12か月～24か月未満児	267人	
	麻しん風しん2期	小学校就学前1年間	294人	
	水痘ワクチン	生後12か月～36か月未満児	524人	
	日本脳炎	生後6か月～未就学児	1,081人	
		小学生以上(特例接種対象者含む)	647人	
	二種混合	小学6年生	327人	
ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん)予防ワクチン	小学6年生～高校1年生の女子(特例接種対象者含む)	504人		

2. 定期予防接種（B類疾病）事業

(1) インフルエンザ予防接種

65歳以上の者（60歳～64歳未満の厚生労働省令で定める者を含む。）を対象にインフルエンザ予防接種を行い、個別の発病又はその重症化を防止し、併せてこれにより蔓延の予防に努めました。

対象者数	接種者数	接種率
9,265人	6,739人	72.7%

(2) 高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種

65歳の者、65歳に5の倍数を加えた年齢の100歳までの者（60歳～65歳未満の厚生労働省令で定める者を含む。）で過去に接種をしたことがない者を対象に高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種を実施し、個別の発病又はその重症化を防止しました。

対象者数	接種者数	接種率
978人	282人	28.8%

3. 高齢者肺炎球菌ワクチン助成事業（任意接種）

75歳以上の者（66歳～74歳未満の厚生労働省令で定める者を含む。）で定期予防接種の対象以外の者に対し、肺炎球菌による肺炎の予防、感染者の重症化防止のため、肺炎球菌ワクチンの接種費用を助成しました。（生活保護、町民税非課税世帯には全額助成、課税世帯には半額助成）

助 成 額	人 数
生活保護・町民税非課税世帯	4人
その他の世帯	10人

4. 風しんワクチン接種費用助成事業（任意接種）

風しんの流行及び風しん症候群の発生を抑えるため、妊娠を予定又は希望している女性及びその夫に対し、風しんワクチンの予防接種費用を助成しました。

対 象 者	件 数
妊娠を予定又は希望している女性	15件
上記の夫	4件

※助成額は、ワクチン接種費用の1/2（上限5,000円）

5. 風しん追加対策（風しん第5期）事業（定期接種A類）

平成31年度（令和元年度）から令和4年3月31日までの3年間に限り、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性に対し、風しん抗体検査を受けていただき、抗体価が低いと判定された方への予防接種事業を実施しました。しかし抗体保有率が国の目標を達成しなかったことから、令和4年度から3年間延長され、実施を継続することになりました。本事業実施により、風しんの感染防止や先天性風しん症候群の予防に努めました。

抗体検査受診件数	予防接種実施件数
129件	31件

6. 免疫を失った者への再予防接種助成事業

令和元年度から、骨髄移植手術等を受けたことによって、定期予防接種ワクチンの免疫が失われた者が任意で予防接種を再度接種する費用を助成する事業を開始しました。

今年度は対象者1名へ助成をしました。

対 象 者 数	接 種 回 数
1件	5件

7. ヒトパピローマウイルス感染症に係る任意接種償還払い事業

ヒトパピローマウイルスワクチン接種（子宮頸がん予防）の積極的勧奨の差し控えにより、平成9年4月2日から平成17年4月1日までの間に生まれた女子のうち、定期接種の年齢を超えて任意接種を受けた者へ助成を行う事業を、令和4年度から令和7年3月末までに限り

開始しました。

今年度は対象者2名へ助成をしました。

対 象 者 数	接 種 回 数
2件	4件

[6] 感染症予防費（臨時）

1. 新型コロナウイルス感染症対策協力金

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、町民に対して継続的な医療を提供いただいた26件の町内医療機関や調剤薬局に対して協力金を支払いました。

また、新型コロナウイルス感染者の入院受け入れ等にご尽力いただいた江南厚生病院、さくら総合病院、総合犬山中央病院に対しても同様に協力金を支払いました。

[8] 新型コロナウイルスワクチン接種事業費

(1) 予防接種体制確保事業

接種対象者に新型コロナウイルスワクチン接種券を作成（封入封緘作業も含めて委託）し郵送しました。

予防接種を受けるための予約システムを利用し、併せてコールセンター業務を委託しました。

4月の集団接種は、扶桑町総合福祉センターで実施し、集団接種の運営業務を委託しました。令和4年5月から令和5年3月までの集団接種は、会場を扶桑町保健センターに移して実施しました。

新型コロナウイルス感染症に係るPCR検査を委託し、費用の一部助成を1件実施しました。

新型コロナウイルス感染症の陽性者に、生活支援事業（買い物代行）を8件実施しました。

(2) 接種事業

初回接種完了後6カ月経過した方に4回目の追加接種を5月下旬から開始し、5回目の追加接種（オミクロン株対応ワクチン）を9月下旬から開始しました。

新型コロナワクチンの接種間隔が5月下旬から5カ月に短縮され、10月下旬からはさらに3カ月に短縮されました。

5歳から11歳までの小児に対する3回目接種を9月上旬から行いました。また、小児のオミクロン株対応ワクチン接種を令和5年3月上旬から開始しました。

生後6か月から4歳の乳幼児に対する初回接種（1～3回目）を11月から行いました。

人 口	初 回 接 種		追加接種（3～5回目含む）
	1回目接種	2回目接種	オミクロン株対応ワクチン接種
34,779人	27,254人	27,127人	14,290人
	78.36%	78.00%	41.09%

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
3. 健 康 推 進 費	円 21,750,000	円 19,806,083	% 91.1

【健康推進課】

[1] 健康増進事業費

1. 健康診査

(1) がん検診

死亡原因の第1位であるがんの予防対策として、集団検診・個別検診（医療機関）により早期発見に努めました。 (単位：回、人)

区 分	実施回数 実施期間	受診者数	異常なし	要精検	その他	
集 団	胃 が ん	10	323	204	37	82
	大 腸 が ん	10	536	504	32	0
	子 宮 頸 が ん	10	344	342	2	0
	乳 が ん	10	387	368	19	0
	前 立 腺 が ん	5	271	254	17	0
個 別	胃 が ん	R 4 年 7 月 ～ R 5 年 1 月	148	119	21	8
	肺 が ん		140	136	4	0
	大 腸 が ん		124	116	8	0
	子 宮 頸 が ん	R 4 年 9 月 ～ R 5 年 3 月	71	56	1	14
	乳 が ん		84	81	3	0

●めざそう値

施 策	健康づくり			
指 標 名	指 標 の 定 義	計 画 策 定 時	R 4 実 績 値	R 4 目 標 値
がん検診受診率	がん検診（胃・大腸・子宮・乳・肺・前立腺）の受診率の平均値（%）	10.7	11.6	13.0

(2) 一般健康診査

平成20年度より特定健康診査が開始され、生活保護等の理由により、どの健康保険にも加入していない方に対し、一般健康診査を実施し、生活習慣病の予防及び早期発見に努めました。(単位：人)

年 齢	受診者数	異常なし	異常あり(延)		
			血圧異常	脂質異常	血糖異常
40～64歳	1	0	1	0	0
65～74歳	7	2	4	5	1
75歳以上	5	0	3	2	3
合 計	13	2	8	7	4

(3) 肝炎ウイルス検診

40歳の節目の方及びこれまでに肝炎ウイルス検診を受けたことのない方に、肝炎ウイルス検診を行いB型・C型の肝炎の早期発見に努めました。(単位：人)

受診者数	B型陽性	B型陰性	C型に感染している可能性が高いもの	C型に感染している可能性が低いもの
83	0	83	0	83

(4) 胸部レントゲン撮影

40歳以上の方を対象に胸部レントゲン撮影を行い、結核および肺がんの早期発見に努めました。(単位：人)

受 診 者 数	異 常 な し	要 観 察	要 精 検
228	216	0	12

(5) さわやか健診

20歳から39歳までの若い世代の方に健診を実施し、若いうちから健康に関する関心を高め、生活習慣病の予防及び早期発見に努めました。(単位：人)

受診者数	正 常	要 指 導	要 精 検	要 医 療	要継続医療
38	28	0	5	5	0

(6) 骨検診

20歳以上の方を対象に超音波により骨密度を測定し、骨粗鬆症の早期発見に努めました。(単位：人)

受 診 者 数	正 常	要 注 意	骨 粗 鬆 症
97	40	39	18

(7) 成人・糖尿病・後期高齢者歯科健康診査

20歳・25歳・30歳・35歳・40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳に至る方を対象に、一般社団法人犬山扶桑歯科医師会の協力を得て、歯周病を中心とした口腔内の疾病予防と早期発見に努めました。特定健診の結果を基に、HbA1c5.6%以上の方に対し、歯科健診を実施し、糖尿病の発症予防や重症化予防に努めるとともに、後期高齢者の方を対象に歯科健康診査を実施しました。

(単位：人)

区 分	受 診 者	良 好	要 指 導	要 精 検
20 歳	48	5	25	18
25 歳	31	1	21	9
30 歳	41	8	21	12
35 歳	45	9	19	17
40 歳	57	11	22	24
45 歳	71	9	29	33
50 歳	75	15	26	34
55 歳	45	2	12	31
60 歳	57	8	21	28
65 歳	47	8	18	21
70 歳	55	6	20	29
糖 尿 病	132	16	43	73
後期高齢者	175	15	61	99
合 計	879	113	338	428

(8) 障害者通所施設歯科健康診査

障害者通所施設に通所する住民に対し、一般社団法人犬山扶桑歯科医師会の協力を得て、歯周病を中心とした口腔内の疾病予防と早期発見に努めました。

(単位：人)

受 診 者 数	良 好	要 指 導	要 精 密 検 査
23	9	9	5

2. 健康教育

成人に対する健康づくり、疾病予防など健康に関する正しい知識の普及を図ることにより、健康の保持増進に努めました。(単位：回、人)

名 称	実施回数	延べ人数	実 施 内 容
骨 コ ッ 教 室	1	16	・骨粗鬆症についての講話 ・骨を丈夫にする運動
口 腔 衛 生 指 導 教 室	0	0	歯科衛生士による歯みがき指導
出 前 講 座	1	15	メタボリックシンドローム等の健康教育、ふそう健康マイレージ等リーフレットの配布
8 0 2 0 歯 の 健 康 表 彰	1	85	80歳で20本以上歯のある方
血 液 さ ら さ ら 教 室	8	92	高血圧・糖尿病・脂質異常について、予防のための栄養、生活習慣の見直し、オーラルフレイルのチェックと改善、運動の効果、運動の種類と実技

口腔衛生指導教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために開催を中止しました。
8020歯の健康表彰は、かかりつけ歯科医師による表彰状や記念品の贈呈を行いました。

3. 健康相談

町内各所において心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導・助言を行いました。
重点健康相談 (単位：回、人)

名 称	開 催 回 数	延べ参加人数
歯 周 疾 患 健 康 相 談	0	0
成 人 栄 養 相 談	1	1
血液さらさら教室 事後栄養相談	1	3

歯周疾患健康相談は開催会場である総合福祉センターの休館や総合福祉センターが新型コロナワクチン接種会場となったため開催を中止しました。

総合健康相談 (単位：回、人)

名 称	開 催 回 数	延べ参加人数
み ん な の 健 康 相 談 室	12	52
健康相談(総合福祉センター)	0	0
が ん 検 診 時 健 康 相 談	18	388
で ん わ 相 談	随時	425
面 接 健 康 相 談	随時	71
さわやか健診事後健康相談	随時	0
出 前 講 座	6	55
健康サポート事業 健康相談	1	80

健康相談(総合福祉センター)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止しました。

4. 家庭訪問

心身の状況に応じ、健康の保持増進のため保健指導が必要な方に家庭訪問をしました。

訪 問 件 数 (実人数)	訪 問 件 数 (延べ人数)
8	19

5. 健康づくり推進協議会

例年、健康の保持増進、疾病予防を積極的に推進するために、各分野の代表者による健康づくりに関する協議会を年に2回開催していますが、新型コロナウイルス感染症対策として、今年度は書面報告としました。

6. 新型インフルエンザ等対策

新型インフルエンザ等対策特別措置法第8条に基づく「扶桑町新型インフルエンザ等対策行動計画」による新型インフルエンザ等対策訓練について、今年度の実施はありませんでした。

7. ふそう健康マイレージ事業

健康づくりのきっかけと継続をめざし、ふそう健康マイレージ事業を実施しました。

令和3年度から健康アプリを導入しています。

事業への参加は①チャレンジシート②アプリ「あいち健康プラス」の2つの方法が選べ、参加者の割合は、70歳以上が50%と1番多く、①チャレンジシートでの参加の6割を占めていました。令和4年度は幅広い年齢層でアプリを活用していました。

優待カード（MyCa（まいか）カード）の発行枚数は90枚（①チャレンジシート56名②アプリ34名）でした。

8. 健康サポート事業

健康づくりへの関心を高めるため、「第6回扶桑町ミステリーウォーク」において健康サポート事業を実施しました。各種健康機器による体組成測定88名、ベジメーター（野菜摂取量チェック）99名、クイックアーム（俊敏性測定）118名、計305名測定実施しました。また保健師による健康相談（乳がん自己検診チェッカー配布）80名、その他30名実施しました。

9. ラジオ体操放送

新型コロナウイルス感染症拡大防止による外出の自粛に伴い、自宅で手軽に行えるラジオ体操を午後1時30分から広報無線で放送しました。

10. がん患者アピアランスケア用品購入費補助金交付事業

がんの治療により、頭髮の脱毛や乳房の切除など、外見の変化による心理的不安を抱えている人が前向きに自分らしく生活できるよう、医療用ウィッグや乳房補整具購入費の一部の補助を行いました。

購 入 用 品	件 数
医療用ウィッグ	6 件
乳房補整具	1 件

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
4. 環 境 衛 生 費	円 22,250,000	円 20,224,686	% 90.9

【産業環境課】

[1] 地球環境保護促進事業費

1. 環境審議会（第1回：6月23日、第2回：3月15日に実施）

短期、中・長期目標の実施状況について協議し、評価しました。

2. 環境展の実施

廃品再利用コンテスト作品展 11点

10月22日～10月28日 扶桑町図書館

3. 環境美化活動

5月29日の「クリーンふそう530デー」を中心とした5月22日～6月5日までの環境美化530運動期間において、延べ2,968人の参加者が道路、公園、空き地等のごみや雑草の除去作業を行いました。

また、9月には老人クラブ会員延べ916人の参加者が美化活動を行いました。

4. アダプトプログラム（里親制度）

町民が里親となり、公共施設の美化及び清掃に努めました。

●めざそう値

施 策	環境保全・循環型社会			
指 標 名	指 標 の 定 義	計画策定時	R4実績値	R4目標値
アダプトプログラム参加団体数	協働によるアダプトプログラムに参加した団体数（団体）	25	28	28

5. 環境教育事業

(1) 親子で学ぼう！扶桑の自然

ミニビオトープの制作や身近な生物の観察を通じて、環境保護意識の向上をめざすため、教育委員会生涯学習課とともに、前期と後期に環境学習講座を実施しました。

前期は、6月19日、6月26日、7月24日、8月13日の全4回、親子12組の参加により実施しました。

後期は、11月13日、11月20日、3月18日、3月26日の全4回、親子17組の参加により実施しました。

前期の生涯学習講座「親子で学ぼう！ 扶桑の自然」

日 程	場 所	内 容
A日程	第1回 6月19日	扶桑町中央公民館 淡水生物の小さな水族館（ミニビオトープ）を作り、水中のいきものたちのつながりを学ぶ。
	第2回 6月26日	扶桑町中央公民館 身近にすむ昆虫の標本を作り、その生態を知る。
B日程	第1回 7月24日	扶桑町中央公民館 淡水生物の小さな水族館（ミニビオトープ）を作り、水中のいきものたちのつながりを学ぶ。
	第2回 8月13日	扶桑町中央公民館 昆虫の王様カブト・クワガタと触れあって、その生態を知る。

後期の生涯学習講座「親子で学ぼう！ 扶桑の自然」

日 程	場 所	内 容
A日程	第1回 11月13日	扶桑町中央公民館 淡水生物の小さな水族館（ミニビオトープ）を作り、水中のいきものたちのつながりを学ぶ。
	第2回 11月20日	扶桑町中央公民館 淡水のエビやカニと触れあって、その生態を知る。
B日程	第1回 3月18日	扶桑町中央公民館 淡水生物の小さな水族館（ミニビオトープ）を作り、水中のいきものたちのつながりを学ぶ。
	第2回 3月26日	扶桑町中央公民館 昆虫の王様カブト・クワガタたちの幼虫の観察をして、その生態・捕り方を知る。

(2) 緑のカーテン事業

役場、町内7保育園、扶桑東放課後児童クラブ館、山名放課後児童クラブ館、柏森放課後児童クラブ館、高雄小学校、柏森小学校、山名小学校、中央公民館、図書館及び福祉センターにて、ゴーヤ栽培による緑のカーテンを設置しました。また、5月14日に扶桑町役場駐車場にて、ゴーヤ苗300本を一般配布しました。

6. ごみ減量に向けての住民参加の取り組み

(1) エコクラブひまわりの会

寄贈を受けた不用品販売のリユースショップを月1回開催し、資源回収も同時開催しました。

(2) フリーマーケットINふそう会

4月17日、10月30日にフリーマーケットを扶桑町役場駐車場で開催しました。

7. 地球環境保護宣言事業

エコクラブひまわりの会との共催により環境映画上映会を行いました。

8. 住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金

住宅で行う再生可能エネルギーの利用を促進し、温室効果ガス排出の抑制を通じて地球温

暖化防止に寄与することを目的に、住宅用地球温暖化対策設備を設置する方に対して54件5,868,000円の補助をしました。

年度	家庭用エネルギー管理システム		定置用リチウムイオン蓄電システム		一体型設置 (HEMS)		一体型設置 (ZEH)	
	件数	費用	件数	費用	件数	費用	件数	費用
R 2	1件	10,000円	18件	1,800,000円	6件	953,500円	9件	1,338,100円
R 3	9件	90,000円	27件	2,700,000円	6件	939,800円	3件	484,900円
R 4	10件	98,500円	19件	1,830,500円	24件	3,776,200円	1件	162,800円

[2]・[3] 環境保全対策事業費

1. 公害苦情等の発生状況

公害監視とともに環境問題全般の改善・確認を行いました。

公害苦情発生状況の推移

(単位：件)

年度	区分	騒音	振動	悪臭	水質汚濁	雑草	その他	計
R 2		10	2	28	1	29	49	119
R 3		6	1	33	2	22	53	117
R 4		11	1	9	1	29	34	85

(過去3年)

2. 河川等の環境調査

河川等の生活環境を保全するため、次のとおり各種調査を実施しました。

(1) 河川水質調査

生活環境に係る環境基準の4項目（pH、生物化学的酸素要求量、浮遊物質量、溶存酸素量）及び化学的酸素要求量、大腸菌群数、ヘキササン抽出物質、陰イオン界面活性剤、カドミウム、銅、全クロム、全窒素、全リンについて、14地点で年2回実施しました。

※重金属類については、全クロムが前年と同様に高い河川が2地点あったため、全クロムのうち毒性のある六価クロムについて再調査を行ったところ、いずれの地点でも環境基準以下でした。

生活環境の保全に関する環境基準（C類型に準ずる）

項目	pH	生物化学的酸素要求量	浮遊物質量	溶存酸素量	大腸菌群数
基準値	6.5以上 8.5以下	5mg/ℓ以下	50mg/ℓ以下	5mg/ℓ以上	—

人の健康の保護に関する環境基準（主要項目の抜粋）

項目	六価クロム	カドミウム	全シアン	鉛	砒素	総水銀
基準値	0.05mg/ℓ以下	0.003mg/ℓ以下	検出されないこと	0.01mg/ℓ以下	0.01mg/ℓ以下	0.0005mg/ℓ以下

河川水質調査結果

場 所	般若用水(小淵排水合流)		般若用水(扶桑台付近)		丹羽用水(伊勢埴付近)	
	R 4.6.1	R 4.12.7	R 4.6.1	R 4.12.7	R 4.6.1	R 4.12.7
採 取 日	R 4.6.1	R 4.12.7	R 4.6.1	R 4.12.7	R 4.6.1	R 4.12.7
pH (水温℃)	7.1 (23)	7.4 (15)	9.3 (21)	7.5 (14)	9.2 (22)	7.2 (14)
生物化学的酸素要求量 (mg/l)	17	17	60	63	2.0	57
化学的酸素要求量 (mg/l)	18	15	38	26	3.0	24
浮遊物質 (mg/l)	9	7	16	18	2	17
ヘキサソ抽出物質 (mg/l)	1.4	0.9	3.2	1.8	<0.5	2.7
銅 (mg/l)	<0.01	0.01	0.02	0.02	<0.01	<0.01
全クロム (mg/l)	0.72	0.25	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
全窒素 (mg/l)	8.8	11	9.3	13	0.74	9.1
全リン (mg/l)	1.0	1.7	2.8	2.4	0.13	2.4
カドミウム (mg/l)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
溶存酸素量 (mg/l)	6.6	7.6	14	6.8	12	6.7
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	0.22	0.32	3.8	1.9	0.03	0.43
大腸菌群数 (MPN/100ml)	4.0×10 ²	1.0×10 ²	5.2×10 ³	30	3.0×10 ²	2.0×10 ²
臭 気	なし	なし	弱下水臭	なし	なし	なし
透 視 度 (cm)	>50	>50	23	22	>50	26
色 相	淡灰黄	淡黄色	淡黄色	灰黄色	無色透明	灰黄色
気 温 (℃)	21.7	10.4	22.7	9.2	25.4	11.0
水 温 (℃)	20.2	13.5	20.7	10.7	22.0	13.5

場 所	青木川(十六銀行付近)		木津用水(神明橋)		合瀬川(大口境)	
	R 4.6.1	R 4.12.7	R 4.6.1	R 4.12.7	R 4.6.1	R 4.12.7
採 取 日	R 4.6.1	R 4.12.7	R 4.6.1	R 4.12.7	R 4.6.1	R 4.12.7
pH (水温℃)	8.8 (24)	7.4 (14)	7.8 (24)	9.0 (14)	7.9 (22)	9.1 (14)
生物化学的酸素要求量 (mg/l)	5.7	8.7	0.8	2.2	1.2	1.8
化学的酸素要求量 (mg/l)	10	12	1.7	2.6	3.0	3.2
浮遊物質 (mg/l)	6	10	2	<1	4	<1
ヘキサソ抽出物質 (mg/l)	0.6	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
銅 (mg/l)	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
全クロム (mg/l)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
全窒素 (mg/l)	9.0	15	0.37	0.52	1.1	1.6
全リン (mg/l)	0.88	0.99	0.006	0.038	0.080	0.11
カドミウム (mg/l)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
溶存酸素量 (mg/l)	13	6.7	10	14	11	16
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	0.10	0.10	0.01	0.02	0.14	0.03
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1.9×10 ³	22	<10	<10	14	<10
臭 気	なし	なし	なし	なし	なし	なし
透 視 度 (cm)	>50	>50	>50	>50	>50	>50
色 相	淡黄色	淡黄色	無色透明	淡黄色	淡黄色	淡黄色
気 温 (℃)	27.5	13.4	26.2	12.3	26.8	11.5
水 温 (℃)	25.7	12.8	18.8	13.5	20.8	10.0

河川水質調査（重金属類）結果

場 所	小淵排水上流		小淵排水下流		
	採 取 日	R 4.6.1	R 4.12.7	R 4.6.1	R 4.12.7
銅 (mg/l)		0.01	0.02	<0.01	<0.01
全クロム (mg/l)		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム (mg/l)		<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
全シアン (mg/l)		ND	ND	ND	ND
鉛 (mg/l)		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
砒 素 (mg/l)		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
総 水 銀 (mg/l)		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005

場 所	般若用水上流		般若用水下流		
	採 取 日	R 4.6.1	R 4.12.7	R 4.6.1	R 4.12.7
銅 (mg/l)		0.02	0.02	<0.01	<0.01
全クロム (mg/l)		<0.01	<0.01	0.13	0.37
カドミウム (mg/l)		<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
全シアン (mg/l)		ND	ND	ND	ND
鉛 (mg/l)		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
砒 素 (mg/l)		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
総 水 銀 (mg/l)		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005

場 所	青木川上流		青木川下流		
	採 取 日	R 4.6.1	R 4.12.7	R 4.6.1	R 4.12.7
銅 (mg/l)		<0.01	<0.01	0.01	0.01
全クロム (mg/l)		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム (mg/l)		<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
全シアン (mg/l)		ND	ND	ND	ND
鉛 (mg/l)		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
砒 素 (mg/l)		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
総 水 銀 (mg/l)		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005

場 所	木津用水上流		木津用水下流		
	採 取 日	R 4.6.1	R 4.12.7	R 4.6.1	R 4.12.7
銅 (mg/l)		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
全クロム (mg/l)		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム (mg/l)		<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
全シアン (mg/l)		ND	ND	ND	ND
鉛 (mg/l)		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
砒 素 (mg/l)		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
総 水 銀 (mg/l)		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005

3. 犬の登録・狂犬病予防注射

関係団体の協力のもと、実施しました。

(単位：件)

年 度		R 2	R 3	R 4
新規登録		108	143	114
注射済票 交付数	集合	90	84	81
	その他	1,526	1,567	1,512
	計	1,616	1,651	1,593
年度末登録数		2,214	2,148	2,153

4. 猫の去勢避妊手術費補助金

野良猫	雄 11匹	6,600円
	雌 9匹	90,000円
	小 計	156,000円
飼い猫	雄 30匹	45,000円
	雌 53匹	132,500円
	小 計	177,500円
合 計	103匹	333,500円

[4] 合併処理浄化槽設置整備事業費

下水道予定処理区域を除いた地域の一般家庭で、汲み取りや単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ切り換えた場合に補助金を交付する事業で、平成16年度から開始し、今年度は41基計10,972,000円を助成しました。

年 度	R 2	R 3	R 4	累 計
助成基数	1	40	41	156
助成金額(円)	292,000	10,840,000	10,972,000	40,544,000

●めざそう値

施 策	環境保全・循環型社会			
指 標 名	指 標 の 定 義	計画策定時	R 4 実績値	R 4 目標値
合併処理浄化槽 設 置 数	合併処理浄化槽の設置基数(基)	214	308	234

4款 衛生費 2項 清掃費

目	予算現額	決算額	執行率
1. ごみ処理費	円 411,635,000	円 402,986,085	% 97.9

【産業環境課】

- [1]・[2] ごみ集積所運営費 [3] 粗大ごみ収集処理事業費
 [4] 不燃性ごみ収集処理事業費 [5] 可燃性ごみ収集処理事業費
 [6]・[7] 資源ごみ収集処理事業費

1. ごみ処理事業

(1) 一般廃棄物の処理体制

区分	種類	収集方法	有料・無料	処理先
一般廃棄物 (家庭系)	可燃性ごみ	委託業者収集 (週2回)	無料	江南丹羽環境管理組合
	可燃性ごみ	自己搬入	有料	江南丹羽環境管理組合
	埋立ごみ (不燃性ごみ)	委託業者収集 (月1回)	無料	廃棄物埋立処理業者
	資源ごみ	委託業者収集 (月1回)	無料	資源ごみ中間処理業者
	プラスチック	委託業者収集 (月1回) ※注1	無料	江南丹羽環境管理組合 資源ごみ中間処理業者
	小型ごみ	委託業者収集 (月1回)	無料	江南丹羽環境管理組合 家電ごみ中間処理業者 資源ごみ中間処理業者
	粗大ごみ	戸別収集	有料	江南丹羽環境管理組合 家電ごみ中間処理業者 資源ごみ中間処理業者
	有害ごみ (蛍光管・乾電池)	委託業者収集 (月1回)	無料	水銀廃棄物処理業者 一般廃棄物処理業者
	廃食用油	委託業者収集 (月1回)	無料	廃食用油再生処理業者
一般廃棄物 (事業系)	可燃性ごみ	直接搬入 許可業者搬入	有料	江南丹羽環境管理組合

※注1 プラスチック製容器包装・廃プラスチックは月2回収集

(2) 町収集分ごみ推移表

(単位：t)

区分	年度	R 2	R 3	R 4
1	可燃性ごみ	5,363.37	5,307.81	5,320.49
2	*廃プラ	310.97	290.07	270.10
	*PETボトル等	32.50	33.27	32.91
	*容器プラ	135.08	134.22	131.11
	*アルミカン	11.62	12.46	12.93
	*スチールカン	27.79	24.57	22.54
	*鉄類	39.57	30.40	28.84
	*紙類	227.56	223.06	204.97
	*古着	28.43	25.75	20.19
	*びん	138.75	104.86	124.69
	分別小計	952.27	878.66	848.28
3	粗大・小型可燃	337.25	169.23	166.91
	*粗大・小型金属	15.76	17.60	4.34
	粗大・小型家電	27.01	29.02	28.46
	粗大・小型小計	380.02	215.85	199.71
4	埋立ごみ 町外搬出分	87.745	113.899	67.6
5	*剪定枝	58.46	55.99	46.34
合計		6,841.87	6,572.21	6,482.42
対前年伸率		104.7%	96.1%	98.6%
*印合計 (リサイクル率)		1026.49 (15.0%)	952.25 (14.5%)	898.96 (13.9%)
廃食用油(ℓ)		4,757	4,426	3,511
組成比率	ひまわり号収集 可燃性ごみ	5,363.37 78.4%	5,307.81 80.8%	5,320.49 82.1%
	分別ごみ	952.27 13.9%	878.66 13.4%	848.28 13.1%
	粗大・小型ごみ	380.02 5.6%	215.85 3.3%	199.71 3.1%
	埋立ごみ	87.75 1.3%	113.90 1.7%	67.6 1.0%
	剪定枝	58.46 0.8%	55.99 0.9%	46.34 0.7%
排出量(g/人/日)		537	515	507
ごみ処理費(円/人)		12,256	11,355	11,521

(参考)

年平均人口(人)	34,898	34,962	34,984
年間ごみ処理費(千円)	427,716	396,988	402,986

「*」は資源ごみ

※割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため合計が100%とならない年があります。

2. 資源ごみ回収拠点利用者数

仕事などで指定日に資源ごみを出せない人のため、小淵堤外にて資源ごみ回収拠点を設けました。

(単位：人)

年度	開所日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R 2	月～土	2,012	2,179	1,998	1,776	2,259	1,984	1,956	2,140	2,358	1,931	1,902	1,996	24,491
R 3	月～土	2,073	2,156	2,269	2,272	2,235	2,393	2,362	2,261	2,306	2,122	1,936	2,196	26,581
R 4	月～土	2,361	2,231	2,174	2,197	2,307	2,148	2,273	2,189	2,254	2,151	1,887	2,040	26,212

月曜日～金曜日 午前9時から正午

土曜日 午前9時から午後3時（正午から午後1時までを除く）

3. 剪定枝チップ化事業

CO₂削減と資源循環を図るため、毎週月曜日～金曜日の午前中に小淵堤外の資源ごみ回収拠点にて剪定枝を無料回収し、回収した剪定枝をチップ化後に堆肥化する事業を実施しました。

(単位：人)

年 度	R 2	R 3	R 4
利用 者 数	1,310	1,326	1,487

●めざそう値

施 策	環境保全・循環型社会			
指 標 名	指 標 の 定 義	計 画 策 定 時	R 4 実 績 値	R 4 目 標 値
一人1日あたりの家庭系ごみ排出量（資源ごみを除く）	ごみ処理基本計画のごみ排出量目標値（g）	454	438	439

[8] 負担金補助及び交付金

1. 資源ごみ売上金交付事業

各地区集積所を通じて町が収集した資源ごみ（スチール缶・アルミ缶・鉄類・紙類・古着・びん）の売上金の全額を、地区に交付しました。

(単位：円)

年 度	資源ごみ売上交付金
R 2	1,525,769
R 3	3,026,364
R 4	2,808,948

2. 生ごみ処理機等購入補助事業

家庭から排出される生ごみを再利用することを目的とし、町内の販売店で生ごみ堆肥化容器（コンポスト・生ごみ処理容器）や生ごみ処理機を購入した場合、購入金額の一部を助成しました。

生ごみ堆肥化容器（コンポスト・生ごみ処理容器）

（1/2 1基当たり最高4,000円 1世帯各2基まで）

年度	区分	助成件数	助成基数	助成金額（円）
R 2		11	13	37,800
R 3		5	7	25,800
R 4		13	14	50,900

3. 資源ごみ集団回収事業奨励交付金事業

集団回収事業を活性化し、ごみ減量及びリサイクルの推進を目的とする補助金です。

P T Aや子ども会などの営利を目的としない団体が、集団回収事業を実施した際の売上金額が基準に達しない場合、その差額を補助しました。

区分	年度	R 2	R 3	R 4
新聞紙 (基準5円/kg)		99,580kg 55,495円	88,580kg 8,400円	87,090kg 0円
雑誌 (基準5円/kg)		98,420kg 164,715円	102,400kg 104,830円	97,984kg 97,086円
アルミカン (基準40円/kg)		1,151kg 5,380円	1,192kg 3,000円	1,858kg 0円
ダンボール (基準5円/kg)		32,290kg 42,310円	32,657kg 1,540円	35,432kg 0円
ウエス (基準5円/kg)		16,816kg 64,784円	17,710kg 41,700円	18,526kg 41,872円
合計		248,257kg 332,684円	242,539kg 159,470円	240,890kg 138,958円

*雑紙含む

[9] 江南丹羽環境管理組合負担金

組合運営のため、事業運営費等合計199,613,885円の負担金を支出しました。

[10] 尾張北部環境組合負担金

組合運営のため、ごみ処理施設建設費等合計13,133,210円の負担金を支出しました。

[11] 資源ごみ回収拠点整備事業費

小淵堤外資源ごみ回収拠点内の衛生状態改善、搬入住民の利便性向上に向けアスファルト舗装工事を実施しました。

延長 133m 面積 398㎡ 事業費 5,555,000円

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. し 尿 処 理 費	113,340,000 ^円	112,918,120 ^円	99.6 [%]

【産業環境課】

[1] し尿収集運搬事業費

1. し尿等処理体制

区 分	種 類	収集方法	有料・無料	処 理 先
一般廃棄物	し尿	委託業者収集 定期：月1 - 2回 臨時：随時	有料	愛北広域事務組合
	浄化槽汚泥	浄化槽清掃許可業者	有料	愛北広域事務組合

2. し尿等処理の実績

(単位：kℓ)

区分 \ 年度	R 2	R 3	R 4
し 尿	920.99	752.76	730.02
浄化槽汚泥	13,562.31	13,846.67	13,950.53

[2] 愛北広域事務組合負担金

組合運営のため、火葬場事業・し尿処理場運営費等合計79,827,782円の負担金を支出しました。

5款 労働費 1項 労働諸費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 労 働 諸 費	円 7,343,000	円 6,130,365	% 83.5

【産業環境課】

[1]・[2] 労政一般事務費

1. 就職フェアの実施

求職者の就職機会拡大と、地元の中小企業の人材確保を図るため、扶桑町・大口町による合同企業説明会をオンラインにて実施しました。

- (1) 実施日 (1回目) 5月26日 (2回目) 10月13日
- (2) 内 容 合同企業説明会、就職支援セミナー、個人相談
- (3) 参加者 (1回目) 企業31社 (内、町内11社)、求職者 30人
(2回目) 企業28社 (内、町内9社)、求職者 13人

[3] 勤労者等資金預託金

1. 勤労者等生活資金貸付

勤労者の生活条件の改善向上のために必要な生活資金の融資のあっせんを行っていますが、貸付実績はありませんでした。

2. 勤労者住宅資金貸付

勤労者の生活環境の改善向上のために必要な住宅資金の融資のあっせんを行っていますが、貸付実績はありませんでした。

[4] 緊急経済対策事業費

緊急経済対策として、勤労者等生活資金の普通貸付に対する利子助成を行っていますが、対象者がいなかったため、本年度の利子助成はありませんでした。

6款 農林水産業費 1項 農業費

目	予算現額	決算額	執行率
1. 農業委員会費	円 9,673,000	円 8,474,779	% 87.6

【産業環境課】

[1] 農業委員会一般事務費

1. 農業委員会

毎月開催される総会では、農地の利用関係及び農業振興等の諸問題について審議しました。

(1) 農業委員会の審議内容

内容	月												計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1. 農地の利用関係	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
2. 農業経営基盤強化促進関係	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
3. 農業振興地域関係					○			○				○	3
合計	2	2	2	2	3	2	2	3	2	2	3	2	27

(2) 農業委員会の適正な事務実施のため、議事録作成の外部委託をしました。

(3) デジタル化された農地台帳と土地情報を連携させ、筆毎の管理が必要となった農地管理業務の効率化を図りました。

(4) 農地パトロール

農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員により、利用状況調査（農地パトロール）を適宜しました。

また、土地所有者への農地の管理についての指導と併せ、担い手への耕作放棄地の紹介を行い、優良農地の保全に努めました。

(5) 農地等の利用関係

区分	受付件数	許可件数	面積 (㎡)	備考
権利移動の制限	2	2	1,027	農地法第3条
転用の制限(許可申請)	1	1	70	農地法第4条
転用の制限(届出)	10	10	3,607	〃
転用の権利制限(許可申請)	37	37	45,480	農地法第5条
転用の権利制限(届出)	61	61	16,858.41	〃
賃貸借等の解約・解除	19	19	13,488	農地法第18条
現況証明願	11	11	3,472.22	
許可された旨の証明願	1	1	961	
届出書が受理された旨の証明願	6	6	1,505	
合計	148	148	86,468.63	

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. 農 業 総 務 費	円 28,125,000	円 27,206,989	% 96.7

【産業環境課】

[1] 農業総務一般事務費

1. 家庭菜園

町内8か所の家庭菜園に対し、入園者が土に親しみながら野菜等を栽培して楽しむことができるよう、整備・管理を行いました。

2. 補助金

愛北漁業協同組合が行う稚魚の放流、水質監視、河川の清掃等に対して、遊漁者サービスの向上のため助成しました。

[2] 森林環境譲与税基金積立金

公共施設等への木材利用の促進に向け570,000円を積み立てました。

積立金6,720,494円は、児童館整備事業費に充てました。

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
3. 農 業 振 興 費	円 16,943,000	円 16,028,655	% 94.6

【産業環境課】

[1] 地域農政総合推進費

1. 地域農政総合推進費

- (1) 地域農政推進事業として効率的・安定的な農業経営の確立をめざすため農家を認定し、計画達成に向けて支援していく認定農業者制度の普及活動を行いました。
- (2) 農業振興地域整備促進事業として、農事組合長や各農業団体に対し機会あるごとにパンフレット等により農地の有効利用についてなどの啓発、宣伝活動を行いました。
- (3) 農業振興地域整備計画の変更（農用地区域除外）申出に対し、協議会を3回開催しました。

除 外 目 的	受付件数	面積 (㎡)	除外件数	面積 (㎡)
分家・自己用住宅	2	625	1	405
店 舗	0	0	0	0
診 療 所	0	0	0	0
資 材 置 場	0	0	0	0
駐 車 場	2	3,080	0	0
農業用倉庫(用途区分変更)	0	0	0	0
工 場	1	15,824	3	27,684
そ の 他	0	0	1	3,022

- (4) 農業経営基盤強化促進事業（農用地利用集積計画）

●めざそう値

施 策	農業			
指 標 名	指 標 の 定 義	計画策定時	R4実績値	R4目標値
認定農業者数	認定農業者の数（経営体）	10	9	15
認定農業者による農用地利用集積面積	認定農業者による利用権設定農地の面積（ha）	35	61	50

[2] 農業振興対策事業費

1. 部会組織育成指導費補助金

- 各農業生産部会に対し、尾張農林水産事務所や愛知北農業協同組合扶桑支店と連携し、研修、営農活動等の活動推進及び育成指導を行いました。

2. 病害虫防除対策費補助金

特産の根菜類などの連作等による土壌病害虫防除対策、地力増進作物推進対策、水稲作付に対する病害虫防除対策を行い、良品生産、収量安定に寄与しました。

区分	対象農家	対象面積	対象作物	病害虫名	使用薬剤名	使用量	事業費(円)
土壌病害虫防除対策費	6戸	1,660 a	ゴボウ ダイコン 守口大根	センチュウ類	テロン 92 バスアミド細粒	3,000 ℓ 870kg	3,828,570
地力増進作物推進対策費	3戸	1,600 a	ゴボウ ダイコン 守口大根	—	ヘイオーツ	112袋	284,816
水稲病害虫防除対策費	290戸	8,160 a	水稲	ジャンボタニ駆除 もみ消毒 苗代防除	トリフミン乳剤 スミチオン乳剤 ロイヤント乳剤 エクシードフロアブル スクミンベイト3	3 ℓ 1 ℓ 12 ℓ 20 ℓ 32kg	540,700

3. 特産物生産振興対策費補助金

守口大根のウィルス病及び病害虫の発生を防止し、優良種子の採種に寄与しました。

対象農家	対象面積	対象作物	使用薬剤名	使用量	事業費(円)
5戸	650 a	守口大根	フォース粒剤 アルバリン粒剤	1kg 50 g	137,383

町内4小学校の3年生から5年生を対象に、町の特産品である守口大根の種まきから守口漬になるまでの体験学習を生産農家と漬物業者の協力を得て行いました。

体験内容	学年	人数
種まき・収穫	3年生	340
漬け込み2回	4年生	308
仕上げ漬け・完成品持ち帰り	5年生	338

4. 農業近代化資金等利子補給金

農業近代化のために生産施設の規模拡大、経営改善等必要な資金融資を受けた農家に対して利子補給を行いました。

区分	件数	利子補給額(円)
7月(1月～6月)	1	37
1月(7月～12月)	0	0
計	1	37

5. 水田農業構造改革対策推進費補助金

本町の生産数量及び面積換算値は下記のとおりで、目標を達成しました。

年 度	生産目標数量	生産数量	実施面積	生産実施農家戸数
R 4	280 t	192 t	42ha	290戸

令和4年度 集団転作等実施農家へ交付された助成金

水田農業構造改革対策推進費補助金（町補助金） 3,405,500円（土地利用集積助成）

水田活用の直接支払交付金（国直轄） 3,026,604円

6. 農地集積推進事業費補助金

農地集積・集約化を推進し、農業振興を図るため、農地所有者等に補助を行っていますが、事業の活用はありませんでした。

[3] 農業振興対策事業費（臨時）

1. 産地パワーアップ事業補助金

栽培施設や共同利用施設の整備や改修、高性能な農業機械の導入などを支援することで、農業の生産力の強化を図るため、補助金を交付しました。

事業費 7,975,000円 補助金 3,624,000円

2. 肥料等価格高騰対策支援金

原油価格・物価高騰に伴う肥料又は農薬の価格高騰により、経済的に影響を受けている農業者の支援を行い、経営の安定化及び事業の継続を図るため、支援金を交付しました。

支援者件数 24件 支援金 2,033,000円

3. 国産小麦産地生産性向上事業補助金

小麦及びその代替となり得る麦の生産拡大、作付けの団地化推進、新たな営農技術の導入等の支援により、小麦等の供給体制の強化を図るため補助金を交付しました。

事業費 7,260,000円 補助金 3,300,000円

[4] 水田農業経営所得安定対策推進費

1. 経営所得安定対策の推進及びこれを円滑に実施するため、行政と農業者団体等の連携体制の構築、戦略作物の生産振興や米の需給調整の推進、地域農業の振興を目的とする地域農業再生協議会活動の指導を行いました。

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
4. 緑 化 推 進 費	円 6,856,000	円 1,548,664	% 22.6

【都市整備課】

[1]・[2] 緑化推進事業費

1. 花いっぱい運動の推進

花と緑の潤いのある町づくりのため、花いっぱい運動を実施しました。

植 苗 場 所		花の種類 (期間)
柏 森 駅 南 北 広 場	柏 森 小 学 校	ベゴニア等 (令和4年6月～ 令和4年10月)
扶 桑 駅 東 西 広 場	山 名 小 学 校	
扶 桑 町 役 場	扶 桑 中 学 校	
高 雄 保 育 園	扶 桑 北 中 学 校	
高 雄 西 保 育 園	中 央 公 民 館	
高 雄 南 保 育 園	図 書 館	
山 名 保 育 園	文 化 会 館	
柏 森 南 保 育 園	高 雄 学 習 等 供 用 施 設	パンジー等 (令和4年11月～ 令和5年5月)
斎 藤 保 育 園	扶 桑 東 学 習 等 供 用 施 設	
柏 森 保 育 園	高 雄 西 学 習 等 供 用 施 設	
つ く し 学 園	山 名 学 習 等 供 用 施 設	
保 健 セ ン タ ー	山 名 西 学 習 等 供 用 施 設	
総 合 体 育 館	斎 藤 学 習 等 供 用 施 設	合計 1,196,839円
い こ い の 家	柏 森 学 習 等 供 用 施 設	
高 雄 小 学 校	柏 森 中 央 学 習 等 供 用 施 設	
扶 桑 東 小 学 校		

2. 記念樹配布事業

緑化の保全と創出を推進するため、住宅の新築・購入、出生などの記念に、記念樹を配布しました。

91本 108,460円

3. 緑化木配布事業

緑化推進のため、町制70周年記念事業会場（令和4年10月29日(土) イオン扶桑）で、緑化木を配布しました。

ラズベリー 350本 192,500円

4. 都市緑化推進事業補助金

あいち森と緑づくり都市緑化推進事業に基づく間接補助事業により、民有地の緑化事業に対し補助金を交付していますが、令和4年度は実績がありませんでした。

[3] 緑地保全事業費

自然環境を保全し、緑を保全保護するため、保存樹木に緑化推進交付金を交付しました。

1. 保存樹木 37本（うち町保有6本）

※令和5年2月10日に1本指定解除（令和5年3月末 保存樹木本数36本）

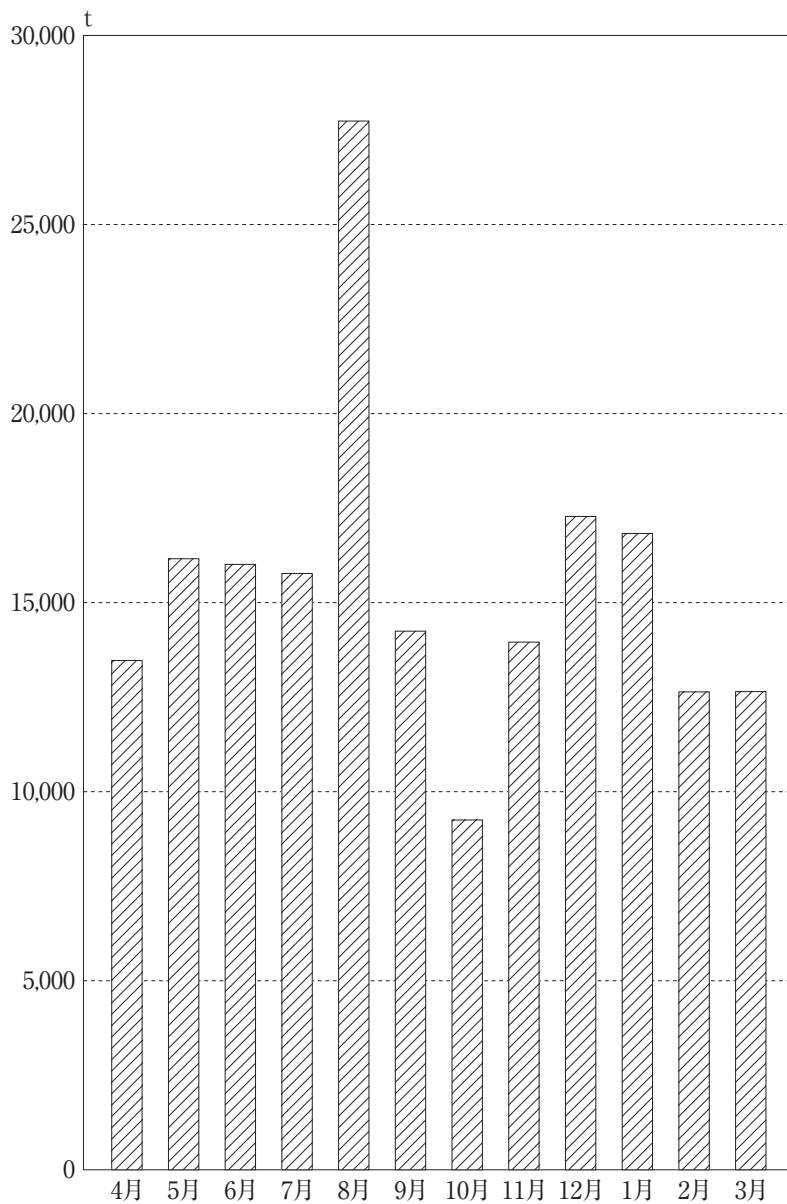
目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
5. 農 地 費	37,865,000 ^円	36,808,573 ^円	97.2 [%]

【産業環境課】

[1]・[2] 土地改良総務費

扶桑土地改良区の円滑な管理・運営を指導しました。また、畑地かんがい用水の維持管理に要する費用等に6,504,000円を補助しました。

畑地かんがい取水状況（利用状況）



	取水量 (t)
4月	13,470
5月	16,160
6月	16,011
7月	15,769
8月	27,736
9月	14,245
10月	9,251
11月	13,955
12月	17,279
1月	16,829
2月	12,639
3月	12,646
合計	185,990

【土 木 課】

[1] 単県土地改良事業費

1. 農村総合整備事業

集落間の生活道路整備と農業生産向上のため、排水及び舗装整備等による農村総合整備事業を実施しました。

事業名	地区名	事業概要	事業費	備考
単独県費補助 集落間排水路整備工事(その1)	森	延長 L = 85m 排水工 L = 85m	3,795,000円	県費補助 1,897,000円
単独県費補助 集落間排水路整備工事(その2)	榎	延長 L = 65m 排水工 L = 64m	2,728,000円	県費補助 1,364,000円
単独県費補助 集落間排水路整備工事(その3)	山神	延長 L = 72m 排水工 L = 72m	3,003,000円	県費補助 1,501,000円

[2] 土地改良総務費

1. 関係各機関の円滑な事業執行を図るため負担金を支出しました。

- | | |
|-------------------------------|------------|
| (1) 木津用水排水負担金 | 1,753,000円 |
| (2) 昭和用排水路維持管理費負担金 | 2,566,993円 |
| (3) 濃尾用水地区用排水対策協議会負担金 | 921,317円 |
| (4) 愛知県土地改良事業団体連合会負担金 | 83,310円 |
| (5) 木津用水浄化施設負担金 | 1,510,000円 |
| (6) 尾張西部排水対策推進協議会負担金 | 10,000円 |
| (7) 国営造成施設管理体制整備促進事業木津用水地区負担金 | 13,780円 |

[3] 用排水維持管理事業費

1. 用排水路の適正な維持管理を行い、良好な農業生産基盤の整備を図るため用排水路浚渫及び草刈、杵管理謝金等報奨金を支出しました。

1,689,161円

[4] 用排水施設整備事業費

1. 浸水被害の起因となっている丹羽排水路の改修を関係市町と連携して行うことにより軽減を図るため負担金を支出しました。

- | | |
|-----------------------|------------|
| (1) 丹羽排水地区負担金 | 4,840,355円 |
| (2) 愛知県土地改良事業団体連合会負担金 | 39,140円 |

7款 商工費 1項 商工費

目	予算現額	決算額	執行率
1. 商工総務費	円 13,194,000	円 12,116,037	% 91.8

【産業環境課】

[1] 商品量目検査関係事務費

1. 全国一斉量目検査の実施

商取引の円滑化と消費者保護のための量目検査を実施し、商品の正量取引確保のため商業者の指導に努めました。

区 分	検査店数(店)	検 査 商 品			
		総 数	適正数	過量数	不足数
11月29日実施分	3	11	11	0	0

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. 商 工 業 振 興 費	円 218,220,000	円 206,735,875	% 94.7

【産業環境課】

[1]・[2] 商工業振興事業費

1. 商工会補助

(1) 商工会補助金額 14,700,000円

(2) 商工会の状況

(一) 会 員 数 601人

(二) 役員構成 会長1名 副会長2名 理事21名 監事2名

(三) 事務局 事務局長1名 経営指導員2名 補助員1名 記帳指導員2名

(四) 主な事業

イ. 講習会の開催等

- ・講習会の開催 集団（1回 参加人数 7名 内容は経営革新）
個別（8回 参加人数 139名 内容は労働、税務）

- ・経営指導員による巡回指導・窓口指導

- ・小規模企業への情報提供

- ・記帳継続指導

- ・社会保険事務代行

ロ. 一般事務

- ・青年部、女性部の活動を推進し、若年経営者等の育成

- ・各種金融融資制度の紹介あっせん

- ・税務対策事業として青色申告事業の協力

2. 小規模企業等振興資金融資信用保証料助成・不況対策に係る保証料助成・利子助成及び日本政策金融公庫支払利子助成

小規模企業等振興資金保証料助成		不況に係る保証料助成	
件 数	金 額 (円)	件 数	金 額 (円)
26	2,523,700	10	563,600

不況に係る利子助成		日本政策金融公庫支払利子助成	
件 数	金 額 (円)	件 数	金 額 (円)
21	338,500	22	42,700

3. 中小商工業者等活性化支援事業補助

町内事業者の競争力の強化、創造的産業の育成を図るため、特許・実用新案出願や国際規格の認証を取得しようとする事業者に対し、1件244,750円を補助しました。

4. 中小企業信用保険法第2条第5項第4号若しくは第5号又は第6項認定分保証料助成

5号認定分（セーフティネット）保証料助成	
件数	金額（円）
0	0

5. 創業等支援資金融資信用保証料補助

創業者等の負担軽減と町内産業の発展及び振興を図ることを目的に、創業のための資金融資を受けた3事業者に対し、保証料相当額1,492,600円を助成しました。

6. 創業等支援資金融資利子補給

創業等支援資金融資を受けた4事業者に対し、209,300円の利子補給を行いました。

7. 中小企業振興費補助金

中小企業者の継続した経営のため、新たな設備投資事業（工場等の新設・増設）を施工した企業に対する補助制度について周知を行いましたが、今年度の申請はありませんでした。

8. 扶桑町内企業再投資促進補助金

企業等の流出防止及び雇用の維持拡大を図り、地域経済の振興及び地域の活性化に資することを目的として、扶桑町内に長年立地する事業者を対象に、工場又は研究所の新設又は増設経費及び、それら建物内に新たに設置する機械設備費の固定資産取得費用（土地を除く）として、1件27,299,000円を補助しました。

9. テレワーク導入等支援補助金

新しい生活様式への対応や中小企業の従業員の確保・定着を推進するため、テレワーク環境の整備、POSレジ（販売時点情報管理レジ）の導入等を実施する事業所等に対し、経費の一部をとして、12件1,200,000円を補助しました。

10. 扶桑町環境にやさしい住宅改善促進事業

町民の住生活環境の向上及び地域経済の活性化に寄与するため、町内の施工業者を利用して修繕、補修等の住宅改善工事を実施した町民に対し、124件14,348,000円を補助しました。

11. 扶桑町企業立地促進奨励金

町が指定する地域内において、町の産業の振興及び雇用の拡大に資することを目的に工場等の新設等を行った企業に対する補助制度について周知を行いましたが、今年度の申請はありませんでした。

12. 商品券（産業かがやき地域振興券）発行事業

新型コロナウイルス感染症の影響及び原油価格高騰の影響からくる物価上昇を踏まえ、町民の生活を経済的に支援し、町内における消費を喚起することにより、地域経済の担い手である小売業界の活性化を図るため、「扶桑町産業かがやき地域振興券」を発行しました。

新型コロナウイルス感染症対策として、予約販売等は行わず、世帯主に郵送して配布しました。1人2,000円分の商品券を35,020人に配布した結果、延べ32,227人分の利用があり（配布換金率92.02%）、64,454,000円を助成しました。

13. 中小企業等エネルギー価格高騰支援事業補助金

事業運営等の燃料費及び光熱費において原油価格高騰の影響を受けている町内事業者を支援するため、中小企業等エネルギー価格高騰に対する支援として、248件8,854,000円を補助しました。

[3] 小規模企業等振興資金預託金

1. 小規模企業等振興資金融資のあっせん

中小企業の資金運用を円滑にし、事業経営の安定と発展のため資金融資のあっせんを行いました。

- (1) 取扱金融機関数 8行9店
- (2) 預託金額 57,000,000円
- (3) 融資目標額 399,000,000円

あっせん(申込)		保証決定	
件数	金額(円)	件数	金額(円)
33	160,500,000	31	156,500,000

[4] 扶桑町産業振興会議事業費

扶桑町産業かがやき条例に基づく産業振興会議を設置し、令和4年度において2回開催しました。主に、現状の中小企業振興施策並びにコロナ禍における今後の産業振興施策について議論しました。

●めざそう値

施策	商工業・労働			
指標名	指標の定義	計画策定時	R4実績値	R4目標値
創業者数	商工会・金融機関と連携した毎年の新規事業者数(事業者)	5	3	5
就職フェア参加企業数	毎年の就職フェア参加企業数(社)	30	31	30
就職フェア参加求職者数	毎年の就職フェア参加求職者数(人)	50	42	100

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
3. 消費者行政推進費	円 623,000	円 524,147	% 84.1

【産業環境課】

[1] 消費者行政推進事業費

1. 消費生活講座の開催

毎日の消費生活に有意義な情報を提供し、活用することを目的として、扶桑町出前講座の一環として周知を行いましたが、今年度は申込みがありませんでした。

また、消費生活相談窓口の案内及び消費生活相談事例のチラシを作成し、全戸配布により注意喚起を行いました。

2. 消費生活相談員の設置

消費生活専門相談員等を消費生活相談員として任用し、毎週月・水・木・金曜日に扶桑町役場で、消費生活及び多重債務に関する相談等を受け付けました。

相 談 日 数 194日

相 談 件 数 77件

8款 土木費 1項 土木管理費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 土 木 総 務 費	円 85,304,000	円 83,524,811	% 97.9

【土 木 課】

[1] 土木総務一般事務費

1. 生活環境基盤整備

生活環境基盤の整備を促進するために、関係各機関と連絡を密にし、円滑な土木事業の執行に努めました。

(1) 道路台帳等整備事業

(一) 道路台帳整備事業 4,224,000円

道路台帳等の更新作業を電算処理により行いました。

(2) 登記取扱件数

区分	月	R4	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5	2月	3月	計
	4月	4月									1月			
所有権移転登記	0	0	0	0	0	0	2	0	11	5	0	0	12	30
表題登記	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
保存登記	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
分筆登記	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合筆登記	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地目変更	0	0	0	0	0	0	2	0	11	5	0	0	8	26
地積更正	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地図訂正	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	4
抹消登記	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
計	0	0	0	0	0	0	4	0	28	10	0	0	22	64

(3) 道路占用申請等及び境界査定等取扱件数

区分	月	R4	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5	2月	3月	計
	4月	4月									1月			
道路占用申請	30	38	44	30	24	30	37	49	41	42	42	39	26 (301)	430 (301)
公共用物使用申請	0	0	0	0	1	1	3	1	2	0	0	1	0 (83)	9 (83)
境界査定件数	12	12	14	16	9	6	10	11	10	7	7	13	12	132
道路使用申請	36	40	48	33	25	36	38	46	44	44	46	41	21	454
計	78	90	106	79	59	73	88	107	97	95	95	94	59 (384)	1,025 (384)

() 内は、更新件数

[2] 負担金

1. 関係各機関の円滑な事業執行を図るため負担金を支出しました。

(1) 一宮建設事務所管内事業協議会負担金	27,000円
(2) 日本道路協会負担金	30,000円
(3) 愛知県市町村道整備促進期成同盟会負担金	7,000円
(4) 愛知県名古屋市道路利用者会議負担金	6,600円
(5) 積算システム提供業務負担金	738,540円
(6) 愛知県道路整備促進協力会負担金	53,000円

【総務課】

[3] 土木課（事業費支弁）会計年度任用職員人件費（臨時）

1. 新型コロナウイルス感染症拡大による離職者1名を土木作業員として任用しました。

8款 土木費 2項 道路橋梁費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 道 路 維 持 費	円 209,852,000	円 206,327,452	% 98.3

【土 木 課】

[1]・[2] 道路維持管理費

1. 維持管理事業

道路の保全を実施し、生活環境の整備に努めました。

- (1) 側溝等機械浚渫委託料 4,840,000円
(高雄15箇所、小淵1箇所、南山名13箇所、斎藤4箇所、柏森9箇所)
- (2) 測量登記委託料 1,376,980円
- (3) 側溝清掃泥土処分委託料 4,579,245円
- (4) 道路路面凍結対策業務委託料 437,030円
- (5) 用地管理業務委託料 4,904,922円
- (6) 清掃委託料（駅前広場） 2,915,633円
- (7) 用地管理機器保守点検委託料 158,400円
- (8) 道路維持修繕工事等 52,287,400円

工 事 名	路 線 名 等	事 業 概 要	事 業 費
道路植樹帯等清掃工事 側溝等清掃工事	町道高雄・橋爪線ほか	延長 30,030m	29,176,400円
維持管理修繕工事	町道斎藤・南山名線ほか	道路維持 小規模改修	20,176,200円
緊 急 工 事	町道940号線ほか	道路陥没修繕ほか	2,934,800円

[3] 道路維持補修事業費

1. 生活環境整備

扶桑町橋梁長寿命化修繕計画に基づき、73号橋の修繕工事を行いました。

また、側溝・舗装等の老朽化の激しい箇所より順次修繕を行い、生活環境の整備に努めました。

そして、主要幹線道路舗装整備工事（町道高雄・柏森線ほか）を施工しました。

(1)道路維持補修工事 129,996,900円

工 事 名	路 線 名 等	事 業 概 要	事 業 費
舗 装 整 備 工 事	町道山尻・上野線ほか	延長 面積 634m 2,133㎡	13,723,600円
側 溝 修 繕 工 事	町道547号線ほか	延長 345m	19,758,200円
主 要 幹 線 道 路 舗 装 整 備 工 事	町道高雄・柏森線ほか	延長 面積 952m 4,615㎡	32,176,100円
歩 道 整 備 工 事	町道江南・扶桑線ほか	延長 330m	27,918,000円
側 溝 新 設 工 事	町道958号線ほか	延長 排水工 564m 555m	26,351,600円
橋 梁 修 繕 工 事	73号橋	1 橋	10,069,400円 (道路メンテナンス事業費補助金額 4,224,000円)

●めざそう値

施 策	道路・公共交通			
指 標 名	指 標 の 定 義	計 画 策 定 時	R 4 実 績 値	R 4 目 標 値
町道側溝整備延長	平成30年度以降に新設する雨水・生活排水に機能する側溝の整備延長 (m)	—	3,625	3,500

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. 交 通 安 全 対 策 費	円 65,352,000	円 61,932,134	% 94.8

【土 木 課】

[1] 交通安全対策事業費

[2] 交通安全対策施設維持管理費

1. 道路交通安全の確保

交差点等の事故防止対策としてカーブミラー、道路照明灯、街路灯などの設置や修繕とともに、カラー塗装を行い交通安全環境の整備に努めました。

(1) 交通安全対策工事 19,543,700円

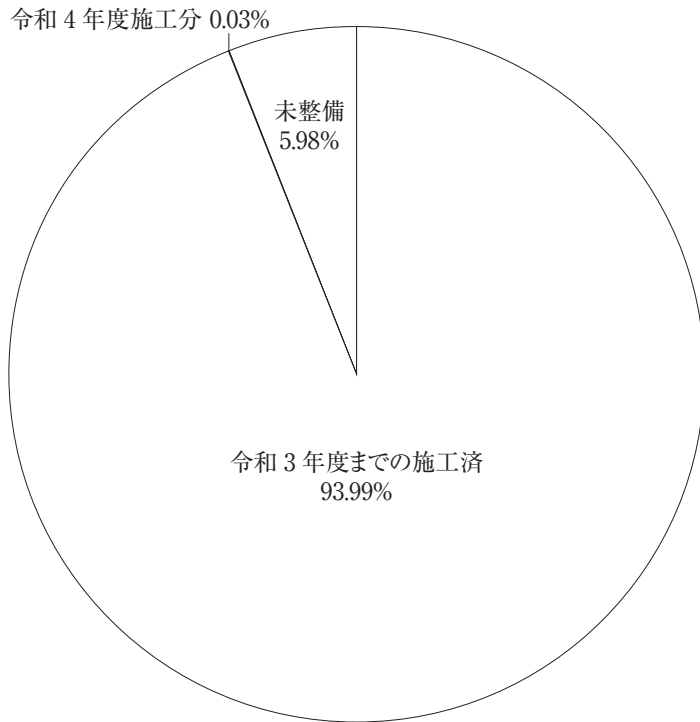
工 事 名	路 線 名 等	事 業 概 要	事 業 費
道路照明灯設置工事	町道847号線ほか	道路照明灯 5基	2,074,600円
カーブミラー設置工事	町道399号線ほか	14基（新設12基、移設2基）	4,562,800円
区画線等設置工事	町道336号線ほか	区画線延長 3,947m カラー塗装工 87㎡	6,556,000円
街路灯設置工事	町道646号線ほか	LEDポール式 5基 （新設5基） LED電柱共架式 18基 （新設17基、移設1基）	2,659,800円
防護柵整備工事	町道786号線ほか	防護柵設置工 89m	3,190,000円
道路標識整備工事	町道高雄・橋爪線ほか	標識整備工 5基	500,500円

令和4・5年度 地区要望整備実績表

工 種	令和4・5年度 地区要望箇所数	整備済箇所数	整 備 率
側溝新設工事	55箇所	10箇所	18%
側溝修繕工事	65箇所	17箇所	26%
舗装新設工事	11箇所	0箇所	0%
舗装修繕工事	56箇所	22箇所	39%
街路灯設置工事	50箇所	32箇所	64%
道路照明灯設置工事	0箇所	0箇所	—
カーブミラー設置工事	46箇所	16箇所	35%

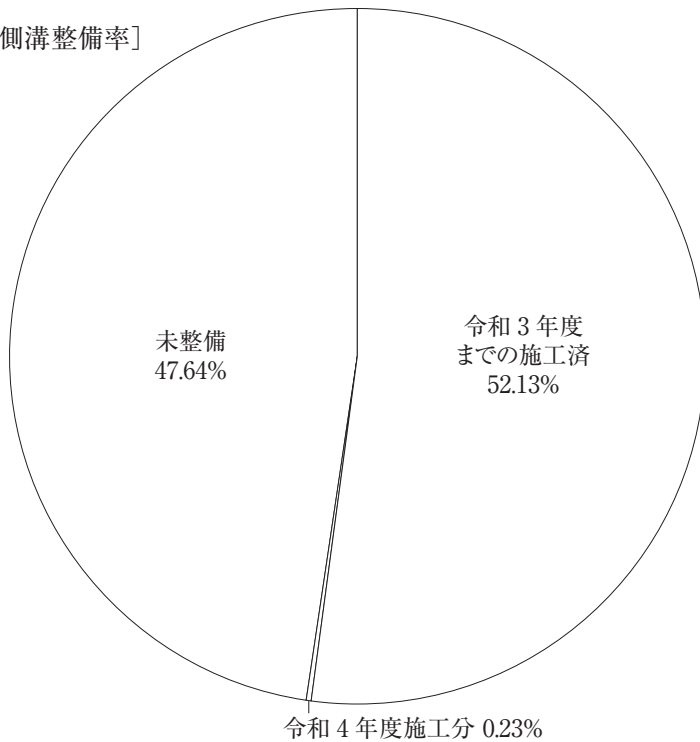
舗装・側溝整備状況

[舗装整備率]



町道総延長	254,029m
令和3年度までの舗装延長	238,770m
令和4年度舗装新設工事延長 (開発による帰属)	69m
廃止道路延長	△ 61m
舗装済延長計	238,778m

[側溝整備率]



要側溝総延長	508,058m	
令和3年度までの側溝延長	264,861m	
令和4年度側溝新設工事延長 内訳		
・町施工分	L = 776m	1,162m
・承認工事	L = 251m	
・開発による帰属	L = 135m	
側溝設置済延長計	266,023m	

8款 土木費 3項 河川費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 河 川 総 務 費	円 1,285,000	円 683,000	% 53.2

【土 木 課】

[1] 負担金

1. 関係各機関の円滑な事業執行を図るため負担金を支出しました。

(1) 二市二町広域排水対策連絡協議会負担金	54,000円
(2) 尾張北東部治水対策協議会負担金	6,000円
(3) 新川・五条川改修促進期成同盟会負担金	5,000円
(4) 愛知県河川海岸協会負担金	9,000円
(5) 愛知県木曾川改修工事促進期成同盟会負担金	18,000円
(6) 新川流域総合治水対策協議会負担金	3,000円

[2] 補助金

1. 浸水被害防止対策

治水対策事業として、家庭でもできる浸水・環境対策のための雨水浸透柵設置費補助金、雨水利用貯留施設設置費補助金、浸水防止塀設置費補助金を交付しました。

(1) 執行経費	
(一) 雨水浸透柵設置費補助金（1戸、1基）	15,000円
(二) 雨水利用貯留施設設置費補助金（6戸、9基）	222,000円
(三) 浸水防止塀設置費補助金（2戸、80m）	351,000円

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. 治 水 事 業 費	54,620,000 ^円	53,469,866 ^円	97.9 [%]

【土 木 課】

[1] 貯留施設等維持管理費

1. 貯留施設等の維持管理

貯留施設及び用排水路の浚渫等を実施し、その保全に努めました。

- (1) 貯留施設ポンプ保守点検委託料 33台 3,245,000円
 (ポンプ保守点検28台、ポンプ分解整備4台、ポンプ更新1台)
- (2) 用排水路等維持管理修繕工事費 37,781,700円

工 事 名	水 路 名 等	事 業 概 要	事 業 費
水 路 清 掃 工 事 等	般若用水路ほか	草刈り及び浚渫	37,781,700円

[2] 青木川調節池維持管理事業費

1. 青木川調節池の維持管理

青木川中島調節池及び高雄調節池の管理及び清掃を委託し、その保全に努めました。

- (1) 青木川調節池管理等委託料 299,868円
- (2) 青木川調節池清掃等委託料 1,938,200円

[3] 青木川改修事業費

1. 青木川改修計画区間のうち下流部分の用地を取得しました。

- (1) 土地購入費 7筆 7,712,860円

8 款 土 木 費 4 項 都市計画費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 都市計画総務費	円 58,132,000	円 55,076,526	% 94.7

【都市整備課】

[1]・[2] 都市計画総務一般事務費

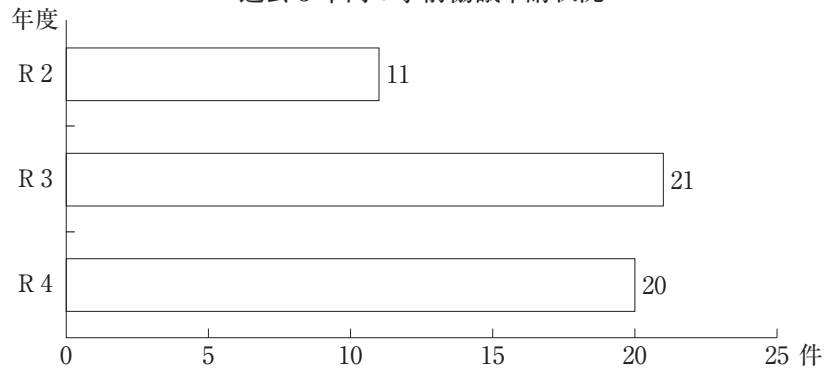
1. 事前協議、開発行為及び建築確認申請事務

事前協議申請、開発・建築許可申請、建築（工作物）確認申請等の受付、指導をしました。

(1) 扶桑町宅地開発事業等に関する事前協議申請状況 (単位：件)

月 別	R4 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5 1月	2月	3月	計
件 数	3	1	4	5	0	2	1	0	2	0	0	2	20

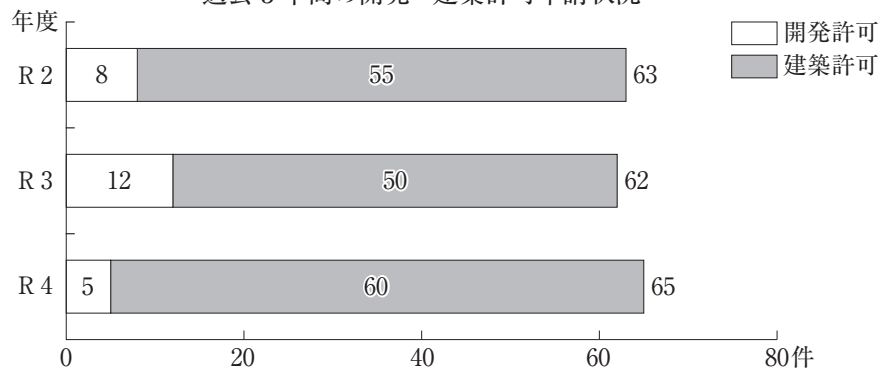
過去3年間の事前協議申請状況



(2) 開発・建築許可申請状況 (単位：件)

種別	月	R4 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5 1月	2月	3月	計
	開 発		1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0
建 築		3	5	7	10	8	7	2	6	5	1	3	3	60
計		4	5	8	11	8	8	2	6	5	2	3	3	65

過去3年間の開発・建築許可申請状況



(3) 建築（工作物）確認申請状況

(単位：件)

月 別	R4 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5 1月	2月	3月	計
件 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 人にやさしい街づくり条例関係申請状況

(単位：件)

月 別	R4 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5 1月	2月	3月	計
件 数	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	1	5

●めざそう値

施 策	住環境				
指 標 名	指 標 の 定 義		計 画 策 定 時	R 4 実 績 値	R 4 目 標 値
公 共 施 設 の バリアフリー化数	公共施設のバリアフリー化対象施設及び設備（520か所）のうち、バリアフリー化が済んだ数(か所)		312	322	317

2. 屋外広告物

屋外広告物の受付、許可及び指導をしました。

(1) 屋外広告物許可申請状況

(単位：件)

月 別	R4 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5 1月	2月	3月	計
件 数 (内新規件数)	3 (0)	3 (0)	6 (2)	4 (0)	5 (0)	8 (2)	2 (1)	2 (0)	5 (2)	2 (0)	2 (0)	2 (1)	44 (8)

3. 委託料

計画協議修正等業務を行いました。

事 業 名	事 業 概 要	事 業 費
計 画 協 議 修 正 等 業 務	土地区画整理事業予定区域の縮小に伴い、計画協議等の内容の修正を行いました。	4,950,000円

4. 補助金

町民の生命、身体及び財産を地震による災害から保護するため、ブロック塀等の撤去を実施した者に対し、ブロック塀等撤去費補助金を交付しました。（7件、435,000円）

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. 街 路 事 業 費	円 5,039,000	円 4,937,242	% 98.0

【都市整備課】

[1] 小淵江南線整備関連事業費

令和3年に整備した待避所内に設置されている公共基準点の復元測量業務を行いました。

また、山名小学校の通学路である町道高雄・宮前線の交通安全を確保するため、生活道路交通
安全対策工事を行いました。

事 業 名	事 業 概 要	事 業 費
基 準 点 復 元 測 量 業 務	公共基準点の復元測量	1,012,000円
交 通 安 全 対 策 工 事	路肩カラー塗装等	3,916,000円

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
3. 下 水 道 費	円 449,934,000	円 449,933,191	% 99.9

【都市整備課】

[1] 下水道事業費

下水道事業を推進するため、扶桑町下水道事業会計に補助及び出資をしました。

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
4. 公 園 費	155,493,000 ^円	154,085,277 ^円	99.1 [%]

【都市整備課】

[1]・[2] 都市公園維持管理費

1. 都市公園の充実を図るため、施設管理及び芝生刈込、除草、剪定等を行い都市公園の維持管理に努めました。

事 業 名	事 業 概 要	事 業 費
都市公園維持管理業務	施設維持管理のため、芝生刈込、除草、剪定等を行いました。 芝生刈込工 71,540㎡ 除草工 37,801㎡	19,879,200円
木曾川扶桑緑地公園内管理清掃業務	公園内の清掃、ゴミ収集、トイレ清掃、管理を行いました。	3,823,834円
遊具保守点検業務	木曾川扶桑緑地公園始め7公園の遊具の定期保守点検及び非破壊検査を行いました。	495,000円
浄化槽清掃保守点検業務	高雄公園の浄化槽の保守点検及び汚泥清掃を行いました。	25,300円
循環トイレ保守点検業務	トイレ排水循環システムの保守点検（汚泥回収、薬剤散布等）を行いました。	830,500円
噴水池清掃点検業務	木曾川扶桑緑地公園噴水池の保守点検及び池内清掃を行いました。	408,980円
低木剪定・除草等業務	公園の低木剪定・除草・消毒等を行いました。	891,743円
芝生保護業務	木曾川扶桑緑地公園の遊具付近の芝生保護を行いました。	148,500円
許可工作物搬出訓練業務	木曾川扶桑緑地公園に設置されている工作物の搬出訓練を行いました。	70,400円
ベンチ撤去業務	木曾川扶桑緑地公園の古くなったベンチの撤去を行いました。	22,000円

2. 都市公園において、遊具の設置等を行いました。

事 業 名	事 業 概 要	事 業 費
都市公園遊具等設置等工事	公園遊具等の設置及び撤去を行いました。	2,428,800円
手洗い自動水栓化工事	公園のトイレの手洗い水栓自動化を行いました。	3,806,000円

3. 高雄公園の借地していた土地を購入しました。

事 業 名	事 業 概 要	事 業 費
土地購入	公園用地 1,332㎡	82,184,400円

[3] 都市公園整備事業費

1. 木曾川扶桑緑地公園の循環式トイレの浄化槽を修繕しました。

事業名	事業概要	事業費
循環式トイレ浄化槽修繕工事	循環式トイレ浄化槽修繕 1基	19,463,400円

●めざそう値

施策	公園緑地・景観			
指標名	指標の定義	計画策定時	R4実績値	R4目標値
一人あたりの整備済み公園面積	整備済み公園面積 ÷ H27年国勢調査扶桑町人口 (㎡/人)	5.3	5.3	↗

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
5. 駅 周 辺 管 理 費	円 17,057,000	円 16,337,777	% 95.8

【都市整備課】

[1] 駅周辺維持管理費

1. 柏森駅自由通路及び扶桑駅東西連絡橋の維持管理を行いました。

事 業 名	事 業 概 要	事 業 費
柏 森 駅 昇 降 機 点 検 遠 隔 監 視 業 務	柏森駅自由通路のエレベーター、エスカレーター部分の保守点検及び24時間の遠隔監視、故障処理等にかかる業務を行いました。	4,036,560円
柏 森 駅 南 北 連 絡 橋 及 び 柏 森 駅 公 衆 ト イ レ 清 掃 業 務	柏森駅の自由通路及び公衆トイレの清掃を行いました。	1,290,281円
柏 森 駅 自 由 通 路 床 面 洗 浄 及 び ガ ラ ス 清 掃 業 務	柏森駅自由通路の床面洗浄及び屋外ガラスの清掃を行いました。	679,800円
扶 桑 駅 東 階 段 エ ス カ レ ー タ ー 保 守 点 検 業 務	扶桑駅東階段エスカレーター部分の保守点検及び24時間の遠隔監視、故障処理等にかかる業務を行いました。	3,194,400円
扶 桑 駅 東 階 段 清 掃 業 務	扶桑駅東階段の日常清掃及び定期清掃を行いました。	735,240円

9款 消 防 費 1項 消 防 費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 非 常 備 消 防 費	円 21,413,000	円 15,863,179	% 74.1

【災害対策室】

[1]・[2] 消防団活動費

[3]・[4] 消防団施設車輛管理費

第1分団及び第2分団車庫の階段塗装修繕を行いました。

[5] 非常備消防一般事務費

春・秋の火災予防運動、毎月19日の防火の日等の啓発活動を行い、火災の予防に努めました。

1. 火災発生件数

区分	年	R 2	R 3	R 4
建 物 火 災		8	5	8
車 両 火 災		0	0	0
そ の 他 火 災		1	8	4

2. 消防団の活動状況等

火災出動7回、幹部会議5回、防火パレード2回（11月9日・3月1日）、11月1日消防観閲式、11月27日上級救命講習会、年末夜警（12月28日・29日・30日）、出初式（1月9日）、春季（5月）・秋季（10月）訓練会、防火の日啓発12回（毎月19日）災害対策訓練（2月25日）

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. 消 防 施 設 費	円 410,706,000	円 410,154,074	% 99.9

【災害対策室】

[1]・[2] 消防施設管理費

[3] 丹羽広域事務組合負担金

高雄地内において防火水槽撤去を1件実施しました。

消防水利の現状（設置数及び充足率）

（単位：基）

種別 管区	消 火 栓	防 火 水 槽			指 定 水 利	合 計
		100㎡以上	40㎡～100㎡	40㎡未満		
高 雄	70	1	60	28	13	172
山 名	26	1	42	8	6	83
柏 森	68	1	70	9	2	150
計	164	3	172	45	21	405

充足メッシュ	全体メッシュ	充 足 率
263	306	85.9 %

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
3. 水 防 費	円 1,031,000	円 1,030,000	% 99.9

【災害対策室】

[1] 水防活動費

愛知県尾張水害予防組合負担金を負担しました。

なお、愛知県尾張水害予防組合が実施する水防訓練は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となりました。

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
4. 災 害 対 策 費	円 101,656,383	円 86,170,022	% 84.8

【総務課】

[1] 木造住宅耐震改修事業費

1. 木造住宅の無料耐震診断の実施及び耐震改修費補助の実施

昭和56年5月31日以前に建築された木造個人住宅を対象に無料耐震診断を実施しました。
また、無料耐震診断で「安全」と判定されなかった木造個人住宅の耐震改修費用に対し、補助金を交付しました。

無 料 耐 震 診 断		耐 震 改 修 費 補 助	
年度	棟数 (件)	年度	棟数 (件)
R 2	11	R 2	1
R 3	12	R 3	1
R 4	9	R 4	2

●めざそう値

施 策	防 災			
指 標 名	指 標 の 定 義	計 画 策 定 時	R 4 実 績 値	R 4 目 標 値
木 造 住 宅 耐震改修実施棟数	耐震診断を実施した後、「危険」と判定された住宅のうち、改修工事を実施した棟数 (棟)	102	119	147

【災害対策室】

[1]・[2] 防災対策費

1. 扶桑町総合防災訓練の中止

9月4日に柏森小学校で実施を予定していた総合防災訓練は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止しました。

2. メール配信サービスの実施

防災や消防、防犯の他に生活情報や気象情報などを配信するサービスを実施しました。

3. 地震対策補助金

地震による被害を最小限に抑えるため、家具等の転倒防止・ガラス飛散防止・感震ブレイカーの設置等の地震対策を実施した費用に対し補助金を交付しました。(9件)

4. 災害備蓄物資等の充実

災害時に備え、防災用備蓄倉庫にクラッカー5,460食分、ライスクッキー192食分、安心米300食を備蓄食糧として購入しました。

5. 防災備品の充実

災害時における避難所用防災物品として、段ボールベッド8台、避難ルーム50個、災害用仮設トイレ3台を購入しました。

6. 災害用井戸の設置

災害時に飲料水以外で利用できる井戸を高雄字北東川地内に1基設置しました。

●めざそう値

施策	防災			
指標名	指標の定義	計画策定時	R4実績値	R4目標値
地域防災リーダー養成講座受講者数	地域防災リーダー養成講座のべ受講者数(人)	22	75	72
ひまわりあんしん情報メールの登録件数	ひまわりあんしん情報メール各項目の登録者数合計(件)	2,678	6,257	3,500

[3]・[4] 防災行政無線管理費

災害時における防災行政無線の円滑かつ万全な運用に備え、防災行政無線等の保守・点検を実施しました。また、防災行政無線(同報系)アナログ基地局の更新を行いました。

[5] 防災行政無線機購入事業費

災害時の緊急情報を迅速に広報するため、防災ラジオ230台を購入し、普及に努めました。

[6] 自主防災活動等支援事業費

町民の防災意識の向上を図るため、自主防災組織が防災訓練などを実施した場合や、防災備蓄品・消火設備などの防災資機材等の購入を実施した場合に補助する自主防災活動等支援事業補助金を交付しました。(22件)

[7] 新型コロナウイルス感染症対策費

新型コロナウイルス感染症により自宅療養することとなった方が属する世帯に、扶桑町新型コロナウイルス感染症自宅療養者等見舞金を2,076世帯にお渡ししました。

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
5. 国 民 保 護 対 策 費	円 3,500,000	円 2,443,980	% 69.8

【災害対策室】

[1]・[2] 国民保護一般事務費

武力攻撃事態及び武力攻撃予測事態において、住民の生命、身体及び財産を保護する責務にかんがみ、弾道ミサイル落下時の行動について、ホームページ、広報紙にて住民へ周知を実施しました。

「国民の保護に関する基本指針」及びそれに基づく県国民保護計画の変更を踏まえた整合性の確保を図るため、扶桑町国民保護計画を令和5年3月に改訂しました。

10款 教育費 1項 教育総務費

目	予算現額	決算額	執行率
1. 教育委員会費	円 1,579,000	円 1,458,690	% 92.4

【学校教育課】

[1] 教育委員会費

1. 教育委員会

教育委員会を開催し、教育行政の諸問題について協議を行いました。その他、教育環境の整備計画、教育の充実・振興を図りました。新年度予算編成にあたって、7月28日に各小中学校の巡回視察を行い、施設整備修繕等の必要性を検討しました。

定例会	12回
-----	-----

2. 丹葉地方教育事務協議会（犬山市、江南市、岩倉市、大口町、扶桑町）

教育長、教育長職務代理者及び教育委員が出席し、管内広域圏の人事管理、教職員の研修・指導等教育行政の協議・連絡を行いました。

定例会	6回
-----	----

3. 町内校長会

教育行政及び学校経営の当面の諸問題について、協議・連絡を行いました。

定例会	12回
-----	-----

4. 教育委員会外部評価委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに町民への説明責任を果たすため、令和3年度の点検及び評価を実施しました。

評価委員会	2回
-------	----

5. いじめ問題専門委員会

いじめ防止対策推進法第14条第3項の規定に基づき、委員会を設置し、情報交換を行いました。

専門委員会	1回
-------	----

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. 事 務 局 費	円 208,753,686	円 203,498,692	% 97.5

【学校教育課】

[3]・[4] 教育委員会事務局一般事務費

学校運営協働協議会を各小中学校に置き、引き続き保護者や関係諸機関・地域住民ボランティアとの連携により児童・生徒の日常生活における安全確保に努めました。

小学生、中学生の通学時の安全確保のためスクールガードを130人配置しました。

また、教員を志望する大学生などを対象に、児童・生徒の学習支援を図るスクールボランティアを2人配置しました。

いじめ防止対策推進法第14条第1項の規定に基づき、いじめ問題対策連絡協議会を設置し、情報交換を行いました。

教育分野に関する専門的な知識と経験を生かし、今日的な課題を抱える児童・生徒及びその家庭の置かれた環境に働きかけ、課題の解決を目指し、スクールソーシャルワーカーを1人、スクールメンタルサポーターを1人配置しました。課題の解決に向けては、福祉児童課を始めとする関係諸機関等と情報交換・行動連携を行いました。

新型コロナウイルス感染症の個人向け支援として、教育機関の修学のために必要な奨学金の貸与を受けた人に対し、返還に要する費用の一部の助成を72名に行いました。

[5] 就学指導事業費

1. 就学に関する事項

就学予定児童の適正な就学のために、知能検査・保健調査・身体検査を始め、保護者との就学相談等を行いました。

(単位：人)

学 校 名	実 施 日	受 診 者 数
柏 森 小 学 校	10月20日	128
高 雄 小 学 校	10月6日	71
山 名 小 学 校	10月7日	55
扶 桑 東 小 学 校	10月3日	50
計		304

[7]・[8] 私学助成事業費

1. 幼稚園教育の振興に関する事項

(1) 扶桑幼稚園助成

私立幼稚園助成条例に基づき、幼稚園の健全な運営を促すため設置者に対し助成しました。

(2) 子育てのための施設等利用給付補助金

幼児教育・保育無償化に伴い、町内在住で私立幼稚園に在園する満3歳児・3歳児・4歳児及び5歳児の保護者が負担する入園料及び授業料（月額25,700円を上限）を補助しました。

幼稚園別補助人数

(単位：人)

幼稚園名	合計
扶桑幼稚園	171
光明幼稚園	57
すみれ幼稚園	4
江南幼稚園	37
愛知江南短期大学附属幼稚園	23
大口幼稚園	28
ラ・モーナ幼稚園	28
杉の子幼稚園	5
名北ゼンヌ幼稚園	1
光明第二幼稚園	3
岐阜聖徳学園大学附属幼稚園	1
師勝はなの樹幼稚園	1
英和幼稚園	1
こぼと西幼稚園	1
計	361

(3) 子ども・子育て支援事業補足給付事業費補助金

扶桑町子ども・子育て支援事業補足給付事業費補助金交付要綱に基づき、町内在住で私立幼稚園に在園する満3歳児・3歳児・4歳児及び5歳児の補助要件に該当する保護者に対し、副食費（月額4,500円を上限）を助成し、負担軽減に努めました。

30人の申請があり、23人に補助しました。

2. 私立高等学校等授業料補助

扶桑町私立高等学校等授業料補助に関する条例に基づき、私立高等学校等に在籍する生徒の保護者に対し、授業料の一部（年間16,000円を上限）を助成し、保護者負担の軽減に努めました。

130人の申請があり、129人に補助しました。

[9] 学校教育施設建設基金積立金

小中学校施設の整備計画の推進をするために、利子分を積立てました。

[10] 適応指導教室運営費

学校生活への適応が困難で、不登校及びその傾向にある児童・生徒のために学校復帰をめざして支援しました。児童生徒、保護者等からの相談については、延べ283件を受け付けました。

開所日時 毎週月曜日～金曜日 午前9時～午後3時

場 所 柏森学習等供用施設

指 導 員 2人

支 援 員 1人

開所日数 199日

登校者数 小学生7人、中学生15人（1月当たりの平均人数）

児童・生徒出席人数 (単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小 学 校	6	6	6	6		7	7	7	7	7	7	7
中 学 校	12	13	14	14		14	14	15	16	18	18	19
計	18	19	20	20		21	21	22	23	25	25	26

(単位：日)

開 所 日 数	17	18	22	13		20	20	20	17	16	19	17
---------	----	----	----	----	--	----	----	----	----	----	----	----

[12] 地域学習活動支援事業費

小学生3年生から6年生の児童を対象に、算数の基礎的学力定着のために土曜教室を18回実施し、80名が参加しました。

学習等供用施設別参加状況 (単位：人)

学習等供用施設の名称	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
柏森中央学習等供用施設	9	5	5	5	24
高雄学習等供用施設	8	8	7	2	25
山名西学習等供用施設	5	5	5	0	15
扶桑東学習等供用施設	5	5	2	4	16
合 計	27	23	19	11	80

[13] 学校運営協議会事業費

児童生徒の保護者及び地域住民等で構成される学校運営協働協議会委員を委嘱し、各小中学校で学校運営協働協議会を3回開催し、学校運営の改善や児童生徒の健全育成について協議しました。

10款 教育費 2項 小学校費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 学 校 管 理 費	円 153,310,808	円 149,393,342	% 97.4

【学校教育課】

[1] 小学校保健費

学校保健安全法に基づき、児童の健康診断を実施しました。

[2]・[3] 小学校一般管理費

学校運営の円滑化を目指し、施設保守・校用備品整備等に努め、教育環境の保全を図りました。

学校図書館司書を各小学校に配置し、学校図書館の充実を図りました。

国際化の進展に対応し、低学年より国際感覚を身につけ、生きた英語に触れることを目的として、外国人英語指導助手（Assistant Language Teacher）を小学校に2人配置しました。

小学校において特に通常学級に障害を持った児童が通常の学習・生活活動等に困難が生じないよう特別支援員21人を配置しました。

児童生徒等の健康管理・保健指導や保護者からの相談などに対応する養護教諭を、児童数の多い柏森小学校に1人加配しました。

1. 児童数及び学級数推移状況

児童数・学級数

令和4年5月1日現在（単位：人）

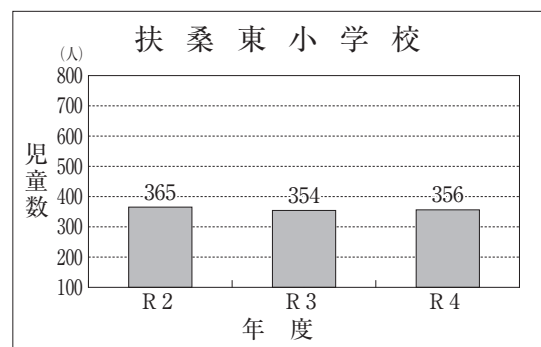
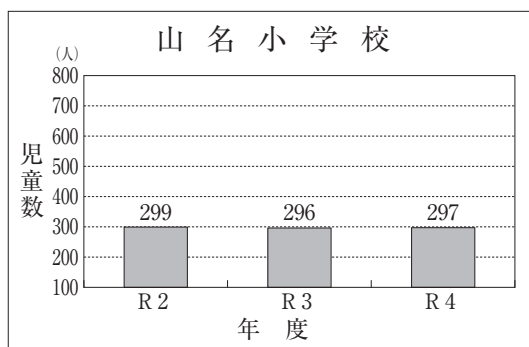
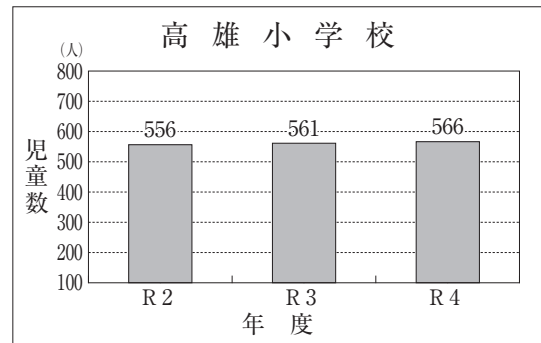
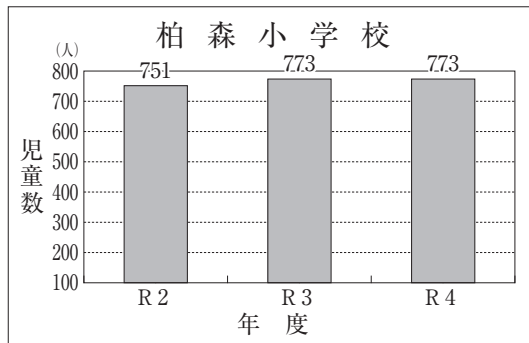
学年	柏 森 小 学 校				高 雄 小 学 校				山 名 小 学 校			
	児 童 数			学級数	児 童 数			学級数	児 童 数			学級数
	男	女	計		男	女	計		男	女	計	
1	65	62	127	4	43	46	89	3	21	27	48	2
2	70	62	132	4	54	42	96	3	21	25	46	2
3	55	68	123	4	51	49	100	3	25	30	55	2
4	55	64	119	4	41	48	89	3	19	32	51	2
5	64	62	126	4	50	47	97	3	29	17	46	2
6	81	65	146	4	46	49	95	3	21	30	51	2
特別支援学級	(9)	(1)	(10)	2	(6)	(4)	(10)	2	(2)	(2)	(4)	2
計	390	383	773	26	285	281	566	20	136	161	297	14

学年	扶 桑 東 小 学 校				総 計			
	児 童 数			学級数	児 童 数			学級数
	男	女	計		男	女	計	
1	28	37	65	2	157	172	329	11
2	22	29	51	2	167	158	325	11
3	33	27	60	2	164	174	338	11
4	25	24	49	2	140	168	308	11
5	39	28	67	2	182	154	336	11
6	32	32	64	2	180	176	356	11
特別支援学級	(11)	(6)	(17)	4	(28)	(13)	(41)	10
計	179	177	356	16	990	1,002	1,992	76

() 内は再掲

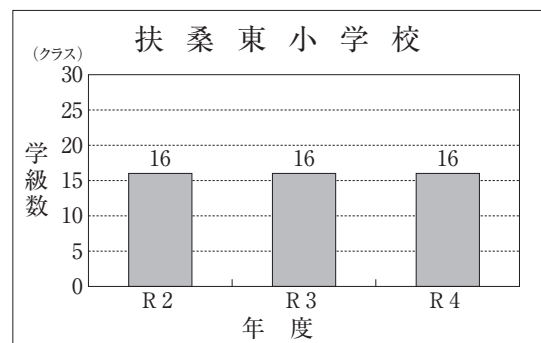
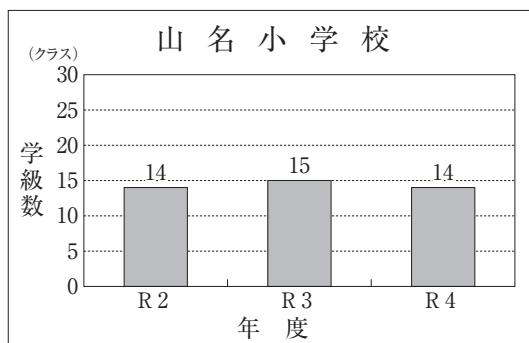
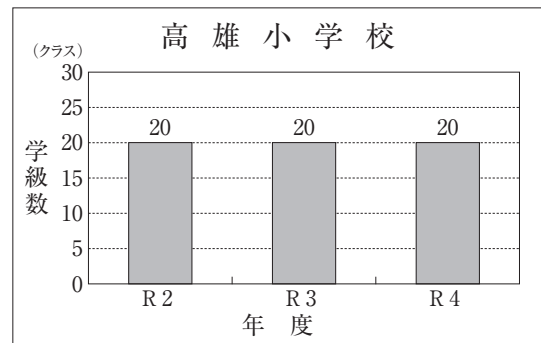
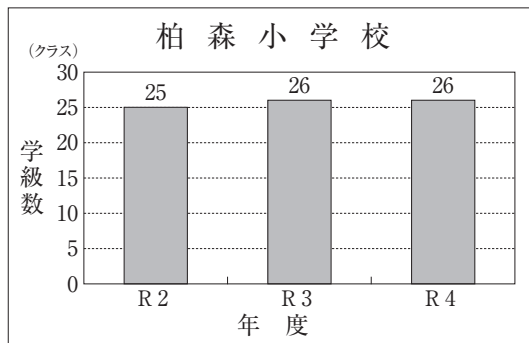
児童数推移状況

各年度基準日5月1日



学級数推移状況

各年度基準日5月1日



2. 教職員数

令和4年5月1日現在（単位：人）

区分 学校名	校長	教頭	教諭		養護教諭	栄養教諭	講師	計
			男	女				
柏森小学校	1	1	13	23	2	0	2	42
高雄小学校	1	1	11	18	1	1	1	34
山名小学校	1	1	6	10	1	0	3	22
扶桑東小学校	1	1	8	14	1	0	0	25
計	4	4	38	65	5	1	6	123

区分 学校名	事務員	用務員	学校医 内科・眼科・耳鼻科	学校医 歯科	学校 薬剤師
高雄小学校	1	0	3	1	1
山名小学校	1	0	3	1	1
扶桑東小学校	1	0	3	1	1
計	4	0	12	4	4

3. 教室保有状況

令和4年5月1日現在

区分 学校名	教室数										計
	普通	理科	音楽	図工	家庭	コンピ ュータ室	視聴 覚室	図書	特別 活動	教育 相談	
柏森小学校	26	2	2	1	1	1	1	2	5	2	43
高雄小学校	20	1	1	1	1	1	0	1	3	0	29
山名小学校	13	1	1	1	1	1	0	1	2	0	21
扶桑東小学校	16	1	1	1	1	1	0	2	3	0	26
計	75	5	5	4	4	4	1	6	13	2	119

[5] 小学校校舎施設営繕工事費

小学校校舎、施設の維持管理のため、下記の工事を実施しました。

柏森小学校 ホワイトボード取付工事
 高雄小学校 非常階段塗装改修工事
 山名小学校 校舎階段改修工事

[6] 校舎大規模改造事業費

昨年度設計した扶桑東小学校非構造部材耐震化改修工事を実施しました。

また、山名小学校非構造部材耐震化改修工事設計委託及び体育館大規模改修工事設計委託を実施しました。

●めざそう値

施 策	学校教育			
指 標 名	指 標 の 定 義	計画策定時	R4実績値	R4目標値
小 中 学 校 校 舎 非構造部材の改修	校舎の非構造部材の改修工事を実施した小中学校の数(校)	0	2	0
小 学 校 エアコン整備	教室にエアコンを整備した小学校の数(校)	1	4	4

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. 教 育 振 興 費	円 59,314,000	円 55,301,665	% 93.2

【学校教育課】

[1]・[2] 教育振興諸費

児童が健康で豊かな学習ができるように、副読本等の無償配布を始め教材・教具の充実に努めました。

学習指導要領に基づき体験的な学習や問題を解決する資質や能力を育成する学習を積極的に取り入れ、児童が自ら学び問題意識を持ち考える力を伸ばし、生活に生かしていくことを学習の目的とした「総合的な学習」の充実に努めました。

町民聴講生制度を企画し、生涯学習の場として、町民の希望者が学校の授業及び行事等の教育活動に児童と一緒に受講する事業を行いました。

高雄小学校 1人、扶桑東小学校 1人

[3] 情報教育推進事業費

教育用コンピュータシステム機器を活用し、情報教育を推進しました。

[4]・[5] 要準要保護児童援助事業費

経済的に就学困難な児童の保護者に対し、学用品費等の援助を行いました。(単位：人)

学 校 名	援助費 区分	学用品 費 等	校 外 活動費	修 学 旅行費	給食費	P T A 会 費	新 入 学 児 童 学用品費	卒 業 アルバム 代 等
	認定者数							
柏森小学校	53(5)	48	34	8	44	48	15(5)	8
高雄小学校	48(6)	42	35	6	37	40	14(6)	8
山名小学校	20(3)	17	13	0	16	17	5(3)	2
扶桑東小学校	22(3)	19	17	3	17	16	6(3)	3
計	143(17)	126	99	17	114	121	40(17)	21

※()内は令和5年度新入学児童の内数

新型コロナウイルス感染症による経済状況悪化の影響が長期化する中で、学校生活内において使用する衛生用品を要準要保護児童95人に支給しました。

[6] 特別支援教育就学奨励費補助事業費

特別支援学級または通常学級に在籍する学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童の保護者に対し、学用品等の援助を行いました。(単位：人)

学 校 名	援助費 区分	学用品費等	校外活動費	修学旅行費	給 食 費	新入学児童 学用品費
	支給者数					
柏森小学校	10	10	9	0	9	1
高雄小学校	6	6	6	1	6	0
山名小学校	3	3	3	0	3	0
扶桑東小学校	11	11	11	0	8	0
計	30	30	29	1	26	1

[7] 学校教育研修事業費

高雄小学校において、令和2年度から令和4年度までの3年間の研究事業として「夢に向かい、たくましく前進する児童の育成」～深い学びを求める授業を通して～を主題とし、指導方法の工夫や授業改善に努め、10月21日に令和2年度からの研究の成果を丹波地方教育事務協議会管内で発表しました。

[8] キャリアスクールプロジェクト推進事業費

愛知県の小学校を対象とした系統的なキャリア教育の推進校に柏森小学校が選ばれ(県内36校)全学年を対象としたキャリア教育推進事業を行いました。

事業テーマ「**か**んがえる子・**ら**べる子・**わ**かりあう子」～キャリア教育を通じて～

体験学習として6年生4学級146人が地域で活躍している方を講師として招き、もの作り(洋菓子作り)を通じて、かかわる力・見通す力・調べる力・伝える力・自己をみつめる力を育みました。

10款 教育費 3項 中学校費

目	予算現額	決算額	執行率
1. 学校管理費	円 142,195,000	円 139,941,391	% 98.4

【学校教育課】

[1] 中学校保健費

学校保健安全法に基づき、生徒の健康診断を実施しました。

[2]・[3] 中学校一般管理費

学校運営の円滑化を目指し、施設保守・校用備品整備等に努め、教育環境の保全を図りました。

学校図書館司書を各中学校に配置し、学校図書館の充実を図りました。

国際感覚を身につけ、生きた英語に触れることを目的として、外国人英語指導助手（Assistant Language Teacher）を中学校に1人配置しました。

中学校において特に通常学級に障害を持った生徒が通常の学習・生活活動等に困難が生じないよう特別支援員2人を配置しました。

1. 生徒数及び学級数推移状況

生徒数・学級数

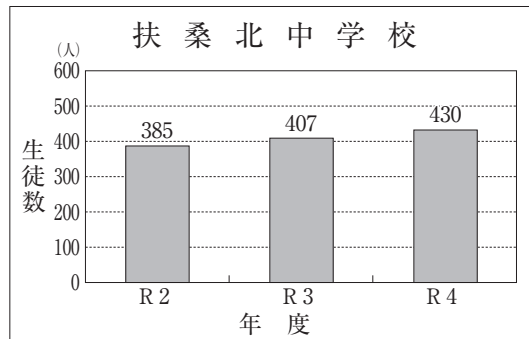
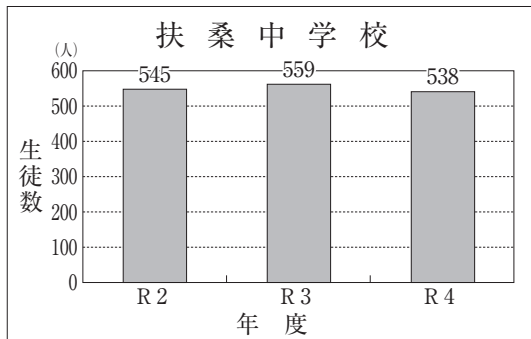
令和4年5月1日現在（単位：人）

区分 学年	扶桑中学校				扶桑北中学校				総計			
	生徒数			学級数	生徒数			学級数	生徒数			学級数
	男	女	計		男	女	計		男	女	計	
1	96	79	175	5	76	65	141	4	172	144	316	9
2	92	79	171	5	48	98	146	4	140	177	317	9
3	86	106	192	5	71	72	143	4	157	178	335	9
特別支援学級	(5)	(4)	(9)	2	(3)	(2)	(5)	3	(8)	(6)	(14)	5
計	274	264	538	17	195	235	430	15	469	499	968	32

() 内は再掲

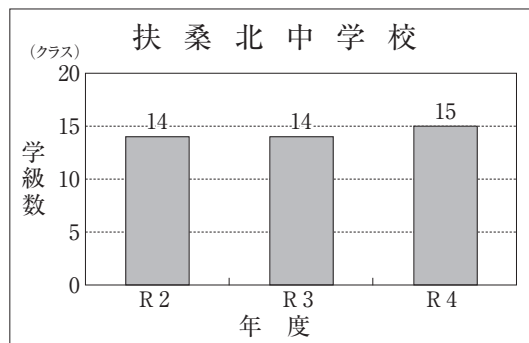
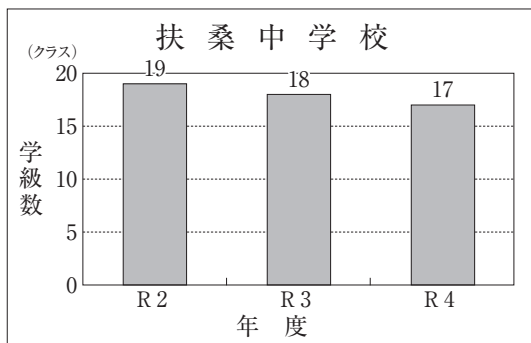
生徒数推移状況

各年度基準日5月1日



学級数推移状況

各年度基準日5月1日



2. 教職員数

令和4年5月1日現在 (単位: 人)

区分 学校名	校長	教頭	主幹 教諭	教諭		養護 教諭	栄養 教諭	講師	計
				男	女				
扶桑中学校	1	1	0	16	13	1	2	5	39
扶桑北中学校	1	1	0	16	12	1	0	8	39
計	2	2	0	32	25	2	2	13	78

区分 学校名	事務員	用務員	学校医 内科・眼科・耳鼻科	学校 歯科医	学校 薬剤師
扶桑中学校	1	0	3	1	1
扶桑北中学校	1	0	3	1	1
計	2	0	6	2	2

3. 教室保有状況

令和4年5月1日現在

区分 学校名	教室数											計
	普通	理科	音楽	コンピュータ室	美術	技術家庭	視聴覚室	図書	教育相談	特別活動	その他	
扶桑中学校	17	2	1	1	1	4	0	1	3	7	4	41
扶桑北中学校	15	2	1	1	1	4	0	1	1	7	5	38
計	32	4	2	2	2	8	0	2	4	14	9	79

[5] 中学校校舎施設営繕工事費

中学校校舎、施設の維持管理のため、下記の工事を実施しました。

扶桑中学校 プールサイド改修工事

扶桑北中学校 バックネット改修工事

[6] 校舎大規模改造事業費

昨年度設計した扶桑北中学校体育館大規模改修工事を実施しました。

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. 教 育 振 興 費	円 35,638,000	円 32,050,290	% 89.9

【学校教育課】

[1]・[2] 教育振興諸費

生徒が健康で豊かな学習ができるように、副読本等の無償配布を始め教材・教具の充実に努めました。また、部活動の充実に図るため2中学校に5人外部指導者を配置しました。

学習指導要領に基づき体験的な学習や問題を解決する資質や能力を育成する学習を積極的に取り入れ、生徒が自ら学び問題意識を持ち考える力を伸ばし、生活に生かしていくことを学習の目的とした「総合的な学習」の充実に努めました。

町民聴講生制度を企画し、生涯学習の場として、町民の希望者が学校の授業及び行事等の教育活動に生徒と一緒に受講する事業を行いました。

扶桑北中学校 2人

[3] 情報教育推進事業費

教育用コンピュータシステム機器を活用し、情報教育を推進しました。

[4]・[5] 要準要保護生徒援助事業費

経済的に就学困難な生徒の保護者に対し、学用品費等の援助を行いました。

(単位：人)

学 校 名	援助費 区分	学用品 費 等	校 外 活動費	修 学 旅行費	給食費	P T A 会 費	新 入 学 生 徒 学用品費	卒 業 ア ル バ ム 代 等
	認定者数							
扶 桑 中 学 校	41	41	21	14	41	40	0	17
扶 桑 北 中 学 校	39	38	23	9	36	37	0	11
計	80	79	44	23	77	77	0	28

新型コロナウイルス感染症による経済状況悪化の影響が長期化する中で、学校生活内において使用する衛生用品を要準要保護生徒67人に支給しました。

[6] 特別支援教育就学奨励費補助事業費

特別支援学級または通常学級に在籍する学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する生徒の保護者に対し、学用品等の援助を行いました。

(単位：人)

学 校 名	援助費 区分	学用品費等	校外活動費	修学旅行費	給 食 費	新入学生徒 学用品費
	支給者数					
扶 桑 中 学 校	4	4	2	2	4	1
扶 桑 北 中 学 校	4	4	1	1	3	1
計	8	8	3	3	7	2

[7] 平和教育推進事業費

非核平和宣言の趣旨を生かし、戦争・原爆の間接的体験をすることにより、平和を愛する心を育てるため、扶桑中学校・扶桑北中学校の生徒代表6人と引率教諭2人を広島へ派遣しました。

8月5日・6日に、原爆の子の像への千羽鶴奉納、平和記念資料館・原爆ドーム視察、平和祈念式典への参加、ひろしま子ども平和の集いに参加し、平和への思いを強くしました。

また、派遣後には広島派遣報告会を行い、平和学習のまとめとして「令和4年度扶桑町平和教育推進事業 広島に学ぶ ～私たちの手で創る平和～」を発刊し、平和を愛する心と平和を積極的に守ろうとする姿勢を培いました。

[8] 補助金

中学校部活動で、県内の大会などに参加するために要する経費を助成しました。

[9] キャリアスクールプロジェクト推進事業費

生徒が職業の魅力を感じ、望ましい勤労観や職業観を醸成できるよう職場体験学習を核とし、中学校1年生から3年生までの系統的なキャリア教育のさらなる推進を図りました。

本年度は、6月に、扶桑中学校の2年生163人が57の事業所で、また、扶桑北中学校は9月に、2年生145人が53の事業所でそれぞれ3日間の職場体験活動を行いました。

この他扶桑中学校1年生は、社会人と語る会で仕事のやりがいについての講演会を実施、また上級学校訪問を行い、学ぶことの大切さを学びました。3年生はこのキャリア教育を通して持続可能な社会や地域の担い手としての意識を高めることができました。

扶桑北中学校は、1年生は上級学校訪問を行い、3年生は持続可能なまちづくり「まちプロ」をキャリア教育の中に位置づけ学習を進めました。

[10] 医療的ケア支援員派遣事業費

医療的ケアを必要とする生徒が在籍する扶桑北中学校に、看護師資格を有する支援員を2人配置しました。

[11] 学校教育研究事業費

扶桑町教育委員会の委嘱事業として、扶桑中学校が研究校となり、「主体的に学ぶ生徒の育成」を研究主題とし、研究事業を行いました。

10款 教育費 4項 学校給食共同調理場費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 学校給食共同調理場総務費	円 123,148,314	円 120,393,529	% 97.8

【学校教育課】

[1] 給食配送業務費

給食配送配膳

配送業務は、コンテナ配送車2台を使用し、4人の会計年度任用職員で実施しました。
また、6人の会計年度任用職員で小中学校の児童生徒の配膳補助を実施しました。

[2]・[3] 施設管理運営費

施設の維持管理のため、下記の工事を実施しました。

軟水装置整備工事

[4]・[5] 一般事務費

1. 学校給食共同調理場運営委員会（委員21人）

学校給食共同調理場の適切で円滑な運営を行うため、運営委員会を年2回開催し、学校給食の充実と向上について協議しました。

2. 献立作成委員会（委員11人）

献立作成委員会を年6回開催し、小中学校PTA代表1人、小中学校給食担当教諭6人、調理場職員2人（調理員を含む）、栄養教諭2人で献立内容の反省や検討を行い、充実した学校給食の実施に努めました。

3. 物資選定委員会（委員6人）

物資選定委員会を年12回開催し、小中学校PTA代表1人、栄養教諭2人、調理場職員3人（調理員を含む）で給食用物資の購入にあたり、安価で良質な物資の選定に努めました。

4. 学校給食食物アレルギー対応委員会（委員8人）

学校給食食物アレルギー対応委員会を年1回開催し、校長・養護教諭・小中学校給食担当教諭の代表各1人、栄養教諭2人、学校教育課長、調理場職員2人（調理員を含む）で食物アレルギー対応給食の実施にあたり、実施方法の検討を行いました。

5. 食育推進事業

健全な食生活を送るために、料理への興味・関心を深め、食べ物大切さ・感謝する心を育てることを目的とした親子料理教室を7月28日に開催し17名が参加しました。

また、食文化の伝承や地産地消を推進するため「わが家の味を給食に」と題し、町内の児童生徒とその保護者及び地域の人を対象に献立を募集し、扶桑町の食材を活用し昔から受け継がれている料理として、優秀作品「タコライス風ふるさとのご飯の具」・「あいちたっぷりミネストローネ」を始め10人の入賞献立を選定しました。

6. 学校徴収金口座振替システム

学校徴収金口座振替システムについて、取扱金融機関とのデータ授受方式を委託運用から自治体自主運用へ変更するため、システム移行ならびに運用の切替を行いました。

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. 給 食 材 料 費	円 164,997,000	円 161,609,473	% 97.9

【学校教育課】

[1] 給食賄材料費

学校給食法に基づき、小中学校の児童生徒の心身の健全な発達に資すると共に、食生活の改善に寄与するための学校給食を実施しました。

給食費（給食材料のみ）

小学校 1食 240円 年間 404,652食

中学校 1食 270円 年間 187,645食

調理場 1食 270円 年間 2,649食

主食内容は、米飯給食にはアルファ化米による炊き込み御飯を含め、月・火・水・金曜の週4回実施し、木曜の週1回をパンやソフトスパゲッティ式麺、白玉うどん、中華麺などで実施しました。

また、食物アレルギーのため食事制限を余儀なくされる25人の児童生徒の学校給食においては、除去食・代替食で対応しました。

令和4年度学校別月別給食実施一覧表

(単位：食)

学 校 名	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
柏森小学校	12,095	15,516	17,183	10,578	15,268	15,512	15,523	13,881	13,123	15,604	12,699	156,982
高雄小学校	8,956	11,051	12,362	7,805	10,824	11,359	11,389	10,187	9,621	11,398	9,299	114,251
山名小学校	4,820	5,315	7,050	4,125	5,775	6,131	6,095	5,431	5,093	6,071	4,958	60,864
扶桑東小学校	5,068	7,157	7,915	4,994	6,971	7,349	7,337	6,489	6,111	7,229	5,935	72,555
小 計	30,939	39,039	44,510	27,502	38,838	40,351	40,344	35,988	33,948	40,302	32,891	404,652
扶桑中学校	8,539	10,264	11,014	7,378	10,247	10,467	10,737	9,576	8,441	10,511	6,794	103,968
扶桑北中学校	6,854	7,612	9,462	5,926	8,159	8,174	9,043	7,676	6,793	8,412	5,566	83,677
小 計	15,393	17,876	20,476	13,304	18,406	18,641	19,780	17,252	15,234	18,923	12,360	187,645
調 理 場	206	255	313	176	242	258	269	223	212	254	241	2,649
合 計	46,538	57,170	65,299	40,982	57,486	59,250	60,393	53,463	49,394	59,479	45,492	594,946

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰の影響を受ける小中学校の賄材料費を支援し、これまで通りの質と量を維持した学校給食を提供するため食材購入費を増額しました。

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰による小中学生の保護者負担を軽減するため2月・3月の児童生徒の学校給食費の全額補助（小学校63,669食 15,280,560円 中学校28,651食 7,735,770円）を行いました。

※令和4年度「扶桑町立小中学校児童生徒第3子以降学校給食費無償化事業」を実施しました。（児童生徒137名）

10款 教育費 5項 社会教育費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 社会教育総務費	円 155,584,293	円 143,409,309	% 92.2

【生涯学習課】

[1] 文化祭開催事業費

文化協会、女性の会、老人クラブ連合会による活動成果の発表の場として文化祭を実施しました。

1. 文化祭活動発表会

- (1) 期日・会場 10月30日(日)、11月6日(日) 扶桑文化会館
- (2) 内 容 民謡・詩吟・合唱・ダンス・楽器演奏等の活動発表
- (3) 来場者数 541人

[2] 二十歳のつどい事業費

新たな人生の一步を踏み出される若者の前途を祝福するために式典を実施しました。実施にあたり、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、午前と午後の2部制で二十歳の若者のみの出席としました。

- (1) 期日・会場 1月8日(日) 扶桑文化会館
- (2) 内 容 二十歳の若者の企画立案により、恩師からのビデオレターや抽選会などを行いました。
- (3) 出席者数 262人

[3] 生涯学習推進事業費

「文化の香り高いまちづくり」を推進するために、町民の自主的な文化活動・創作活動の発表の場を提供しました。

1. 第38回町民音楽祭

- (1) 期日・会場 7月3日(日) 扶桑文化会館
- (2) 内 容 一般公募の合奏・合唱など9団体が日頃の成果を発表
- (3) 来場者数 156人

2. 第38回ふそう美術展

- (1) 期日・会場 9月3日(土)～9月11日(日) 中央公民館
- (2) 内 容 一般の部 112点 絵画デザイン・書・写真・彫刻・工芸
小中学生の部 5点 図画・工芸・書道
- (3) 来場者数 1,075人

3. 第32回町民茶会

- (1) 期日・会場 10月9日(日) 中央公民館
- (2) 内 容 参加席主 表千家1席 裏千家1席
- (3) 来場者数 450人

[4] 子ども会活動育成事業費

子どもの連帯意識を高め、地域に根ざした活動が展開できる組織づくりに努めました。会員数1,710人、34団体の単位子ども会が自主的・計画的な活動を展開しました。

補助金額 1,024,000円

[5] 文化財等保護費

郷土の文化財に対する正しい理解が郷土を愛する心につながります。文化財を大切に守り次世代に引き継ぐことができるように保護と活用を図りました。

文化財保護審議会 2回（8月17日、1月20日）

文化財巡視活動 2回（9月5日、9月27日）

文化財保護事業補助金 105,000円

文化財保護団体等（14件）に対し、補助金を交付しました。

[6] 社会教育総務事務費

1. 社会教育事業

社会教育・社会体育に関する諸事業を円滑に推進し、社会教育・社会体育の充実を図るため審議会を開催し、社会教育計画及び施設整備等諸問題について協議を行いました。

社会教育審議会 2回（7月20日・2月8日）

2. 青少年健全育成事業

青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する事業計画を策定し、適切に実施するとともに、青少年の福祉向上を図ることを目的とした協議を行い、事業を実施しました。

青少年問題協議会 1回（7月15日）

主な事業

(1) 「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動」

(一) 期 間 7月1日～8月31日（夏期）

12月20日～1月10日（冬期）

(二) 活動内容 広報紙・広報無線放送による広報活動、重点地区パトロール活動、看板・ポスターの掲示による啓発

(2) 「子ども・若者育成支援県民運動」

(一) 期 間 11月1日～11月30日

(二) 活動内容 看板・ポスターの掲示による啓発

(3) 「家庭の日県民運動」

(一) 期 間 2月1日～2月28日

(二) 活動内容 ポスターの掲示による啓発

3. 家庭教育推進事業

地域に根差した家庭教育の普及を図るため、心身ともに健全な子どもの育成と、子どもたちの取り巻く環境を親子で考える機会として、子育ておうえん講座と家庭教育講演会を開催しました。

(1) 子育ておうえん講座

(一) 期日・会場 3回(9月15日、10月15日、11月19日) 中央公民館

(二) 内 容 心理学と食育に関する講座

(2) 家庭教育講演会

(一) 期日・会場 1月15日(日) 中央公民館

(二) 内 容 講師によるお話と竹のおもちゃ作り

[7] 負担金補助及び交付金

1. 女性の会

扶桑町女性の会連絡協議会は、会員338名で各種クラブを組織し、趣味及び実技等の自主的な活動のほか、地域社会への奉仕活動を通じ、明るい町づくりに寄与するとともに、魅力ある新しい女性の会をめざして熱心な活動を展開しました。

補助金額 540,400円(27クラブ)

2. 文化協会

扶桑町文化協会は、会員相互の教養高揚と地方文化の発展を目的として、各団体で事業計画に従って特色ある活動を展開し、事業を通して芸術・芸能等文化の普及・振興に寄与しました。

補助金額 512,500円(30団体)

●めざそう値

施 策	生涯学習			
指 標 名	指 標 の 定 義	計画策定時	R4実績値	R4目標値
文化団体の育成	文化協会に所属する団体数(団体)	30	33	33

3. 神楽囃子保存会

昭和59年6月に神楽囃子保存会が結成されました。地区のお年寄りと子どものふれあいを通して、昔から扶桑町に伝わる神楽囃子の普及・保存を図ることにより、郷土愛を育て、地区文化の向上に寄与しました。

補助金額 611,000円(13団体)

4. ボーイスカウト

青少年健全育成推進事業の一環として、補助しました。

補助金額 10,000円

[8] 地域学校協働本部事業費

「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の実現に向けて、学校と地域の連携・協働を図るため地域学校協働活動推進員会議を開催し、活動の成果や、課題の整理を行いました。

地域学校協働活動推進員会議 3回(5月13日、7月7日、3月22日) 中央公民館

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. 公 民 館 費	円 12,974,707	円 12,102,851	% 93.3

【生涯学習課】

[1] 公民館講座等事業費

1. 生涯学習講座

人々が生きがいや自己実現を求めて、学習活動等に自主的・自発的に参加できるような機会と場の整備充実及び学習情報の提供を促進するとともに、社会参加を通して地域社会づくりに貢献できる人間形成をめざした生涯学習の推進を図りました。

18講座 271名受講

前 期 講 座			
講 座 名	受講者数	講 座 名	受講者数
親子で学ぼう！扶桑の自然	12名	スマートフォン講座	8名
ふるさと扶桑学	7名	親子で学ぶプログラミング講座 (中止)	—
北条義時と承久の乱	26名	はじめての寄せ植え	16名
絶品！味噌づくり	20名	民謡講習会	9名
正しく学ぶマクロビオティック (中止)	—		
合計（前期7講座）			98名

後 期 講 座			
講 座 名	受講者数	講 座 名	受講者数
親子で学ぼう！扶桑の自然	17名	はじめてのウクレレ	8名
レゴロボット教室	20名	羊毛で作るフェルト雑貨（中止）	—
絶品！キムチづくり	12名	レジン体験教室	27名
シリーズ徳川家康（1）	26名	日常で使えるラッピング術	7名
みんなで学ぼう！ スマホの使い方	11名	足揉み教室	20名
カメラ入門	6名	はじめての寄せ植え	19名
合計（後期11講座）			173名

[2]・[3] 公民館管理運営費

公民館は、町民の日常生活と結びついた生涯学習の拠点となる施設で、教養の向上・生活の知恵・技術の習得と仲間づくりを奨励するため、講義室・調理実習室・和室・講堂等を開放しています。

1. 公民館の利用状況

名 称	開館日数	団 体 数	利用者数	名 称	開館日数	団 体 数	利用者数
中央公民館	309	1,055	18,813	山名公民館	0	0	0
高雄公民館	1	1	50				

2. 施設の整備

施設の維持管理のため、下記の工事を実施しました。

受変電設備改修工事、給水設備修繕工事

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
3. 図 書 館 費	円 45,599,000	円 43,799,200	% 96.1

【生涯学習課】

[1]・[2] 図書整備運営費

暮らしの中で生きる図書館を目指し、新刊書（紙芝居・大型絵本含む）4,134冊と視聴覚資料32点を購入して蔵書の充実を図りました。

1. 蔵書

区 分	冊 数	構成比 (%)	分 類 項 目	
一 般 書	0 総 記	2,789	1.8	図書館・逐次刊行物・百科事典
	1 哲 学	4,626	3.1	哲学・心理学・倫理学・宗教
	2 歴 史	8,776	5.8	歴史・伝記・紀行
	3 社 会 科 学	13,894	9.2	政治・法律・経済・社会・教育
	4 自 然 科 学	8,443	5.6	数学・物理・理学・医学
	5 技 術	9,047	6.0	工学・工業・家政学
	6 産 業	3,833	2.5	農業・園芸・水産業・商業・運輸
	7 芸 術	8,308	5.5	美術・音楽・演劇・体育・娯楽
	8 言 語	2,180	1.4	言語
	9 文 学	38,579	25.5	文学
小 計	100,475	66.4		
児 童 書	32,613	21.5	(絵本・紙芝居を含む)	
郷 土 資 料	3,753	2.5	(県外資料を含む)	
視 聴 覚 資 料	5,084	3.3		
雑 誌	9,495	6.3		
合 計	151,420	100.0		

令和5年3月31日現在

●めざそう値

施 策	生涯学習			
指 標 名	指 標 の 定 義	計 画 策 定 時	R4実績値	R4目標値
図 書 貸 出 点 数	年間の図書貸出点数(点)	346,444	279,669	350,644

[3]・[4] 図書館活動費

1. 図書館協議会

期 日	場 所	内 容
8月4日	中 央 公 民 館	令和3年度利用実績・令和4年度事業計画
2月15日	各務原市立中央図書館	図書館協議会・施設視察研修

2. 利用状況

月	開館日数	貸出点数	貸出者数	入館者数	予約点数
4	25	19,718	3,727	7,968	660
5	25	22,783	5,046	9,734	635
6	24	23,845	5,089	9,841	670
7	20	21,144	4,392	9,069	622
8	26	25,972	5,687	12,183	692
9	25	23,808	5,151	10,351	673
10	26	24,333	5,520	10,354	746
11	24	22,576	4,938	9,658	656
12	22	22,285	4,933	8,338	632
1	23	23,332	4,883	9,305	646
2	23	24,146	5,549	10,037	647
3	26	25,727	5,612	10,416	605
合計	289	279,669	60,527	117,254	7,884
1日当たり平均		968	209	406	27

3. 利用者登録状況

(1) 地区別登録状況

(単位：人)

区 分	男	女	団 体	計	地区人口	地区人口比(%)
高 雄	2,791	4,171	—	6,962	15,009	46.3
山 那	119	157	—	276	1,171	23.5
小 淵	110	161	—	271	760	35.6
南 山 名	653	932	—	1,585	2,926	54.1
斎 藤	665	1,101	—	1,766	4,083	43.2
高 木	390	650	—	1,040	2,267	45.8
柏 森	1,381	2,065	—	3,446	8,736	39.4
在 勤 在 学	55	55	—	110	—	—
町外・その他	3,846	6,211	148	10,205	—	—
合 計	10,010	15,503	148	25,661	34,952	—

(2) 年齢区分別登録状況

(単位：人)

	男	女	団 体	計	全体比(%)
6 歳 以下	196	198	—	394	1.5
7 歳～9 歳	303	380	—	683	2.7
10歳～12歳	467	478	—	945	3.7
13歳～15歳	551	612	—	1,163	4.5
16歳～18歳	519	626	—	1,145	4.5
19歳～22歳	714	908	—	1,622	6.3
23歳～29歳	941	1,352	—	2,293	8.9
30歳～39歳	1,032	2,238	—	3,270	12.7
40歳～49歳	1,283	3,027	—	4,310	16.8
50歳～59歳	1,115	2,237	—	3,352	13.1
60歳～69歳	805	1,384	—	2,189	8.5
70歳以上	2,084	2,063	—	4,147	16.2
団 体	—	—	148	148	0.6
合 計	10,010	15,503	148	25,661	100.0

4. 各種事業

(1) 展示会

展 示 名	期 間	内 容
「良い歯 絵手紙作品」展示会	6/8～6/17	愛知県保険医協会による「絵手紙」の展示
「フレンドリーシップ&ひまわり作品」展示会	7/16～8/7	創作グループどんぐりが作成した、人形やタペストリー等の展示
吉田 昇氏 「特集 標本の世界～尾張北部の生き物たち～」展示会	8/14～8/28	吉田 昇氏が作成した動物等の標本の展示
「扶桑町図書館所蔵 複製絵画展」	10/1～10/16	図書館で所蔵している複製絵画の展示
「地球環境保護ポスターコンクール展」 「廃品再利用コンテスト展」	10/22～10/28	産業環境課による「環境」を考える作品の展示
第12回蘭風水墨画院 「緑風会作品展」	11/2～11/13	緑風会会員が作成した水墨画等の展示
芳村 喜道氏 「オリジナルで作る恐竜と動物折り紙作品展」	12/11～12/23	芳村 喜道氏による創作折り紙の展示
尾張とさつまの文化交流展 南さつま児童生徒美術展受賞作品展	1/8～1/22	黒瀬 道則氏主催による尾張とさつまの文化交流展
今枝 憲治氏 「世界のマーケット等」展示会	3/12～3/26	今枝 憲治氏による、世界の様々なマーケットの写真の展示
合 計	9 回	

(2) 教室等

事 業 名	回 数	参加人数	対象者	内 容
子ども工作キット配布	5	100	親子	カーネーション・似顔絵レターラックなど
夏休み工作教室	1	10	親子	ひまわり柄マット作り
耳で楽しむおはなし会	1	2	親子	ボランティアグループによるおはなし会
おはなしとあそびの広場	41	472	親子	大型絵本・タペストリーなど
あかちゃん絵本よみきかせ会	39	437	親子	ボランティア・職員による読み聞かせ
合 計	87	1,021		

上記の他に、親子を対象とした工作教室や科学教室などを計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

5. ボランティア活動

6月から4団体のボランティアによる、毎週土曜日の「おはなし」と「あそび」の広場を再開し、紙芝居、絵本の読み聞かせのほか、ストーリーテリング、かんたん工作、パネルシアター、朗読会等を行い子どもたちにおはなしの楽しさを教え、読書に対する親しみが更に増すよう働きかけました。

また、個人ボランティアの方による「あかちゃん絵本のよみきかせ」（毎月1回）も6月から再開しました。

サークル団体である扶桑古文書会による扶桑町の古文書の発掘、口語訳、製本を行い、利用者に提供しました。

本のQQたい（本の修理ボランティア）により、毎月第1月曜日に扶桑町図書館所蔵の本の中で、修理が必要な本1,539冊の修理を行い、利用者に提供しました。

用語の説明

ストーリーテリング…語り手が物語を覚えて、自分の言葉に直して子どもに語ること。

パネルシアター………パネル布を貼ったボードを舞台に、作った絵人形を貼ったり外したりして、物語を展開する人形劇のこと。

6. 図書館利用サービス

毎月「としょかんカレンダー」「図書館だより」を発行しました。子どもの読書推進のための読書マラソンカードの実施のほか、大型絵本・優良図書・推奨図書などを紹介したパンフレットを作成し、利用者に配布しました。また、毎月、テーマを決めてカウンター前に本の特集コーナーを設けて、本との出会いを創出しました。

ホームページでも、「蔵書検索・予約」を始め、「新着資料検索」「貸出ランキング」「行事予定」等、利便性と関心度の高い情報の提供を維持しました。

さらに、中日新聞及びケーブルテレビを通してより多くの利用者に図書館の情報を提供しました。

7. 施設の整備

更新時期を迎える図書館の昇降機の改修工事を実施しました。

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
4. 放 課 後 子 ども 教 室 推 進 事 業 費	円 1,133,000	円 607,967	% 53.7

【生涯学習課】

[1]・[2] 放課後子ども広場事業費

放課後子ども広場事業は、放課後に小学校の余裕教室等を活用して、スポーツ、学習、文化活動、地域住民との交流活動等により、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを目的として、1・2年生を対象に行っています。柏森小学校2教室、山名公民館視聴覚室、高雄公民館会議室、扶桑東小学校体育館内会議室を開設場所として実施しました。

広 場 名	開 設 場 所	児 童 数	開 設 日 数	実 施 時 間
柏森放課後子ども広場	柏 森 小 学 校	49人	195日	学校授業日(月～金曜日)の下校時から午後5時まで (ただし、学校休業日は実施しない)
山名放課後子ども広場	山 名 公 民 館 (山名小学校敷地内)	21人	194日	
高雄放課後子ども広場	高 雄 公 民 館 (高雄小学校敷地内)	49人	194日	
扶桑東放課後子ども広場	扶 桑 東 小 学 校	33人	193日	

※児童数は、令和4年度末登録人数

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
5. 学習等供用施設管理費	円 20,207,920	円 19,780,575	% 97.9

【生涯学習課】

[1]・[2] 学習等供用施設管理運営費

学習等供用施設は、学習室・保育室・集会室・休養室等の利用目的に応じた部屋が設けられており、地域サークル活動の促進を図るため、子どもからお年寄りまで年齢、性別を問わず広く町民のみなさんに開放しています。

1. 学習等供用施設の利用状況

学供名	開館日数	利用団体数	利用延時間数	団体利用者数	個人利用者数	利用者数合計
高 雄	296	936	2,458	8,629	343	8,972
扶 桑 東	296	693	1,808	6,875	248	7,123
高 雄 西	294	646	1,429	4,777	327	5,104
山 名	294	604	1,471	5,038	196	5,234
山 名 西	295	660	1,482	5,747	394	6,141
斎 藤	296	776	1,842	6,449	374	6,823
柏 森	336	799	2,968	8,432	663	9,095
柏森中央	296	784	1,808	6,923	500	7,423
合 計	2,403	5,898	15,266	52,870	3,045	55,915

2. 施設の整備

施設の維持管理のため、下記の工事を実施しました。

高雄学習等供用施設	高圧コンデンサ取替工事
扶桑東学習等供用施設	高圧コンデンサ取替工事
高雄西学習等供用施設	高圧コンデンサ取替工事、ガス給湯器設置工事 2階学習室空調機修繕工事
斎藤学習等供用施設	高圧コンデンサ取替工事

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
6. 文 化 会 館 費	円 86,948,080	円 82,727,268	% 95.1

【文化会館】

[1]・[2] 文化会館管理運営費

1. 文化会館を利用される方々が、快適に施設を利用できるよう、定期的に設備点検・清掃等を実施しました。

新型コロナウイルス感染症対策として、施設管理ではトイレの感染症対策清掃を加えた清掃等管理業務委託、施設運用では情勢の変化に応じた利用制限を行い、感染拡大防止に努めました。また、自主事業10公演の動画配信を実施しました。

広報では、ホームページとフェイスブックに、催し物やご利用案内を掲載し、広く扶桑文化会館のPRに努めました。

貸館事業

貸 館 件 数	貸 館 内 容
ホール 161件	講演会・発表会等
リハーサル室 107件	コーラス・ダンスの練習等
会議室 137件	講習会・会議等
展示室 11件	展示会・会議等

2. 施設の整備

施設の維持管理のため、下記の工事を実施しました。

舞台音響デジタルワイヤレスマイク設備修繕工事、舞台吊り物設備機構取替工事、舞台照明設備修繕工事、電気設備改修工事、自動火災報知設備感知器設置工事

[3] 一般事業費

各界の著名な方々を招き、質の高い本格的な舞台公演を紹介することにより、文化芸術の普及・発展に努めました。また、PR効果の高い公演チラシの裏面に詳細情報を掲載し、その一部に有料広告を募集し、積極的に広告収入の確保を図りました。

1. 自主事業

(1) 第34回ふそう文化大学 全自由席 5,000円（4回通し） 単券 2,000円

6月12日(日)	◆お話&コンサート ◇「人生を謳うフラメンコギター」 出演/沖仁(フラメンコギター)	来館者数 308名
7月17日(日)	◆お話&コンサート ◇「演奏『リベルタンゴ』他」 出演/ウェイウェイ・ウー(二胡)、森丘ヒロキ(ピアノ)	347名
8月14日(日)	◆お話&コンサート ◇「人を結び、いのち奏でて、伝統を舞う」 出演/志多ら(和太鼓)	345名

9月18日(日)	◆お話と特別公演 ◇「公演『愛宕詣』『土蜘蛛』」 出演／壬生狂言 壬生大念佛講	283名
----------	---	------

(2) ワンコインコンサート〈前期〉(音楽) 全自由席 2,000円(4回通し) 単券 500円

6月18日(土)	◇「調和を愉しむジャズの室内楽」 出演／ジャズカルテット 早川ふみアコースティック4/ 早川ふみ(アルトサククス)、原努(ギター)、 餌取雄一郎(トロンボーン)、飛驒勇也(ベース)	187名
7月23日(土)	◇「ドラム缶と日用品楽器の音楽会」 出演／スティールパン&日用品演奏ユニット なっちゃんとkajii/ 松井奈都子(スティールパン)、 クマーマ(日用品楽器)、創(日用品楽器)	106名
8月27日(土)	◇「アコーディオン&ジャズボーカルで奏でる映画の名曲」 出演／アコーディオン・ジャズ Snafkins/ SAT(ヴォーカル&アコーディオン)、 Mr. Tsuge(ギター) サポート出演／T-SHOW(ウッドベース)、 山下佳孝(ドラム)	175名
9月10日(土)	◇「音楽の世界旅行～フランスからアルゼンチンまで～」 出演／青山桂子(ヴォーカル)、真彩(ヴォーカル)、 加藤修滋(ピアノ)、片桐一篤(シンセサイザー)	265名

(3) ワンコインコンサート〈後期〉(音楽) 全自由席 2,000円(4回通し) 単券 500円

10月8日(土)	◇「DELATANGOによる情熱と哀愁のアルゼンチンタンゴ」 出演／タンゴトリオ DELATANGO/ 矢田麻子(ピアノ)、高橋誠(ヴァイオリン)、 川村なつみ(チェロ)	172名
11月3日(木・祝)	◇「ドラムから紐解くジャズの歴史」 出演／ジャズトリオ 杉山寛トリオ/ 杉山寛(ドラム)、渡辺翔太(ピアノ)、荒川悟志(ベース)	170名
12月24日(土)	◇「【バイオリンは唄い、フィドルは踊る】～ヨーロッパの街角で～」 出演／ケルティックアンサンブル 悠情ケルティック/ 悠情(フィドル)、山下力哉(ピアノ)、 福江元太(ギター)、リサ(アイリッシュダンス)	138名
1月21日(土)	◇「ピースフル・ウクレレ・ミュージック」 出演／ウクレレ・アンサンブル Smile☆Smile/ ジューク・オカヨシ(ウクレレ)、せきともこ(ギター)、 イサーク・カトウ(パーカッション)	229名

(4) ワンコインコンサート ファミリー (音楽) 全席指定 500円

6月25日(土)	プチジャズ 出演/プチジャズバンド ラブル~☆/ 山口沙織 (ヴォーカル)、小島勇司 (サクソ)、 大谷泰史 (エレクトーン)、笠井亨 (ベース)、 藤岡直記 (ドラム)	164名
9月25日(日)	リズム☆リズム 出演/マリンバ&パーカッショングループ BIRTH/ 田口美郷 (パーカッション)、 中村新 (パーカッション)、間野英里 (マリンバ)、 大野千尋 (マリンバ)、内田一晟 (パーカッション)	第1回 208名
		第2回 111名

(5) 伝統芸能 (落語) 全席指定 2,000円

8月7日(日)	扶桑寄席 入船亭小辰・立川吉笑 二人会 出演/入船亭小辰、立川吉笑	132名
---------	--------------------------------------	------

(6) 扶桑文化会館探検ツアー (体験企画) 入場無料

8月11日(木・祝)	スライドショーや照明機器の操作実演を通して、文化会館の舞台設備や特徴をレクチャーしました。企画の後半では、参加者自身が照明機器等の操作を行い、その役割と効果を体験しました。	第1回 10名
		第2回 0名
10月16日(日)	スライドショーや照明機器の操作実演を通して、文化会館の舞台設備や特徴をレクチャーしました。企画の後半では、参加者自身が舞台道具の組み立て等を行い、その役割と効果を体験しました。	22名

(7) 獅鉄ふそうDE落語 (伝統芸能 (落語)) 全自由席 単券 500円

10月22日(土)	①「年季奉公あけまして、プロです！」 出演/登龍亭獅鉄 舞台装置観覧プチツアー/高座、搬入口	30名
12月21日(水)	②「新作、うまれた可愛いわが子」 出演/登龍亭獅鉄 舞台装置観覧プチツアー/照明	30名
2月9日(木)	③「落語家の秘密~プロでも言いたくない裏のモロモロ~」 出演/登龍亭獅鉄 舞台装置観覧プチツアー/本花道	50名
3月16日(木)	④「名人とは何か?~目指すべき名人~」 出演/登龍亭獅鉄 舞台装置観覧プチツアー/音響	44名

(8)-① 音楽 無料

11月11日(金)	三浦一馬バンドネオン・コンサート〈学校鑑賞〉 【公益財団法人三井住友海上文化財団助成事業】 出演/三浦一馬 (バンドネオン)、ロー磨秀 (ピアノ)、 成田達輝 (ヴァイオリン)	山名小学校 4~6年生 150名
-----------	---	------------------------

(8)-② 音楽

全席指定 1,500円

11月12日(土)	三浦一馬バンドネオン・コンサート〈一般鑑賞〉 【公益財団法人三井住友海上文化財団助成事業】 出演／三浦一馬 (バンドネオン)、ロー磨秀 (ピアノ)、 成田達輝 (ヴァイオリン)	369名
-----------	---	------

(9) ただいま、舞台は工事中!? 客席DEコンサート (音楽)

入場無料

11月20日(日)	◇「サククス侍」 出演／サククス侍 (サククス)	77名
11月27日(日)	◇「Smile☆Smile」 出演／ジューク・オカヨシ (ウクレレ)、せきともこ (ギター)	88名

(10) 伝統芸能 (地歌舞伎・落語)

全自由席 1,000円

12月4日(日)	まちの皆様 地歌舞伎&落語 出演／七賀十郎一座 (地歌舞伎)、春風亭昇吉 (落語)	365名
----------	--	------

(11) 音楽

無料

12月15日(木)	児童・生徒音楽公演鑑賞事業 出演／アコースティックユニット NewTones/ 中川香 (ヴァイオリン)、松本一策 (ヴァイオリン)、 伊藤玉木 (コントラバス)、北川美晃 (ピアノ)	扶桑中学校 全学年 538名
-----------	---	----------------------

(12) 音楽

全席指定 3,000円

12月18日(日)	シャンソン・ブロマード～フランスから南米まで! 音楽世界旅行～ 出演／青山桂子 (ヴォーカル)、岡山加代子 (ヴォーカル)、 七瀬紫 (ヴォーカル) ル・シャトー・ドゥ・バン/ 月森幸哉 (ヴォーカル)、 遠藤マサアキ (ギター、コーラス) バンド/ 片桐一篤 (ピアノ)、牛丸健司 (ギター)、 名古屋一也 (ベース)、大岩よしお (ドラム) ゲスト/ パトリック・ヌジェ (アコーディオン&ボーカル)	185名
-----------	--	------

(13) 伝統芸能 (落語)

全席指定 S席 3,500円 A席 3,000円

1月15日(日)	扶桑寄席 三つ巴競演会 出演／古今亭菊之丞、柳家わさび、柳亭小痴楽、他	191名
----------	--	------

(14) 音楽 全席指定 一般 2,500円 高校生以下 1,500円

2月18日(土)	宝くじおしゃべり音楽館 思い出のスクリーンミュージック 【一般財団法人自治総合センター助成事業】 出演/島田歌穂(歌)、小原孝(ピアノ)、 春風亭小朝(トーク&ナビゲーター)、 おしゃべり音楽館ポップスオーケストラ	555名
----------	--	------

(15) 音楽・体験企画 各回 1,200円

3月2日(木)	ジューク・オカヨシ	10名
3月30日(木)	ウクレレ♪ミニコンサート&体験レッスン 出演/ジューク・オカヨシ(ウクレレ)	9名

(16) 伝統芸能(落語・講談) 全席指定 S席 3,500円 A席 3,000円

3月5日(日)	扶桑寄席 扇遊・喬太郎 二人会 出演/入船亭扇遊、柳家喬太郎、田辺いちか、他	203名
---------	---	------

(17) ロビーコンサート

子どもから大人まで幅広い年齢層の方楽しんでいただけるよう、アカデミックな曲から広く知られる曲まで、多様な楽器編成にて開催しました。

また、新型コロナウイルス感染症への対応のため、会場をロビーからホールへ変更しました。

イオンモール扶桑からの提案に対応して、イオンモール扶桑にて2公演を開催しました。

本公演を多様な形態で鑑賞いただくため、出演者の了承を得た公演に限り、動画配信(YouTube)を実施しました。

入場無料

5月14日(土)	“クラリネットとピアノで奏でる癒しのボタニカル” 出演/トリオファミリア/ 杉本朋子(クラリネット)、 北山優貴葉(クラリネット)、太田紗耶香(ピアノ)	59名
5月29日(日)	“魅惑(?)の二重唱~五月雨の 合間縫ひたる 燦燦と 魅惑の調べ 天までゆかん~” 出演/魅惑(?)の二重唱/ 笠木厚憲(テノール)、水谷彰宏(テノール)、 伊藤彩香(ピアノ)	54名
6月4日(土)	“古き良きアメリカとビートルズの名曲をともに” 出演/サワーズ/ 古澤哲也(ギター、ピアノ)、一柳伸平(バンジョー、ギター)	67名
6月10日(金)	“2本のフルートとピアノによる初夏のコンサート” 出演/ぴあ♪笛リーチェ/ 若葉晴弓(フルート)、新見多恵(フルート)、 谷口哲(ピアノ)	55名
7月9日(土)	“歌うユーフォニアム~独奏ユーフォニアムの魅力~” 出演/稲垣七海(ユーフォニアム)、長澤苑香(ピアノ)	73名

8月6日(土)	“樹木の楽器たちから愛をこめて～癒しとパワーサウンド♪～” 出演／アンサンブル樹吹／ 石田正（オーボエ）、近藤幹夫（マリンバ）、 三柁沢信（ドラム&パーカッション）、 笹原直美（ピアノ）、伊藤玉木（コントラバス）	76名
8月12日(金)	☆ふそうのロビコン in イオンモール扶桑 “サクソフォン四重奏” 出演／サクソフォンカルテット“リバージュ”／ 奥野幸治（ソプラノサククス）、篠崎剛（アルトサククス）、 若狭陽子（テナーサククス）、 滝本知奈美（バリトンサククス）	215名
9月16日(金)	“ピアノで奏でる「運命」交響曲” 出演／風呂本佳苗（ピアノ）	54名
9月19日(月・祝)	“Trip of Color” 出演／Mer／ 平野友理（フルート）、佐藤笙子（ピアノ）	67名
10月2日(日)	“オカリナ四重奏 ハートフルコンサート” 出演／ボーネ・アミーケ／ 鶴飼啓子（オカリナ）、大島初美（オカリナ）、 鈴木美由紀（オカリナ）、松尾靖代（オカリナ）	128名
12月10日(土)	☆ふそうのロビコン in イオンモール扶桑 “弦楽四重奏” 出演／カルテット陽／ 大森麻貴（ヴァイオリン）、石橋まり子（ヴァイオリン）、 渡辺優貴（ヴィオラ）、近藤悠叶（チェロ）	222名
1月22日(日)	“「ウィーンの春Ⅳ」プレコンサート” 出演／ウィーン フリューリンク アンサンブル／ つつみあつき（アルト・クラリネット）、 堤久美子（クラリネット）、 菊次翼（エス・クラリネット&クラリネット）、 稲神佐和子（ピアノ）	42名
1月29日(日)	“ヒナタロードjourney” 出演／カルテット陽／ 大森麻貴（ヴァイオリン）、石橋まり子（ヴァイオリン）、 渡辺優貴（ヴィオラ）、近藤悠叶（チェロ）	90名
2月3日(金)	“アンサンブル セリジェ 節分コンサート～ブラスの響き～” 出演／Ensemble Serisier／ 伊藤歩美（ホルン）、高橋喜仁（トロンボーン）、 和田さくら（トランペット）、吉田春菜（トランペット）、 渡邊望（チューバ）	31名
2月23日(木・祝)	“冬に聴きたい音楽” 出演／PIANO DUO NIKI／ 石井佳奈（ピアノ）、真希（ピアノ）	56名

3月3日(金)	“サクソフォンカルテット・コンサート” 出演/Saxophone quartet Rivage/ 奥野幸治 (ソプラノサククス)、篠崎剛 (アルトサククス)、 若狭陽子 (テナーサククス)、 滝本知奈美 (バリトンサククス)	63名
動画配信 (YouTube)	10公演	再生回数 1,585回

(18) グランドピアノ開放

ロビーに設置のミニグランドピアノを無料開放し、子どもたちが気軽に練習できる場を提供しました。対象は幼児から高校生まで、時間区分は1回45分間、予約制にて実施しました。

(一) 春期

開放期間：4月1日(金)～5月8日(日) (実質開放日：26日)

利用回数：28回 (利用可能回数：218回)

申込者数：28組

利用者数：63名

(二) 夏期

開放期間：7月20日(水)～8月31日(水) (実質開放日：14日)

利用回数：41回 (利用可能回数：59回)

申込者数：41組

利用者数：84名

(三) 冬期

開放期間：11月16日(水)～12月23日(金) (実質開放日：17日)

利用回数：10回 (利用可能回数：124回)

申込者数：10組

利用者数：19名

(四) 春期

開放期間：3月22日(水)～3月31日(金) (実質開放日：6日)

利用回数：19回 (利用可能回数：42回)

申込者数：19組

利用者数：40名

(19) 扶桑文化会館で、デカイ音、出してみよう！(体験企画)

参加無料

7月27日(水) 7月28日(木)	自宅では絶対にできない、大音量でのバンド練習を1区分3時間にて舞台上で体験いただきました。 アマチュアバンド活動を行う6歳から22歳までを対象に実施しました。	参加者 3組 来館者 16名
----------------------	--	-------------------

(20) 聴いて♪わたしのピアノ♪ (体験企画)

参加・鑑賞無料

11月23日(水・祝)	ロビーに設置のミニグランドピアノを使用し、1区分20分間の公開ピアノ演奏を、体験いただきました。プロ、アマチュア、演奏ジャンルを問わず、公募にて実施しました。	参加者 7組 来館者 29名
-------------	---	-------------------

2. 共催事業

幅広い文化事業の普及と、住民の方の参加意識の向上のために、質の高い作品を共催事業として行いました。

全席指定 S席 3,500円 A席 3,000円

10月1日(土)	春風亭小朝独演会 出演/春風亭小朝、他	288名
----------	------------------------	------

3. 扶桑町登録アーティスト紹介事業

文化事業の振興や住民の活動力を高めることを目的に、町内の団体へ登録アーティストを1回紹介しました。

4. 「ふそう文化会館夢応援団」との連携

自主事業、共催事業へと幅広く協力・応援をしていただきました。

団 員 数	16名
各種事業応援回数	24回
延 べ 人 員	171名

5. 「扶桑文化会館友の会」の充実

優れた文化芸術公演を身近に鑑賞できるよう会員へ「かわら版」の発送を行うとともに、チケット先行販売や友の会特別割引販売を実施しました。

一 般 会 員	303名
賛 助 会 員	7名

☆ 友の会自主企画事業「バスツアー」

新型コロナウイルス感染症の情勢により、バスツアーは中止しました。

●めざそう値

施 策	文化・芸術			
指 標 名	指 標 の 定 義	計 画 策 定 時	R 4 実 績 値	R 4 目 標 値
文化会館でボランティアに携わる人数	扶桑文化会館催事に参加する、ふそう文化会館夢応援団及び友の会の人数(人)	37	30	42

10款 教育費 6項 保健体育費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 保 健 体 育 総 務 費	円 36,664,410	円 34,681,539	% 94.6

【生涯学習課】

[1] 学校体育施設スポーツ開放事業費

町内の小・中学校及び県立丹羽高等学校の体育施設を、学校教育に支障のない範囲で開放しました。各種の地域スポーツクラブなどの活動拠点として利用しました。

(利用状況)

(単位：時間)

学校名 場所	柏 森 小	高 雄 小	山 名 小	扶 桑 東 小	扶 桑 中	扶 桑 北 中	丹 羽 高	合 計
運 動 場	114	201	472	592	15.5	47.5	55	1,497
体 育 館	870	1,266	858	711	1,086	405		5,196
計	984	1,467	1,330	1,303	1,101.5	452.5	55	6,693

[2] 保健体育総務一般事務費

1. 生涯スポーツの推進

15名の委員により構成されたスポーツ推進委員会は、生涯スポーツの推進、ニュースポーツの普及を図るとともに、チャレンジデー、走ろう会～今年ものんびり歩こう会～、ミステリーウォーク等各種大会の企画・運営等スポーツリーダーとして町のスポーツ振興に努めました。

また、町民がスポーツを通して日常的に運動に親しむ機会を増やし、健康で明るく豊かなまちづくりを目指して、総合型地域スポーツクラブ（NPO法人わっと楽しくスポーツふそ）と協力・連携し、スポーツ教室等を実施しました。

〈総合型地域スポーツクラブ〉

(会員数の内訳) 合計会員数 835名 21団体

会 員 区 分	会 員 数
普 通 会 員	788名
指 導 者 会 員	23名、6 団体
正 会 員	17名
賛 助 会 員	7名、15団体

(通常教室)

合計受講者数 898人

教室名	受講者数	教室名	受講者数
ママと幼児の体と心づくり	73	ソフエアロビクス	26
トータルスポーツ	125	ヒップホップダンス	146
ストレッチヨガ	21	ミニバスケットボール	156
卓球	32	ソフトテニス	29
ヨガ	40	バレーボール	21
体操	36	リズムウォーキング& リンパコンディショニング	29
ソフトボール	28	爽快エアロビクス	12
ボール&チェア エクササイズ	5	フットサル	68
		らくらくフィットネス	20
バレエ	15	ゆるっとストレッチ	16

(サークル事業)

合計参加者数 168人

サークル名	参加者数	サークル名	参加者数
カロリーニング	20	スポーツ吹矢	24
卓球	24	バドミントン	16
スナックゴルフ	9	ミニバスケット	67
ボッチャ	8		

(コミュニティ事業) 合計参加者数 1,155人 (延べ)

コミュニティ名	参加者数
うたカフェ (34回)	722
将棋ひろば (44回)	433

(イベント事業)

合計参加者数 1,238人 (延べ)

イベント名	参加者数	実施場所
グラウンド・ゴルフ大会 (2回)	99	総合グラウンド
スナックゴルフ大会 (2回)	63	総合グラウンド
宿題ひろば (3回)	83	総合体育館
ママと幼児体験会 (6回)	49	総合体育館
つりぼり体験会 (2回)	17	いとう釣り具店
こども会お楽しみ会 (8回)	315	総合体育館
老連カロリーニング・クオリティ大会 (2回)	94	総合体育館
扶子連スポーツ大会 (1回)	250	総合体育館
町民ソフトバレーボール大会 (1回)	179	総合体育館
バランスストレッチ体験会 (3回)	20	総合体育館
バレトン体験会 (2回)	39	総合体育館
ズンバ体験会 (1回)	9	総合体育館
こども将棋大会 (1回)	21	総合体育館

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「夏休み自然教室」「日帰りバスツアー」を中止しました。

●めざそう値

施 策	生涯学習			
指 標 名	指 標 の 定 義	計 画 策 定 時	R 4 実 績 値	R 4 目 標 値
総合型地域スポーツクラブの会員数	総合型地域スポーツクラブの会員数 (人)	755	854	800

2. 地域スポーツ

スポーツ協力員を中心とした各地域の活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を図りながら、各種スポーツ大会等を行いました。

[3] 負担金補助及び交付金

1. スポーツ協会

町民の体育の振興とスポーツを通して、健康で明るく豊かなまちづくりを目指して、町スポーツ協会に助成金を交付しました。

助成金額 920,900円

〈扶桑町スポーツ協会〉

合計会員数 943人

団 体 名	会 員 数	団 体 名	会 員 数
軟 式 野 球 連 盟	136	グラウンド・ゴルフ協会	75
バレーボール協会	35	柔 道 協 会	13
ソフトテニス協会	16	サ ッ カ ー 協 会	71
卓 球 協 会	124	ス ポ ー ツ 少 年 団	115
ソフトボール協会	319	バスケットボール協会	19
バドミントン協会	20		

●めざそう値

施 策	生涯学習			
指 標 名	指 標 の 定 義	計 画 策 定 時	R 4 実 績 値	R 4 目 標 値
スポーツ団体の育成	スポーツ協会の会員数 (人)	1,075	943	1,150

2. チャレンジデー実行委員会

体育の振興による健康で明るく豊かなまちづくりを目指して、スポーツ推進委員を中心として住民総参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」に引き続き参加するために、チャレンジデー実行委員会に補助金を交付しました。

扶桑町の人口34,984人に対して、10,114人（参加率28.9%）の町民が参加して、対戦相手の宮城県角田市に勝利し、日常生活において体を動かすことのきっかけづくりができました。

補助金額 135,000円

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. 各種大会事業費	円 1,427,000	円 1,328,524	% 93.1

【生涯学習課】

[1] 各種大会開催事業費

町が実施した事業においては、スポーツ推進委員やスポーツ協会などの協力のもと、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を図りながら開催しました。

期 日	事 業 内 容	参加者数	会 場
5/25	(第8回) チャレンジデー2022 in 扶桑	10,114人	町 内 全 域
6/19 6/26	(第1回) ふれあいソフトボール大会	18チーム (317人)	北 部 グ ラ ウ ン ド 緑 地 公 園 グ ラ ウ ン ド
7/24	(第7回) わくわくスポーツフェスタ	90人	総 合 体 育 館
10/10	(第1回) スポーツフェスティバル2022	198人	総 合 体 育 館
11/27	(第40回) 走 ろ う 会 ～今年ものんびり歩こう会～	359人	緑地公園グラウンド周辺
3/5	(第32回) ソフトバレーボール大会	35チーム (179人)	総 合 体 育 館
3/12	(第6回) ミステリーウォーク	282人	町 内

[2] 市町村対抗駅伝大会参加事業費

1月14日に開催された「愛知万博メモリアル 第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会」に参加し、総合タイム1時間51分54秒で町村の部第6位になり、前回より順位を6つ上げ、モリコロ賞を受賞しました。

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
3. 体 育 施 設 費	円 67,296,000	円 66,118,181	% 98.2

【生涯学習課】

[1]・[2] 総合体育館管理費

総合体育館の設備保守点検委託をはじめ、施設の維持管理のため、下記の工事を実施しました。

監視カメラ設備取替工事、バスケットゴール装置取替工事、

浄化槽ばっ気ブロワ取替工事

[3]・[4] その他体育施設管理費

総合グラウンドの施設保守点検委託、施設の清掃・除草管理委託など各グラウンド、テニスコート等施設の整備、維持管理に努めました。

町民プール解体及び駐車場整備工事を行い、利用者の利便向上を図りました。

施設の維持管理のため、下記の工事を実施しました。

総合グラウンド高圧コンデンサ取替工事

[5] 体育施設予約システム事業費

利用者がパソコンや携帯電話を用いて体育施設の空き状況検索や電子予約が行える施設予約システムを活用し、利用者の利便向上に努めました。

(電子申請許可件数)

(単位：件)

施 設 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合体育館	183	176	199	206	175	183	178	193	187	173	200	184	2,237
総合グラウンド	16	11	10	32	27	9	12	11	7	13	15	8	171
テニスコート	20	18	22	28	17	22	22	19	24	19	16	22	249
北部グラウンド	0	3	12	3	1	4	7	9	3	6	5	4	57
計	219	208	243	269	220	218	219	232	221	211	236	218	2,714

体育施設利用状況

(1) 総合体育館利用状況

延べ利用者数 75,754人

月	利用者数	月	利用者数	月	利用者数	月	利用者数
4	6,099	7	6,459	10	5,789	1	5,458
5	6,392	8	5,405	11	6,654	2	6,383
6	6,556	9	5,843	12	7,021	3	7,695

(2) 総合グラウンド利用状況

延べ利用者数 15,355人

月	利用者数	月	利用者数	月	利用者数	月	利用者数
4	1,518	7	940	10	1,436	1	1,072
5	1,645	8	954	11	1,427	2	1,080
6	1,349	9	1,303	12	1,140	3	1,491

(3) 総合グラウンド夜間照明利用状況

延べ利用回数 63回

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	計
軟式野球		7	4	5	8	8	3	0	5	40
ソフトボール		0	0	1	0	0	0	0	0	1
サッカー		4	3	3	2	4	2	0	4	22
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 町民テニスコート利用状況

延べ利用者数 6,102人

月	利用者数	月	利用者数	月	利用者数	月	利用者数
4	626	7	370	10	679	1	429
5	614	8	558	11	480	2	453
6	512	9	473	12	511	3	397

(5) 緑地公園グラウンド利用状況

延べ利用者数 10,903人

月	利用者数	月	利用者数	月	利用者数	月	利用者数
4	579	7	506	10	693	1	654
5	658	8	4,802	11	704	2	505
6	523	9	415	12	430	3	434

(6) 北部グラウンド利用状況

延べ利用者数 7,978人

月	利用者数	月	利用者数	月	利用者数	月	利用者数
4	1,132	7	434	10	1,447	1	339
5	889	8	186	11	500	2	341
6	647	9	876	12	263	3	924

V 特 別 会 計

1. 土地取得特別会計

令和4年度土地取得特別会計決算の概要

1. 目的

土地取得特別会計は、公用若しくは公共の用に供する土地、または公共の利益のために取得する必要がある土地をあらかじめ取得する事業にかかる歳入歳出を経理し、土地の取得の円滑化を図るため設置されたものです。

2. 決算規模

令和4年度の決算規模は、歳入総額29,434,478円、歳出総額26,118,550円でした。

3. 歳入

各収入の歳入総額に占める割合は、次のとおりでした。

(1) 財産収入	181,610円	0.61%
(2) 繰越金	3,154,819円	10.72%
(3) 諸収入	49円	0.01%
(4) *繰入金	26,098,000円	88.66%

*木曽川堤外用地取得のため

4. 歳出

各支出の歳出総額に占める割合は、次のとおりでした。

(1) 財産管理費	9,600円	0.04%
(2) 他会計繰出金	0円	0%
(3) 予備費	0円	0%
(4) 土地取得費	26,108,950円	99.96%

5. 実質収支

実質収支として、3,315,928円を翌年度へ繰越しました。

(単位：円)

区分 \ 年度	R 4	R 3	差引増減	対前年度比 (%)
歳入	29,434,478	3,164,419	26,270,059	930.17
歳出	26,118,550	9,600	26,108,950	272,068.23
歳入歳出差引額	3,315,928	3,154,819	161,109	—

2. 国民健康保険特別会計

令和4年度国民健康保険特別会計決算の概要

1. 決算規模

令和4年度の決算規模は、歳入総額2,883,783,103円、歳出総額2,793,729,768円となり、対前年比、歳入は0.7%、歳出は2.3%の増となりました。

2. 歳入

国保税は6.3%の減、一般会計繰入金は0.8%の減、繰越金は14.1%の増となりました。

なお、保険給付費等交付金として県から1,920,387,634円の交付を受けました。

(単位：円)

科 目	決 算 額	1 人 当 たり (被保険者数5,737人)	1 世 帯 当 たり (3,780世帯)
保 険 税	582,123,378	101,468	154,000
使 用 料 及 び 手 数 料	7,000	1	1
保 険 給 付 費 等 交 付 金	1,920,387,634	334,737	508,039
財 政 安 定 化 基 金 交 付 金	0	0	0
一 般 会 計 繰 入 金	239,248,077	41,702	63,293
繰 越 金	133,776,704	23,318	35,390
諸 収 入	8,240,310	1,436	2,179
国 庫 支 出 金	0	0	0
歳 入 合 計	2,883,783,103	502,663	762,905

3. 歳 出

総務費は4.0%の増、保険給付費は2.7%の増、事業費納付金として811,101,747円を県に納付しました。

(単位：円)

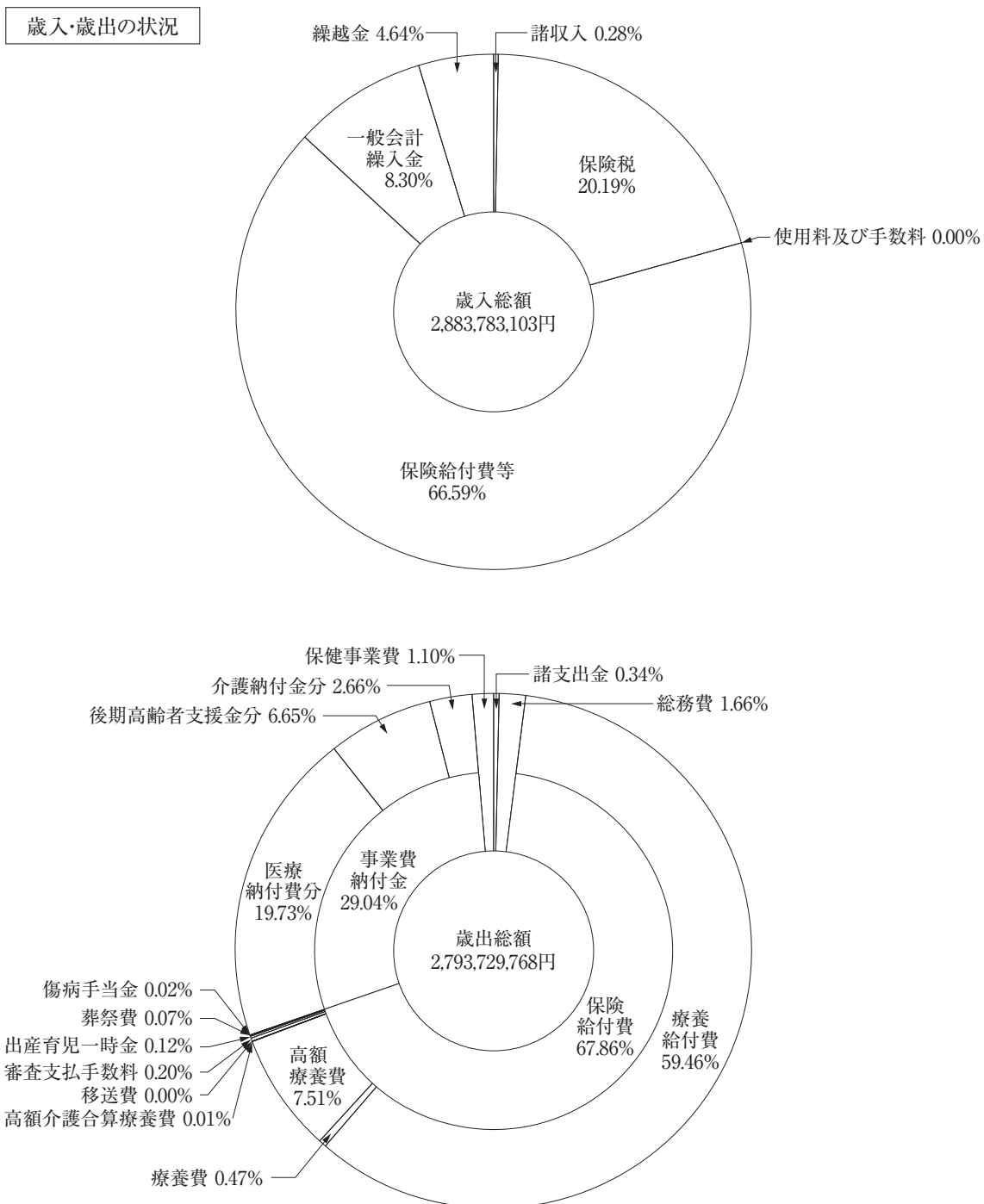
科 目		決 算 額	1 人 当 たり (被保険者数5,737人)	1 世 帯 当 たり (3,780世帯)	
総 務 費		46,468,500	8,099	12,293	
保 險 給 付 費	一 般	療 養 給 付 費	1,661,141,437	(注1) 289,548	439,455
		療 養 費	13,289,167	(注1) 2,316	3,515
		高 額 療 養 費	209,704,599	(注1) 36,553	55,477
		高 額 介 護 合 算 療 養 費	185,475	(注1) 32	49
		移 送 費	83,447	(注1) 14	22
	退 職	療 養 給 付 費	0	0	0
		療 養 費	0	0	0
	付 費	審 査 支 払 手 数 料	5,544,156	966	1,466
		出 産 育 児 一 時 金	3,349,470	583	886
		葬 祭 費	1,950,000	339	515
傷 病 手 当 金		572,361	99	151	
小 計		1,895,820,112	330,454	501,539	
事 業 費 納 付 金	医 療 給 付 費 分	551,137,272	96,067	145,803	
	後 期 高 齢 者 支 援 金 等 分	185,670,626	32,363	49,119	
	介 護 納 付 金 分	74,293,849	(注2) 41,114	19,654	
	小 計	811,101,747	141,380	214,577	
保 健 事 業 費		30,681,609	5,348	8,116	
諸 支 出 金		9,657,800	1,683	2,554	
歳 出 合 計		2,793,729,768	486,967	739,081	

注1 一般被保険者の年間平均で除したもの (5,737人)

注2 介護保険第2号被保険者の年間平均で除したもの (1,807人)

4. 収 支

収支として、90,053,335円を翌年度へ繰り越しました。今後も医療費の適正な費用負担により、財政効果の向上を図る一方、保健事業活動により疾病の予防及び疾病の早期発見、早期治療による重症化防止に努めるとともに、健全な国保運営の確保が必要となっています。



2款 保険給付費 1項 療養諸費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 一般被保険者療養給付費	円 1,665,104,000	円 1,661,141,437	% 99.8
2. 退職被保険者等療養給付費	円 1,000	円 0	% 0

【住 民 課】

[1] 一般被保険者療養給付費

[1] 退職被保険者等療養給付費

被保険者の健康回復保持のため医療費の現物給付として、次のとおり給付しました。

	一 般 被 保 険 者 分	退 職 被 保 険 者 等 分
受 診 件 数	110,118件	0件
給 付 額	1,661,141,437円	0円

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
3. 一般被保険者療養費	円 17,186,000	円 13,289,167	% 77.3
4. 退職被保険者等療養費	円 1,000	円 0	% 0

【住 民 課】

[1] 一般被保険者療養費

[1] 退職被保険者等療養費

被保険者の健康回復保持のため医療費の現物給付及び現金給付として、次のとおり給付しました。

	一 般 被 保 険 者 分		退 職 被 保 険 者 等 分	
診 療 費	34件	472,084円	0件	0円
柔 道 整 復	1,795件	8,016,593円	0件	0円
鍼灸、マッサージ	143件	1,479,352円	0件	0円
補 装 具	125件	3,321,138円	0件	0円
そ の 他	0件	0円	0件	0円
合 計	2,097件	13,289,167円	0件	0円

2款 保険給付費 2項 高額療養費

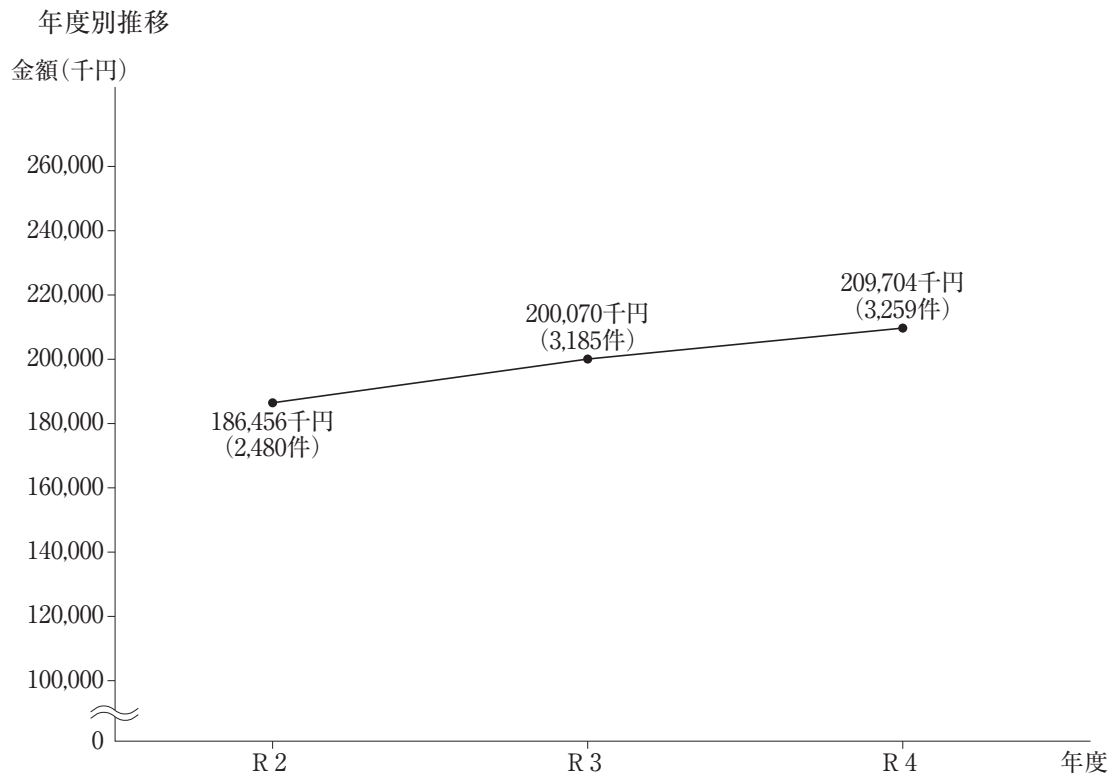
目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 一般被保険者高額療養費	円 209,704,599	円 209,704,599	% 100.0

【住 民 課】

[1] 一般被保険者高額療養費

高額な医療費に対する被保険者の負担の軽減を図るため、現物給付及び現金給付として次のとおり支給しました。

	一 般 被 保 険 者 分
支 給 件 数	3,259件
支 給 金 額	209,704,599円



2款 保険給付費 4項 出産育児諸費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 出 産 育 児 一 時 金	円 12,033,926	円 3,349,470	% 27.8

【住 民 課】

[1] 出産育児一時金

被保険者の出産に対し、出産育児一時金を支給しました（42万円／件）。

支給件数 7件 支給金額 3,349,470円

年 度	件 数	支 給 金 額 (円)
R 2	22	9,224,000
R 3	13	5,864,000
R 4	7	3,349,470

2款 保険給付費 5項 葬祭諸費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 葬 祭 費	円 2,350,000	円 1,950,000	% 83.0

【住 民 課】

[1] 葬祭費

被保険者の死亡に対し、葬祭費を支給しました（5万円／件）。

支給件数 39件 支給金額 1,950,000円

年 度	件 数	支 給 金 額 (円)
R 2	35	1,750,000
R 3	36	1,800,000
R 4	39	1,950,000

2款 保険給付費 6項 傷病手当金

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 傷 病 手 当 金	円 572,361	円 572,361	% 100.0

【住 民 課】

[1] 傷病手当金

新型コロナウイルス感染症の感染等によって、労務に服することができない期間に対し傷病手当金を支給しました。

支給件数 16件 支給金額 572,361円

年 度	件 数	支 給 金 額 (円)
R 4	16	572,361

3款 国民健康保険事業費納付金 1項 医療給付費分

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 一般被保険者医療給付費分	円 551,138,000	円 551,137,272	% 99.9

【住 民 課】

[1] 一般被保険者医療給付費分

県が医療給付費等の推計を行い、公費負担分を差し引いて算出した国民健康保険事業費納付金医療給付費分を支出しました。

3款 国民健康保険事業費納付金 2項 後期高齢者支援金等分

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 一般被保険者 後期高齢者支援金等分	円 185,671,000	円 185,670,626	% 99.9

【住 民 課】

[1] 一般被保険者後期高齢者支援金等分

県が医療給付費等の推計を行い、公費負担分を差し引いて算出した国民健康保険事業費納付金後期高齢者支援金等分を支出しました。

3款 国民健康保険事業費納付金 3項 介護納付金分

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 介 護 納 付 金	円 74,294,000	円 74,293,849	% 99.9

【住 民 課】

[1] 介護納付金

県が医療給付費等の推計を行い、公費負担分を差し引いて算出した国民健康保険事業費納付金介護納付金等分を支出しました。

4款 保健事業費 1項 特定健康診査等事業費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 特 定 健 康 診 査 等 事 業 費	円 30,645,000	円 22,953,137	% 74.9

【住 民 課】

[1] 特定健康診査等事業費

生活習慣病の原因となる内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）に着目した特定健康診査・特定保健指導を実施しました。

特定健康診査

実施期間	7月1日から10月30日まで
実施場所	扶桑町及び大口町内19医療機関
受診者数	1,927名（うち事業所実施件数 16名）

特定保健指導

実施期間	4月～3月
受診者数	積極的支援 6名
	動機付け支援 30名

●めざそう値

施 策	社会保障			
指 標 名	指 標 の 定 義	計 画 策 定 時	R 4 実 績 値	R 4 目 標 値
特定健康診査の実施率	国民健康保険の40～74歳の被保険者が受診する割合（%）	45.8	45.2	58.0

4 款 保健事業費 2 項 保健事業費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 疾 病 予 防 費	8,410,000 円	7,728,472 円	91.9 %

【住 民 課】

[1] 疾病予防費

被保険者の健康管理の手助けとして、人間ドックを行いました。

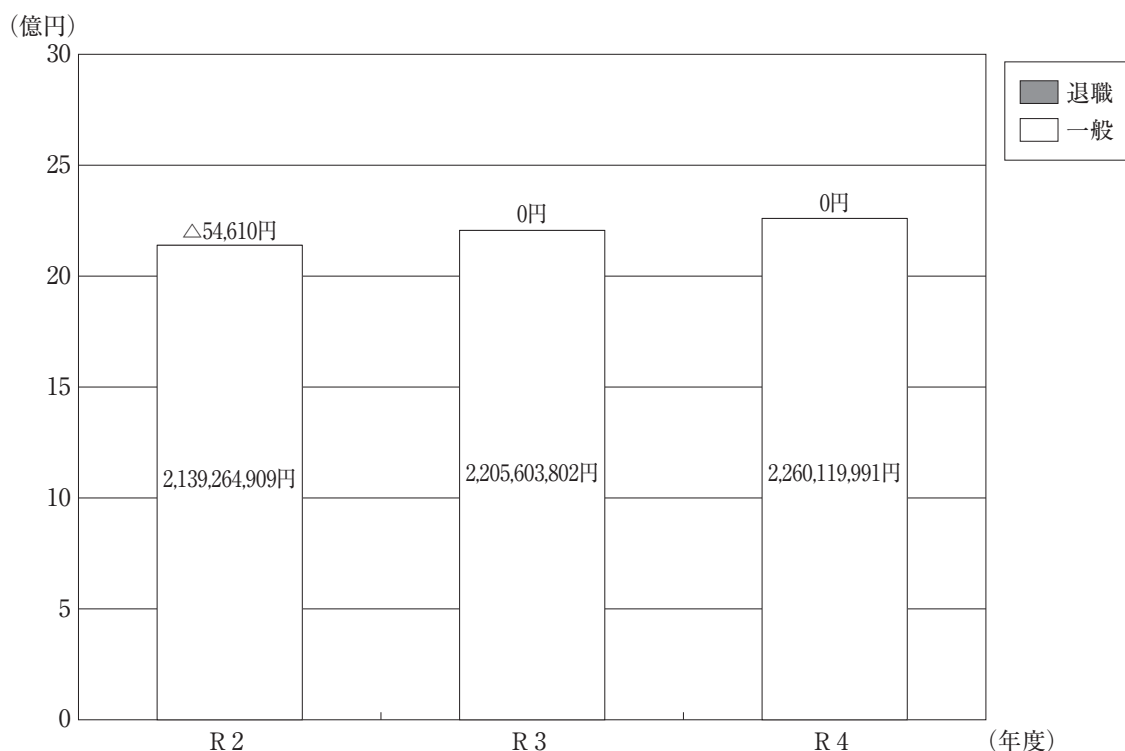
実 施 期 間	7 月 20 日～12 月 7 日	11 月 1 日～2 月 15 日	7 月 12 日～11 月 9 日
実 施 場 所	犬山中央病院	江南厚生病院	伊藤整形・内科
人 間 ド ッ ク 受 診 者 数	24	177	48
脳ドック併用 受診者数	9	45	16

がん検診をする扶桑町国民健康保険加入者に対して、一部負担金の助成を行いました。

集団検診助成者数	774名	個別検診助成者数	341名
助成者数総合計	1,115名	助成金額合計	850,200円

一般・退職被保険者等療養諸費年度別推移

年 度	費 用 額	月 平 均 費 用 額	伸 び 率 (%)
R 2	2,139,264,909円	178,272,076円	91.8
R 3	2,205,603,802円	183,800,317円	103.1
R 4	2,260,119,991円	188,343,333円	102.5



3. 介護保険特別会計

令和4年度介護保険特別会計決算の概要

1. 決算規模

令和4年度の決算規模は、歳入総額2,657,125,844円、歳出総額2,556,131,831円でした。

2. 歳入

保険給付費の財源については、65歳以上の人の保険料が23%、40歳から65歳未満の人の保険料が27%、さらに、公費も50%負担しております。公費の内訳は、施設等給付費については国が20%、県が17.5%、町が12.5%で、居宅給付費については国が25%、県が12.5%、町が12.5%となっております。

3. 歳出

介護認定及び保険料の賦課徴収、保険給付費の給付を行いました。

(単位：円)

歳 入		歳 出			
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額		
介 護 保 険 料	520,540,900	総 務 費	65,493,911		
使 用 料 及 び 手 数 料	18,598	保 険 給 付 費	介 護 サービス等諸費	2,163,120,892	
国 庫 支 出 金	介 護 給 付 費 負 担 金		453,898,055	予 防 サービス等諸費	65,120,218
	調 整 交 付 金		83,972,000	審 査 支 払 手 数 料	1,391,741
	地 域 支 援 事 業 交 付 金 (介護予防日常生活支援総合事業)		15,167,000	高 額 介 護 サービス等費	54,398,831
	地 域 支 援 事 業 交 付 金 (その他の地域支援事業)		20,286,035	高 額 医 療 合 算 介 護 サービス等費	8,693,974
	保 険 者 機 能 強 化 推 進 交 付 金		2,449,000	特 定 入 所 者 介 護 サービス等費	35,468,667
保 険 者 努 力 支 援 交 付 金	2,574,000	地 域 支 援 事 業 費	102,553,690		
支 払 基 金 交 付 金	介 護 給 付 費 交 付 金	631,630,896	基 金 積 立 金	12,885,935	
	地 域 支 援 事 業 支 援 交 付 金	14,589,617	諸 支 出 金	還 付 金	523,000
県 支 出 金	介 護 給 付 費 負 担 金	332,772,489		償 還 金	39,666,956
	地 域 支 援 事 業 交 付 金 (介護予防日常生活支援総合事業)	8,158,750	繰 出 金	6,814,016	
	地 域 支 援 事 業 交 付 金 (その他の地域支援事業)	10,143,017	予 備 費	0	
財 産 収 入	34,375				
繰 入 金	一 般 会 計 繰 入 金	412,576,000			
	基 金 繰 入 金	81,260,000			
繰 越 金	58,101,362				
諸 収 入	8,953,750				
合 計	2,657,125,844	合 計	2,556,131,831		
収 支 差 引 額				100,994,013	

4. 介護保険料徴収実績（現年度分）

（単位：円、％）

予算額	調定額	収入済額	収入未済額	徴収率
516,798,000	521,248,200	519,182,600	2,536,100	99.5

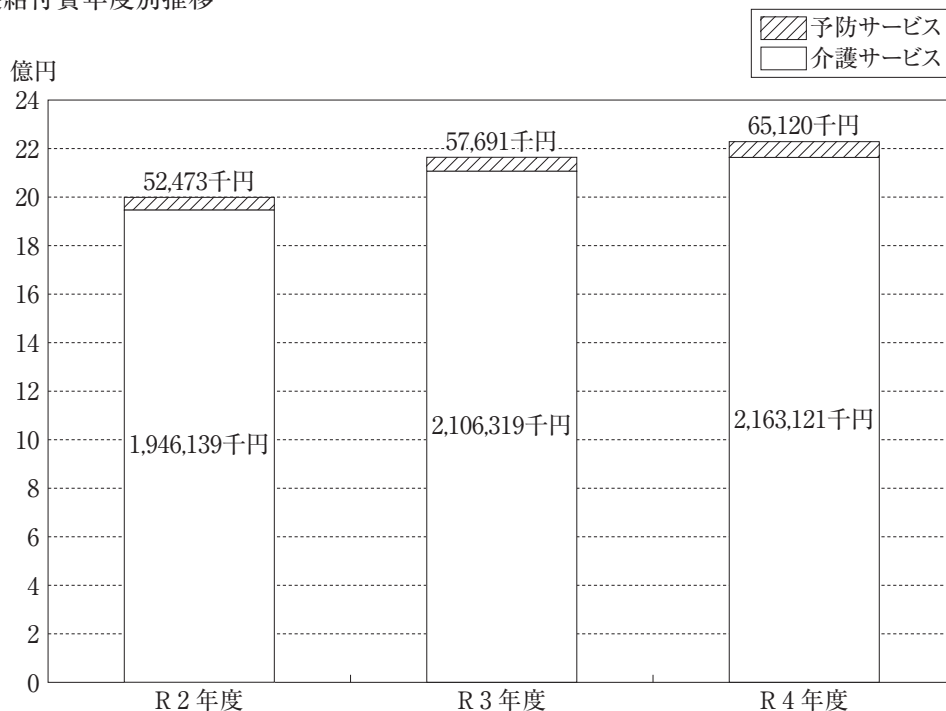
5. 要介護者数等の令和4年度末の状況

（単位：人）

項	目	人	数
人	口	34,952	
	65歳以上人口	9,133	
	（うち75歳以上人口）	5,342	
要支援・要介護		1,603	
	要支援1	242	
	要支援2	203	
	要介護1	326	
	要介護2	307	
	要介護3	194	
	要介護4	194	
	要介護5	137	
総合事業		35	

項	目	人	数
所得段階別	第1段階	942	
	第2段階	633	
	第3段階	499	
	第4段階	1,337	
	第5段階	1,445	
	第6段階	1,511	
	第7段階	1,495	
	第8段階	662	
	第9段階	196	
	第10段階	135	
	第11段階	180	
	第12段階	92	
計		9,127	

6. 介護給付費年度別推移



1款 総務費 1項 総務管理費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 一 般 管 理 費	円 52,481,356	円 49,288,613	% 93.9

【介護健康課】

[1] 総務管理費

介護保険指定機関等管理システム改修

介護報酬改定等に伴い、介護保険指定機関等管理システムの改修を行いました。

1 款 総 務 費 3 項 介護認定審査会費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 介護認定審査会費	円 6,617,000	円 6,322,827	% 95.6
2. 認定調査費	円 7,133,000	円 6,602,660	% 92.6

【介護健康課】

[1] 介護認定審査会費

[1] 認定調査費

介護保険被保険者が、要介護者または要支援者に該当するかを扶桑町介護認定審査会にて公平かつ適正な審査・判定等業務を実施しました。

一次判定及び二次判定結果

(単位：人)

年度	区分	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
R 2	一次判定	41	165	114	236	167	103	116	94	1,036
	二次判定	12	178	116	241	176	99	120	94	1,036
R 3	一次判定	56	206	127	290	188	145	137	124	1,273
	二次判定	26	200	130	308	196	146	143	124	1,273
R 4	一次判定	37	176	130	262	212	117	140	112	1,186
	二次判定	10	176	164	241	224	114	143	114	1,186

※却下含む。再審査は含まず。

介護認定審査会開催回数

年 度	R 2	R 3	R 4
開催回数	48	48	48

●めざそう値

施 策	社会保障			
指 標 名	指 標 の 定 義	計画策定時	R 4実績値	R 4目標値
要介護・要支援認定者の割合	高齢者人口に対する要介護・要支援認定者数の割合 (%) (抑制目標*)	13.9	17.6	16.6

*抑制目標……設定した数値を上回らないように進行を抑制するための目標。

2款 保険給付費 1項 介護サービス等諸費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 居宅介護サービス等給付費	円 1,080,000,000	円 1,048,071,111	% 97.0

【介護健康課】

[1] 居宅介護サービス等給付費

要介護1から要介護5の認定者の居宅介護サービスに対して給付を行いました。

サービス利用率（月平均）

サ ー ビ ス 名	R 2		R 3		R 4	
	利用人数 (人)	構成割合 (%)	利用人数 (人)	構成割合 (%)	利用人数 (人)	構成割合 (%)
訪 問 介 護	166	10.4	181	10.3	198	10.6
訪 問 入 浴 介 護	14	0.9	13	0.7	15	0.8
訪 問 看 護	94	5.9	111	6.3	130	6.9
訪 問 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	20	1.2	19	1.1	27	1.4
通 所 介 護	291	18.1	321	18.3	327	17.5
通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	120	7.5	119	6.8	109	5.8
福 祉 用 具 貸 与	404	25.2	434	24.8	457	24.4
居 宅 療 養 管 理 指 導	370	23.1	417	23.8	465	24.8
短期入所生活介護・短期入所療養介護	95	5.9	98	5.6	108	5.8
特 定 施 設 入 居 者 生 活 介 護	29	1.8	40	2.3	37	2.0
合 計	1,603	100.0	1,753	100.0	1,873	100.0
利 用 実 人 数	679	—	731	—	743	—

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. 施設介護サービス等給付費	円 706,892,091	円 667,954,127	% 94.5

【介護健康課】

[1] 施設介護サービス等給付費

施設介護サービスに対して給付を行いました。

施設サービス種類別利用人数（年度末現在）

（単位：人）

施 設	R 2	R 3	R 4
介 護 老 人 福 祉 施 設 (特 養)	108	111	110
介 護 老 人 保 健 施 設 (老 健)	99	110	98
介 護 療 養 型 医 療 施 設 (療 養 型)	1	1	1
介 護 医 療 院			2
合 計	208	222	211

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
3. 居 宅 介 護 福 祉 用 具 購 入 住 宅 改 修 費	円 8,562,000	円 8,528,412	% 99.6

【介護健康課】

[1] 居宅介護福祉用具購入住宅改修費

要介護1から要介護5の認定者の福祉用具購入及び住宅改修費に対して給付を行いました。

利用人数

(単位：人)

種 類	R 2	R 3	R 4
福 祉 用 具 購 入	93	104	83
住 宅 改 修	68	67	69

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
4. 居 宅 介 護 サ ー ビ ス 計 画 等 給 付 費	円 115,493,786	円 115,493,786	% 100.0

【介護健康課】

[1] 居宅介護サービス計画等給付費

居宅介護サービス計画に対して給付を行いました。

年 度	R 2	R 3	R 4
給 付 件 数	7,212	7,582	7,946

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
5. 地 域 密 着 型 介 護 サ ー ビ ス 等 給 付 費	円 332,111,000	円 323,073,456	% 97.3

【介護健康課】

[1] 地域密着型介護サービス等給付費

地域密着型介護サービスに対して給付を行いました。

年 度	R 2	R 3	R 4
給 付 件 数	1,693	1,670	1,834

2款 保険給付費 2項 介護予防サービス等諸費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 介護予防サービス等給付費	円 49,217,123	円 49,217,123	% 100.0

【介護健康課】

[1] 介護予防サービス等給付費

要支援1・2認定者の居宅予防サービスに対して給付を行いました。

サービス利用率（月平均）

サ ー ビ ス 名	R 2		R 3		R 4	
	利用人数 (人)	構成割合 (%)	利用人数 (人)	構成割合 (%)	利用人数 (人)	構成割合 (%)
訪 問 入 浴 介 護	—	—	0	0.0	0	0.0
訪 問 看 護	18	7.6	19	7.7	21	7.8
訪 問 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	8	3.4	11	4.5	9	3.3
通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	40	16.9	43	17.4	51	19.0
福 祉 用 具 貸 与	147	62.3	151	61.1	161	59.9
居 宅 療 養 管 理 指 導	21	8.9	19	7.7	22	8.2
短期入所生活介護・短期入所療養介護	2	0.9	1	0.4	2	0.7
特 定 施 設 入 居 者 生 活 介 護	0	0.0	3	1.2	3	1.1
合 計	236	100.0	247	100.0	269	100.0
利 用 実 人 数	181	—	181	—	193	—

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. 介護予防福祉用具 購入住宅改修費	円 7,725,000	円 5,390,996	% 69.8

【介護健康課】

[1] 介護予防福祉用具購入住宅改修費

要支援1・2認定者の福祉用具購入及び住宅改修費に対して給付を行いました。

利用人数

(単位：人)

種 類	R 2	R 3	R 4
福 祉 用 具 購 入	46	50	38
住 宅 改 修	65	47	52

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
3. 介護予防サービス 計画等給付費	円 10,500,000	円 10,353,378	% 98.6

【介護健康課】

[1] 介護予防サービス計画等給付費

介護予防サービス計画に対して給付を行いました。

年 度	R 2	R 3	R 4
給 付 件 数	2,080	2,118	2,237

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
4. 地域密着型 介護予防サービス等給付費	円 1,435,000	円 158,721	% 11.1

【介護健康課】

[1] 地域密着型介護予防サービス等給付費

地域密着型介護予防サービスに対して給付を行いました。

年 度	R 2	R 3	R 4
給 付 件 数	0	10	2

2款 保険給付費 3項 その他諸費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 審査支払手数料	円 1,500,000	円 1,391,741	% 92.8

【介護健康課】

[1] 審査支払手数料

審査支払手数料

年 度	R 2	R 3	R 4
審査支払手数料件数	35,281	37,824	40,154

2款 保険給付費 4項 高額介護サービス等費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 高額介護サービス等費	円 57,000,000	円 54,398,831	% 95.4

【介護健康課】

[1] 高額介護サービス等費

高額介護サービス費支給件数

年 度	R 2	R 3	R 4
高額介護サービス費支給件数	3,835	4,196	4,258

2款 保険給付費 5項 高額医療合算介護サービス等費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 高額医療合算介護サービス等費	円 10,000,000	円 8,693,974	% 86.9

【介護健康課】

[1] 高額医療合算介護サービス等費

高額医療合算介護サービス費支給件数

年 度	R 2	R 3	R 4
高額医療合算介護サービス費支給件数	275	30	277

2款 保険給付費 6項 特定入所者介護サービス等費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 特 定 入 所 者 介 護 サ ー ビ ス 等 費	円 38,456,000	円 35,449,356	% 92.2

【介護健康課】

[1] 特定入所者介護サービス等費

特定入所者介護サービス費支給件数

年 度	R 2	R 3	R 4
特定入所者介護サービス費支給件数	1,753	1,694	1,534

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. 特 定 入 所 者 介 護 予 防 サ ー ビ ス 等 費	円 200,000	円 19,311	% 9.7

【介護健康課】

[1] 特定入所者介護予防サービス等費

特定入所者介護予防サービス費支給件数

年 度	R 2	R 3	R 4
特定入所者介護予防サービス費支給件数	1	1	6

3款 地域支援事業費 1項 介護予防・生活支援サービス事業費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 介護予防・生活支援サービス事業費	円 64,788,000	円 47,413,850	% 73.2

【介護健康課】

[1] 介護予防・生活支援サービス事業費

介護予防・日常生活支援総合事業として、訪問介護サービス、通所介護サービス、短期集中通所等サービス及び介護予防ケアマネジメントを実施しました。なお、訪問型サービス及び通所型サービスの実施に伴い、高額介護総合事業サービス及び高額医療合算介護総合事業サービス費を支給しました。

(単位：件)

種 類	R 2	R 3	R 4
訪 問 型 サ ー ビ ス	718	712	701
通 所 型 サ ー ビ ス	1,308	1,196	1,058
短 期 集 中 通 所 等 サ ー ビ ス	—	115	230
介 護 予 防 ケ ア マ ネ ジ メ ン ト	1,060	1,033	965
高 額 介 護 総 合 事 業 サ ー ビ ス	32	32	18
高 額 医 療 合 算 介 護 総 合 事 業 サ ー ビ ス	6	0	6

3款 地域支援事業費 2項 一般介護予防事業費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 一般介護予防事業費	円 8,912,000	円 7,443,808	% 83.5

【介護健康課】

[1] 一般介護予防事業費

要介護状態等になることの予防、または要介護状況等の軽減もしくは悪化の防止に努めました。
認知症予防の目的で、脳を使いながら有酸素運動を行う教室や口腔・栄養講座を取り入れた教室を行いました。また軽度認知障害の早期発見のための検査を実施しました。

運動栄養口腔総合教室「元気アップ教室」 2クール行いました。 (単位：人)

年度	利 用 施 設	年 間 利 用 人 数	年 間 延 べ 利 用 人 数
R 2	総合体育館始め2か所	13	81
R 3	総合体育館始め2か所	12	92
R 4	総合体育館始め2か所	21	141

認知機能低下予防教室（有酸素系） 一次予防事業対象者 (単位：人)

年度	利 用 施 設	年 間 利 用 人 数	年 間 延 べ 利 用 人 数
R 2	扶桑東学習等供用施設	15	193
	山名西学習等供用施設	15	186
R 3	南新田コミュニティセンター	13	127
	小 測 公 民 館	10	118
R 4	中 央 公 民 館	20	232
	柏 森 南 公 民 館	10	99

運動教室派遣事業 (単位：人)

年度	利 用 施 設	年 間 利 用 人 数	年 間 延 べ 利 用 人 数
R 3	総合福祉センター	53	465
R 4	総合福祉センター	73	550

宅老事業（かしの喜） (単位：人)

年度	利 用 施 設	年 間 利 用 人 数	年 間 延 べ 利 用 人 数
R 2	総合福祉センター始め3か所	28	538
R 3	総合福祉センター始め2か所	21	454
R 4	総合福祉センター始め3か所	21	638

地区宅老（地区サロン）

山那地区、小淵地区、北新田地区、南新田地区、羽根地区、東川地区、南定松地区、北定松地区、福塚地区、宮島地区、前野地区、寺前地区、柏森地区、柏森北地区、斎藤地区、高木西地区で活動しました。

●めざそう値

施 策	高齢者福祉			
指 標 名	指 標 の 定 義	計画策定時	R4実績値	R4目標値
地区宅老（地区サロン）事業の実施	地区宅老（地区サロン）事業を実施している数（か所）	16	22	21

3款 地域支援事業費 3項 包括的支援事業費・任意事業費

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
1. 包括的支援事業費	円 51,031,000	円 46,602,302	% 91.3

【介護健康課】

[1] 包括的支援事業費

高齢者が住み慣れた地域で、活動的にその人らしい生活を継続していくために、介護予防への早期の取組や、必要に応じた介護予防等のスムーズな提供に努められるよう、扶桑町地域包括支援センターに、介護予防マネジメント事業、総合相談・支援事業、権利擁護事業、包括的・継続的マネジメント支援事業を委託し、実施しました。

各事業に就いての主な取組人員

地域包括支援センター職員 8人 (内 非常勤 2人)

相談状況 (延べ人数)

(単位：人)

相談内容	R 2	R 3	R 4
介護・日常生活に関する相談	2,122	2,054	3,048
福祉サービス (町) に関する相談	369	419	423
医療に関する相談	688	718	1,016
所得・家庭生活に関する相談	140	217	249
介護保険サービスに関する相談	4,541	4,787	5,638
福祉サービスに関する相談	34	10	6
虐待に関する相談	40	67	64
成年後見制度に関する相談	29	53	72
消費者被害に関する相談	3	5	1
包括的継続的ケアマネジメント	58	5	23
苦情相談	5	0	2
権利擁護に関する相談	63	30	27
総合事業に関する相談	256	292	212
地域ケア会議	—	25	26
その他	61	184	240
計	8,409	8,806	11,047

予防プラン作成年間状況

(単位：件)

年度		包括支援センター			委 託			総 計		
		新規	継続	合計	新規	継続	合計	新規	継続	合計
R 2	予 防	31	771	802	39	1,248	1,287	70	2,019	2,089
	総合事業	26	501	527	18	483	501	44	984	1,028
	合 計	57	1,272	1,329	57	1,731	1,788	114	3,003	3,117
R 3	予 防	44	861	905	32	1,190	1,222	76	2,051	2,127
	総合事業	39	539	578	10	435	445	49	974	1,023
	合 計	83	1,400	1,483	42	1,625	1,667	125	3,025	3,150
R 4	予 防	58	1,026	1,084	59	1,130	1,189	117	2,156	2,273
	総合事業	40	579	619	17	397	414	57	976	1,033
	合 計	98	1,605	1,703	76	1,527	1,603	174	3,132	3,306

高齢者のいる世帯に、民生委員を通じて「緊急連絡シート」を配布しました。

年 度	配 布 世 帯 数	延べ配布世帯数
R 2	306	2,798
R 3	215	2,909
R 4	200	2,776

[2] 在宅医療・介護連携推進事業費

尾北医師会へ管内2市2町共同で事業委託し、在宅医療・介護連携の推進を図りました。

[3] 生活支援体制整備事業費

在宅高齢者の生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、平成30年度に設置した生活支援コーディネーターを中心に地域のニーズと支援活動とのマッチングや地域資源の発掘、把握に努めました。

[4] 認知症総合支援事業費

平成30年度に地域包括支援センターに設置した認知症初期集中支援チーム（サポート医 1名 福祉関係者 4名 医療系チーム員 1名 計6名）により、町内に住む適切な介護保険サービスに結び付いていない方や認知症の行動・心理症状等により対応に苦慮している方等を対象に年12回の支援会議を行い、認知症の早期診断、対応への支援体制を構築し、認知症総合支援の推進を図りました。なお、令和4年度においての対象者は1名でした。

目	予 算 現 額	決 算 額	執 行 率
2. 任 意 事 業 費	円 1,692,000	円 1,093,730	% 64.6

【介護健康課】

[1] 任意事業費

徘徊高齢者家族支援サービス事業

年 度	年 間 利 用 者 数 (人)	年間延べ利用者数 (人)	居 所 確 認 件 数 (件)
R 2	4	46	2
R 3	3	31	0
R 4	4	37	0

扶桑町見守りシール交付事業

認知症等で徘徊の症状がみられる方に対して、早期発見、保護及び引渡しをスムーズに行うことを目的とした見守りシール（QRコード）の交付を行いました。

年 度	利 用 者 数 (名)
R 2	12
R 3	14
R 4	14

介護者慰労事業

(単位：人)

年 度	介 護 者 交 流 会	認知症家族介護者交流会
R 2	新型コロナウイルス感染症対策として、中止	44
R 3	新型コロナウイルス感染症対策として、中止	58
R 4	6	65

徘徊高齢者搜索模擬訓練

認知症の方やその家族の方を地域で支援するための体制づくりの一環として認知症高齢者搜索訓練を行っています。令和4年度におきましては新型コロナウイルス感染症対策として中止しました。

成年後見制度利用支援事業

利用者（町長による後見開始等申立） 3名

高齢者あんしんネットワーク事業

高齢者をとりまく関係機関や地域住民の連携、支え合いを促進することを目的に、警察、消防、自治会、民生委員、老人クラブ、ボランティア連絡協議会、介護保険事業所、見守り協定事業所（新聞販売店、ライフライン事業所、金融機関、葬儀社、自動車販売店等）等と高齢者あんしんネットワーク会議を開催しました。

年 度	開 催 日	参 加 者 (人)
R 2	新型コロナウイルス感染症対策として書面開催	
R 3	新型コロナウイルス感染症対策として書面開催	
R 4	12月22日	89

●めざそう値

施 策	高齢者福祉			
指 標 名	指 標 の 定 義	計画策定時	R 4 実績値	R 4 目標値
認知症サポーター養成講座受講者数	認知症サポーター養成講座の受講者数 (人)	2,254	3,739	4,354

4. 後期高齢者医療特別会計

令和4年度後期高齢者医療特別会計決算の概要

令和4年度の保険料率については、所得割額を算出する所得割率9.57%、被保険者均等割額49,398円となっています。

経 理 状 況

歳 入

歳 出

(単位：円)

科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
後期高齢者医療保険料	499,496,100	後期高齢者医療 広域連合納付金	578,137,742
繰 入 金	78,414,842	諸 支 出 金	469,600
繰 越 金	204,700		
諸 収 入	501,500		
合 計	578,617,142	合 計	578,607,342

歳入歳出差引額は9,800円で、翌年度へ繰り越しました。

被保険者数（各年度3月末現在）

区 分	年 度	65歳～74歳	75歳以上	合 計
人 数	R 2	175	4,901	5,076
	R 3	175	5,082	5,257
	R 4	168	5,305	5,473

VI 参 考 资 料 (地方財政状況調査より)

令和4年度普通会計決算の概要

1. 決算規模について

決算規模は、

歳入	126億98万7千円	伸び率	1.8%
歳出	122億680万9千円	伸び率	2.1%

歳入の伸び率は1.8%で、令和3年度の伸び率(△13.6%)に比べると15.4ポイント上回り、地方財政計画の伸び(0.9%)と比べると0.9ポイント上回っている。歳出の伸び率は2.1%で、令和3年度の伸び率(△14.3%)に比べると16.4ポイント上回り、地方財政計画の伸び(0.9%)と比べると1.2ポイント上回っている。

このような決算規模の状況の主な原因としては、歳入については、県支出金(15.2%)、地方税(8.8%)、地方交付税(8.6%)等が上回ったことにより、歳入全体として令和3年度を上回った。歳出については、普通建設事業費(63.6%)、公債費(9.4%)等が上回ったことにより、歳出全体として令和3年度を上回った。

2. 決算収支について

歳入歳出の単純差引額を示す「形式収支額」は3億9,417万8千円で、令和3年度の4億2,694万1千円に比べ3,276万3千円減少した。

形式収支額から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した「実質収支額」(この数値により黒字・赤字が判断される)は、3億8,011万円となり黒字となった。

実質収支額の増減を表す「単年度収支」(当該年度の実質収支額-前年度の実質収支額)は、4,594万3千円の赤字となった。

また、歳入歳出の中に含まれている黒字要素(積立金、地方債の繰上償還金)及び赤字要素(積立金の取り崩し)が仮に歳入歳出に措置されていない場合、単年度収支がどのようになったかを表す「実質単年度収支」は2億2,364万円の赤字となった。

3. 歳入について

歳入の根幹をなす地方税は、令和3年度を8.8%上回った。うち町民税において、法人税割が93.5%増加した。固定資産税は4.0%の増加となった。

また、国庫支出金、地方債等が減少した一方、地方交付税、県支出金等が増加した。

「地方税」は54億1,032万5千円で、令和3年度(49億7,303万6千円)に比べ4億3,728万9千円の増加(8.8%)となった。伸び率は令和3年度(△0.8%)に比べ9.6ポイント上回っている。

「地方譲与税」は8,882万7千円で、令和3年度(8,868万2千円)に比べて14万5千円の増加(0.2%)となった。伸び率は令和3年度(1.5%)に比べ1.3ポイント下回っている。

「地方消費税交付金」等各種交付金は9億5,560万2千円で、令和3年度(9億2,341万3千円)に比べて3,218万9千円の増加(3.5%)となった。これは主に、地方消費税交付金が増加したことによるものであり、伸び率は令和3年度(15.2%)に比べ11.7ポイント下回っている。

「地方特例交付金」は5,489万円で、令和3年度(8,039万1千円)に比べて2,550万1千円の減少(△31.7%)となった。これは主に、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補てん特別交付金が増加したことによる

るものであり、伸び率は令和3年度（55.1％）に比べ86.8ポイント下回っている。

「地方交付税」は16億580万8千円で、令和3年度（14億7,826万6千円）に比べ1億2,754万2千円の増加（8.6％）となった。伸び率は令和3年度（64.5％）に比べ55.9ポイント下回っている。

「交通安全対策特別交付金」は370万3千円で、令和3年度（399万1千円）に比べ28万8千円の減少（△7.2％）となった。伸び率は令和3年度（△5.7％）に比べ1.5ポイント下回っている。

「分担金及び負担金」は1,895万5千円で、令和3年度（2,366万円）に比べ470万5千円の減少（△19.9％）となった。これは主に、派遣職員給与費負担金が減少したことによるものであり、伸び率は令和3年度（△35.6％）に比べ15.7ポイント上回っている。

「使用料」は9,319万8千円で、令和3年度（8,479万6千円）に比べ840万2千円の増加（9.9％）となった。伸び率は令和3年度（△6.4％）に比べ16.3ポイント上回っている。

「手数料」は4,040万7千円で、令和3年度（3,948万7千円）に比べ92万円の増加（2.3％）となった。伸び率は令和3年度（13.3％）に比べ11ポイント下回っている。

「国庫支出金」は18億6,408万6千円で、令和3年度（22億7,164万7千円）に比べ4億756万1千円の減少（△17.9％）となった。これは主に、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金が減少したことによるものであり、伸び率は令和3年度（△55.2％）に比べ37.3ポイント上回っている。

「県支出金」は8億1,028万5千円で、令和3年度（7億3,187万8千円）に比べ1億709万7千円の増加（15.2％）となった。伸び率は令和3年度（△4.4％）に比べ19.6ポイント上回っている。

「財産収入」は1,367万3千円で、令和3年度（318万2千円）に比べ1,049万1千円の増加（329.7％）となった。伸び率は令和3年度（△55.5％）に比べ385.2ポイント上回っている。

「寄附金」は607万7千円で、令和3年度（466万5千円）に比べ141万2千円の増加（30.3％）となった。伸び率は令和3年度（91.2％）に比べ60.9ポイント下回っている。

「繰入金」は6億3,454万4千円で、令和3年度（8,097万8千円）に比べ5億5,356万6千円の増加（683.6％）となった。これは主に、財政調整基金繰入金が増加したことによるものであり、伸び率は令和3年度（△41.5％）に比べ725.1ポイント上回っている。

「繰越金」は4億2,694万1千円で、令和3年度3億6,815万1千円に比べ5,879万円の増加（16.0％）となった。伸び率は令和3年度（△7.2％）に比べ23.2ポイント上回っている。

「諸収入」は3億9,396万6千円で、令和3年度（4億4,095万4千円）に比べ4,698万8千円の減少（△10.7％）となった。伸び率は令和3年度（15.4％）に比べ26.1ポイント下回っている。

「町債」は1億7,970万円で、令和3年度（8億1,180万円）に比べ6億3,210万円の減少（△77.9％）となった。これは主に臨時財政対策債が皆減したことによるものであり、伸び率は令和3年度（41.2％）に比べ119.1ポイント下回っている。また、町債への依存度（町債発行額／歳入総額）は1.4％であり、令和3年度の6.6％に比べ5.2ポイント下回っている。

この結果、歳入構造をみると、一般財源の歳入総額に占める割合は75.1％となり、令和3年度（72.6％）を2.5ポイント上回るようになった。これは、地方税や地方交付税等の一般財源が増加したこと及び子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金等の特定財源が減少したことによるものである。

また、自主財源の歳入総額に占める割合は56.0％となり、令和3年度（48.7％）に比べ7.3ポイント上回っている。

4. 歳出について

義務的経費（人件費、扶助費、公債費）は、令和3年度を5.4％下回った。

また、普通建設事業費の歳出総額に占める割合は8.7％で、令和3年度（5.4％）を3.3ポイント上回った。

(1) 性質別経費

「義務的経費」は50億9,259万3千円で、令和3年度（56億3,235万7千円）に比べ5億3,976万4千円の減少（△9.6%）となった。伸び率は令和3年度の20.7%を30.3ポイント下回っており、また歳出総額に占める割合は41.7%と令和3年度（47.1%）よりも5.4ポイント下回っている。

「人件費」は23億362万9千円で、令和3年度（22億7,020万2千円）に比べ3,342万7千円の増加（1.5%）となった。伸び率は令和3年度（4.5%）に比べ3.0ポイント下回っている。

「扶助費」は20億5,152万7千円で、令和3年度（26億8,808万6千円）に比べ6億3,655万9千円の減額（△23.7%）となった。これは主に、子育て世帯への臨時特別給付金支給事業費が減少したことによるものであり、伸び率は令和3年度（44.9%）に比べ68.6ポイント下回っている。

「公債費」は7億3,743万7千円で、令和3年度（6億7,406万9千円）に比べ6,336万8千円の増加（9.4%）となった。伸び率は令和3年度（5.6%）に比べ3.8ポイント上回っている。

「物件費」は20億203万6千円で、令和3年度（18億6,592万4千円）に比べ1億3,611万2千円の増加（7.3%）となった。伸び率は令和3年度（△3.1%）に比べ10.4ポイント上回っている。

「維持補修費」は1億4,241万5千円で、令和3年度（1億4,081万1千円）に比べ160万4千円の増加（1.1%）となった。伸び率は令和3年度（△7.5%）に比べ8.6ポイント上回っている。

「補助費等」は18億2,226万4千円で、令和3年度（14億6,039万円）に比べ3億6,187万4千円の増額（24.8%）となった。これは主に、産業かがやき地域振興交付金事業費、丹羽広域事務組合水道部負担金、町民税均等割額のみ課税世帯に対する臨時特別給付金の皆増によるものであり、伸び率は令和3年度（△71.0%）に比べ95.8ポイント上回っている。

「積立金」は6億4,936万7千円で、令和3年度（8億5,441万円）に比べ2億504万3千円の減少（△24.0%）となった。これは主に、財政調整基金積立金、減債基金積立金、学校教育施設建設基金積立金の減少によるものであり、伸び率は令和3年度（171.6%）に比べ195.6ポイント下回っている。

「投資及び出資金・貸付金」は3億5,266万3千円で、令和3年度（2億9,452万9千円）に比べ5,813万4千円の増加（19.7%）となった。伸び率は令和3年度（41.0%）に比べ21.3ポイント下回っている。

「繰出金」は10億8,040万8千円で、令和3年度（10億5,372万円）に比べ2,668万8千円の増加（2.5%）となった。伸び率は令和3年度（△1.9%）に比べ4.4ポイント上回っている。

「普通建設事業費」は10億6,506万3千円で、令和3年度（6億5,120万5千円）に比べ4億1,385万8千円の増加（63.6%）となった。これは主に、児童センター建設事業費等が増加したこと等によるものであり、令和3年度の伸び率（12.7%）を50.9ポイント上回っている。

普通建設事業費のうち、補助事業費は3億3,893万1千円で、令和3年度（1億9,196万8千円）に比べ1億4,696万3千円の増加（76.6%）となった。また、単独事業費は7億2,613万2千円で、令和3年度（4億5,923万7千円）に比べ2億6,689万5千円の増加（58.1%）となった。

(2) 目的別経費

主な目的内訳をみると

民生費	50億2,324万7千円	（構成比	41.2%、	伸び率	△0.2%）
総務費	18億4,840万7千円	（構成比	15.1%、	伸び率	2.1%）
衛生費	12億9,095万7千円	（構成比	10.6%、	伸び率	8.9%）
教育費	12億6,533万8千円	（構成比	10.4%、	伸び率	△9.5%）
土木費	10億8,634万5千円	（構成比	8.9%、	伸び率	23.2%）
公債費	7億3,743万7千円	（構成比	6.0%、	伸び率	9.4%）

の順となっている。令和3年度と比べると、扶桑町総合体育館特定天井改修事業費の皆減により教育費が減少している。一方で、児童センター建設事業費が増加したこと等により民生費が、丹羽広域事

務組合水道部負担金の増加等により衛生費が、役場別棟事務室設置事業費の増加等により総務費が、高雄公園土地購入事業費の増加等により土木費が、増加している。

5. 財政運営指標について

地方債現在高の標準財政規模に対する割合は、減少している。
積立金現在高の標準財政規模に対する割合は、増加している。
公債費比率は、増加している。
経常収支比率は、悪化している。

(1) 地方債現在高

令和4年度末の地方債現在高は、借入額が償還元金を下回ったため、70億4,763万7千円となり、令和3年度の75億8,774万8千円に対し5億4,011万1千円減少した。その伸び率は△7.1%で、令和3年度の伸び率(2.2%)を9.3ポイント下回っている。これを地方債現在高の標準財政規模に対する割合で見ると93.9%となり、令和3年度(102.8%)を8.9ポイント下回っている。全国町村平均(令和3年度155.4%)に比べると低い割合であるといえる。

(2) 積立金現在高

令和4年度末の積立金現在高は36億7,226万6千円で、令和3年度の36億4,358万2千円に比べ2,868万4千円増加(0.8%)しており、この伸び率は令和3年度(28.4%)を27.6ポイント下回っている。主な要因は、減債基金、役場庁舎建設基金、広域ごみ処理施設整備基金、環境美化センター解体事業基金が増加したことによるものである。積立金現在高の標準財政規模に対する割合は48.9%で、令和3年度(49.3%)を0.4ポイント下回っている。また、財政調整基金の標準財政規模に対する割合は17.2%で、令和3年度(19.9%)を2.7ポイント下回っている。

(3) 公債費比率

地方債償還額の財政負担の度合いを判断する指標である公債費比率は2.7%で、令和3年度(1.9%)を0.8ポイント上回っている。

(4) 経常収支比率

財政構造の弾力性を判断する指標として使われる経常収支比率は86.4%で、令和3年度(84.1%)を2.3ポイント上回っている。全国町村平均(令和3年度82.6%)と比べて高い率となっているため、注意が必要である。

令和3年度を上回った要因は、臨時財政対策債が皆減したこと、物件費及び公債費等が増加したことによるものである。なお、臨時財政対策債を経常一般財源から除いた経常収支比率は86.4%で、令和3年度(90.3%)を3.9ポイント下回っている。

6. 財政力の推移について

(単位：千円、%)

区 分	R 4 年度	R 3 年度	R 2 年度
基準財政需要額	6,102,285	5,759,314	5,487,888
基準財政収入額	4,526,305	4,310,698	4,616,028
標準税収入額	5,714,225	5,452,417	5,871,781
標準財政規模	7,502,655	7,675,864	7,184,146
臨時財政対策債発行可能額	212,450	774,831	443,309
財政力指数	0.74	0.75	0.84
地方交付税額	1,605,808	1,478,266	898,647
実質収支比率	5.1	5.6	5.0
実質単年度収支	△ 223,640	471,986	96,668
公債費比率	2.7	1.9	1.7
経常一般財源比率	101.5	93.1	90.1
経常収支比率 ()内は減取補てん債特例分(平成19~21年度)と臨時財政対策債を経常一般財源等から除いた比率	86.4 (86.4)	84.1 (90.3)	90.6 (96.8)

※標準財政規模は、臨時財政対策債発行可能額を含む。

※財政力指数は単年度数値。

$$\text{財政力指数} \dots\dots\dots \frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}} \therefore \frac{4,526,305}{6,102,285} \doteq 0.74$$

$$\text{実質収支比率} \dots\dots\dots \frac{\text{実質収支額}}{\text{標準財政規模}} \times 100 \therefore \frac{380,110}{7,502,655} \times 100 \doteq 5.1$$

$$\text{公債費比率} \dots\dots\dots \frac{\left(\begin{array}{l} \text{地方債元利償還金充当} \\ \text{一般財源} \\ \text{(転貸債分除く)} \end{array} \right) - \left(\begin{array}{l} \text{災害復旧費、減取補てん債、臨時財政} \\ \text{特例債、財源対策債、減税補てん債、} \\ \text{臨時税収補てん債、補正予算債、臨時} \\ \text{財政対策債及び公害防止事業債の償還} \\ \text{費に係る基準財政需要額 (A)} \end{array} \right)}{\text{標準財政規模 (臨時財政対策債発行可能額を含む) - (A)}} \times 100$$

$$\therefore \frac{737,437 - 550,213}{7,502,655 - 550,213} \times 100 \doteq 2.7$$

$$\text{経常一般財源比率} \dots\dots\dots \frac{\text{経常一般財源収入額}}{\text{標準財政規模}} \times 100 \therefore \frac{7,614,816}{7,502,655} \times 100 \doteq 101.5$$

$$\text{経常収支比率} \dots\dots\dots \frac{\text{経常経費充当一般財源}}{\left(\begin{array}{l} \text{経常一般財源収入額} \\ + \\ \text{臨時財政対策債} \end{array} \right)} \times 100 \therefore \frac{6,582,943}{7,614,798} \times 100 \doteq 86.4$$

7. 財政の状況について

(1) 歳入

(単位：千円、%)

区 分	R 4 年 度		R 3 年 度		対前年度比 ($\frac{A}{B} \times 100$)
	決算額 (A)	構 成 比	決算額 (B)	構 成 比	
地 方 税	5,410,325	43.0	4,973,036	40.2	108.8
地 方 譲 与 税	88,827	0.7	88,682	0.7	100.2
利 子 割 交 付 金	2,246	0.0	3,309	0.0	67.9
配 当 割 交 付 金	39,467	0.3	40,594	0.3	97.2
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	27,194	0.2	46,366	0.4	58.7
法 人 事 業 税 交 付 金	80,670	0.6	68,418	0.6	117.9
地 方 消 費 税 交 付 金	785,859	6.2	748,155	6.0	105.0
自 動 車 取 得 税 交 付 金	1	0.0	1	0.0	100.0
環 境 性 能 割 交 付 金	20,165	0.2	16,570	0.1	121.7
地 方 特 例 交 付 金	54,890	0.5	80,391	0.6	68.3
地 方 交 付 税	1,605,808	12.8	1,478,266	11.9	108.6
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	3,703	0.0	3,991	0.0	92.8
分 担 金 及 び 負 担 金	18,955	0.2	23,660	0.2	80.1
使 用 料	93,198	0.7	84,796	0.7	109.9
手 数 料	40,407	0.3	39,487	0.3	102.3
国 庫 支 出 金	1,864,086	14.8	2,271,647	18.4	82.1
県 支 出 金	810,285	6.5	703,188	5.7	115.2
財 産 収 入	13,673	0.1	3,182	0.0	429.7
寄 附 金	6,077	0.0	4,665	0.0	130.3
繰 入 金	634,544	5.0	80,978	0.7	783.6
繰 越 金	426,941	3.4	368,151	3.0	116.0
諸 収 入	393,966	3.1	440,954	3.6	89.3
地 方 債	179,700	1.4	811,800	6.6	22.1
合 計	12,600,987	100.0	12,380,287	100.0	101.8
う ち 一 般 財 源 等	9,457,257	75.1	8,982,616	72.6	105.3
う ち 自 主 財 源	7,038,086	56.0	6,018,909	48.7	116.9

(2) 歳 出 (性質別)

(単位：千円、%)

区 分		R 4 年 度		R 3 年 度		対前年度比
		決算額 (A)	構 成 比	決算額 (B)	構 成 比	$(\frac{A}{B} \times 100)$
消 費 的 経 費		8,321,871	68.2	8,425,413	70.5	98.8
内 訳	人 件 費	2,303,629	18.9	2,270,202	19.0	101.5
	物 件 費	2,002,036	16.4	1,865,924	15.6	107.3
	維 持 補 修 費	142,415	1.2	140,811	1.2	101.1
	扶 助 費	2,051,527	16.8	2,688,086	22.5	76.3
	補 助 費 等	1,822,264	14.9	1,460,390	12.2	124.8
投 資 的 経 費		1,065,063	8.7	651,205	5.4	163.6
内 訳	普 通 建 設 事 業 費	1,065,063	8.7	651,205	5.4	163.6
	災 害 復 旧 費	0	0.0	0	0.0	0.0
公 債 費		737,437	6.0	674,069	5.6	109.4
積 立 金		649,367	5.3	854,410	7.2	76.0
投資及び出資金・貸付金		352,663	2.9	294,529	2.5	119.7
繰 出 金		1,080,408	8.9	1,053,720	8.8	102.5
合 計		12,206,809	100.0	11,953,346	100.0	102.1
うち義務的経費		5,092,593	41.7	5,632,357	47.1	90.4

(3) 歳出(目的別)

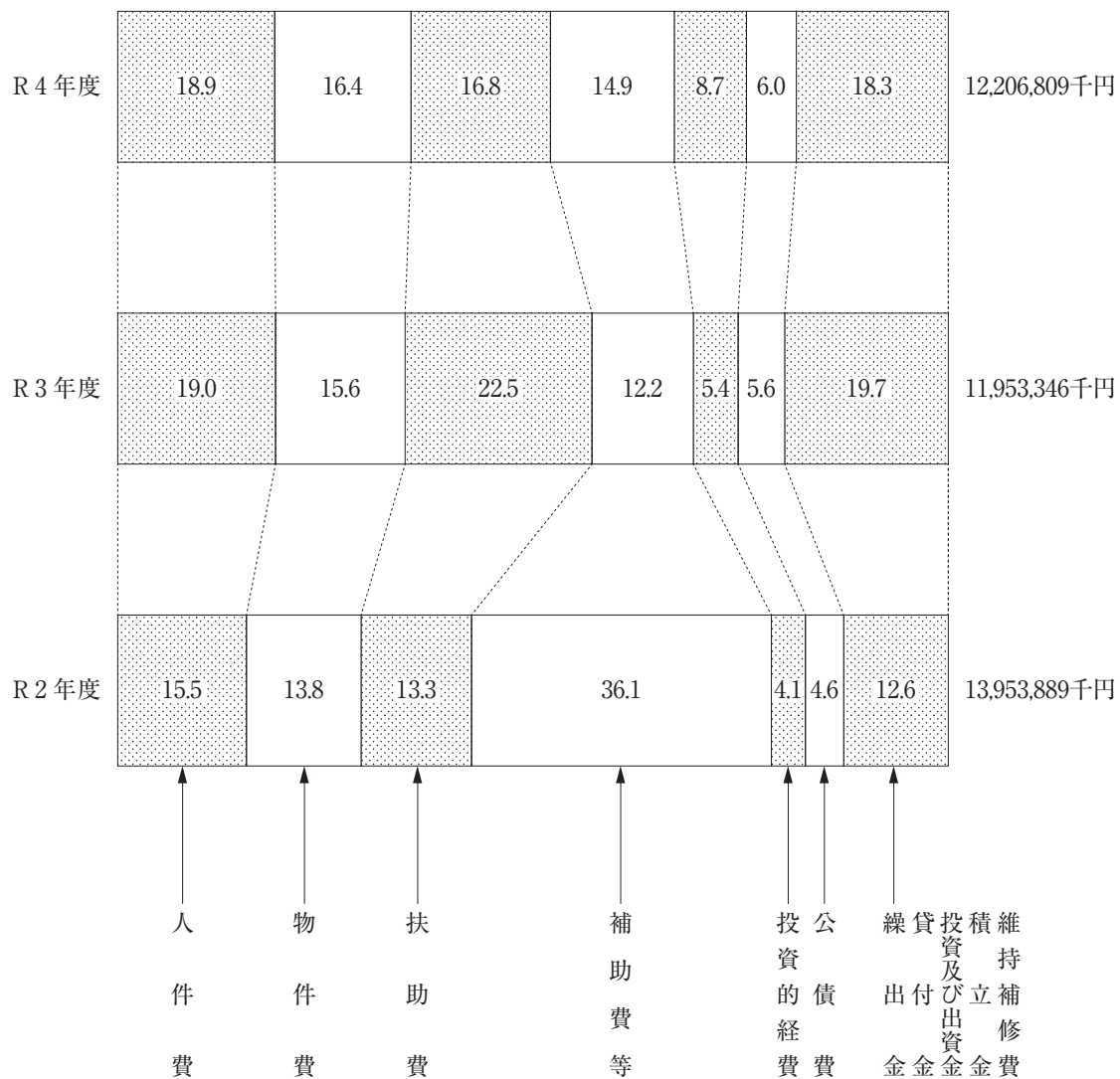
(単位：千円、%)

区 分	R 4 年 度		R 3 年 度		対前年度比 ($\frac{A}{B} \times 100$)
	決算額 (A)	構 成 比	決算額 (B)	構 成 比	
議 会 費	124,367	1.0	128,069	1.1	97.1
総 務 費	1,848,407	15.1	1,811,193	15.2	102.1
民 生 費	5,023,247	41.2	5,030,924	42.0	99.8
衛 生 費	1,290,957	10.6	1,185,097	9.9	108.9
労 働 費	6,130	0.1	6,061	0.1	101.1
農 林 水 産 業 費	90,068	0.7	79,389	0.6	113.5
商 工 費	218,852	1.8	210,652	1.8	103.9
土 木 費	1,086,345	8.9	882,102	7.4	123.2
消 防 費	515,661	4.2	547,705	4.6	94.1
教 育 費	1,265,338	10.4	1,398,085	11.7	90.5
災 害 復 旧 費	0	0.0	0	0.0	0.0
公 債 費	737,437	6.0	674,069	5.6	109.4
合 計	12,206,809	100.0	11,953,346	100.0	102.1

(4) 歳出決算額構成比の推移 (性質別・目的別)

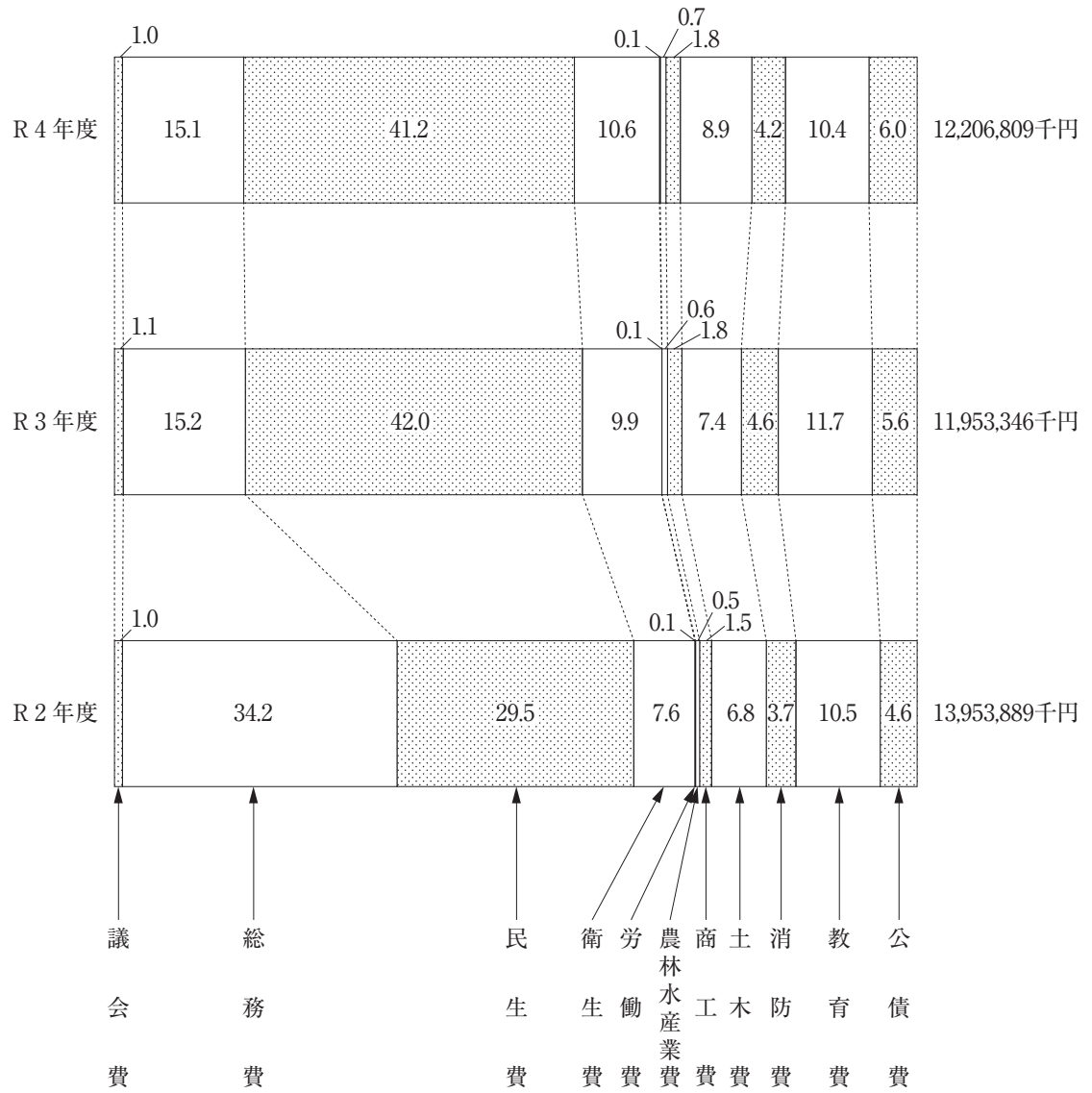
性 質 別 歳 出

(単位：%)



目的別歳出

(単位：%)



(5) 人件費の内訳

(単位：千円、%)

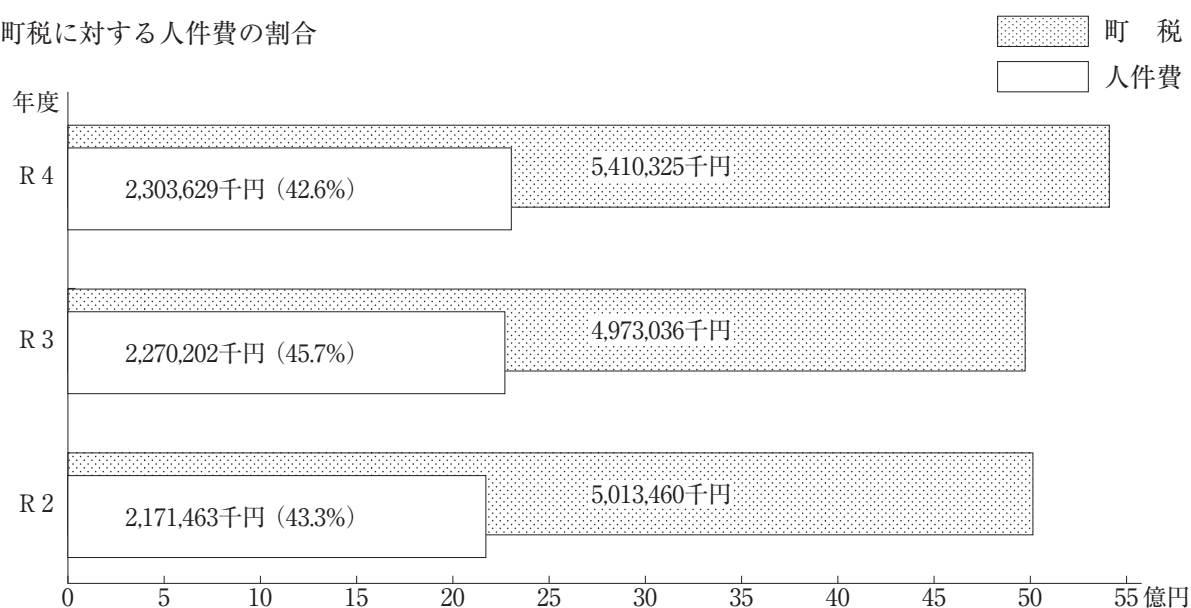
区 分		R 4 年 度		R 3 年 度		対前年度比
		決算額 (A)	構 成 比	決算額 (B)	構 成 比	$(\frac{A}{B} \times 100)$
議 員 報 酬 手 当		77,293	3.4	78,303	3.4	98.7
委 員 等 報 酬		567,737	24.6	538,227	23.7	105.5
特 別 職 員 給 与 手 当		34,473	1.5	34,923	1.5	98.7
一 般 職 員 給	給 料	742,424	32.2	726,539	32.0	102.2
	扶 養 手 当	14,631	0.6	14,910	0.7	98.1
	地 域 手 当	23,781	1.0	23,395	1.0	101.6
	時 間 外 勤 務 手 当	64,489	2.8	51,635	2.3	124.9
	管 理 職 手 当	23,119	1.0	25,292	1.1	91.4
	特 殊 勤 務 手 当	376	0.0	346	0.0	108.7
	期 末 勤 勉 手 当	282,162	12.2	294,694	13.0	95.7
	通 勤 手 当	8,813	0.4	8,875	0.4	99.3
	住 居 手 当	15,035	0.7	12,609	0.5	119.2
	管理職員特別勤務手当	808	0.0	2,591	0.1	31.2
	小 計	1,175,638	51.0	1,160,886	51.1	101.3
	共 済 組 合 負 担 金		254,302	11.0	252,290	11.1
退 職 手 当 組 合 負 担 金		128,853	5.6	130,826	5.8	98.5
災 害 補 償 費		1,406	0.1	1,441	0.1	97.6
職 員 互 助 会 補 助 金		1,409	0.1	1,470	0.1	95.9
そ の 他		62,518	2.7	71,836	3.2	87.0
合 計		2,303,629	100.0	2,270,202	100.0	101.5

(6) 町税の歳入歳出決算額割合と人件費割合の推移

(単位：千円、%)

年 度	町税収入額 (A)	歳入決算額 (B)	歳出決算額 (C)	歳 入 比 ($\frac{A}{B} \times 100$)	歳 出 比 ($\frac{A}{C} \times 100$)
R 4	5,410,325	12,600,987	12,206,809	42.9	44.3
R 3	4,973,036	12,380,287	11,953,346	40.2	41.6
R 2	5,013,460	14,322,040	13,953,889	35.0	35.9

町税に対する人件費の割合



(7) 令和4年度地方債借入状況

(単位：千円)

事 業 名	借 入 金 額
防災・減債・国土強靱化緊急対策事業債	2,500
一般単独事業債	13,200
学校教育施設等整備事業債	34,900
社会福祉施設整備事業債	129,100
合 計	179,700